

2025年度(令和7年度)

看護学科履修要項

旭川医科大学

目 次

- ・旭川医科大学の理念、使命
- ・旭川医科大学医学部看護学科の教育理念、目標
- ・旭川医科大学医学部看護学科（学士課程）ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）
- ・旭川医科大学医学部アセスメント・ポリシーについて
- ・旭川医科大学医学部看護学科（学士課程）2022看護カリキュラムカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）
- ・旭川医科大学医学部看護学科（学士課程）2022看護カリキュラムカリキュラムマップ
- ・令和7年度看護学科授業科目一覧および卒業要件

【必修科目（第1学年）】

1. 英語 I A	15
2. 英語 I B	17
3. 情報リテラシー	18
4. 初年次セミナー	19
5. 看護社会論	20
6. 形態機能学	21
7. 生体観察実習	24
8. 栄養学	26
9. 生化学	27
10. 病理学総論	28

11. 発達心理学	29
12. 看護学概論	30
13. 基礎看護技術学 I（共通技術）	32
14. 基礎看護技術学 II（日常生活援助技術）	34
15. コミュニケーション論	37
16. 人間生涯発達論	38
17. 地域看護学	39
18. 早期体験実習 I （コミュニケーション・プロフェッショナリズム）	40
19. 基礎看護学実習 I（療養生活の理解）	42
20. 地域包括ケア論 I（地域の理解）	43

【必修科目（第2学年）】

21. 英語 II A・II B	45
22. 統計学	46
23. 病理学各論	47
24. 薬理学	48
25. 感染制御学	49
26. 臨床病態治療学 I（精神・小児・婦人科系疾患）	51
27. 臨床病態治療学 II（内科・外科系疾患）	53
28. 健康教育論	55
29. 保健統計	56
30. 公衆衛生論	58
31. 臨床心理学	59
32. 基礎看護技術学 III（診療関連技術）	60

33. 基礎看護技術学 IV（看護過程）	62
34. 看護フィジカルアセスメント	63
35. 看護倫理	64
36. 看護理論	65
37. 早期体験実習 II（北海道の地域医療、看護職）	66
38. 基礎看護学実習 II（看護過程と看護実践）	67
39. 地域包括ケア論 II（地域の課題把握）	68
40. 成人看護学 I（健康状態と看護）	69
41. 高齢者看護学 I（老いを生きる人と看護）	71
42. 小児看護学	72
43. 母性看護学	74
44. 精神看護学 I（個人と社会における精神保健）	76
45. 精神看護学 II（精神症状と看護の展開）	77

【必修科目（第3学年）】

46. 臨床薬理学	79
47. 臨床病態治療学 III（内科・外科系以外の疾患）	80
48. 疫学	82
49. 保健医療福祉システム論	84
50. 地域包括ケア論 III（地域の課題解決）	86
51. 地域包括ケア実習	87
52. 成人看護学 II（主な健康障害と看護）	88
53. 高齢者看護学 II（老年期の生活障害と看護）	90
54. 在宅看護学	91

55. 実践看護技術学 I（成人）	93
56. 実践看護技術学 II（精神・母性・小児）	95
57. 成人看護学実習 I（急性期）	98
58. 成人看護学実習 II（外来）	99
59. 成人看護学実習 III（慢性期）	100
60. 母性看護学実習	101
61. 精神看護学実習	102
62. がん看護学	103
63. チーム医療・リハビリテーション看護論	105
64. 看護研究	106

【必修科目（第4学年）】

- 65. 地域包括ケア論Ⅳ（地域課題の継続的な取組）…107
- 66. 実践看護技術学Ⅲ（高齢者・在宅）…108
- 67. 高齢者看護学実習…110
- 68. 小児看護学実習…111
- 69. 国際保健・災害看護論…112
- 70. 卒業研究…113
- 71. 在宅看護学実習…114
- 72. 総合実習…115
- 73. 看護管理・医療安全論…116

【選択科目（一般基礎科目）】

第1学年開講

- 74. 生命科学（入門）…117
- 75. 看護化学…118

※上記以外の選択科目（一般基礎科目）については別冊紙『2025年度（令和7年度）選択科目履修要項』参照

【選択科目（専門基礎科目）】

第2学年開講

- 76. 看護遺伝学…119

第3学年開講

- 77. 保健医療福祉行政論…120

【選択科目（専門科目）】

第2学年開講

- 78. 看護英語…121
- 79. 公衆衛生看護学概論…123

第3学年開講

- 80. 助産学概論…125
- 81. 助産活動論Ⅰ
（リプロダクティブヘルス/ライツと女性・家族への支援）…126
- 82. 助産活動論Ⅱ（助産学基礎知識）…127
- 83. 公衆衛生看護活動論Ⅰ（個人・家族・集団）…129
- 84. 公衆衛生看護活動論Ⅱ（地域アセスメント）…131

備考

1. 科目責任者またはコーディネータを◎で示し、成績評価に関する責任を有する。
2. 授業概要に記載されている「DP」は、科目と関連が深いディプロマ・ポリシーを示すものである。
3. 第1学年対象の選択科目（一般基礎科目）の「生命科学（発展）」について、令和7年度は開講しない。

第3・4学年開講

- 85. 看護英語文献講読…133
- 86. 医療経済・看護経営論…134
- 87. 家族看護論…135
- 88. 認知症ケア論…136
- 89. クリティカルケア論…137

第4学年開講

- 90. 看護教育論…138
- 91. がんサイババーシップ…139
- 92. がんエンドオブライフケア…140
- 93. 助産診断・技術学Ⅰ（妊娠期）…141
- 94. 助産診断・技術学Ⅱ（分娩期）…143
- 95. 助産管理学…146
- 96. 助産学実習…147
- 97. 公衆衛生看護活動論Ⅲ（公衆衛生看護管理）…148
- 98. 公衆衛生看護活動論Ⅳ（政策づくり）…150
- 99. 公衆衛生看護技術論…151
- 100. 公衆衛生看護学実習Ⅰ…154
- 101. 公衆衛生看護学実習Ⅱ…155

付：オフィスアワー 一覧表…158

令和7年度学年暦…166

令和7年度カレンダー…167

看護学科実務経験のある教員等

による授業科目一覧表…168

旭川医科大学の理念、使命

大学の理念

旭川医科大学は、豊かな自然環境の中で真摯な教育及び研究活動を行い、医学・看護学の発展に尽くすとともに、地域及び国際社会における保健・医療・福祉の向上に貢献する。

大学の使命

旭川医科大学は、少子・高齢化及び人口減少が急速に進む北海道の地域医療を支えることに重点を置き、献身的かつ有能な医師及び看護職者を育成することで地域社会の保健・医療・福祉を安定的に向上させる。また、独自性の高い研究活動と先進的な医療活動を通して医学・看護学の発展に貢献する。

旭川医科大学医学部看護学科の教育理念、教育目標

教育理念

旭川医科大学医学部看護学科は、未来を切り開く開拓者精神と生命の尊厳を貴ぶ人間性を備え、責務 (Accountability)・権能 (Authority)・自律 (Autonomy) を基盤に据えながら、先進的な保健・医療・福祉活動を通じて、看護学の発展と共に地域社会に貢献する人材を育成する。

教育目標

- 1 広い視野をもちながら、北海道の地域特性を理解し、より良い未来に向け積極的に行動する態度を養う。
- 2 幅広い人間理解に基づく倫理観を培い、共感性をもって人々と信頼関係を育むことができる豊かな人間性を養う。
- 3 生命と向き合うことへの自覚と責任感を育み、人々に最善の利益をもたらすための知識を修得し、論理的思考力と研究力を養う。
- 4 看護専門職として自己研鑽する力を持ち、チーム活動を通して自律性と看護実践能力を養う。
- 5 保健・医療・福祉の活動に参画することで、多様な立場の人々と協働し健康課題を解決し、生涯にわたり看護と地域及び国際社会に貢献する意欲を養う。

旭川医科大学医学部看護学科（学士課程） ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

旭川医科大学医学部看護学科では、教育の目標に沿って編成された年次カリキュラムを履修し、基準となる単位数を修得し、次の資質と能力を身につけたと認められる学生に対し学位（学士（看護学））を授与します。

①「倫理観に基づいた看護の社会的使命の遂行」（姿勢・態度）

・医療チームの一員として高度な生命倫理に基づいた誠実で良識ある看護実践を行う姿勢・態度を身につけている。

社会に対して看護の使命を認識して実践する姿勢・態度を身につけている。

②「地域社会・国際社会へ貢献するための能力」（意欲・関心）

・地域から国際社会に至るまで保健・医療・福祉に関して多様な人々と協働し、社会的ニーズを踏まえ、看護の実践研究を通して課題を主体的に解決する意欲を有する。

看護の専門職として、たえず自己研鑽する意欲を有する。

③「看護学と医療・保健・福祉の看護関連領域に関する十分な知識と生涯学習能力」（知識）

・幅広い教養を身につけ、看護の専門的知識を習得している。

④「問題解決能力、発展的思考能力、研究心」（思考・判断）

・研究的視点から自ら看護に関する問題を発見し、その解決のための思考力・判断力を身につけている。

⑤「根拠に基づいた基礎的看護実践能力」（技能・表現）

・すべてのライフステージ・健康レベルの対象に応じた、根拠に基づく基本的看護実践ができる技能及び表現力を身につけている。

旭川医科大学医学部 アセスメント・ポリシー

令和6年3月13日改正

1. 成績の評価について

- (1) 評価方法をシラバスに明示する。
- (2) 到達目標に対する評価の基準を明確にする。そのため、筆記試験では問題と解答の開示を、レポートなどでは評価のためのルーブリックの公開を推進する。
- (3) 成績評価に対する異議申し立て期間を設ける。

2. 成績の評語、評点、評価の基準について

成績は以下の基準に基づき、評語をもって表し、秀、優、良及び可を合格とし、不可を不合格とする。ただし、再試験後の評価は、可を上限とする。

評語	評 価 の 基 準
秀	シラバスに示す到達目標を達成し、極めて優秀な成果を修めている。
優	シラバスに示す到達目標を達成し、優秀な成績を修めている。
良	シラバスに示す到達目標を達成し、良好な成績を修めている。
可	シラバスに示す到達目標を達成している。
不可	シラバスに示す到達目標を達成していない。

注1) 各評語に対する評点(100点満点)の目安は以下の通りとする。

秀：90-100；優：80-89；良：70-79；可：60-69；不可：59点以下。

注2) 科目履修者における各評語の割合の目安は以下の通りとする。

- ①「秀」は、医学科、看護学科いずれにおいても履修者数の5%を超えないことが望ましい。
- ②医学科においては、「秀・優」の合計は、30%程度が望ましい。
- ③看護学科においては、「秀・優」の合計は、「良・可」の合計を超えない程度とし、「可」の割合は「良」の割合以下とするのが望ましい。
- ④なお、各評語の割合については、履修者数や科目の特性に応じ、授業科目担当教員が判断できる余地を残すこととする。

3. 「合格・不合格」判定を行う科目について

必修科目において、「秀・優・良・可・不可」の評語がなじまない科目については、「合格・不合格」のみ判定を行い、GPA判定に含めない。「合格・不合格」判定を行う科目については、教育センターカリキュラム部門にて検討し、明示する。

「合格・不合格」判定を行う科目

【医学科2015カリキュラム】

早期体験実習Ⅰ（医学科第1学年）	2019年度以降
基礎医学特論（医学科第2学年）	2019年度以降
選択必修コースⅠ～Ⅲ（医学科第3学年）	2019年度以降
医学研究特論（医学科第4学年）	2019年度以降
臨床実習序論（医学科第4学年）	2023年度以降

【医学科2022カリキュラム】

医用物理学実習（医学科第1学年）	
初年次セミナー（医学科第1学年）	
早期体験実習Ⅰ（医学科第1学年）	
基礎医学特論（医学科第2学年）	
選択必修コースⅠ～Ⅱ（医学科第3学年）	
医学研究特論（医学科第4学年）	
臨床実習序論（医学科第4学年）	2023年度以降

【医学科2024カリキュラム】

医用物理学実習（医学科第1学年）	
初年次セミナー（医学科第1学年）	
早期体験実習Ⅰ（医学科第1学年）	
基礎医学特論（医学科第2学年）	
選択必修コース（医学科第3学年）	
医学研究特論（医学科第4学年）	
臨床実習序論（医学科第4学年）	

【看護学科2019カリキュラム、2022カリキュラム】

早期体験実習Ⅰ（看護学科第1学年）	
初年次セミナー（看護学科第1学年）	

4. 点検と見直しについて

評価方法の選定と基準の設定にあたっては、その妥当性、客観性ならびに実現可能性を考慮し、教務・厚生委員会にて、①成績評価の分布状況、②成績評価の妥当性の事後チェック（成績評価の分布の偏りの点検）等の調査により定期的に点検・見直しを行う。

第 1 ~ 4 学年

旭川医科大学医学部看護学科（学士課程） カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

看護学科では、高齢社会の到来、医療の高度化など、新たな医療・看護に対する社会の要請に応え、広い教養基盤を支えとする看護実践力を備えた看護専門職を養成するための看護基礎教育を行っています。また、保健師・助産師になるための選択履修科目をそれぞれ設けています。

教育課程は、一般基礎科目・専門基礎科目・専門科目の3群で構成し、さらに専門科目は「看護の基礎」「特性と看護」「看護の発展と探求」の3段階に配置し、看護学を体系的に学習できるよう配慮してあります。また、4年間を通して学ぶ「地域包括ケア論Ⅰ」～「地域包括ケア論Ⅳ」、3年時に「地域包括ケア実習」を配置しました。

当学科では講義・演習・実習の授業形態を有機的に組み合わせ、段階的かつ系統的な教育によって、看護実践ができる人材の養成を目指しています。

看護学科の学位授与の方針を実現するために、上記の方針を以下のとおり具体化して、カリキュラムを編成しています。

①「倫理観に基づいた看護の社会的使命の遂行」（姿勢・態度）

医療チームの一員として高度な生命倫理に基づいた誠実で良識ある看護実践を行う姿勢・態度を身につけている。

社会に対して看護の使命を認識して実践する姿勢・態度を身につけている。

1. 看護職に必須な倫理を理解するために、第1学年に看護の基盤となる科目「看護学概論」「コミュニケーション論」「人間生涯発達論」を配置しています。第2学年に専門職倫理を深める「看護倫理」を配置しています。
2. 医療チームの一員としての看護実践に備えるために、第1学年に初年次教育として「早期体験実習Ⅰ」を、第2学年に「早期体験実習Ⅱ」を配置しています。
3. 人間という存在に対する畏敬の念を培うために、第1学年に「生体観察実習」を配置しています。
4. 社会的存在としての看護職者の姿勢・態度を身につけるために、第1学年に「初年次セミナー」を、第1学年から第4学年を通じて段階的に臨地実習を、また卒業前に「総合実習」を配置しています。

②「地域社会・国際社会へ貢献するための能力（意欲・関心）

地域から国際社会に至るまで保健・医療・福祉に関して多様な人々と協働し、社会的ニーズを踏まえ、看護の実践研究を通して課題を主体的に解決する意欲を有する。

看護の専門職として、たえず自己研鑽する意欲を有する。

5. 学士課程での学び方を学ぶために第1学年に初年次教育として「初年次セミナー」を配置し学習意欲を高めます。

6. 地域医療に興味と関心を持ち北海道の地域特性に応じた医療ニーズを探索するために第1学年では近隣の地域で学ぶ「早期体験実習Ⅰ」、第2学年では多様な地域に滞在しながら学ぶ「早期体験実習Ⅱ」を配置しています。
7. 人々が住み慣れた地域で生活できるよう支え支援していく方法を第1学年から第4学年まで段階を踏みながら自ら探索していく「地域包括ケア論Ⅰ」～「地域包括ケア論Ⅳ」を4年一貫教育プログラムとして配置しています。
8. 地域社会および国際社会に貢献できるよう、第1学年に「地域看護学」、第3学年に「英語文献講読」、第4学年に「国際保健・災害看護論」を配置しています。

③「看護学と医療・保健・福祉の看護関連領域に関する十分な知識と生涯学習能力」（知識）

幅広い教養を身につけ、看護の専門的知識を修得している。

9. 文化・社会・自然に関する幅広い知識を身につけ多様な価値観に触れるために、教養科目を一般基礎科目と位置づけ、学習スキルやキャリア形成を育むために「初年次セミナー」「情報リテラシー」を必修科目に配置しています。選択科目として、対象把握の有機的な理解のために「手話入門」をはじめ、個人の希望に合わせて履修できる様々な科目を配置しています。
10. 生活体である人間を理解するための専門基礎科目を設定し、その履修を必修としています。第1学年には、人間の心と体を理解する科目と第2学年には疾病や治療、薬理に関する科目を配置しています。第3学年には集団や地域の保健・医療・福祉に関する理解を深めるため「保健医療福祉システム論」を配置しています。
11. 看護の基礎的知識を学び、人間の各発達過程の特性と看護に関する科目として、第2学年から第3学年に専門科目「成人看護学Ⅰ・Ⅱ」「高齢者看護学Ⅰ・Ⅱ」「小児看護学」「母性看護学」「精神看護学」を設定し、臨床全般の看護の知識を学べるように配置しています。また、第3学年、第4学年には、看護の発展と探求の科目に、必修科目として「在宅看護論」「がん看護学」「チーム医療・リハビリテーション看護論」、選択科目として「認知症ケア論」「クリティカルケア論」「がんサバイバースhip」「がんエンドオブライフケア」などを配置しています。さらに、4年間を通じて保健師課程、助産師課程の必修科目を配置し、看護学と並行して公衆衛生看護学、助産学の基礎・専門知識を学ぶために選択履修ができるようにしています。

④「問題解決能力、発展的思考能力、研究心」（思考・判断）

研究的視点から自ら看護に関する問題を発見し、その解決のための思考力・判断力を身につけている。

12. 論理的に思考・判断することができるために、第1学年では「学ぶこと」を体験的に学習する「初年次セミナー」、第2学年では問題解決思考による看護過程を展開する「基礎看護技術学Ⅳ」、対象の健康をアセスメントする「看護フィジカルアセスメント」、データの処理を扱う「保健統計」を配置しています。第3学年には個人のみならず、集団や地域の健康に関する「疫学」を配置しています。

13. 獲得したさまざまな知識を用いて看護の現実問題の解決に取り組む基礎を身につけるために、第1学年に「初年次セミナー」を、第3学年に「看護研究」、第4学年に「卒業研究」を配置しています。

⑤「根拠に基づいた基礎的看護実践能力」(技能・表現)

すべてのライフステージ・健康レベルの対象に応じた、根拠に基づく基本的看護実践ができる技能及び表現力を身につけている。

14. 基礎的な看護技術を身につけるために、第1学年から第2学年において「基礎看護技術学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」「看護フィジカルアセスメント」を配置しています。
また、第1学年の「基礎看護学実習Ⅰ」では患者の生活や看護を理解し、第2学年には看護過程を展開する「基礎看護学実習Ⅱ」を配置しています。
15. 第3学年には第2学年で学んだ各領域別看護学の知識を基に、「実践看護技術学Ⅰ(成人領域)」「実践看護技術学Ⅱ(精神・母性・小児の各領域)」、第4学年には「実践看護技術学Ⅲ(高齢者・在宅領域)」の演習科目を配置し、講義内容と関連づけて看護実践能力を身につけることができるようにしています。
16. 第3学年では臨地実習前の技術の保証として、OSCE (Objective Structured Clinical Examination) を実施し、第3学年から第4学年では領域別看護学実習を行い、ライフステージの特徴や健康レベルを的確に把握し、個別的看護実践に結びつけることができるようカリキュラムを展開しています。
17. 第4学年には夜間の実習や複数の患者を担当するなどの「総合実習」を配置し、看護実践力をより向上できるようカリキュラムを展開しています。

学習成果の評価の方針

1. 講義の学習成果は、試験・レポート・授業での課題等により、演習や実習では課題の実施状況やレポート等で総合的に評価します。看護研究は、取り組み状況、研究成果の発表により評価します。臨地看護学実習は、各科目の評価基準(ルーブリック評価、レポートなど)に従って評価します。
2. 各卒業時到達目標、コンピテンシーの達成度、および各学年で身につけた知識、技能、態度等の総合的評価は「看護学科コンピテンシー・評価対応表」により行います。
3. 本学の看護学教育をより良いものにするため、カリキュラムの評価と検証を継続的に行います。その評価・検証体制は「アセスメント・ポリシー」に示されています。

旭川医科大学医学部看護学科 2022看護カリキュラム カリキュラムマップ

一般基礎科目
専門基礎科目

専門科目：看護の基盤
専門科目：コミュニティと看護
専門科目：特性と看護

専門科目：看護の発展と探求
専門科目：看護の発展と探求（選択必修）
専門科目：看護の発展と探求（選択）
専門科目：公衆衛生・助産選択

領域	姿勢・態度	意欲・関心	知識	思考・判断	技能・表現			
キーワード	倫理観に基づいた看護の社会的使命の遂行	地域社会・国際社会へ貢献するための能力	看護学と医療・保健・福祉の看護関連領域に関する十分な知識と生涯学習能力	問題解決能力、発展的思考能力、研究心	根拠に基づいた基礎的看護実践能力			
ディプロマ・ポリシー	医療チームの一員として高度な生命倫理に基づいた誠実で良識ある看護実践を行う姿勢・態度を身につけている。社会に対して看護の使命を認識して実践する姿勢・態度を身につけている。	地域から国際社会に至るまで保健・医療・福祉に関して多様な人々と協働し、社会的ニーズを踏まえ、看護の実践・研究を通して課題を主体的に解決する意欲を有する。看護の専門職として、たえず自己研鑽する意欲を有する。	幅広い教養を身につけ、看護の専門的知識を修得している。	研究的視点から自ら看護に関する問題を発見し、その解決のための思考力・判断力を身につけている。	すべてのライフステージ・健康レベルに応じた、根拠に基づく基本的看護実践ができる技能及び表現力を身につけている。			
4年生	公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ 助産学実習							
	助産診断・技術学Ⅰ / 助産診断・技術学Ⅱ / 助産管理学		助産診断・技術学Ⅰ / 助産診断・技術学Ⅱ / 助産管理学					
	助産活動論Ⅱ			公衆衛生看護学活動論Ⅳ				
	公衆衛生看護学活動論Ⅲ			公衆衛生看護学活動論Ⅳ				
	総合実習							
	看護管理・医療安全論		国際保健・災害看護論		看護管理・医療安全論			
	在宅看護学実習 高齢者看護学実習 小児看護学実習	地域包括ケア論Ⅳ	看護教育論	看護英語文献購読	卒業研究			
			がんエンドオブライフケア	クリティカルケア論				
			がんサバイバースHIP	認知症ケア論				
			家族看護論	医療経済・看護経営論				
在宅看護学実習								
高齢者看護学実習								
小児看護学実習								
実践看護技術学Ⅲ（高齢者・在宅）								
3年生	助産学概論		助産学概論		公衆衛生看護学活動Ⅱ			
	助産学活動論Ⅰ		助産学活動論Ⅰ		公衆衛生看護学活動Ⅰ			
	成人看護学実習Ⅲ（慢性期） 成人看護学実習Ⅱ（外来） 成人看護学実習Ⅰ（急性期） 精神看護学実習 母性看護学実習	地域包括ケア論Ⅲ	チーム医療・リハビリテーション看護論	看護英語文献購読	看護研究			
			がん看護学	クリティカルケア論				
			在宅看護学	認知症ケア論				
			高齢者看護学Ⅱ	家族看護論				
			成人看護学Ⅱ	医療経済・看護経営論				
			臨床病態治療学Ⅲ	保健医療福祉行政論				
	臨床薬理学		保健医療福祉システム論	疫学				
	成人看護学実習Ⅲ（慢性期）							
成人看護学実習Ⅱ（外来）								
成人看護学実習Ⅰ（急性期）								
精神看護学実習								
母性看護学実習								
実践看護技術学Ⅱ（精神・母性・小児）								
実践看護技術学Ⅰ（成人）								
2年生	地域包括ケア実習							
	基礎看護学実習Ⅱ 早期体験実習Ⅱ 看護倫理	地域包括ケア論Ⅱ	公衆衛生看護学概論	精神看護学Ⅱ	小児看護学	看護英語		
			精神看護学Ⅰ	高齢者看護学Ⅰ				
			母性看護学	成人看護学Ⅰ				
			臨床病態治療学Ⅱ	保健統計				
			臨床病態治療学Ⅰ	公衆衛生論				
			薬理学	臨床心理学				
			病理学各論	健康教育論				
			感染制御学	看護遺伝学				
			英語Ⅱ A・Ⅱ B	統計学				
基礎看護学実習Ⅱ								
早期体験実習Ⅱ		看護理論	看護フィジカルアセスメント					
看護倫理		看護倫理	基礎看護技術学Ⅲ					
			基礎看護技術学Ⅳ					
1年生	生体観察実習 地域看護学 コミュニケーション論	地域包括ケア論Ⅰ	人間生涯発達論		生体観察実習			
			形態機能学					
			病理学総論	一般基礎選択科目				
			発達心理学					
			地域看護学	生化学				
			コミュニケーション論	栄養学		看護社会論		
			早期体験実習Ⅰ			英語Ⅰ A	英語Ⅰ B	
			基礎看護学実習Ⅰ					
			基礎看護技術学Ⅱ			基礎看護技術学Ⅱ		
			基礎看護技術学Ⅰ			基礎看護技術学Ⅰ		
看護学概論								
情報リテラシー	情報リテラシー		初年次セミナー					

令和7年度 看護学科授業科目一覧および卒業要件（第1～4学年）

	授業科目	単位数	授業形式	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		必修・選択の別	
				前	後	前	後	前	後	前	後		
一般基礎科目	英語ⅠA	1	演習	○								必修	
	英語ⅠB	1	"	○									
	英語ⅡA・ⅡB	1	"			○							
	情報リテラシー	1	講義	○									
	統計学	1	"			○							
	初年次セミナー	1	"	○									
	看護社会論	1	"	○									
	生命科学（入門）	1	講義	○									選択
	生命科学（発展）	1	"		○								
	看護化学	1	"	○									
	人間と思想（哲学基礎）	1	"		○								
	人間と思想（近代社会の理論）	1	"		○								
	人間と思想（人間学）	1	"		○								
	人間と文学（古典評論Ⅰ）	1	"	○									
	人間と文学（古典評論Ⅱ）	1	"	○									
	人間と文学（文学入門）	1	"	○									
	人間と文学（批評理論入門）	1	"		○								
	言葉と文化（言語文化概論）	1	"		○								
	言葉と文化（現代言語学概論）	1	"	○									
	社会と文化（教育学）	1	"	○									
	社会と文化（人間形成史論）	1	"	○									
	社会と文化（現代文化論）	1	"		○								
	社会と文化（比較文化論）	1	"		○								
	社会と文化（世相史）	1	"		○								
	現代社会論（地域社会論）	1	"	○									
	現代社会論（社会福祉論）	1	"	○									
	現代社会論（現代社会の論点）	1	"		○								
	人間と行動（法学）	1	"		○								
	人間と行動（経済学）	1	"		○								
	人間と行動（社会学の考え方）	1	"	○									
	人間と行動（感情心理学）	1	"	○									
	人間と行動（青年期の心理と行動）	1	"		○								
	科学と技術（社会の中の物理Ⅰ）	1	"	○									
	科学と技術（社会の中の物理Ⅱ）	1	"		○								
科学と技術（数学概論）	1	"		○									
科学と技術（科学論文の読み方・書き方）	1	"		○									
科学と技術（食と健康）	1	"		○									
手話入門（基本編）	1	"	○										
手話入門（実践編：医療手話）	1	"		○									
ドイツ語講読	2	"	○										
フランス語講読	2	"	○										
ロシア語講読	2	"	○										
中国語講読	2	"	○										
専門基礎科目	形態機能学	4	講義	○								必修	
	生体観察実習	1	実習		○								
	栄養学	1	講義	○									
	生化学	1	"		○								
	病理学総論	1	"		○								
	病理学各論	1	"				○						
	薬理学	1	"				○						
	臨床薬理学	1	"				○						
	感染制御学	2	"			○							
	臨床病態治療学Ⅰ（精神・小児・婦人科系疾患）	2	"			○							
	臨床病態治療学Ⅱ（内科・外科系疾患）	2	"				○						
	臨床病態治療学Ⅲ（内科・外科系以外の疾患）	2	"					○					
	健康教育論	1	"			○							
	疫学	2	"					○					
	保健統計	2	"				○						
	公衆衛生論	1	"					○					
	保健医療福祉システム論	2	"					○					
	発達心理学	2	"	○									
	臨床心理学	2	"				○						
	看護遺伝学	1	"					○				選択	(助産師課程選択者は必ず選択すること)
保健医療福祉行政論	1	"						○			(保健師課程選択者は必ず選択すること)		

	授業科目	単位数	授業形式	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	必修・選択の別
				前	後	前	後	
看護の基礎盤	看護学概論	2	講義	○				必修
	基礎看護技術学Ⅰ（共通技術）	1	演習	○				
	基礎看護技術学Ⅱ（日常生活援助技術）	2	〃		○			
	基礎看護技術学Ⅲ（診療関連技術）	1	〃			○		
	基礎看護技術学Ⅳ（看護過程）	1	講義			○		
	コミュニケーション論	1	〃	○				
	看護フィジカルアセスメント	1	〃			○		
	人間生涯発達論	1	〃	○				
	看護倫理	1	〃			○		
	看護理論	1	〃			○		
専門性	地域看護学	1	〃		○			必修
	早期体験実習Ⅰ（コミュニケーション、プロフェッショナリズム）	1	実習	○				
	早期体験実習Ⅱ（北海道の地域医療、看護職）	1	〃			○		
	基礎看護学実習Ⅰ（療養生活の理解）	1	〃	○				
	基礎看護学実習Ⅱ（看護過程と看護実践）	2	〃			○		
	地域包括ケア論Ⅰ（地域の理解）	1	講義	○				
	地域包括ケア論Ⅱ（地域の課題把握）	1	〃			○		
	地域包括ケア論Ⅲ（地域の課題解決）	1	〃				○	
	地域包括ケア論Ⅳ（地域課題の継続的な取組）	1	〃				○	
	地域包括ケア実習	1	実習				○	
看護科目	成人看護学Ⅰ（健康状態と看護）	2	講義		○			必修
	成人看護学Ⅱ（主な健康障害と看護）	2	〃			○		
	高齢者看護学Ⅰ（老いを生きる人と看護）	1	〃			○		
	高齢者看護学Ⅱ（老年期の生活障害と看護）	1	〃			○		
	小児看護学	2	〃			○		
	母性看護学	2	〃			○		
	精神看護学Ⅰ（個人と社会における精神保健）	1	〃		○			
	精神看護学Ⅱ（精神症状と看護の展開）	1	〃			○		
	在宅看護学	2	〃				○	
	実践看護技術学Ⅰ（成人）	1	演習				○	
看護の発展と探求	実践看護技術学Ⅱ（精神・母性・小児）	2	〃				○	選択
	実践看護技術学Ⅲ（高齢者・在宅）	1	〃				○	
	成人看護学実習Ⅰ（急性期）	3	実習				○	
	成人看護学実習Ⅱ（外来）	1	〃				○	
	成人看護学実習Ⅲ（慢性期）	2	〃				○	
	高齢者看護学実習	3	〃				○	
	小児看護学実習	2	〃				○	
	母性看護学実習	2	〃				○	
	精神看護学実習	2	〃				○	
	がん看護学	2	講義				○	
チーム医療・リハビリテーション看護論	1	〃				○		
国際保健・災害看護論	1	〃				○		
看護研究	1	演習				○		
卒業研究	2	〃				○		
在宅看護学実習	2	実習				○		
総合実習	2	〃				○		
看護管理・医療安全論	1	講義				○		
看護教育論	1	〃				○		
看護英語文献講読	1	〃				○		
がんサバイバーシップ	1	〃				○		
がんエンドオブライフケア	1	〃				○		
医療経済・看護経営論	1	〃				○		
家族看護論	1	〃				○		
認知症ケア論	1	〃				○		
クリティカルケア論	1	〃				○		
看護英語	1	演習		○				
助産学概論	1	講義				○		
助産活動論Ⅰ（リプロダクティブヘルス/ライツと女性・家族への支援）	1	〃				○		
公衆衛生看護学概論	2	〃				○		
公衆衛生看護学活動論Ⅰ（個人・家族・集団）	2	〃				○		

（履修条件あり）
【助産師課程選択者は必ず選択すること】
【保健師課程選択者は必ず選択すること】
【助産師課程選択者および保健師課程選択者は必ず選択すること】

卒業要件単位数 必修科目106単位、選択科目18単位以上（一般基礎科目から6単位以上専門基礎科目及び専門科目から10単位以上の計18単位以上）、合計124単位以上を修得すること。

【保健師課程】

授業科目	単位数	授業形式	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		備考
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
健康教育論	1	講義			○						必修科目として修得する科目
公衆衛生論	1	〃				○					
保健医療福祉システム論	2	〃					○				
保健統計	2	〃			○						
地域看護学	1	〃		○							
在宅看護学	2	〃					○				
国際保健・災害看護論	1	〃						○			
疫学	2	〃					○				
小計	12										
公衆衛生看護学概論	2	講義				○					注1
保健医療福祉行政論	1	〃					○				
公衆衛生看護活動論Ⅰ（個人・家族・集団）	2	〃					○				注2
公衆衛生看護活動論Ⅱ（地域アセスメント）	2	〃					○				
公衆衛生看護活動論Ⅲ（公衆衛生看護管理）	2	〃						○			
公衆衛生看護活動論Ⅳ（政策づくり）	1	〃							○		
公衆衛生看護技術論	2	演習						○			
公衆衛生看護学実習Ⅰ	3	実習							○		
公衆衛生看護学実習Ⅱ	2	〃							○		
小計	17										
合計	29										

注1) 卒業要件の選択科目（専門科目）単位数に含まれる。
注2) 卒業要件とは別に履修する科目。

【助産師課程】

授業科目	単位数	授業形式	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		備考
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
形態機能学	4	講義	○								必修科目として修得する科目*
臨床病態治療学Ⅰ（精神・小児・婦人科系疾患）	2	〃			○						
保健医療福祉システム論	2	〃					○				
健康教育論	1	〃			○						
公衆衛生論	1	〃				○					
地域看護学	1	〃		○							
国際保健・災害看護論	1	〃						○			
母性看護学	2	〃			○						
実践看護技術学Ⅱ（精神・母性・小児）	2	演習					○				
小計	16										
看護遺伝学	1	講義				○					注1
助産学概論	1	〃					○				
助産活動論Ⅰ（リプロダクティブヘルス/ライツと女性・家族への支援）	1	〃					○				注2
公衆衛生看護活動論Ⅰ（個人・家族・集団）	2	〃					○				
助産活動論Ⅱ（助産学基礎知識）	2	〃					○				
助産診断・技術学Ⅰ（妊娠期）	1	演習						○			
助産診断・技術学Ⅱ（分娩期）	2	〃							○		
助産管理学	1	講義								○	
助産学実習	11	実習								○	
小計	22										
合計	38										

注1) 卒業要件の選択科目（専門科目）単位数に含まれる。
注2) 卒業要件とは別に履修する科目。
* 上記単位数は助産師国家試験受験資格に必要な単位数であり、本学の修得単位数とは異なります。

必修科目

【第1学年】

1. 英語 I A (必修)

担当 教員	◎三好 暢博、柳澤 國雄		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第1学年	通年	1単位	30コマ
履修目的・授業概要 DP②③ 英語による医療情報の読解や聴解のトレーニング、および実際の医療英語の基礎知識の実践演習を通して、英語力の維持と向上に不可欠な英語学習の習慣づけを図ることが目的です。この授業は英語 I Bとの入れ替え制で行われる90分授業です。講義日程のLMS上のコンテンツで確認して下さい。			
到達目標 ①英語による基本的な医療情報の読解やディクテーションができる。 ②看護の場面で使用する頻度の高い基本的な表現を習得し、活用できる。 ③体の部位や疾病に関する基本的な語彙や表現に関して、日本語と英語の対応関係が説明できる。			
授業の形式 教科書及び医療記事について、読解やディクテーションを課題演習形式で行います。医療関係に関する語彙や有用な表現についての小テストを課します。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 指定した教科書や医療分野の教材について、事前に読み内容を理解しておくこと。音声教材については、事前に聞いて内容を理解しておくこと。医療分野で頻繁に使用される語彙やフレーズについて、事前に覚えてくること。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） ①授業課題：50% ②確認テスト：30% ③ e-learning 課題：20% 成績評価の基準（総点の得点率により評価） 秀：90%以上、優：80%以上90%未満、良：70%以上80%未満、可：60%以上70%未満、不可：60%未満 ※不正を行った学生は原則失格となります。詳細は初回のガイダンス時に説明します。再試はありません。			
実務経験のある教員等による授業科目 N / A			
有する実務経験と授業への活用 N / A			
学生へのメッセージ 到達度確認しながら取り組んでください。			
オフィスアワー 随時。事前に連絡して下さい。			
授業用連絡先（E-mail） ed-miyoshi@ed.asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題 N / A			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) English For Nurses (revised edition)	Margaret Yamanaka	朝日出版	2,090円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス	ガイダンス、講義資料（履修要綱）当面のスケジュールの確認	三好
2	e-learning	e-learning の説明・語彙力テスト	〃
3	テスト	実力テスト	〃
4	演習	課題演習の進め方の説明・練習＋文法事項の復習	〃
5	演習	医療語彙の仕組みについて＋読解課題の復習	〃
6	演習	読解演習＋教科書指定範囲の確認テスト（Unit 1）	〃
7	演習	①英語で書かれた新聞記事の読解 ②教科書の確認テスト（Unit 2）	〃
8	演習	①教科書指定範囲の読解＋リスニング（Unit 1 & 3 Listen & Talk, Reading） ②教科書の確認テスト（Unit 3）	〃
9	演習	①教科書指定範囲の読解＋リスニング（Unit 2 & 4 Listen & Talk, Reading） ②教科書の確認テスト（Unit 4）	〃
10	演習	①課題演習 ②教科書の確認テスト（Unit 5）	三好 柳澤
11	演習	①課題演習 ②教科書の確認テスト（Unit 6）	〃
12	演習	①課題演習 ②教科書の確認テスト（Unit 7）	〃
13	演習	①課題演習 ②教科書の確認テスト（Unit 8）	〃
14	演習	①課題演習 ②教科書の確認テスト（Unit 9）	〃
15	演習	①課題演習 ②教科書の確認テスト（Unit 10）	〃

英語 I A 第1学年・通年・30コマ（必修）

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	演習	①課題演習 ②教科書の確認テスト（Unit 11）	三好柳澤
17	演習	①課題演習 ②教科書の確認テスト（Unit 12）	”
18	演習	①課題演習 ②教科書の確認テスト（Unit 13）	”
19	演習	①課題演習 ②教科書の確認テスト（Unit 14）	”
20	演習	①課題演習 ②教科書の確認テスト（Unit 15）	”

2. 英語 I B (必修)

担当 教員	David Fairweather (非常勤)、 ◎三好 暢博		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第1学年	通年	1単位	30コマ
履修目的・授業概要 DP③ The goal of this class is to improve students' skills and confidence in using English. Students practice speaking and listening as well as studying grammar and vocabulary in order to attain basic conversation skills.			
到達目標 Upon completion of the class students should be able to communicate in English about a variety of topics in a variety of situations. Students will also be able to give an opinion, backed up with reasons, about topics they are discussing.			
授業の形式 As well as the textbook there will be supplementary materials. Students will often be asked to work in pairs or groups to complete exercises. Some short class presentations will also be required.			
準備学習 (予習・復習) 等の内容と分量 Students are expected to prepare for each class by reading the pages in the textbook that will be covered in that class. In addition, there will be short presentations throughout the year that will require some preparation time.			
成績評価の方法と基準等 (合格基準、および追再試の回数) There will be two written tests which will be worth 70% of your grade. Both tests will have a listening component. 30% of your grade will come from pair and group work activities done in the classroom as well as overall effort. A score of 'S' will be given to students who achieve 90% or more on both tests as well as achieving an average of 90% or more on the classroom assignments. Students will receive an 'A' for scores ranging from 80% to 89% on the tests and classroom assignments. A score of 'B' will be given to students who attain an average of 70% to 79%. Students will be given a 'C' if they attain an average of 60% to 69%.			
実務経験のある教員等による授業科目 該当しない			
有する実務経験と授業への活用			
学生へのメッセージ You will get out of this class what you put into it. Active participation in class is essential.			
オフィスアワー Please ask questions in class or send me an email.			
授業用連絡先 (E-mail) davidfairweather@gmail.com			
担当教員の研究と履修主題			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) Evolve-Student's Book 2B	Leslie Ann Hendra	Cambridge	

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1~4	Unit 7	Comments on online articles. Talking about your favorite comfort food. Quantifiers. Ordering food in a restaurant.	Fairweather (非常勤)
5~8	Unit 8	Talking about a trip you went on. Giving advice and making suggestions. Writing about living in another country. Comparatives and superlatives.	"
9~12	Unit 9	Asking for and giving opinions. Comparing stores and what they sell. Writing emails. Talking about punctuation.	"
13~16	Unit 10	Making predictions about the future. Describing a medical problem and asking for help. Writing an email to your future self. Giving advice.	"
17~20	Unit 11	Talking about what you've done and never done. Making and responding to requests. Saying something positive and negative.	"
21~24	Unit 12	Describing people, places and things. Asking for and giving directions. Writing simple instructions. Present perfect for experience.	"
25~28	Exercis	Role plays and presentations	"
29	Review	Review	"
30	Review	Review	"

3. 情報リテラシー（必修）〔メール、ワード、エクセル、生成 AI、Web ページ〕

担当 教員	◎高橋 龍尚（数理情報）、 岡崎 知也、熊本 慎也（情報基盤センター）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第1学年	前期	1単位	15コマ
履修目的・授業概要 DP①③ 当該科目ではコンピュータを用いてデータを収集・加工・発信できる情報処理能力を習得します。現代の情報化社会においては、ネットワークや情報機器を用いた情報処理技術が、一般の社会のみならず、医療の現場でも重要な役割を果たしています。ネットワークと情報機器を正しく理解し、適切な処理能力を身につけることを目標とします。また、看護学に必要な基本統計量と解析、グラフ作成技術、看護および医学関連の情報検索についても学びます。履修目的には数理・データサイエンス・人工知能（AI）に関する知識・技能が一部含まれています。			
到達目標 ・メール、ワード、エクセル、パワーポイント、マクロ VBA などのソフトの使い方を理解し、レポートの作成や研究発表および論文の作成に使うことができる。 ・エクセルを用いた数値計算やデータ処理ができ、基本統計量の説明ができる。 ・様々なデータ形式に適したグラフを作成することができる。 ・ホームページの作成では、ネットワークへの情報発信技術を習得する。 ・看護学の論文で使われている統計学について説明ができる。			
授業の形式 情報処理実習室でパソコンを利用して行います。毎回実習の最後に小テストを行います。履修者一人一人の疑問や質問に対しては、個別に直接対応・指導致します。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 授業はテキストに従って進みます。テキストは manaba にアップしますので、予習復習は各自行うこと。苦手なところや分からないところは、講義中または講義後に質問してください。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） 受講態度、課題に対するレポートの内容、提出状況、出席状況、筆記試験の結果に基づいて総合的に評価します。原則として15回全ての出席を筆記試験の受験資格とします。 出席（30%）、小テスト、課題、レポートなど（20%）、定期テスト（50%）。 筆記試験の内容は、授業で学んだ基礎知識を問う問題です。上記内容の合計点は100点満点となります。そのうち60点以上を合格とします。追再試は必要に応じて行います。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当しない			
有する実務経験と授業への活用			
学生へのメッセージ 情報処理実習室の空き時間を利用して積極的に学習しワークに慣れて下さい。質問等は実習時間内に限らずいつでも対応しますので、遠慮せず積極的にお願いします。			
オフィスアワー 気軽に訪問してください。講義実習棟・4階（L427b）です。			
授業用連絡先（E-mail） ryushow@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
わかりやすいデータ解析と統計学	高橋 龍尚	オーム社	3,300円
(参) Easy to understand data analysis and statistics. ISBN978-4274700613	Tatsuhisa Takahashi	Ohmusha Ltd.	3,960円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	はじめに	ガイダンス、個人情報保護、著作権、蔵書検索、論文検索	高橋 岡崎 熊本
2	ネットワークとセキュリティ1	ネットワークドメインの概念、ネットワーク利用上の注意、パスワードの取り扱い、情報倫理について学ぶ	〃
3	ネットワークとセキュリティ2	電子メールにおける Cc、Bcc の意味と留意事項、セキュリティ、マナー、生成 AI の概念と初歩的な利用について学ぶ	〃
4	Word 1	ファイル名・ファイルの保存方法；文章入力；表作成；英語文章入力；ページ設定	〃
5	Word 2	図形の描画；図形の操作；図表ギャラリーの利用；地図の作成；画像ファイルの取込み；印刷	〃
6	Excel 1	データ入力；数式入力；行・列の挿入・削除；表計算；相対セル参照；絶対セル参照	〃
7	Excel 2	棒グラフ；グラフエリアの書式設定；グラフの種類変更；追加データのグラフへの挿入；円グラフ；積み上げグラフ；折れ線グラフ	〃
8	データ解析と統計 1	アンケート結果のデータ入力；データ置換；データの並べ替え；データベース関数の利用	〃
9	データ解析と統計 2	統計分析ツールの利用；単純集計表；ヒストグラム；クロス集計；集計結果のグラフ化	〃
10	データ解析と統計 3	対応のある 2 群間の t 検定、等対応のない 2 群間の t 検定、分散分析の検定について学ぶ	〃
11	プレゼンテーション	パワーポイントの基本操作、表の作成、図の作成・取込み、グラフの作成・取込み、アニメーション設定、配布資料の作成について学ぶ	〃
12	VBA 1	エクセルを使用したアンケート結果のデータ入力；VBA を使用したグラフィカルユーザインターフェース（GUI）プログラミングを学ぶ	〃
13	VBA 2	コマンドボタンの配置、作成した GUI の呼び出し、プログラミングエラー発生時のデバッグ処理、フォーム機能について学ぶ	〃
14	JupyterLab によるアンケートデータ処理 1	python によるピボットテーブル作成を通じたデータ分析の手法を学ぶ、また、結果を Markdown 記法により Web ページに掲載する	〃
15	JupyterLab によるアンケートデータ処理 2	パワーポイントの基本操作、表の作成、図の作成・取込み、グラフの作成・取込み、アニメーション設定、配布資料の作成について学ぶ	〃

4. 初年次セミナー（必修）〔大学生活と学び方、マインドマップ、看護キャリア、レポートの書き方、社会人マナー、ストレスマネジメント〕

担当教員	◎長谷川博亮		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第1学年	前期	1単位	15コマ
履修目的・授業概要 DP①②③④⑤			
<p>本科目は、看護学科のカリキュラムを学ぶための準備教育という位置付けで、看護学科新入生が、これからどう生きていくか、どう大学で学んでいくかについて、その方向付けができるよう導くことを目的とする。さらに良好な人間関係を築くための基本となる（看護）大学生としてのコミュニケーション行動や倫理的行動および健康行動に影響を与えるストレスとその対処法についても学ぶ。</p>			
到達目標			
<ol style="list-style-type: none"> 1. アイデンティティ・ステータスとキャリアについて理解し、青年期における課題を知り、看護職を目指す現在の自分を中心に、過去と未来の自分像を見つめなおす。 2. 看護職ひいては医療専門職の役割と必要な能力について理解し、考察する。 3. 思考・情報を整理するための方法として、マインドマップについて学ぶ。 4. コミュニケーションの基本としての「みる・考える・話す・聴く」の4つの態度の必要性を理解する。 5. 事象を客観的にとらえ、論理的に考えること、問の立て方について学ぶ。 6. 基本的な学習スキルのうち、自らの思考を表現し意味のあるものにするためのレポートの書き方を修得する。 7. ストレス対処の必要性とストレスの影響について多角的に理解する。 8. 看護学生として倫理的行動を常に意識する必要性を説明できる。 9. グループワークを通し、自己の対人傾向を知り、「あなたもOK」「私もOK」なコミュニケーションを理解することで、これからの人間関係構築に役立てる。 			
授業の形式			
原則教室での対面授業。学習支援システム manaba のアンケートに授業中提示されるパスワードを入力して提出すれば出席とします。出席アンケートは、授業開始時間より10分の間、公開されますので、公開時間内に提出してください。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量			
manaba の初年次セミナーのコースより、講義資料をダウンロードし、各自授業に備えてください。疑問点は manaba を通して質問するようにしてください。教科書「思考を鍛えるレポート・論文作成法」は必ず購入してください。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数）			
<ol style="list-style-type: none"> ①本学規定に基づき、原則15時間の出席、出席2/3以上は必須 ②最終レポート試験 100% <p>※ただし、授業内で提示するミニアンケート等が全て提出されていることを前提に、レポート試験は評価の対象になります。</p> <ol style="list-style-type: none"> ③公休等の欠席の状況に基づき追試験（レポート）を1回実施します。 ④レポート試験の合計が60%に満たない者は再試験を1回実施します。 ⑤この科目の評価は「合格」または「不合格」となります。 			
実務経験のある教員等による授業科目			
該当する			
有する実務経験と授業への活用			
精神科看護師として、キャリアを積んできた教員が講義を行う。			
学生へのメッセージ			
<p>入学したばかりで、希望と不安が交錯しているところだと思います。そんな不安を取り除いたり、大学生活を乗り切るためのヒントや方法が、この科目を通して見つかることを願っています。それから、より豊かな学生生活を送るために、倫理的行動とメンタルヘルスについても考えていきましょう。倫理的行動は、相手のためでもあり、自分自身を発揮させ、自信を持っているいろいろな人と関わっていくために大切です。決して堅苦しいものではありません。また、良好な人間関係を築くことは、「心の栄養」にもなります。</p>			
オフィスアワー			
研究室在室時はいつでも来てください（507研究室）			
授業用連絡先（E-mail）			
hiroh@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題			
特にメンタルヘルス、対話型鑑賞			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
教) 思考を鍛えるレポート・論文作成法（第3版）	井下千以子(著)	慶應義塾大学出版会	1,200円
(参) マインドマップ超入門	トニー・ブザン(著)	ディスカバー・トエンティワン	1,200円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	オリエンテーション	初年次セミナーの概要 ・履修目的、到達目標、履修主題 ・成績評価 ・受講の留意点	長谷川
2	キャリアデザイン	・キャリアとは何か ・青年期の課題(アイデンティティ・ステータス) ・自己理解	長谷川
3	看護職としてのキャリア	・看護職のキャリアデザイン ・看護実践能力、社会人基礎力 ・看護職に求められる能力	長谷川
4	マインドマップ	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的思考の入口～マインドマップの紹介 ・マインドマップで自己理解する ・自分を多角的に捉える ・自己紹介（グループワーク） ・理想の看護師（グループワーク） 	長谷川
5			長谷川
6			長谷川
7	コミュニケーションの基本	<ul style="list-style-type: none"> ・対話型鑑賞を体験（グループワーク） ・気づきの発表 	長谷川
8	みる・考える・話す・聴く		長谷川
9	看護学生とストレスマネジメント	・自分自身の心身の緊張といったストレス反応に気づき、解消するための具体的な方法や資源について理解	長谷川
10	看護学生と倫理的行動	・学修上で直面する事例紹介を紹介し、グループワークの中で、行動に至る要因と対応策について検討する	長谷川
11	レポートの書き方	レポートを書く前に ・レポートとは ・レポートの種類	長谷川
12		説得力のあるレポートを書くために ・問題意識 ・レポートの構造 ・文章の構成	長谷川
13		レポートを書く①	長谷川
14		レポートの作法②	長谷川
15		レポートの相互評価	長谷川

5. 看護社会論（必修）〔少子高齢化、家族、結婚、病気、労働〕

担当 教員	工藤 直志		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第1学年	前期	1単位	15コマ
履修目的・授業概要 DP③			
<p>日本社会の将来、家族や結婚の現状、生殖補助医療や出生前診断の課題、現代医療や病気の特徴、感情労働などの事例を通じて、社会と医療に関する知識を幅広く身につける。また、現代医療の課題を考察するために人文学や社会科学の考え方が重要であること、看護師として所属する社会を具体的にイメージできることも目的とする。</p>			
到達目標			
<p>一般目標： 社会と医療に関する知識や人文・社会科学の考え方を学ぶことで、現代医療の課題や現代社会の特徴を説明できるようになる。</p> <p>個別目標： ・社会と医療に関する知識や人文・社会科学の考え方を理解する。 ・現代医療の課題（生殖補助医療、出生前診断など）を理解する。 ・看護師として所属することになる社会の特徴を説明することができる。 ・現代社会における看護師の役割を理解して、将来のキャリアを考えることができる。</p>			
授業の形式			
<p>・特定の教科書は指定しません。manabaのコンテンツで公開する講義資料を解説することで授業を進めます。講義内容の理解を助けるために、映像資料なども利用します。 ・授業時間内に、manabaの小テストへの解答を求めることがあります。</p>			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量			
<p>各回の講義資料、下記の参考図書、授業で紹介する書籍などを用いて、授業内容を確認してください。また、普段から医療や福祉に関する情報に慣れ親しむようにし、授業内容と関連させて考えるようにしてください。これらの学習が、全15回の授業終了後に提出するレポートの準備になります。</p>			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数）			
<p>①授業内の課題（全体の40%）と②レポート課題（全体の60%）で成績を評価する。①と②のポイントの合計が60以上を合格として単位を認定する。 欠席回数が6回以上の場合は、成績評価の対象外として不合格（不可）とする。</p>			
実務経験のある教員等による授業科目 該当しない			
有する実務経験と授業への活用			
学生へのメッセージ			
<p>将来のキャリアやライフプランを考えるときに、本科目の内容が役立つように授業を進めたいと考えています。授業に能動的な態度で参加してください。</p>			
オフィスアワー			
<p>事前にメールで確認して予約してください。授業のガイダンスで説明します。</p>			
授業用連絡先（E-mail）			
E-mail:kudot@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(参) テキスト現代社会学 [第4版]	松田 健	ミネルヴァ書房	3,300円
(参) 社会学 (新版)	長谷川公一他	有斐閣	3,500円
(参) 看護を学ぶ人のための社会学	阪井俊文他編	明石書店	2,600円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス	授業概要、授業の形式、スケジュール、成績評価の方法と基準などを理解する。	工藤 (社会学)
2	日本社会の将来	人口という視点から、日本社会の現状と将来を検討する。	工藤 (社会学)
3	少子高齢社会 (1)	人口変動と労働という視点から、少子高齢社会を理解する。	工藤 (社会学)
4	少子高齢社会 (2)	少子化・高齢化の要因や未婚化・晩婚化の要因を理解して、今後の社会のあり方を検討する。	工藤 (社会学)
5	家族 (1)	現代社会における家族の役割や機能を理解する。	工藤 (社会学)
6	家族 (2)	価値観が多様化する社会での家族のかたちを考える。	工藤 (社会学)
7	結婚	現代日本の結婚の現状を理解して、今後の結婚のかたちを考える。	工藤 (社会学)
8	出産	日本における出産の現状を理解する。	工藤 (社会学)
9	出生前診断 (1)	出生前診断の現状を理解する。	工藤 (社会学)
10	出生前診断 (2)	出生前診断の倫理的課題を考える。	工藤 (社会学)
11	生殖補助医療 (1)	不妊と生殖補助医療 (ART) の現状を理解する。	工藤 (社会学)
12	生殖補助医療 (2)	生殖補助医療の倫理的課題を考える。	工藤 (社会学)
13	病気	病気が社会的現象でもあることを理解する。	工藤 (社会学)
14	労働	社会学の視点から、看護師の感情労働を理解する。	工藤 (社会学)
15	レポートの書き方	レポートの書き方を理解する。	工藤 (社会学)

6. 形態機能学 (必修) [解剖学、生理学]

担当 教員	平 義樹 (コーディネーター)、 吉田 成孝 (解剖学講座機能形態学分野)、 金子 智之 (生理学講座自律機能分野)、 野口 智弘 (生理学講座神経機能分野)		
	対象学年	開講期	単位数
	第1学年	通 年	4 単位
履修目的・授業概要		D P ③	
<p>本科目はディプロマポリシーの主に「幅広い教養を身につけ、看護の専門的知識を習得している。」を実践するための科目である。形態機能学は、一般的には解剖生理学の名称で知られ、人体の形態(形や構造)と機能(役割や働き)を学ぶための学問である。人体の形態と機能を知ることは、「人間」を理解するための第一歩であり、「医療」を学ぶための入り口である。ヒトの体のつくりや生理現象を深く理解し、正常な状態や健康な状態を知ることによって、病気の状態を把握するための基礎を確立する。</p>			
到達目標			
<p>一般目標：人体の形態や構造を正確に把握し、それに基づいて営まれている種々の生命現象、それらの関連性および全体像について理解し、論述することができる。</p> <p>行動目標：各システムの構造と機能について説明できるようになることを学習の到達点(ゴール)とする。到達点は履修内容に記載してある。</p>			
授業の形式			
<p>担当者により授業の形式はさまざまであるが、時間の節約のために、パワーポイントによるスライドや手渡しプリント等を用いることが多い。履修主題および履修内容に沿って、形態と機能を相互に関連付けた内容とし、システム別・臓器別に講義を進める。したがって、講義内容を確認して予習すること。多くの講義資料については manaba より配布するので、あらかじめダウンロードし予習に活用すること。</p>			
準備学習(予習・復習)等の内容と分量			
<p>教科書を読み、当日の講義内容をあらかじめ大まかに理解して、その日の講義に臨むこと。講義終了後は、配布されたプリントを再度見直して講義内容を整理し、まとめを行うこと。理解できなかった点は参考書などで調べ、又は担当教員に質問して理解すること。理解できないままにしないこと。分野ごとの問題集を配布するので、時間を作って演習すること。また定期試験での多くの問題はこの問題集から出題されるので自己演習を怠らないこと。</p>			
成績評価の方法と基準等(合格基準、および追再試の回数)			
<p>基本的には、授業ごとにオンラインで授業中(あるいは授業後)に実施する小テストと、前・後期定期試験(多肢選択形式、9月および2月)の合計総得点の6割以上を合格とする。その場合小テストを全体の20%、定期試験を80%として評価する。学年末で合格基準に達しなかった者に対して再試験の機会を1度設ける。また明確な事情により試験を受けられなかった学生に対しては追試験を実施する。</p>			
実務経験のある教員等による授業科目		該当しない	
有する実務経験と授業への活用			
学生へのメッセージ		<p>医療者を目指す以上、職種を問わず、人体の構造と機能を熟知しておく必要がある。形態機能学は、看護学の学習や看護の実践におけるさまざまな場面で、考え方の拠り所となるはずである。限られた時間内に、豊富な内容の講義が展開される。集中を切らさないよう、体調を整えて授業に臨んでほしい。</p>	
オフィスアワー		事前にメールで確認し、予約して下さい。	
授業用連絡先(E-mail)		コーディネーター hira@asahikawa-med.ac.jp	
担当教員の研究と履修主題		<p>平：細胞内小器官の形態解析 人体の基本システム1 野口：神経興奮性が感覚情報に与える影響 情報の受容システム2～5 その他教員：なし</p>	

(教科書・参考図書)

書名	著者名	発行所	価格
(教) 系統看護学講座 解剖生理学	坂井建雄 岡田隆夫	医学書院	4,180円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	人体の基本システム1 「形態機能学の基礎知識」	形態機能学履修一必要な基礎知識 〔ゴール〕①人体を区分し、各部の名称を列記できる。②基準面、投影線、体位、姿勢、体腔について述べられる。③位置・方向・動きを示す用語を整理できる。④各器官系の機能(植物・動物機能)が言える。⑤体液の区分と組成、生体の恒常性について解説できる。⑥バイタルサイン、死の定義等、生命の基本事象について説明できる。	平 4/15 (火) 4,5時限
2			
3	人体の基本システム2 「人体の成り立ち」	人体の構成要素(物質と構成単位)一階層性 〔ゴール〕①分子から細胞小器官、細胞、組織、器官、器官系まで人体の階層性について解説できる。②上皮組織、筋組織、結合組織、神経組織の形態、種類、分布、機能等、組織学の基礎について説明できる。	平 4/23 (水) 4,5時限
4			
5	人体の基本システム3 「膜の透過性・興奮性細胞」	神経・筋興奮のしくみ 〔ゴール〕①細胞膜の選択的透過性、イオンチャネル、静止膜電位、活動電位について理解できる。②ニューロンの構造や刺激受容・興奮伝導・シナプス伝達の機構について述べられる。③神経伝達物質の種類と作用について分類できる。④骨格筋細胞の微細構造、興奮-収縮連関、神経筋接合部、筋収縮の特性について説明できる。	野口 5/1 (木) 5,6時限
6			
7	情報の受信・処理・発信システム1 「中枢神経系の構造・機能」	情報処理の中枢-脳・脊髄 〔ゴール〕①発生・分化を基に神経系を分類できる。②脊髄の構造と機能が言える。③脳幹の構成と働き、小脳の構造、間脳の位置と視床・視床下部の働き等について説明できる。④大脳皮質の構造と機能局在、大脳辺縁系と大脳基底核の構造を図上で説明できる。⑤髄膜や脳室と髄液の産生部位・循環、動・静脈の分布について解説できる。	平 5/20 (火) 4,5時限
8			
9	情報の伝送システム1 「末梢神経系-体性神経・自律神経」	中枢と末梢間-情報往来 〔ゴール〕①求心性神経と遠心性神経の機能を対比できる。②脳神経(12対)の分布領域、機能を説明できる。③脊髄神経(31対)を分類し、神経叢・派生神経の分布域と機能が述べられる。④デルマトームが理解できる。⑤自律神経系の中枢を指摘できる。⑥交感・副交感神経系の構成と機能が言える。⑦自律神経系の伝達物質が挙げられる。	平 5/27 (火) 4,5時限
10			
11	情報の受信・処理・発信システム2 「脳の高次機能」	認知と情動、言語と身体、自分と他人-心は脳と脳の間 〔ゴール〕次の事柄の概略を説明できる。①脳の進化と機能区分(新皮質・辺縁系・基底核、間脳、小脳、中脳・橋・延髄)。②新皮質(認知)と辺縁系(情動)の葛藤と協調。③左脳(言語)と右脳(身体)の機能局在。④脳はミラーニューロンによって他人の脳の働きを推測する(心の理論)。	野口 5/28 (水) 4,5時限
12			
13	情報の受信・処理・発信システム3 「中枢神経と運動機能」	運動が意志を生む-随意運動の神経機構 〔ゴール〕次の事柄の概略を説明できる。①随意運動は、反射・情動と違って、自分の意思で開始/中止ができる(運動の企画と実行)。②基底核は運動の適切さ、小脳は運動の正確さを制御する。③脳から脊髄へは複数の情報伝達経路が存在し、それぞれ役割が違う。④運動障害の種類と特徴。⑤姿勢反射の種類と関与部位。⑥脊髄反射の種類と回路。	野口 6/3 (火) 4,5時限
14			
15	情報の受容システム1 「感覚器系の構造」	情報・刺激の入力-感覚受容器 〔ゴール〕①視覚器、平衡・聴覚器、味覚器、嗅覚器、等の構造について説明できる。②外皮(皮膚)の構造と役割や表皮の派生物の構造について話せる。	平 6/4 (水) 4時限

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	情報の受容システム1「感覚器系の構造」	③圧・触覚、温・冷覚、振動感覚、痛覚等の一般体性感覚装置を挙げ、局在や構造を説明できる。④深部感覚（筋紡錘・腱紡錘）や内臓感覚の受容装置の分布・構造について述べられる。	平 6/4 (水) 5時限
17	情報の受容システム2「視覚」	木を見て森を見ずー光の受容と眼球運動〔ゴール〕次の事柄を説明できる。①動眼神経（第Ⅲ脳神経）はものをよく見るために様々な調節を行う（開眼、眼球運動、遠近調節、縮瞳）。②明るい場所では錐体で見える。暗い場所では桿体で見える。③注意の対象を解像度の高い網膜中心部で見えるために前庭動眼反射やサッケードが働く。④視覚異常。	野口 6/10 (火) 4,5時限
18	情報の受容システム3「聴覚・平衡覚」	視線の行方ー音源定位と前庭反射〔ゴール〕次の事柄を説明できる。①両耳間の音のずれを聴覚伝導路の脳幹部分で検出し、音の発生方向を割り出す（音源定位）。②前庭神経核は頭部の揺れと反対方向に眼球を動かし、視野を安定させる（前庭動眼反射）。③音のした方を反射的に見るとき、聴覚による音源定位・視覚によるサッケード・平衡覚による前庭脊髄反射・前庭動眼反射が協働する。	野口 6/11 (水) 4,5時限
19	情報の受容システム4「味覚・嗅覚」	風味ー味覚と嗅覚の統合〔ゴール〕次の事柄を説明できる。①5種類の基本味にはそれぞれ異なる味覚受容機構がある。②数百万種類の匂いを数百の嗅覚受容体の組み合わせで識別する。③ヒトの嗅覚は味覚を強化する。	野口 6/17 (火) 4,5時限
20	情報の受容システム5「体性感覚・内臓感覚」	痛みは2回感じるー鈍痛と関連痛〔ゴール〕次の事柄を説明できる。①痛みは脊髄反射を引き起こす。②痛みは慢性化する。③内臓の痛みは関連痛として現れる。	野口 6/17 (火) 4,5時限
21	情報の受容システム5「体性感覚・内臓感覚」	痛みは2回感じるー鈍痛と関連痛〔ゴール〕次の事柄を説明できる。①痛みは脊髄反射を引き起こす。②痛みは慢性化する。③内臓の痛みは関連痛として現れる。	野口 6/17 (火) 4,5時限
22	情報の受容システム5「体性感覚・内臓感覚」	痛みは2回感じるー鈍痛と関連痛〔ゴール〕次の事柄を説明できる。①痛みは脊髄反射を引き起こす。②痛みは慢性化する。③内臓の痛みは関連痛として現れる。	野口 6/17 (火) 4,5時限
23	身体の支持・運動システム2「骨格」	体格の決定、姿勢・運動の支持ー骨格〔ゴール〕①骨を形態により分類できる。②骨の機能が言える。③骨の発生・成長について述べられる。④骨の不動結合と関節を分類し、例示できる。⑤頭蓋骨の外観と内・外頭蓋底の特徴が述べられる。⑥椎骨の一般構造、脊柱の構成、胸郭の構造を説明できる。⑦上支帯骨・自由上肢骨と下支帯骨・自由下肢骨の形態を対比できる。	平 6/18 (水) 4,5時限
24	身体の支持・運動システム2「骨格」	体格の決定、姿勢・運動の支持ー骨格〔ゴール〕①骨を形態により分類できる。②骨の機能が言える。③骨の発生・成長について述べられる。④骨の不動結合と関節を分類し、例示できる。⑤頭蓋骨の外観と内・外頭蓋底の特徴が述べられる。⑥椎骨の一般構造、脊柱の構成、胸郭の構造を説明できる。⑦上支帯骨・自由上肢骨と下支帯骨・自由下肢骨の形態を対比できる。	平 6/18 (水) 4,5時限
25	身体の支持・運動システム3「骨格筋」	姿勢・運動の担い手ー骨格筋〔ゴール〕①骨格筋の特徴が言える。②表情筋、咀嚼筋、頸部の筋の名称・作用が示せる。③浅・深胸筋、横隔膜の説明ができる。④前・側・後腹筋の名称と作用が述べられる。⑤浅・深背筋の走行と作用を概説できる。⑥主な上支帯・上腕・前腕・手の筋の名称と作用を整理できる。⑦主な下支帯・大腿・下腿・足の筋の名称と作用を整理できる。	平 6/24 (火) 4,5時限
26	身体の支持・運動システム3「骨格筋」	姿勢・運動の担い手ー骨格筋〔ゴール〕①骨格筋の特徴が言える。②表情筋、咀嚼筋、頸部の筋の名称・作用が示せる。③浅・深胸筋、横隔膜の説明ができる。④前・側・後腹筋の名称と作用が述べられる。⑤浅・深背筋の走行と作用を概説できる。⑥主な上支帯・上腕・前腕・手の筋の名称と作用を整理できる。⑦主な下支帯・大腿・下腿・足の筋の名称と作用を整理できる。	平 6/24 (火) 4,5時限
27	身体の支持・運動システム3「骨格筋」	姿勢・運動の担い手ー骨格筋〔ゴール〕①骨格筋の特徴が言える。②表情筋、咀嚼筋、頸部の筋の名称・作用が示せる。③浅・深胸筋、横隔膜の説明ができる。④前・側・後腹筋の名称と作用が述べられる。⑤浅・深背筋の走行と作用を概説できる。⑥主な上支帯・上腕・前腕・手の筋の名称と作用を整理できる。⑦主な下支帯・大腿・下腿・足の筋の名称と作用を整理できる。	平 6/24 (火) 4,5時限
28	身体の支持・運動システム1「体温」	体温の恒常性 熱産生・放散の仕組みと体温調節機構について説明できる。体温の変動（発熱等）と障害について説明できる。	平 6/25 (水) 4,5時限
29	物質の輸送システム1「心臓の構造」	血液循環（＝物質の輸送）の原動力ー心臓〔ゴール〕①体循環・肺循環、右心・左心の特徴が言える。②心臓の位置、心音聴取部位が示せる。③心臓の外形と心嚢・心臓壁（心内膜・心筋・心外膜）の構造を述べることができる。④心臓の内景（心房・心室・房室弁・動脈弁、刺激伝導系）について説明できる。⑤冠状動脈・冠状静脈、心臓神経の分布について解説できる。	吉田 7/1 (火) 4,5時限
30	物質の輸送システム1「心臓の構造」	血液循環（＝物質の輸送）の原動力ー心臓〔ゴール〕①体循環・肺循環、右心・左心の特徴が言える。②心臓の位置、心音聴取部位が示せる。③心臓の外形と心嚢・心臓壁（心内膜・心筋・心外膜）の構造を述べることができる。④心臓の内景（心房・心室・房室弁・動脈弁、刺激伝導系）について説明できる。⑤冠状動脈・冠状静脈、心臓神経の分布について解説できる。	吉田 7/1 (火) 4,5時限

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
31	物質の輸送システム2「脈管の構造・走行・分布」	熱・物質の輸送路ー脈管（血管、リンパ管）〔ゴール〕①動脈・毛細血管・静脈の構造が言える。②上行大動脈、大動脈弓、胸・腹大動脈およびその枝の走行を示せる。③上・下大静脈に注ぐ頭頸部、上肢・下肢（特に皮静脈）、内臓（特に門脈系と側副路）、体壁の静脈について話せる。④リンパ管・リンパ節の分布について説明できる。⑤胎児循環について解説できる。	吉田 7/8 (火) 4,5時限
32	物質の輸送システム2「脈管の構造・走行・分布」	熱・物質の輸送路ー脈管（血管、リンパ管）〔ゴール〕①動脈・毛細血管・静脈の構造が言える。②上行大動脈、大動脈弓、胸・腹大動脈およびその枝の走行を示せる。③上・下大静脈に注ぐ頭頸部、上肢・下肢（特に皮静脈）、内臓（特に門脈系と側副路）、体壁の静脈について話せる。④リンパ管・リンパ節の分布について説明できる。⑤胎児循環について解説できる。	吉田 7/8 (火) 4,5時限
33	物質の輸送システム3「血圧」	身体各部への血液輸送ー血圧維持〔ゴール〕①血圧の成因が話せる。②血圧測定法を理解し、最高・最低・平均血圧、脈波、脈拍の意味が分かる。③血圧と血流量の関係について説明できる。④血圧の調節因子（自律神経・反射・液性因子・腎機能）を挙げて説明ができる。⑤微小循環と物質交換の関係について述べられる。⑥循環系の不調の例を挙げるができる。	平 8/19 (火) 4,5時限
34	物質の輸送システム3「血圧」	身体各部への血液輸送ー血圧維持〔ゴール〕①血圧の成因が話せる。②血圧測定法を理解し、最高・最低・平均血圧、脈波、脈拍の意味が分かる。③血圧と血流量の関係について説明できる。④血圧の調節因子（自律神経・反射・液性因子・腎機能）を挙げて説明ができる。⑤微小循環と物質交換の関係について述べられる。⑥循環系の不調の例を挙げるができる。	平 8/19 (火) 4,5時限
35	物質の摂取・排泄システム1「血液」	熱・物質の媒体ー血液〔ゴール〕①血液の組成と血球の分化が話せる。②赤血球（数・Hb濃度・Ht値・新生・破壊）の説明ができる。③Hbの構造と酸素解離曲線が理解できる。④貧血と赤血球増加症を対比できる。⑤白血球を分類し、その機能や血小板、血漿タンパク質の解説ができる。⑥血液凝固・凝固阻止機能、線維素溶解が分かる。⑦血液型と輸血について話せる。	平 8/29 (金) 4,5時限
36	物質の摂取・排泄システム1「血液」	熱・物質の媒体ー血液〔ゴール〕①血液の組成と血球の分化が話せる。②赤血球（数・Hb濃度・Ht値・新生・破壊）の説明ができる。③Hbの構造と酸素解離曲線が理解できる。④貧血と赤血球増加症を対比できる。⑤白血球を分類し、その機能や血小板、血漿タンパク質の解説ができる。⑥血液凝固・凝固阻止機能、線維素溶解が分かる。⑦血液型と輸血について話せる。	平 8/29 (金) 4,5時限
37	物質の輸送システム4「心収縮のリズム」	心臓全体の収縮・弛緩のリズムー心臓の拍動〔ゴール〕①心拍動のリズムを作り出す機序が理解できる。②固有心筋細胞が同期する理由が話せる。③心房・心室の興奮伝播のしくみを説明できる。④心拍リズムの神経等による調節について理解できる。⑤心電図の導出方法を知り、波形の意味、アイントーフェンの三角形と心臓電気軸の解釈及び不整脈・心停止の説明ができる。	金子 9/1 (月) 4,5時限
38	物質の輸送システム4「心収縮のリズム」	心臓全体の収縮・弛緩のリズムー心臓の拍動〔ゴール〕①心拍動のリズムを作り出す機序が理解できる。②固有心筋細胞が同期する理由が話せる。③心房・心室の興奮伝播のしくみを説明できる。④心拍リズムの神経等による調節について理解できる。⑤心電図の導出方法を知り、波形の意味、アイントーフェンの三角形と心臓電気軸の解釈及び不整脈・心停止の説明ができる。	金子 9/1 (月) 4,5時限
39	物質の輸送システム5「心臓の機械的活動」	心房・心室の機械的収縮・弛緩ー血液の拍出〔ゴール〕①心拍出量（1回拍出量・心拍数・毎分拍出量）を説明できる。②心周期（収縮・弛緩の各ステージにおける心房・心室の内圧と容積の関係、房室弁・動脈弁の開閉、大血管の内圧）について話せる。③心室の機能状態に影響する因子（前負荷・後負荷・心筋収縮性）が理解できる。④心音・心雑音の説明ができる。	金子 9/4 (木) 4,5時限
40	物質の輸送システム5「心臓の機械的活動」	心房・心室の機械的収縮・弛緩ー血液の拍出〔ゴール〕①心拍出量（1回拍出量・心拍数・毎分拍出量）を説明できる。②心周期（収縮・弛緩の各ステージにおける心房・心室の内圧と容積の関係、房室弁・動脈弁の開閉、大血管の内圧）について話せる。③心室の機能状態に影響する因子（前負荷・後負荷・心筋収縮性）が理解できる。④心音・心雑音の説明ができる。	金子 9/4 (木) 4,5時限
41	物質の摂取・排泄システム1「泌尿器系の構造」	血中不要物排泄の構造ー泌尿器系〔ゴール〕①腎臓の位置、腎筋膜および構造（皮質・髄質・腎盂・腎乳頭・腎杯）を図示できる。②腎臓の組織（糸球体、尿細管、ヘンレのワナ、集合管、メサングウム細胞、偽足細胞、緻密斑、等）について説明できる。③腎臓の血流を順序立てて話せる。④尿路（尿管、膀胱、尿道）の構造を説明できる。⑤蓄・排尿反射機構を理解できる。	金子 9/11 (木) 4,5時限
42	物質の摂取・排泄システム1「泌尿器系の構造」	血中不要物排泄の構造ー泌尿器系〔ゴール〕①腎臓の位置、腎筋膜および構造（皮質・髄質・腎盂・腎乳頭・腎杯）を図示できる。②腎臓の組織（糸球体、尿細管、ヘンレのワナ、集合管、メサングウム細胞、偽足細胞、緻密斑、等）について説明できる。③腎臓の血流を順序立てて話せる。④尿路（尿管、膀胱、尿道）の構造を説明できる。⑤蓄・排尿反射機構を理解できる。	金子 9/11 (木) 4,5時限
43	物質の摂取・排泄システム2「尿生成・体液調節」	尿の生成と体液の恒常性ー腎機能〔ゴール〕①原尿の生成機序（糸球体ろ過）と組成が分かる。②物質の再吸収、尿の濃縮、尿成分の調整（ホルモンの影響）について理解できる。③クリアランス・糸球体ろ過量・腎血流量の関係を解説できる。④水分摂取量・排泄量と脱水について説明できる。⑤電解質異常、酸塩基平衡、アシドーシス・アルカロースについて述べられる。	金子 9/12 (金) 4,5時限
44	物質の摂取・排泄システム2「尿生成・体液調節」	尿の生成と体液の恒常性ー腎機能〔ゴール〕①原尿の生成機序（糸球体ろ過）と組成が分かる。②物質の再吸収、尿の濃縮、尿成分の調整（ホルモンの影響）について理解できる。③クリアランス・糸球体ろ過量・腎血流量の関係を解説できる。④水分摂取量・排泄量と脱水について説明できる。⑤電解質異常、酸塩基平衡、アシドーシス・アルカロースについて述べられる。	金子 9/12 (金) 4,5時限
45	物質の摂取・排泄システム5「消化器系の構造」	摂取食物の通り道と付随腺ー消化管・消化腺〔ゴール〕①消化管の一般構造が図解できる。②口腔（歯、舌を含む）から肛門までの消化管（咽頭、食道、胃、小腸、大腸）の構造を順に説明できる。	平 9/30 (火) 4時限

形態機能学 第1学年・通年・60コマ（必修）

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
46	物質の摂取・排泄システム5「消化器系の構造」	⑤管内消化と膜消化の相違や各栄養素の消化・吸収の過程が話せる。⑥消化管機能の中樞性制御、摂食中枢と食欲の調節、嘔吐のメカニズムを説明できる。	平 9/30 (火) 5時限
47	物質の摂取・排泄システム6「消化・吸収・排泄」	汝とは一汝が食べた物そのもの〔ゴール〕①咀嚼、嚥下、胃・腸の運動を説明できる。②消化管運動の神経性・体液性調節が話せる。③排便反射が言える。④消化液と胆汁の分泌機構について説明できる。⑤管内消化と膜消化の相違や各栄養素の消化・吸収の過程が話せる。⑥消化管機能の中樞性制御、摂食中枢と食欲の調節、嘔吐のメカニズムを説明できる。	平 10/2 (木) 4,5時限
48			
49	物質の摂取・排泄システム3「呼吸器系の構造」	空気の吸入・呼出－呼吸器系〔ゴール〕①上気道（鼻腔・副鼻腔・咽頭・喉頭）の構造を話せる。②発声と構音のしくみが言える。③下気道（気管とその分岐－気管支・区域気管支・細気管支・肺胞管）の構造が示せる。④肺（肺葉・肺区域・肺胞・肺胞上皮・肺毛細血管）の構造が話せる。⑤肺に分布する血管、胸膜と胸郭、縦隔の内容、呼吸筋・呼吸補助筋の解説ができる。	平 11/14 (金) 4,5時限
50			
51	物質の摂取・排泄システム4「呼吸器系の機能」	ガス交換－呼吸〔ゴール〕①外呼吸と内呼吸が区別できる。②気道と肺胞上皮の機能が話せる。③呼吸の実相と胸郭運動の関係が言える。④呼吸気量とスパイロメーターの説明ができる。⑤肺胞気・吸気・呼気・血液のガス分圧を比較できる。⑥肺の循環と血流の説明ができる。⑦呼吸運動の規律性とその調節を解説できる。⑧病的呼吸、換気障害、拡散障害の病態が分かる。	平 11/28 (金) 4,5時限
52			
53	情報の伝送システム2「内分泌腺の構造と内分泌」	内分泌腺－液性情報（ホルモン）－標的細胞〔ゴール〕①神経系と内分泌の対比ができる。②内分泌細胞と外分泌細胞の形態・機能の比較ができる。③内分泌器の分布や構造の説明ができる。④ホルモンを化学構造により3タイプに分類できる。⑤各タイプのホルモンの分泌様式と作用様式が分類できる。⑥分泌調節（階層性とフィードバック）について説明できる。	平 12/12 (金) 4,5時限
54			
55	情報の伝送システム3「ホルモンの生理作用」	生体恒常性と生殖の体液性調節－ホルモンの作用〔ゴール〕①内分泌細胞と分泌されるホルモンの対比ができる。②ホルモンの生理作用（成長と代謝の促進、適応力増進とホメオスタシス維持、本能行動発現、他の内分泌腺の機能状態調節）が分かる。③個別のホルモン作用が説明できる。特に血中Ca濃度と血糖の調節機構が言える。④内分泌異常について述べられる。	平 1/15 (木) 2,3時限
56			
57	生命の継続システム1「生殖器系の構造」	命の引き継ぎ－生殖〔ゴール〕①精子を図解できる。②男性の生殖器（精巣、果巣上体、精管、精索、外陰部）と付属線（精囊、前立腺、尿道球腺）を列挙できる。③勃起と射精のしくみを説明できる。④卵胞とその変化を図解できる。⑤女性生殖器（卵巣、卵管、子宮、膣、女性外陰部）の構造を説明できる。⑥卵巣・子宮周期とホルモン変動の関連が言える。（「基礎助産学」関連分野）	平 1/23 (金) 4,5時限
58			
59	生命の継続システム2「生殖・成長・老化・再生医療」	受精、誕生、成長、老化、死－人間の一生〔ゴール〕①原始生殖細胞、精子・卵子の形成、卵胞発育・排卵、受精、卵割、着床、妊娠、胚子・胎児の形成・発達、胎盤・臍帯の形成、胎児の性分化、等を経て分娩に至る過程を説明できる。②成長（身長・体重の変化・思春期の性成熟）や乳幼児期、少年期、青年期、壮年期、老年期の心身の特性および死について説明できる。③再生医療についてその基本と実用および問題点について説明できる。	平 1/30 (金) 4,5時限
60			

7. 生体観察実習（必修）〔解剖実習、脳実習、骨学実習、循環調整、脳波、腎機能〕

担当 教員	平 義樹（コーディネーター）、 眞鍋 貴行（看護学講座）、 吉田 成孝（解剖学講座機能解剖学分野）、 春見 達郎（解剖学講座顕微解剖学分野）、 森永 涼介（解剖学講座顕微解剖学分野）、 金子 智之（生理学講座自律機能分野）、 野口 智弘（生理学講座神経機能分野）、 齊藤江里香（臨床検査・輸血部）			
	対象学年	開講期	単位数	コマ数
	第1学年	後期	1単位	45コマ
履修目的・授業概要				DP①④⑤
<p>本科目は大学のディプロマポリシーであるのうち「姿勢・態度」および「知識」に関わる科目となる。形態機能学で学習した解剖学や生理学のうち、特に重要と考えられる項目について、人体と直接触れあう実習を行い、人体の形態と機能についてより深く理解する。</p>				
到達目標				
<p>解剖学関連実習では、ご遺体（解剖体）や標本の観察を通して、各器官・器官系の立体的な配置と形態・構造に関する理解を深め、説明できるようになる。生理学関連実習では、学生自らが互いに検者および被検者となり、正確な手順・操作でデータを取得・記録できるようにする。さらにそのデータを分析・考察し、当該器官・器官系の機能を論理的に説明できるようになる。</p>				
授業の形式				
<p>グループ単位で各項目総当たりの実習を行う。実習項目によっては、服装や生活上の配慮が必要であるから、事前に行われるガイダンスには必ず参加すること。</p>				
準備学習（予習・復習）等の内容と分量				
<p>事前に配布する生体観察実習を熟読するとともに当該分野の形態機能学の講義を復習しておくこと。</p>				
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数）				
<p>各実習におけるレポートの成績および実習直後に実施する試験（脳観察実習）を100点満点で点数化し全実習の平均が60点以上を合格点とする。正当な理由のないレポートの未提出については厳しく対応し、特に複数の実習において未提出の場合は未提出分を含めて合格基準に達していても不合格とするので注意すること。事情により欠席になった場合は追実習等の救済措置をとる。</p>				
実務経験のある教員等による授業科目				
該当する				
有する実務経験と授業への活用				
<p>学位を有し長年基礎医学の教育に従事してきた、あるいは大学病院等に勤務してきた教員が、各専門分野の内容についての実習を行う。</p>				
学生へのメッセージ				
<p>実習は直接ご遺体や測定機器に触れることのできる貴重な時間である。実習にまじめに取り組むことで学習内容に対する理解が自ずと深まることを理解してもらいたい。軽快な身のこなし、俊敏な頭の回転、真摯な学習態度を期待する。</p>				
オフィスアワー				
事前にメールで確認し、連絡して下さい。				
授業用連絡先（E-mail）				
コーディネーター hira@asahikawa-med.ac.jp				
担当教員の研究と履修主題				
関連する研究テーマなし				

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(特に教科書は指定しない)			
生体観察実習の手引き	担当者	看護学科	0円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	実習説明	①「生体観察実習の手引き」配布 ②実習全体に関する諸注意 ③実習事項と日程の周知・確認 ④グループ分け ⑤担当教員による項目ごとの諸注意 ⑥実習設備・物品・試薬等の準備 ⑦実習機器の調整や標本の確認	平
2			
3			
4			
5			
6	解剖体観察実習	【実習目的】 実際の解剖体を観察する。体表からでは到底うかがい知れない諸器官の形態、構造および位置関係について実際に観察することによって理解を深め、内在する法則を考察する。同時に個人によってかなりの相違があることも認識する。また、解剖体に直接接することにより生命の尊厳や死について思いをめぐらし、さらには医の倫理をも考究する。 【到達目標】 ①解剖体に触れ、積極的に観察できる。 ②「解剖学実習見学の手引き」に記載された重要な構造について医学生に質問しあるいは解説を求めてより確かな知識とする。 ③解剖体の観察を契機として人間の生と死について考察する。	平 吉田
7			
8			
9			
10	脳観察実習	【実習目的】 ヒトの脳の標本を観察して、その形態・構造・機能についての理解を深める。 【到達目標】 ①担当教員によるヒト全脳標本、断面標本や分割標本を用いた示説を聞き、脳の全体像や内部の構造について「脳観察実習の手引き」に掲載された図と照合して理解を深める。 ②脳標本の観察を通じて、脳の形態・構造および主な機能について確認・整理できる。 (令和7年度の本実習は解剖体観察実習と同時に行う予定。)	平
11			
12			
13			
14			
15			

生体観察実習 第1学年・後期・45コマ（必修）

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	骨学実習	<p>【実習目的】 人体の個々の骨の形態学的特徴や骨格の構成について観察し理解を深める。</p> <p>【到達目標】</p> <p>①骨標本を用いて個々の骨の特徴を観察し「骨学実習の手引き」の骨・関節・骨格を示す図中の空欄に学名や重要事項を記入して図を完成させる。</p> <p>②骨格交連標本を参考にして、骨標本の骨と骨を結合・関節させ、人体の骨格を再構築できる。</p> <p>③実際の骨標本を用いた質問に正確に答えることができる。</p>	春見森永
17			
18			
19			
20			
21	脳波実習	<p>【実習目的】 他覚的な感覚検査法としての誘発脳波を記録する。臨床における生理学的指標としての脳波を実際に測定し、観察する。</p> <p>【到達目標】</p> <p>①学生全員が検者と被検者の両方を体験する。全員が頭皮上電極を装着できる。</p> <p>②クリック音に対する聴性脳幹反応時の誘発脳波を記録できる。</p> <p>③記録した脳波から、脳の活動状態を解析し、その意味を論理的に説明することができる。</p>	野口
22			
23			
24			
25			
26	循環機能実習Ⅰ（心電図）	<p>【実習目的】 心電図の記録法と正常心電図の基本項目について学ぶ。また心臓における電気現象と機械現象の関連を理解する。</p> <p>【到達目標】</p> <p>①学生が互いに検者と被検者になり、各自の心電図を正しい操作で記録できる。</p> <p>②記録した心電図から心拍数を算出し、また調律の正しさや異常波の有無などを分析して心臓の機能状態を把握し、論理的にまとめることができる。</p>	齋藤
27			
28			
29			
30			

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
31	循環機能実習Ⅱ（循環調節）	<p>【実習目的】 急激な体位変換を行い、その際に起こる心臓レベルの循環調節反応や抵抗血管レベルでの調節を観察し理解を深める。</p> <p>【到達目標】</p> <p>①学生が相互に検者と被検者になり、チルトテーブルを用いて仰臥した状態から急速に立位にし、その時の心拍数や血圧の変化を正確に計測することができる。</p> <p>②上記計測結果を分析し、体位変換による循環系への重力の影響および心臓機能の変化や末梢血管における反射による循環調節機能について論理的に解き明かすことができる。</p>	未定
32			
33			
34			
35			
36	腎機能実習（排泄）	<p>【実習目的】 種々の水分負荷に伴う浸透圧クリアランスを求め、腎臓の持つ排泄機能について理解を深める。また、臨床において尿量を測定する意義について理解する。</p> <p>【到達目標】</p> <p>①学生各自が水や生理食塩水を飲み経時的に採尿して、尿量や尿中クレアチニン濃度を正確に測定できる。</p> <p>②上記で得られたデータから糸球体ろ過量を計算し、水分負荷に伴う腎臓の排泄機能について論理的に記述することができる。</p>	金子
37			
38			
39			
40			
41	レポート作成・提出	<p>①実習項目ごとに指定された様式でレポートを作成する。</p> <p>②決められた期日までに指定された提出先（manaba、レポートボックスまたは担当教員等）に提出する。</p>	平
42			
43			
44			
45			

8. 栄養学（必修）〔栄養素、代謝、ライフスタイル〕

担当 教員	◎眞鍋 貴行 山内 明美（栄養管理部）、 田邊 宏基（非常勤）、 山本 瑠美（非常勤）		
	対象学年	開講期	単位数
	第1学年	前期	1単位
履修目的・授業概要 DP③ 生体は、その恒常性を保つために、摂取した食物より、生体活動に必要な種々の物質を作り出している。 栄養学では栄養・食事の基本的な理解と健康への寄与について学習する。トラディショナルな栄養学に加え、医療従事者が今最も求められている新しい栄養学の知識とその世界的動向を学ぶ。また看護実践に必要な栄養学の知識を学ぶ。			
到達目標 1. 生体構成成分の構造と機能を理解出来る。 2. 糖質、脂質、タンパク質の体内での合成、分解を理解出来る。 3. 栄養素の構成、主要な栄養素の正常時での働きを説明出来る。 4. 各ライフステージにおける栄養学的留意点を理解出来る。			
授業の形式 原則教室での対面授業です。出席カードで出欠を取ります。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 manabaの臨床薬理コースより講義資料をダウンロードしておいでください。基本的には復習に重点をおく学習でいいですが、履修前に講義資料と教科書を読み、予習しておくことが望ましいです。 疑問点はmanabaを通して質問するようにしてください。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） 定期試験（100%） 「評価基準」：原則として定期試験の得点が60%以上で及第とします。ただし、15コマのうち10コマ以上の出席をしなければ受験することができません。 定期試験にて得点率が60%未満の場合は、再試験を1回実施する。 明確な理由により定期試験が受験できなかった者には追試験を実施する。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 管理栄養士の実務経験ある講師や長年栄養学の教育に従事してきた講師によって、看護師に必要な栄養学の基礎を講義する。			
学生へのメッセージ 疾患の予防/治療としての食生活/生活習慣を栄養学的側面から理解し、将来諸君が看護師として活躍されるための基礎を築いて頂きたい。本科目では食事療法は入門のみ行い、不足分は成人看護学にて行うものとする。			
オフィスアワー 随時（コーディネーター） 事前にメールもしくはmanabaで連絡いただくとスムーズです。			
授業用連絡先（E-mail） tmanabe@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題 担当教員の研究テーマに関連する履修主題はありません。			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [3] 栄養学	小野 章史	医学書院	2,200円
(参) 看護学生のための自己学習② 生化学・栄養学	鏡山 博行	金芳堂	2,200円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	糖質	糖質の栄養学的意義を学び、糖質の種類（特にでんぷん）の違いが生体を与える影響について理解する。	田邊（非常勤）
2	脂質	脂質の栄養学的意義を学び、各種脂質（特に異なる脂肪酸）が生体を与える影響について理解する。	田邊（非常勤）
3	食生活の変遷と栄養素の摂取パターン	戦後からの食生活の変化に伴い、栄養素の摂取パターンが変わり、生活習慣病の発症変動の一因となっていることを理解する。	山内
4	ミネラル、ビタミンの栄養	ミネラル及びビタミンの分類について理解し、それぞれの栄養機能の概要を理解する。	山内
5	たんぱく質	たんぱく質の栄養学的意義を学び、摂取するたんぱく質の量的な変化と生体内における窒素バランスの関係を理解する。	田邊（非常勤）
6	たんぱく質の栄養評価	摂取するたんぱく質の質的な違いが生体内に与える影響を学び、たんぱく質の質的な違いを評価する方法を理解する。	田邊（非常勤）
7	食物繊維の栄養学的意義	食物繊維の定義を理解し、食物繊維が消化管を介した生理作用により健康維持に重要な役割を果たしていることを学ぶ。	田邊（非常勤）
8	青年期～壮年期の栄養	青年期～壮年期に於ける生理学的特徴を学び、それに呼応する栄養学的留意点と問題点について理解する。	山内
9	食事摂取基準	食事摂取基準の策定の特徴を学び、栄養素の摂取基準について理解する。	山内
10	高齢期の栄養	高齢期に於ける生理学的特徴を学び、それに呼応する栄養学的留意点と問題点について理解する。	山内
11	乳児期の栄養	乳児期に於ける生理学的特徴を学び、それに呼応する栄養学的留意点と調乳や離乳食について理解する。	山本（非常勤）
12	幼児期の栄養	幼児期に於ける生理学的特徴を学び、それに呼応する栄養学的留意点と幼児食について理解する。	山本（非常勤）
13	学童期の栄養	学童期に於ける生理学的特徴を学び、それに呼応する栄養学的留意点と食事のあり方について理解する。	山本（非常勤）
14	思春期の栄養	思春期に於ける生理学的特徴を学び、それに呼応する栄養学的留意点と問題点について理解する。	山本（非常勤）
15	妊産婦の栄養	妊娠期に於ける生理学的特徴を学び、それに呼応する栄養学的留意点と食事について理解する。	山本（非常勤）

9. 生化学 (必修)

担当教員	◎川辺 淳一、安田 哲、渡辺 裕伍		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第1学年	後期	1単位	15コマ
履修目的・授業概要 DP①③④⑤ 【履修目的・授業概要】 生体物質の基本的知識と生体代謝の分子的な仕組みを理解し、生体の恒常性がどのように維持されているかについて学ぶ。 臨床応用されている生化学検査の意味も理解し、生活習慣病などの病態について分子生物学的・生化学的視点から考察できることを目指す。さらに、生化学研究の倫理的側面についても学ぶ。			
到達目標 1. 生体構成成分の構造と機能を説明できる。 2. 三大栄養素(糖質、脂質、タンパク質)の体内での合成、分解とエネルギー代謝を説明できる。 3. 核酸の構造、遺伝情報、遺伝子発現、遺伝情報の差異、代謝異常にもとづく疾病の成り立ちを説明できる。 4. ビタミンの機能について、説明できる。 5. 水や無機質の生体内の役割について、説明できる。 6. 臓器の機能について、生化学的側面から説明できる。 7. 免疫、幹細胞、がんといった医学的に重要なテーマについて、生化学的・分子生物学的に説明できる。			
授業の形式 各講師は毎回C講義室で、PCを用いた講義を行う。出席は、manabaの小テストと出席カードで行う。			
準備学習(予習・復習)等の内容と分量 復習に重点を置く学習をしてください。講義を受けた後は、小テストで知識の定着に努めてください。			
成績評価の方法と基準等(合格基準、および追再試の回数) 後期試験週間に本試験を実施する。 原則として本試験の得点が60%以上で合格とする。60%未満の場合は、再試験を1回実施し、得点が60%以上で合格とする。 ただし、試験の受験資格として、15コマのうち10コマ以上の出席が必要である。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当しない			
有する実務経験と授業への活用			
学生へのメッセージ 疾患の成り立ちについて生化学的側面から理解し、将来看護師として活躍されるための基礎を築いて頂きたい。			
オフィスアワー 事前にメールで確認し、予約してください。			
授業用連絡先(E-mail) 鈴木(生化学秘書) <ssuzuki@asahikawa-med.ac.jp>			
担当教員の研究と履修主題 生化学概論(川辺) 酵素とエネルギー通貨(安田) 循環の生化学・幹細胞とがんの生化学(渡辺)			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
教：よくわかる専門基礎講座 生化学	津田道雄	金原出版	2,100円
(参) 医学系のための生化学	石崎泰樹 編	裳華房	4,300円
(参) リッピンコット生化学 第八版	石崎泰樹 他訳	丸善	8,800円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	生化学概論	生化学の概要について学ぶ。	川辺(生化学)
2	生体構成成分	生化学に必要な高校の生物学と化学について復習した後、生体構成成分について学ぶ。	安田(生化学)
3	酵素とエネルギー通貨	酵素の役割と基本的性質、さらに酵素活性測定による診断法を理解する。さらに、エネルギー通貨(ATPとNADH)について理解する。	〃
4	遺伝情報とその発現	遺伝情報とその発現機構、遺伝情報の差異と代謝異常について理解する。	〃
5	情報伝達機構	ホルモン等の細胞間の情報伝達や細胞内情報伝達機構の基本を生化学的に理解する。さらに、生化学研究の倫理的側面について、学ぶ。	〃
6	糖質代謝1	糖質の構造、役割、消化と吸収、代謝(解糖系、糖新生、グリコーゲン代謝)を理解する。	〃
7	糖質代謝2・エネルギー代謝	ペントースリン酸経路とTCAサイクルと酸化リン酸化について理解する。そして、糖質代謝の調節とその異常(糖尿病)を理解する。	〃
8	脂質とケトン体の代謝	脂質とケトン体の基本構造、消化と吸収、役割、代謝と調節を理解する。さらにその異常を理解する(脂質異常症)。	〃
9	アミノ酸・蛋白質の代謝	アミノ酸・蛋白質それぞれの基本構造、消化と吸収、役割、代謝(炭素骨格の代謝や尿素サイクル)およびその異常による疾患を理解する。	〃
10	ヌクレオチド・核酸の代謝	ヌクレオチド・核酸代謝について理解する。さらにその異常による疾患を理解する(高尿酸血症と痛風)。	〃
11	ビタミン	生体に含まれるビタミンの性質、役割及びビタミン欠乏症と過剰症について理解する。	〃
12	臓器の機能1	これまで学んだ糖質・脂質・アミノ酸・蛋白質代謝を統合し、それらの代謝に重要な臓器の機能について、理解する。	〃
13	臓器の機能2	脳・筋肉・肝臓について、生化学的側面から理解する。	〃
14	循環の生化学	生体に含まれる水や無機質の性質・役割・調節、肺の機能、腎臓の機能、血管や血液の機能(免疫・血液凝固・血管新生)、さらにその異常について理解する。	渡辺(生化学)
15	幹細胞とがんの生化学	幹細胞やがんについて生化学的・分子生物学的側面から理解する。	〃

10. 病理学総論（必修）〔病理学、医学、疾患、免疫システム〕

担当教員	◎平 義樹（看護学講座）、西川 祐司		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第1学年	後期	1単位	15コマ
履修目的・授業概要 DP③ 本科目はディプロマポリシーの主に「幅広い教養を身につけ、看護の専門的知識を習得している。」を実践するための科目です。看護を行う上で、患者の抱える「疾患」の知識が不可欠です。その基盤となるのが医学であり、さらにその中核・礎をなすのが「病理学」という学問になります。病理学は疾患の成り立ちを明らかにする学問で、診療に直結する「臨床医学」の根拠となります。 本科目では、疾患を大まかに分類する病理学の総論的な考え方や、基本病理について学びます。			
到達目標 1. 病理学総論の枠組みを理解し、その説明ができる。 2. 主要病態の原因、発症メカニズム、形態学的変化尾ひよび機能的変化、臨床的事項を説明できる。 3. 微生物に対応する宿主側の反応としてお種々の防御機構と免疫反応の宿主への傷害的作用が理解できる。 4. 上記1～3を統合して、病んでいる患者の全体像を理解できる。			
授業の形式 C講義室にてPCを用いた講義を行います。出席カードの提出によって出欠を確認します。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 manabaのR7病理学総論コースより講義資料をダウンロードし、各自授業に備えて下さい。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） 「評価方法」：定期試験（80%）＋出席点（20%）で評価 「評価基準」：原則として定期試験＋出席点が60%以上を及第とします。ただし、2/3以上の出席が必要で、追再試・レポート提出などの救済措置あり（各1回）。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 学位を有し、長年基礎医学教育に従事してきた教員が専門分野の経験に基づき講義を行います。			
学生へのメッセージ 履修内容を理解する上で前期から始まっている形態機能学の知識が必要となりますので、適宜復習して下さい。各種疾患を整理する枠組みができるように期待します。教科書は必ず購入して下さい。			
オフィスアワー 事前にメールで確認し、予約して下さい。			
授業用連絡先（E-mail） コーディネーター hira@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題 担当教員の研究テーマに関連する履修主題はありません。			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 系統看護学講座 病理学	大橋 建一	医学書院	2,400円
(教) 休み時間の免疫学 第3版	斎藤 紀先	講談社	2,000円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	オリエンテーション	授業の進め方・日程に関するオリエンテーションを行い、病理学とは何かについて概説する。	平
2	細胞と組織の障害	細胞の基本構造をそれらの機能変化、細胞障害に対する細胞の適応、細胞死について学ぶ。	西川
3	循環障害	正常循環とその調節を学び、充血、うっ血、虚血、出血、血栓、塞栓、梗塞、水腫、ショック、高血圧、低血圧について理解する。	西川
4			
5	免疫① 細菌感染に対する防御反応の流れ	感染とは何なのか、細菌の侵入から炎症反応に至る生体内の反応をおおまかに捉える。細菌感染に対する防御反応の中で、オプソニン化の役割を果たす抗体がどのように産生されるかについて学ぶ。	平
6			
7	免疫② ウイルスに対する防御反応の流れ	ウイルスの感染に対する免疫反応を大まかに捉える。細菌感染との違い、自然免疫過程と獲得免疫の過程について学ぶ。	平
8	感染症	感染症について学ぶ。	平
9	免疫③ 免疫と病気のメカニズム	補体、抗体、抗原、好中球、単球・マクロファージ、樹状細胞、NK細胞・NKT細胞について学ぶ。	平
10	免疫④免疫異常1	炎症とI型アレルギー疾患について学ぶ。	平
11	免疫⑤免疫異常2	II型・III型・IV型アレルギー疾患と免疫不全症について学ぶ。	平
12	代謝障害	生活習慣病、代謝障害について学ぶ	平
13	老化と死／ 先天異常と 遺伝子異常	老化に関連する疾患・病態・個体の死・先天異常・遺伝子・染色体異常について学ぶ。	平
14	腫瘍	腫瘍の定義・分類、腫瘍発生のメカニズム・性状・生体の腫瘍に対する反応、腫瘍の診断と治療、疫学、さらに腫瘍免疫について学ぶ。	西川
15			

11. 発達心理学（必修）〔基礎心理学、発達心理学、生涯発達〕

担当教員	◎池上 将永 (心理学)		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第1学年	前期	1単位	30コマ
履修目的・授業概要 DP③ 本講義の目的は、基礎心理学および発達心理学についての基本的な知識を習得することである。基礎心理学とは、人間の心理・行動の基本的な性質を研究する分野である。基礎心理学は、発達心理学や臨床心理学等の応用分野を理解する上で欠かすことができない。本講義の前半では、基礎心理学を中心に学ぶ。発達心理学とは、心理・行動の発達の变化全般を研究する分野であり、個人のライフサイクルを理解するための基盤となる。本講義の後半では、医療活動に必要とされる発達心理学の基礎知識を学ぶ。			
到達目標 ①人間の感覚、知覚、注意、記憶、学習、動機づけ、情動についての基礎知識を説明できる。 ②乳児期から老年期にわたる心理的・行動的变化についての基礎知識を説明できる。			
授業の形式 主に講義形式で行うが、テーマによっては、簡単な実験実習やビデオの視聴も取り入れる。必要に応じてプリント資料を配布する。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 manabaで事前に配布される資料にもとづき、学習内容のまとめを行うこと。発達心理学で学習する内容は多岐にわたるため、こまめな復習が重要となる。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） 原則としてすべての講義に出席すること。成績評価は、出席（30%）および定期試験の成績（70%）に基づいて行う。総合点が60点以上を合格とする。得点率が60%未満の場合は、追再試験を1回実施する。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当しない			
有する実務経験と授業への活用			
学生へのメッセージ 基礎心理学・発達心理学の知識は、将来の医療活動にとって重要である。また、自分の成り立ちや自分という人間の今後の展開を考える上でも有用である。授業への積極的な参加を期待する。			
オフィスアワー 心理学教授室（L428b）にて随時受け付けます。事前にメールでご連絡下さい。			
授業用連絡先（E-mail） ikegamim@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題 臨床発達心理学：神経発達症の認知行動検査の開発			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(参) 現代心理学辞典	子安増生・他	有斐閣	7,040円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1 2	心理学の基礎	実証科学としての心理学の基礎や歴史について学ぶ。	池上
3 4	感覚と知覚（1）	人間が外界から情報を取り入れる仕組みについて、視覚を中心に学ぶ。	〃
5 6	感覚と知覚（2）	聴覚の仕組み、精神物理学的測定法、注意について学ぶ。	〃
7 8	記憶	記憶と忘却の仕組みを理解する。	〃
9 10	学習	経験によって行動が変化する仕組み（学習）について学ぶ。	〃
11 12	動機づけ	人間を行動に駆り立てる動機づけの仕組みについて学ぶ。	〃
13 14	情動	情動や感情、ストレスについて学ぶ。	〃
15 16	発達心理学とは	発達心理学の生物学的基礎、生涯発達の視点等について学ぶ。	〃
17 18	知覚と運動の発達	知覚と運動の発達過程について学ぶ。	〃
19 20	言語の発達	言語が獲得されていく過程について学ぶ。	〃
21 22	社会性の発達	愛着の発達と個人差、ともだち関係の発達について学ぶ。	〃
23 24	認知の発達	様々な概念の形成、推論や思考の発達について学ぶ。	〃
25 26	道徳の発達	道徳性の発達理論、性役割の発達について学ぶ。	〃
27 28	青年期の発達	成人への過渡期である青年期について理解する。	〃
29 30	中年期以降の発達	中年期のストレスと危機、老年期の心理的・身体的変化について学ぶ。	〃

12. 看護学概論（必修）

担当教員	◎升田由美子、神成 陽子、綱元 亜依、 山内 明美（栄養管理部）、 松尾 昂（地域医療連携室）、 井戸川みどり（看護部）、大宮 剛（看護部）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第1学年	通年	2単位	30コマ
履修目的・授業概要 DP①③④			
【履修目的】 これから大学で学ぶ「看護」および「看護学」について概観し、 看護の基本的知識と看護実践者としての基盤を学習する。			
到達目標			
一般目標： 看護に関する基本的知識を学び、看護の対象である人間の尊厳と倫理観、現代社会と医療における看護の役割について理解する。 行動目標： 1. 看護の構成概念である「人間」「健康」「環境」「生活」について説明することができる。 2. 社会の中で行われる看護実践について、看護を取り巻く環境、法と倫理、保健医療福祉活動の観点から理解する。 3. 看護の職業的発展と看護教育の変化およびそれらの関係性について理解する。 4. 現代社会における看護実践の実際と課題について理解する。			
授業の形式			
履修主題に関する予習をした上で講義とグループ学習、発表を取り入れながら授業を進める。 授業の理解を確認するため、講義終了時に、講義内容に関する問題を各自で作成・提出を課す。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量			
履修主題・履修内容について教科書・参考書により予習する。事前・事後学習についてはガイダンスで配付する「学習要項」をよく読み、計画的に取り組むこと。教科書「看護学を学ぶためのスタートガイド」も参考にすること。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数）			
定期テスト：50%（教科書と自筆ノートの持ち込み可） 課題レポート：20%（ルーブルック評価による） 小テスト：15% 事前・事後学習などの提出物：15% 出席状況：1コマ欠席につき2点減点 出席2/3以上かつ上記内容を100点満点で換算し、60点以上で単位を認定する。再試験については、試験日は設けず対象者に課題を提示する。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用			
看護師免許を有し、看護師の実務経験（6年間以上）がある教員が、大学病院等での病棟勤務経験を踏まえ、看護学に関する基礎的な講義を行う。			
学生へのメッセージ			
これから大学で学ぶ「看護」そして「看護学」とは何かについて皆さんとともに考える科目です。この科目を通して、一人一人が自分の看護観を形成し、育てていくことを期待しています。大学生としてふさわしい主体的に学ぶ姿勢をもち、課題や授業に取り組んで下さい。			
オフィスアワー			
講義終了後またはメールで事前にアポイントを取ってください。			
授業用連絡先（E-mail）			
y-yumiko@asahikawa-med.ac.jp（升田）			
担当教員の研究と履修主題			
看護基礎教育における看護診断の教授について			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学(1) 看護学概論 第17版	茂野香おる, 他	医学書院	2,400円+税
(教) 看護覚え書	ナイチンゲール 湯楨ます他訳	現代社	1,800円+税
(教) 看護の基本となるもの	ヘンダーソン 湯楨ます他訳	日本看護協会出版会	1,200円+税
(教) 看護学を学ぶためのスタートガイド	泉澤真紀, 升田由美子編著	大学教育出版会	2,000円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス	本科目の目的・目標、学習内容・方法について、履修上の留意点について	升田
2	看護とは	看護を実践するために必要な思考技術とともに「看護」について学ぶ。	〃
3	看護職の発生と歴史	看護職の形成に影響した哲学的伝統と社会的要因を理解する。	〃
4	〃	〃	〃
5	看護の定義	ナイチンゲール、ヘンダーソンの書籍を参考に、「看護」の定義について学ぶ。	〃
6	看護の対象	看護の対象（個人・家族・集団）について学ぶ。	〃
7	看護の構成要素①人間	人間の基本的特性：「生活」する存在	〃
8	〃	人間の基本的特性：基本的欲求	〃
9	〃	人間の基本的特性：統合体としての人間	〃
10	〃	〃	〃
11	社会の中の看護① 看護を支える法と倫理	我が国の看護職に係る法体系と看護実践の法的根拠を学ぶ。 ①法と倫理の関係 ②看護の法的責任と倫理的責任	升田 神成 綱元
12	〃	看護実践における倫理について学ぶ。 ①看護職の倫理綱領 ②看護学生の倫理行動規準	〃
13	看護の構成要素② 環境	看護の構成要素である「環境」と人間とのかかわりについて学ぶ。	神成
14	看護の構成要素③ 健康	看護の構成要素である「健康」の概念と看護のかかわりについて学ぶ。	〃
15	看護制度と看護管理	我が国の現代医療制度を看護管理の目的と実際について学ぶ。	井戸川 (看護部)

看護学概論 第1学年・通年・30コマ（必修）

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	看護制度と看護管理	我が国の現代医療制度・看護管理の目的と実際について学ぶ。	井戸川 (看護部)
17	看護の構成要素④ 環境・健康	看護の構成要素である「環境」「健康」の概念と看護のかかわりの実際について学ぶ。	神成
18	〃	〃	〃
19	社会の中の看護② 看護と保健医療福祉活動	保健医療福祉活動における看護の役割について学ぶ。 ①保健医療福祉活動とは ②保健医療福祉活動と看護職の役割	升田
20	〃	保健医療活動における多職種との役割と連携①栄養士の役割	山内 (栄養管理部)
21	〃	保健医療活動における多職種との役割と連携②MSWの役割	松尾 (地域医療連携室)
22	社会の中の看護③ チーム医療・多職種連携	保健医療活動における多職種との役割理解を通してチーム医療と多職種連携について学ぶ。	升田
23	看護と看護職の役割	グループワークを行い、看護と看護職の役割について考える。	〃
24	〃	〃	〃
25	社会の中の看護④ 看護の実践とは	看護実践とは何かを学ぶ。 ①看護と看護実践 ②看護実践の構成要素 ③看護の科学的過程と人間関係の過程	〃
26	社会の中の看護⑤ 看護診断	看護実践と看護診断の関係性について学ぶ	〃
27	社会の中の看護⑥ 看護教育と職業発展	看護職の専門性の発展と看護教育の変化について学ぶ。	〃
28	社会の中の看護⑦ 継続教育と看護の専門性の発展	専門看護師・認定看護師の活動の実際を学ぶ。	大宮 (看護部)
29	社会の中の看護⑧ 医療安全	医療安全と看護師の役割について学ぶ。	升田
30	まとめ	保健医療福祉活動が直面する課題と看護職の役割	〃

13. 基礎看護技術学 I (共通技術) (必修)

担当教員	◎一條 明美、神成 陽子、綱元 亜依、 江口 明子 (非常勤講師)、 大友 麻紀 (非常勤講師)、 鈴木 尚子 (非常勤講師)、 大宮 剛 (看護部)		
	対象学年	開講期	単位数
	第1学年	前期	1単位
			コマ数 30コマ
履修目的・授業概要 DP①③④⑤ 看護技術の概念を理解し、看護ケアに必要な基本技術を科学的根拠に基づき学ぶ。 到達目標 1. 看護技術の概念を理解し、看護実践における看護の位置づけを説明できる。 2. 看護における観察・記録・報告の目的・必要性・方法をおよび看護実践上の意義を述べられる。 3. 医療における感染予防の重要性、標準予防策を理解し、基本的技術を身につける。 4. ボディメカニクスの原理を理解し、看護実践におけるボディメカニクスの意義を述べられる。 5. 看護実践におけるバイタルサインの観察の意義と観察のための留意点を述べられる。 6. 療養生活における生活環境の意義が述べられる。 7. 日常生活における活動と休息の意義が述べられる。 8. 看護実践における安全・安楽・自立の重要性を理解し、以下の技術の基本を身につける。 手指衛生、呼吸測定、脈拍測定、血圧測定、体温測定、ベッドメイキング、体位変換、体位保持			
授業の形式 講義・演習を行う。教科書、資料、視聴覚教材を用いて進める。単元または演習ごとに事前学習・事後学習を課す。			
準備学習 (予習・復習) 等の内容と分量 事前に単元ごとの学習目標と事前学習資料を配付する。該当の教科書、参考書を熟読し、事前学習を行い講義に出席する。実施する技術の手順を覚えて演習に出席する。演習後は事後学習資料に基づき学習する。事前・事後学習とも期日までに提出する。			
成績評価の方法と基準等 (合格基準、および追再試の回数) 1. 定期試験 (40%) : 定期試験は 2 / 3 (20時間) 以上の出席を必要とする * 得点が 60 / 100 点未満の場合は再試験を 1 回行う 2. 技術チェック (10%) : 中間試験で技術チェックを行う。合格水準に達するまで繰り返しチェックを行う。配点は傾斜配分とする (1 回で合格 10 点、2 回 8 点、以降 1 回増えるごとに - 2 点) 3. 小テスト (25%) 4. 提出物 (25%) : 課題はその都度提示する。 * 遅滞は減点とする (詳細は講義で説明する) * 学習目標の達成度が高いものは加点、低いものは減点となる。 上記 1. 2. 3. 4 を合計 100 点満点とし、合計が 60 点未満、再試験で 60 点未満の場合は、次年度再履修となる。定期試験で再試験を受けた場合、総合評価は「可」とする			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 看護師免許を有し、病院看護師の実務経験 (10 年間) がある教員が、総合病院等での勤務経験を踏まえ、看護技術に関する基礎的な講義を行う。			
学生へのメッセージ この科目では卒業までに必要な看護技術の中でも特に基礎となる内容を学びます。授業の理解には形態機能学の知識が必要です。学習状況に応じて、予習・復習してください。演習は、患者役、観察者において全員が実施します。技術を実施するだけでなく、患者の立場で考えたり、他者の技術を客観的に見て互いに学びましょう。			
オフィスアワー 随時および実習室アワー (時間割に記載あり)			
授業用連絡先 (E-mail) aichijo@asahikawa-med.ac.jp (科目責任者: 一條)			
担当教員の研究と履修主題 日常生活援助の実施に至る看護師の臨床判断に関する研究			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 系統看護学講座専門分野 I 基礎看護技術 I	茂野 香 おる	医学書院	2,970 円(税込)
(教) 系統看護学講座専門分野 I 基礎看護技術 II	茂野 香 おる	医学書院	3,190 円(税込)
(教) 看護がみえる vol.1 基礎看護技術	医療情報科学研究所編	メディックメディア	3,630 円(税込)
(教) 看護がみえる vol.3 フィジカルアセスメント	医療情報科学研究所編	メディックメディア	3,630 円(税込)

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス	科目の概要、学習方法を学ぶ。基礎看護学実習室の使用方法を学ぶ。	一條
2	看護技術の概念	看護技術とは何か、看護実践における看護技術の位置づけを学ぶ。看護実践における安全・安楽の重要性を学ぶ。	〃
3	観察	看護における観察の意義を学ぶ。観察の目的、方法 (コミュニケーションを含む) を学ぶ。	〃
4	〃	〃	〃
5	記録・報告	看護の情報とは何か、看護における記録・報告 (SBAR) の意義を学ぶ。	〃
6	感染予防	感染の要因と感染予防における看護師の役割について学ぶ。	綱元
7	〃	標準予防策について学ぶ。医療廃棄物の管理を学ぶ。	〃
8	〃	演習: 日常的な手洗い、衛生的手洗い (手指消毒) を学ぶ。	綱元 一條
9	ボディメカニクス	ボディメカニクスの定義、原理、動作の経済性および看護への活用について学ぶ。	一條
10	〃	〃	〃
11	バイタルサインの観察	バイタルサインとは何かを学ぶ。呼吸・循環・体温の観察の意義を学ぶ。	〃
12	〃	〃	〃
13	〃	演習: 血圧測定	一條 神成 綱元 江口 大友 鈴木
14	〃	〃	〃
15	〃	〃	〃

基礎看護技術学Ⅰ（共通技術） 第1学年・前期・30コマ（必修）

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	バイタルサインの観察	演習：呼吸・体温・脈拍の観察	一條 神成 綱元 江口 大友 鈴木
17	生活環境	環境因子と環境調整の意義を理解する。患者の生活環境とその整備について学ぶ。毎日の病床整備について学ぶ。	一條
18	〃	病床環境の観察・アセスメントの視点を学ぶ	〃
19	〃	演習：環境整備の技術（ベッドメイキング）	一條 神成 綱元 江口 大友 鈴木
20	〃	〃	〃
21	〃	〃	〃
22	〃	〃	〃
23	〃	演習：病床の環境整備に関して事例を用いて学ぶ。	一條 神成 綱元
24	活動と休息	人間にとっての活動と休息の意義を学ぶ。サーカディアンリズムを理解する。	一條
25	〃	全身の酸素化と酸素化が活動に与える影響を学ぶ。	〃
26	〃	廃用性変化とその予防および日常生活動作、体位変換と移動（歩行・移乗・移送）の援助について学ぶ。	〃
27	〃	演習：臥床患者の体位変換と体位保持	一條 神成 綱元 江口 大友 鈴木 大宮
28	〃	〃	〃
29	〃	演習：仰臥位から立位への体位変換と車椅子への移乗・移送	〃
30	〃	〃	〃

14. 基礎看護技術学Ⅱ（日常生活援助技術）（必修）

担当教員	◎一條 明美、升田由美子、神成 陽子、 網元 亜依、大宮 剛（看護部）、 江口 明子（非常勤講師）、 大友 麻紀（非常勤講師）、 鈴木 尚子（非常勤講師）		
	対象学年	開講期	単位数
	第1学年	後期	2単位
履修目的・授業概要 DP①③④⑤ 人間の日常生活に対する理解を深め、日常生活に関する援助技術を科学的根拠に基づいて学ぶ。援助技術に共通な安全・安楽・自立の視点を踏まえ、基本的な方法について学ぶ。			
到達目標 1. 人にとっての日常生活の意義と日常生活を援助することの意義を述べられる。 2. 健康生活における食と栄養の意義を説明できる。 3. 対象に適した食と栄養に関する基本技術を身につける。 4. 日常生活における清潔の意義を説明できる。 5. 対象に適した身体の清潔に関する基本技術を身につける。 6. 着法に基礎的知識に基づき、冷着法・温着法が実施できる。 7. 日常生活における排泄の意義を説明できる。 8. 対象に適した排泄の基本技術を身につける。 9. 医療における感染予防の重要性、方法を理解し、基本的な技術を身につける。 10. 対象の個性、多様性に合わせた看護援助について説明できる。 11. 看護実践における安全・安楽・自立の視点を踏まえ、以下の技術の基本を身につける。 リネン交換、病衣交換、洗髪、清拭、部分浴、口腔ケア、陰部洗浄、食事介助、床上排泄の介助、腹部のフィジカルアセスメント、浣腸、導尿、無菌操作			
授業の形式 講義・演習を行う。教科書、資料、視聴覚教材を用いて進める。單元または演習ごとに事前学習・事後学習を課す。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 事前に單元ごとの学習目標と事前学習資料を配付する。該当の教科書、参考書を熟読し、事前学習を行い講義に出席する。実施する技術の手順を覚えて演習に出席する。演習後は事後学習資料に基づき学習する。事前・事後学習とも期日までに提出する。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） 1. 定期試験（40%）：定期試験は2/3（40時間）以上の出席を必要とする *得点が60/100点未満の場合は再試験を1回行う。 2. 技術チェック（10%）：授業時間内に技術チェックを行う。再チェックは行わない。 3. 小テスト（25%） 4. 提出物（25%）：課題はその都度提示する。 *遅滞は減点とする（詳細は講義で説明する） *学習目標の達成度が高いものは加点、低いものは減点となる。 上記1, 2, 3, 4を合計100点満点とし、合計が60点未満、再試験で60点未満の場合は、次年度再履修となる。定期試験で再試験を受けた場合、総合評価は「可」とする			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 看護師免許を有し、病院看護師の実務経験（10年間）がある教員が、総合病院等での勤務経験を踏まえ、看護技術に関する基礎的な講義を行う。			
学生へのメッセージ この科目では日常生活に関わる援助の基本を学びます。演習で学ぶ技術は臨床で対象者に援助する時の基本となるものです。技術を身につけるためには提示された事前学習（予習）に取り組み、演習を充実させ、事後学習（復習）することが必須です。また、ボディメカニクスや体位変換など基礎看護技術学Ⅰで学んだ技術が必要です。必要時復習しながら学習されることを期待します。			
オフィスアワー 随時および実習室アワー（時間割に記載あり）			
授業用連絡先（E-mail） aichijo@asahikawa-med.ac.jp（科目責任者：一條）			
担当教員の研究と履修主題 日常生活援助の実施に至る看護師の臨床判断に関する研究			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 系統看護学講座専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ	茂野 香おる	医学書院	2,970円(税込)
(教) 系統看護学講座専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ	茂野 香おる	医学書院	3,190円(税込)
(教) 看護がみえる vol.1 基礎看護技術	医療情報科学研究所編	メディックメディア	3,630円(税込)
(教) 看護がみえる vol.3 フィジカルアセスメント	医療情報科学研究所編	メディックメディア	3,630円(税込)

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	日常生活援助とは	日常生活とはなにか、日常生活を援助することの意義を学ぶ。	一條
2	食と栄養	健康な生活における食の意義を学ぶ。	神成
3	食と栄養	栄養状態のアセスメントについて学ぶ。	〃
4	〃	演習：臥床患者の食事援助について学ぶ。	神成 一條 網元 江口 大友 鈴木
5	〃	〃	〃
6	〃	栄養状態のアセスメントについて学ぶ。	神成
7	〃	健康状態に応じた栄養摂取の方法を学ぶ。	〃
8	生活環境	臥床患者のリネン交換を学ぶ。	網元
9	〃	演習：臥床患者のリネン交換を学ぶ。	網元 神成 一條 江口 大友 鈴木
10	〃	〃	〃
11	〃	〃	〃
12	清潔	健康な生活における身体の清潔、整容の意義を学ぶ。	一條
13	〃	身体の清潔、整容のアセスメントについて学ぶ。患者の健康状態に合わせた身体の清潔の援助方法について学ぶ。	〃
14	〃	身体の清潔の援助方法とその原則について学ぶ。	〃
15	〃	健康な生活における衣の意義、衣のアセスメントについて学ぶ。更衣の援助方法を学ぶ。	〃

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	清潔	臥床患者の病衣交換（長病衣・ズボンの交換）の技術を学ぶ	一條
17	〃	洗髪目的、基本的な方法および留意点を学ぶ。	綱元
18	〃	演習：ケリーパッドを使用した臥床患者の洗髪の方法を学ぶ。	綱元 神成一條 江口大友 鈴木
19	〃	〃	〃
20	〃	〃	〃
21	〃	演習：臥床患者の病衣交換（長病衣・ズボンの交換）の技術を学ぶ。	一條 神成一條 江口大友 鈴木
22	〃	〃	〃
23	〃	〃	〃
24	〃	演習：基本的な清拭の方法を学ぶ。上半身の清拭の援助方法を学ぶ。	一條 神成一條 江口大友 鈴木 大宮
25	〃	〃	〃
26	〃	〃	〃
27	〃	演習：臥床患者の清拭・足浴の援助方法を学ぶ。	〃
28	〃	〃	〃
29	〃	〃	〃
30	〃	演習：臥床患者の口腔内清潔法を学ぶ。	神成

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
31	〃	〃	神成
32	〃	演習：臥床患者の陰部洗浄の技術を学ぶ。	一條 綱元
33	〃	〃	〃
34	〃	患者の健康状態に合わせた身体の清潔の援助方法について学ぶ。（課題の説明）	一條
35	感染予防	感染予防技術の種類と方法、留意点について学ぶ。	綱元
36	電法	電法の目的、適応、種類を学ぶ。温熱刺激による生体への反応を学ぶ。	一條
37	〃	温電法、冷電法の援助方法を学ぶ。	〃
38	感染予防	演習：無菌操作の原則、清潔・不潔の判断について学ぶ	綱元 神成一條 江口大友 鈴木
39	〃	〃	〃
40	排泄	健康な生活における排泄の意義を学ぶ。	神成
41	〃	排泄状態のアセスメントについて学ぶ。	〃
42	〃	自然な排尿のための援助を学ぶ。	〃
43	〃	自然な排便のための援助を学ぶ。	〃
44	〃	健康状態に応じた排泄の援助について学ぶ。腹部のフィジカルアセスメントについて学ぶ。	〃
45	〃	浣腸の目的、適応、方法について学ぶ。	〃

基礎看護技術学Ⅱ（日常生活援助技術） 第1学年・後期・60コマ（必修）

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
46	〃	演習：腹部のフィジカルアセスメント・GE・床上排泄	神成一 網元江 口大友 鈴木
47	〃	〃	〃
48	〃	〃	〃
49	〃	導尿の目的、適応、方法を学ぶ。	神成
50	清潔事例	紙上事例の患者の援助についてグループで検討する。	一條升 田神成 網元
51	〃	〃	〃
52	排泄	演習：一時的導尿の目的、方法について学ぶ。シミュレータを用いて導尿の技術を学ぶ。	神成一 網元江 口大友 鈴木
53	〃	〃	〃
54	〃	〃	〃
55	技術チェック	既習の援助技術の他者評価を受け、自己の課題を明らかにする。	一條升 田神成 網元江 口大友 鈴木
56	〃	〃	〃
57	〃	〃	〃
58	清潔事例	紙上事例の患者の援助についてグループで検討し、実施する。	一條升 田神成 網元
59	〃	〃	〃
60	まとめ	看護実践と看護技術の関係を考える。	一條

15. コミュニケーション論（必修）〔言語・非言語、対人関係、自己理解、傾聴〕

担当教員	◎長谷川博亮		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第1学年	前期	1単位	15コマ
履修目的・授業概要 DP① 人間関係を個人から集団レベルまで広く捉えながら、コミュニケーション理論の理解とそれに基づいたスキルを学ぶ。 さらに、臨地の場において様々な状況にある対象者と関係を形成し、看護援助の質を高めるために必要なコミュニケーションの活用方法を考察する。			
到達目標 1. 人間関係とコミュニケーションの関係を説明できる。 2. 言語的・非言語的コミュニケーションの基本概念を理解し、コミュニケーションの可能性と限界について説明できる。 3. 対人援助する上で効果的なコミュニケーション技法についていくつかの技法のポイントを列挙できる。 4. コミュニケーションにおける自己理解の必要性について説明できる。			
授業の形式 講義が中心です。講義前に manaba にて資料を配布します。 manaba のアンケート機能を用いて皆さんの考えを示し、双方向で議論していくことを大切にします。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 履修主題毎に関連する資料を manaba 上に提示するので、予習をして授業を受けてください。コミュニケーションは学びの他に、実践を積み重ねていくことも重要なので、日常生活の人間関係の中で応用しながら自己理解を深めてください。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） ①本学規定に基づき、原則15時間の出席、出席2/3以上は必須 ②小テスト2回 30%（第1回目：15点 第2回目：15点） ③最終レポート試験 1回 40% ①を評価対象の基準とし、②③の合計点により成績を算出する。 ④公休等の欠席の状況に基づき追試験を1回実施する。 ⑤評価の合計が60%に満たない者は再試験を1回実施する。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 精神科で多職種連携や対人関係を中心とした看護においてコミュニケーション技術を実務の中で展開してきた教員が講義を行う。			
学生へのメッセージ コミュニケーションを深めていくためには能動的な姿勢が重要です。自己理解しながら主体的に参加してください。この授業が終わると、看護学実習等で様々な人のかかわりがきつと変化することでしょう。			
オフィスアワー 研究室在室時はいつでも来てください（507研究室）			
授業用連絡先（E-mail） hiroh@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題 精神看護実習におけるインストラクターの支援 対人関係理論を基盤にした学びの展開			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(参) 人間関係論	長谷川 浩	医学書院	2,160円(税込)

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス	・授業の進め方 ・成績評価 ・コミュニケーション論のねらい ・「伝える」「受ける」重要性	長谷川
2	看護とコミュニケーション	・対人関係論を中心とした看護理論	長谷川
3	社会とコミュニケーション	・グループ・ダイナミクス	長谷川
4	言語的コミュニケーション	・言語的コミュニケーションの機能と種類	長谷川
5	非言語的コミュニケーション	・非言語的コミュニケーション機能と種類	長谷川
6	自己理解	・自己を客観視する ・自己開示と自己呈示	長谷川
7	カウンセリングの基本的態度からコミュニケーションを理解する	・傾聴とは (心と言葉を五感を通して聴く)	長谷川
8		・受容と共感 (全てを受入れて感情を聴く)	長谷川
9		・「受容」「共感」「傾聴」の実際事例から考える(①小テスト) ※課題提出	長谷川
10	アサーション	・アサーションの基本概念 ・自分のアサーション度は? ・自己の権利を主張するとは?	長谷川
11		・場面に応じたアサーション ・アグレッシブと不利益 ・看護とアサーション	長谷川
12	コーチング	・コーチングの基本概念 ・相手を突き動かす質問 ・コーチングの効果を体験する	長谷川
13		・課題のガイダンス	長谷川
14	様々な状況に応じたコミュニケーション	調べる 言語が未発達な子ども、反発が強い思春期の子ども、高齢者等	長谷川
15		・問題に応じたコミュニケーションの展開(②小テスト) ※課題提出	長谷川

16. 人間生涯発達論（必修）

担当 教員	◎長谷川博亮、山内まゆみ、小田嶋裕輝、 野中 雅人、巻島 愛、牧野 志津		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第1学年	通 年	1 単位	15コマ
履修目的・授業概要 DP①③ 看護学の基礎概念の一つである「人間」を理解するために「人の生涯における発達」という視点から人間を捉える。発達に関する理論、発達の原初である受精期・胎芽胎時期から老年期にわたる心と身体の発達、セクシャリティの発達、家庭をつくりあげる親となることの発達、加齢に伴う身体的衰退、さらに締めくくりの時を迎えることの意味などについて学ぶ。			
到達目標 1. 人間の生涯にわたる発達の意味を説明できる。 2. 新生児期から老年期までの心と身体の発達について説明できる。 3. 人のセクシャリティの発達を説明できる。 4. ライフステージ各期における社会的側面の発達について説明できる。			
授業の形式 講義中心とし、パワーポイント、プリント資料や動画など視覚教材などを用いる。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 履修主題ごとに関連する講義資料を manaba に提示するので、予習・復習をしてください。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） 成績は定期試験100%で評価します。試験には論述式の問題が含まれる場合があります。 出席2/3以上、かつ、定期試験を100点満点で換算し、60点以上で単位を認定します。60点に満たない場合は再試験を原則1回のみ実施します。 追試験は正当な理由が認められた場合にのみ1回実施します。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 看護師・助産師免許を有し、病院看護師の実務経験がある教員が勤務経験を踏まえ、人間の生涯、成長・発達に関する基礎的な講義を行う。			
学生へのメッセージ 本科目は人間の一生の心と身体の発達や社会的側面の課題がテーマです。関連するニュースやカントトピックなどに関心を寄せ、自分自身の考えをもって臨んでください。			
オフィスアワー 事前にメールで確認してください。			
授業用連絡先（E-mail） hiroh@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題 セクシャリティの発達：高等学校生の性生活に関する研究			

〈教科書・参考図書〉

書 名	著者名	発行所	価格
看護のための人間発達	舟島なをみ	医学書院	3,240円
人間生涯発達論	服部祥子	医学書院	2,052円

コマ数	履修主題	履 修 内 容	担当 教員
1	授業ガイダンス	授業ガイダンスを行う	長谷川
2	人間の発達と成長	「成長」「発達」の定義、Eriksonの「生涯発達」の概念を中心に学ぶ	長谷川
3	セクシャリティの発達	幼児期から老年期まで、生涯にわたるセクシャリティの発達、生殖における健康について学ぶ	巻島
4			巻島
5	受精期から胎児期の発育	受精期から胎児期の過程と発育、その環境としての母体について学ぶ	山内
6	出産期から新生児期の心と身体の発達	出産期から新生児期の心と身体の発達について学ぶ（未熟児、分娩障害、愛着と愛着障害、幼児虐待）	山内
7		乳幼児期の形態・機能の発達について学ぶ	未定
8	乳幼児期、思春期の心と身体の発達	乳幼児期の心理・社会性の発達について学ぶ	未定
9		思春期の心と身体の発達について学ぶ	未定
10	成人期・壮年期の心と身体の発達	成人期・壮年期の身体の発達について学ぶ	小田嶋
11		成人期・壮年期の心の発達について学ぶ	小田嶋
12	更年期の心と身体の発達	壮年期の心と身体、社会的側面の特徴について学ぶ	山内
13			野中
14	老年期の心と身体の発達	人生の総括の時期を迎える高齢者の発達と健康寿命の維持について学ぶ	牧野
15			牧野

17. 地域看護学（必修）

担当教員	◎塩川 幸子、水口和香子		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第1学年	後期	1単位	15コマ
履修目的・授業概要 DP①②			
<p>地域看護は、病人の訪問看護活動に由来し、19世紀中頃に1つの地域（イギリスのリバプール）での組織的な活動に始まるとされる。その背景には、ナイチンゲールが既に看護の領域に病院看護とともに地域看護を位置づけたこと、病院・施設あらゆる地域での看護活動が網羅されるもので、人々が地域・病院・施設いずれにあって、必要なときに必要な看護が継続的に総合的に提供される看護のしくみ、保健医療福祉ネットワークされたシステムを看護でつくり出すことの重要性を理解する。看護師、保健師、助産師はPHCに基づく看護活動の必要性を理解する。</p> <p>ここでは地域看護の概念を広く捉えることとする。</p>			
到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域看護は、地域で生活している人々の健康やQOLの向上を目指した活動であることを理解する。 ・保健師・助産師・看護師の看護職がこぞって協力し合い、地域の中で看護をとおして住民の健康を守ることを理解する。 ・地域特性（地域医療含む）をふまえ、地域で生活する人々の看護のあり方について深める。 			
授業の形式			
講義、グループワーク、地域で活動する看護職へのインタビューを行う。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量			
世の中の移り変わり、人々が生活するということについて考えをまとめておくこと。毎回の講義終了後、履修主題について自分の考えをまとめておくこと。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数）			
<ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は、出席（15%）、レポート（20%）、試験（65%）から総合的に評価します。 ・2/3以上の出席かつ計100点のうち60点以上を合格とする。 ・追再試は1回とする。 			
実務経験のある教員等による授業科目			
該当する			
有する実務経験と授業への活用			
保健師免許を有する教員が保健所や地域包括支援センターでの実務経験を踏まえ、地域を基盤とした看護の講義を行う。実際に地域で活動する看護職も授業に参画する。			
学生へのメッセージ			
地域を対象とした看護とは、地域社会における人々の生活・暮らしを基盤にした看護とは、健康な人への看護とは何か…と次々に疑問が湧くことを望んでいます。			
オフィスアワー			
月～金 事前にメール頂けると確実です			
授業用連絡先（E-mail）			
shio32@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題			
保健師の家庭訪問、地域包括ケア			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(参) 看護師教育のための地域看護概説	眞船拓子編集	ヌーベルヒロカワ	2,100円
(参) ナイチンゲール著作集第2巻	薄井担子訳	現代社	3,672円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	なぜ地域を基盤とした活動が重要か	学生が住んでいた「地域」に着目し、あらゆる健康段階の人々が懸命に生きていること、地域を基盤にした活動の重要性を学ぶ。	塩川
2	地域看護活動と看護理論	ナイチンゲールの看護理論から地域看護の原点を学ぶ。北海道巡回看護師制度をとおして地域看護の原点を学ぶ。	〃
3	〃	地域看護の基盤となる主要概念プライマリヘルスケア、ヘルスプロモーション、ノーマライゼーション等について学ぶ。	〃
4	地域看護と公衆衛生看護	「地域看護とは何か」のコンセンサスは得られていない現状であるが、相違点・類似点・関連性等について学ぶ。	〃
5	地域看護活動の展開	地域看護活動の展開過程を理解する。	〃
6	地域看護の対象としての個人・家族	地域での生活者としての健康・生活を見る視点、家族をみる視点をとおり家族支援の意義について学ぶ。	〃
7	〃	〃	〃
8	地域看護の行われる場の活動と特質①	地域看護活動分野・活動対象・活動方法について具体的に理解する。	〃
9	地域看護の行われる場の活動と特質②	地域看護活動の実際について理解する。（インタビューの準備）	〃
10	〃	地域看護活動の場へ出向き看護職へのインタビューを行う。	地域看護職 塩川
11	〃	〃	〃
12	地域看護の行われる場の活動と特質③	インタビュー結果の報告会	塩川 水口
13	〃	〃	〃
14	地域看護活動における技術	地域で行われる家庭訪問、健康相談、健康診査、健康教育、地区組織活動の基本と看護職の連携調整技術を学ぶ。	塩川
15	地域看護の展望	地域特性（地域医療含む）をふまえ、地域で生活する人々のニーズに添う看護のあり方について探求する。	〃

18. 早期体験実習Ⅰ（コミュニケーション、プロフェッショナルリズム）（必修）〔地域医療・社会福祉・保健行政・コミュニケーション・プロフェッショナルリズム〕

担当教員	◎野津 司（地域医療教育学）、 教育センター 地域医療教育部門、 野中 雅人（高齢者看護学）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第1学年	前期	1単位	32コマ
履修目的・授業概要 DP①③④⑤ 早期体験実習Ⅰは、医学生、看護学生の早期に医療・保健・福祉について基本的な事柄を学び、医療者として必要な能力・行動規範に対する関心を高める演習です。医学科・看護学科の合同科目です。			
到達目標 将来活動する、地域に根差した質の高い医療者となるために、地域社会における医療・保健・福祉の役割を学び、医療者に必要とされる能力や行動規範を理解する。 【行動目標】 (1)高齢者や介助が必要な人の視点に立ち、個別のケースでふさわしい支援方法を見つけることができる。 (2)医科大学で学ぶ学生にふさわしい、安全な行動ができる。 (3)医療・保健・福祉の現場において多職種関連が必要な理由を説明できる。 (4)実習を通して学んだ事柄から、自分自身の将来あるべき医療者の姿を説明することが出来る。			
授業の形式 授業は全て Zoom 及び manaba を使って行います。 (1)グループワーク：Zoom のブレイクアウトルームあるいは Manaba のプロジェクト機能（チームスレッド）を使って、各テーマについて議論します。 (2)学内演習：学外施設実習で必要となる可能性がある項目のうち、高齢者体験・食事介助・車椅子・標準手洗いについても同様な形式で学習します。 (3)反プロフェッショナルリズムに関するワークショップ：反プロフェッショナルリズムに関するワークショップに参加し、医療者としての行動規範・倫理観について考察します。 (4)発表会：各班に与えられた課題についてまとめたことを発表し、情報の共有と意見交換を行います。 (5)各自で思い描いた医療者としての将来像を、レポートにまとめて提出します。なお授業の内容や形式は、変更されることがあります。変更する場合は随時 manaba でお知らせします。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 参考書としてあげた「アカデミック・スキルズ」などの大学でも学び（高等教育）に必要な情報が書かれた書籍を読了しておくこと。大学での学び方をすでに理解していることを前提に評価を行います。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） 成績評価には、出席は2/3以上必要です（原則は全て出席）。 講義科目については補講なしですが、アンプログループワーク（3コマ）は必須授業とします。必須授業では、欠席理由が妥当な場合は補講を行います。補講を受けることで、休んだ時間の2/3の出席を認めます。なお公休の場合は、その届け出を行い、補講を受けることで全て出席とします。 小テスト 得点率60%以上 レポート 成績ラベルC以上 報告会の発表 合否で判定し合格が必須 3つの評価項目全てで合格レベルに達している場合に単位を認定します。成績は合格・不合格でつけられます。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 医師免許、保健師免許、看護師免許を有し、大学病院や地域医療施設等で複数年の勤務経験を有する教員が、臨床・教育の実務経験に基づき授業を行う。			
学生へのメッセージ 早期体験実習は、学外実習で病院・診療所・介護施設などの医療福祉現場に接することで、医療者としての必要な資質・行動規範を身をもって体験することが目的です。残念ながら今年度は実習を行えません。自己学習を通じて、可能な限り「必要な資質・行動規範」を理解できるように組んであります。しかしながらすべてを網羅することはできません。参考書を読むことで理解を深めることを期待します。			

オフィスアワー 事前にメールで確認し、予約してください。質問は manaba でも受け付けます。
授業用連絡先（E-mail） tmozu@asahikawa-med.ac.jp
担当教員の研究と履修主題 ・小規模自治体の地域包括ケアシステムに関する研究（藤井智子） ・食事のケアに関する研究（山根由起子） ・地域在住高齢者の呼吸筋訓練に関する研究（野中雅人）

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(参) 実践！患者満足度アップ	前田 泉	日本評論社	1,600円+税
(参) チーム医療とは何か	細田 満和子	日本看護協会出版社	2,592円
(参) 超高齢社会の基礎知識	鈴木 隆雄	講談社現代新書 (電子書籍あり)	648～799円 +税
(参) アカデミック・スキルズ(第2版) —大学生のための知的技法入門	佐藤 望 他	慶応義塾大学 出版 会	1,000円+税
旭川医科大学病院 院内感染対策 マニュアル Ver4 2014改訂版	旭川医科大学病院 感染制御部	旭川医科大学病院 ホームページ内	無料(学内限定)

日時	コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
2025/4/30	4	ガイダンス レポートの 課題と書き 方	講義	野津
	5	高齢者との コミュニケーション	講義	野中
2025/5/7	4	Topic1	GW	佐藤、 その他 参加可 能者
2025/5/12	4	医師の養成 課程	講義	野津
2025/5/13	1	車椅子演習 について	講義+GW	野津、 その他 参加可 能者
	2	高齢者体験 について	講義+GW	藤井、 その他 参加可 能者
	3	食事のケア について	講義+演習	山根、 その他 参加可 能者
	4	看護職の養成 課程	講義	山根
	5	医師のキャ リア	講義	野津

早期体験実習Ⅰ（コミュニケーション、プロフェッショナルリズム） 第1学年・前期・32コマ（必修）

日時	コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
2025/5/14	1	保健・福祉行政	講義	西條
	2	介護施設・制度	講義	齊藤
	3	地域包括ケア	講義	藤井
	4	養育と療育～地域で育む環境	講義	井上
	5	地域医療連携	講義	佐藤
	6	連携とはなにか？失敗例から学ぶ	講義+GW	井上、その他参加可能者
2025/5/15	1	アンプログループワークの進め方	講義+GW	野津
	2	GW	GW	野津
	3	GW+発表	GW	野津
	4	実習施設の職員に聞く	GW	野津
	5	実習施設の職員に聞く	講義	野津
	6	実習施設の職員に聞く	講義	野津
2025/5/16	1	発表会について	講義	教育センター
	2	発表会準備GW1	GW	教育センター
	3	発表会準備GW2	GW	教育センター

日時	コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
2025/5/16	4	発表会準備GW3	GW	教育センター
	5	発表会準備GW4	GW	教育センター
2025/5/19	1	発表会1	GW	佐藤、その他参加可能者
	2	発表会2	GW	佐藤、その他参加可能者
	3	発表会3	GW	佐藤、その他参加可能者
	4	発表会4	GW	佐藤、その他参加可能者
	5	発表会5	GW	佐藤、その他参加可能者
	6	まとめ	講義	佐藤、その他参加可能者

19. 基礎看護学実習 I (療養生活の理解) (必修)

担当教員	◎網元 亜依、神成 陽子、升田由美子、 一條 明美、他		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第1学年	前期	1単位	40時間
履修目的・授業概要 DP①②③④⑤			
1. 患者の生活（入院前・退院後を含む）を理解する。 2. 患者が受けている看護を理解する。 3. 看護実践に必要な態度を身につける。			
到達目標			
1. 患者の生活（入院前・退院後を含む）を理解する。 1) 患者の生活（入院前・退院後を含む）を全体的に把握し、述べることができる。 2) 患者が生活している環境を把握し、述べるができる。 3) 身体的・心理的・社会的側面から統合体である患者の生活について考え、述べるができる。 4) 患者の入院生活と看護について自分の考えを述べるができる。 2. 患者が受けている看護を理解する。 1) 看護援助を受けている患者、患者の反応を観察し、表現することができる。 2) 看護援助の意図を踏まえ、自分の考えを表現することができる。 3) 実践されている看護の安全・安楽・自立について統合し、述べるができる。 4) 看護実践におけるコミュニケーション（患者－看護師間、看護師－看護師間、患者－学生間）の重要性を述べるができる。 5) 医療がチームで実践されていることについて述べるができる。 3. 看護実践に必要な態度を身につける。 1) 看護実践の見学や体験を通して患者の安全・安楽・自立について考え、看護師のとるべき行動について述べるができる。 2) 看護チームにおける連絡・報告の重要性を理解し、行動できる。 3) 看護学生として倫理的な行動をとることができる。			
授業の形式			
実習ガイダンス：①基礎看護学実習 I の概要（目的・方法）、②看護学生の倫理行動規準、③実習時に必要な感染予防行動について行う。病院実習：10グループに分かれ、看護師と共に行動し、看護実践場面・入院患者とのコミュニケーションの見学・体験、グループで学びの共有、実習記録の記述を行う。旭川医科大学病院および患者総合サポートセンターの看護活動について学ぶ。報告会：実習最終日に各グループの実習の学びを報告・共有する。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量			
臨地看護学実習はこれまでに学習した知識を全て用い、実際の臨床の場で学ぶ。そのためには学内での学習を十分行うことが必要となる。看護とは何かを自分の言葉で説明できる、統合体としての人間と生活、コミュニケーション、バイタルサインの観察・生活環境・活動と休息に関する情報収集項目とアセスメントの視点を頭に入れ実習に臨む。ガイダンスは実際の臨床の場で行う上での準備となり、不可欠なものであるため必ず出席する。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数）			
1. ガイダンス・病棟実習状況（出席を含む）・実習記録：70点（ルーブリック評価） 2. 実習レポート：15点（ルーブリック評価） 3. 報告会参加状況：15点（ルーブリック評価） 2/3以上の出席かつ上記総合点が60点以上で単位を認定する。原則として3分の1以上の欠席の場合は評価対象とならない。実習記録の提出が遅滞した場合は減点対象とする。原則、再実習は行わない。			
実務経験のある教員等による授業科目			
該当する			
有する実務経験と授業への活用			
看護師免許を有し、大学病院で看護師として実務経験（8年間）のある教員が、その経験を活かして、患者の生活の理解・患者が受けている看護の理解に関する考え方について指導を行う。			

学生へのメッセージ
初めての臨地看護学実習はみなさんの看護観の土台を培うものです。大変緊張する場面が多いですが、学内での学習を基礎にして、多くを学び、看護の素晴らしさ、厳しさを肌で感じ、看護への学び・看護職へのモチベーションが高まることを期待します。
オフィスアワー
質問がある際は研究室に訪問もしくはメールで連絡ください。
授業用連絡先（E-mail）
march22@asahikawa-med.ac.jp（科目責任者：網元）
担当教員の研究と履修主題
看護学生の倫理的行動：看護学生の倫理観育成に関する研究

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	実習ガイダンス	実習心得 臨地看護学実習における健康管理 実習概要説明	網元 神成 升田 一條 他
2	"	実習概要説明 実習グループ別ガイダンス	
3			
4	"	看護実践に必要な基本的態度・倫理的な行動 グループ毎に課題の発表・共有 実習病院の紹介 臨地看護学実習における感染予防	
5			
6～33	病院実習および学内実習	臨地看護学実習実践編・実習要項参照	"
34～40	全体報告会	各グループの実習の学びを報告・共有する。	"

20. 地域包括ケア論 I (地域の理解) (必修)

担当教員	◎山根由起子、升田由美子、菅原 峰子、塩川 幸子、苫米地真弓、神成 陽子、巻島 愛、牧野 志津、山口 希美、山田 咲恵、吉原 茉寿、他看護学科教員全員、非常勤講師		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第1学年	通 年	1 単位	15コマ
履修目的・授業概要		DP①②	
履修目的 住み慣れた地域で暮らし続けるために必要な支援を、発達段階や健康レベルを考慮しながら理解し、地域包括ケアについての主体的に学ぶ。 授業概要 少子高齢社会の進展に伴い、医療提供のシステムや場所が変化し、人々の生活スタイルも多様化している。多様な価値観やニーズを理解し、地域社会での暮らしを支え合う視点から看護を考える能力と課題解決への意欲を育む。			
到達目標 1. 地域包括ケアに関する知識を得て説明できる。 2. 地域の特性を示し、暮らす人々の支援の必要性を検証する。 3. 地域特性把握の情報を整理、分析、統合して地域に必要なことを論理的に発展的に述べる。 4. 地域住民にとっての健康にも影響することは何か解釈する。 5. 可能な範囲で地域活動へ参加する。			
授業の形式 対面授業や地域に向向いて実際を見たり経験をする。地域包括ケアの実践者による講義を行う。グループワークで学生同士の学習を深め、グループ内で話し合ったことをまとめて発表することにより学習内容を共有する。地域に向向き、生活に必要なことや不足していることなど情報を得る。学習者は課題の発表やレポートを作成する。地域活動に参加して報告書を提出する。			
準備学習 (予習・復習) 等の内容と分量 実際に見て聞いて感じて考えて、地域に必要なことを学習する。グループで地域に向向く計画をする。発表に向けたグループワークによる準備、適宜事前・後の課題を課す。文献や資料、発表による共有などから学んだことをまとめる。			
成績評価の方法と基準等 (合格基準、および追再試の回数) 成績評価対象者は、2/3 以上出席した者 *原則全て出席 ①出席姿勢・学習態度：10% 授業出席13コマと、地域活動1回につき1コマ分とカウントし2回参加し2コマ、合計15コマ なお、地域活動は行先や内容によって活動の時間は異なる。地域活動参加希望者は3回以上参加しても良くその姿勢は成績や4年間の実績に反映される。 ②課題レポートなど提出物：60% 課題やレポート提出については、事前に掲載するため確認すること 地域活動の報告書も提出物評価に含まれる 注意事項：提出遅滞は減点、提出物の未提出者はゼロ点とする ③グループ発表：30% ①②③の合計100点のうち60点以上を合格とする。「秀」は5%以内、「秀・優」の合計は「良・可」の合計を超えない、「可」は「良」の割合以下とする。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 看護師・保健師免許を有し、病院や地域看護の経験を複数年有する教員が、その経験を活かして基本的な知識と手法、考え方について授業を行う。			
学生へのメッセージ 学生が地域住民の一員として地域包括ケアに携われることは何でしょうか。自ら気づき、行動できることは何でしょうか。地域の人々のニーズを把握し、どのような支援がその人らしく暮らし続けるために必要か学習しましょう。			
オフィスアワー 事前に連絡を取ってください。			
授業用連絡先 (E-mail) yamane@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題 升田由美子：看護系大学「地域包括ケア」人材育成プログラム 山根由起子：地域在住高齢者のフレイルに関する研究			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 共生社会をめざす地域包括ケア論	王麗華 (編)	メヂカルフレンド社	2,500 円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス・地域包括ケア論	4年間で学ぶ概要を把握、1年生の学習内容を知る。地域包括ケアシステムの概念や役割、ICF 概念を学び、超高齢・少子社会の現状と今後の予測をデータから理解する。また、学生が参加する活動内容を知る。	山根
2			山根
3	担当地域の理解	チーム (各地域) について先輩の2年生から説明を受ける。	山根 他
4	地域包括ケアシステムの理解	グループで地域包括ケアに関する用語について調べ、発表に向けてパワーポイントにまとめる。	山根
5			山根
6	各役割の学習	グループワークで学習した内容を発表し共有する。地域包括ケアの中で担う役割や意味を理解する。	山根 他
7	地域包括ケアに関する実践役割	実践者のシンポジウムからこれまでの学習の確認や質問を通して、地域包括ケアの理解を深める。	非常勤 山根 他
8	地域体験	地域特性把握 グループで計画する。	山根
9		グループで計画する。 計画したグループは地域に向向く。	山根
10		地域特性把握に向向く。	山根
11		グループで把握したことをまとめる。	山根
12		地域活動への参加 2回以上 時間割にかかわらず、地域のイベントに合わせて活動に参加する。地域住民の生活を知る意図をもって参加し、必ず地域住民と交流する。活動内容や得られた情報などからの学びや感想を報告書にまとめる。	山根
13			
14	地域体験報告	地域特性把握 (地域生活体験) 発表会 グループで報告する。 1年生と2年生の合同発表会	山根 他
15			

必修科目

【第2学年】

21. 英語ⅡA・ⅡB (必修)

担当 教員	◎桑名 保智、柳澤 國雄、 Gwendolyn Gallagher (非常勤)		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第2学年	前期	1単位	30コマ
履修目的・授業概要 DP③ 本授業は日本人教員担当のクラスと外国人教員担当のクラスに展開することにより、受講者が英語の基礎的な四技能をバランスよく習得することを目的とします。 ≪履修目的≫ 【桑名・柳澤】グローバル化に対応した、基礎英語力を身につけることです。 【Gallagher】We will practice conversations in clinical situations. We will use an English textbook for health professionals, and students will prepare for class by completing listening exercises for homework with the accompanying CD. There will be an oral term test if conditions permit.			
到達目標 【桑名・柳澤】映画『最高の人生の見つけ方』を教材として使用し、 1) 医療関係の語句を習得する、 2) 英語の聞き取りができる、 3) 英語を正確に理解できる。 【Gallagher】Students will be able to describe and query basic symptoms, give basic instructions as will be useful in a physical examination, and express some of the actions they might perform while dealing with patients.			
授業の形式 【桑名・柳澤】映画の指定された範囲について、語彙、内容理解、リスニングなどの課題に取り組みます。 【Gallagher】We will be using a medical English textbook with accompanying CD, and a dictionary will be useful. We will occasionally vary our lesson by using supplementary material. If and when we have face-to-face classes, we will begin each class with news and seasonal, nonmedical topics.			
準備学習 (予習・復習) 等の内容と分量 【桑名・柳澤】1時間程度の予習が必要です。 【Gallagher】Before each class, students should review the exercises in the textbook covered in the previous lesson. When assigned, students should complete listening homework using the textbook and accompanying CD. Students will also prepare questions for American nurses and study the resulting answers for a quiz. We will have an opportunity to talk about news, small or large, personal or public, at the beginning of each class. In order to participate, students should reflect on recent happenings in their life before each class and think about how to explain them in English. Students should expect to do about one hour of preparation.			
成績評価の方法と基準等 (合格基準、および追再試の回数) 8/31までに ALC「英単語パワーアップコース医学・医療編:5. 看護とケア」を終了させていることを単位認定の前提とします。日本人教員及び外国人教員が下記の要領で算出したスコアの合計を100点満点に換算し評価します。 【秀】90点以上かつ上位5%、【優】80点以上、【良】79点~70点、【可】69点~60点 【桑名・柳澤】小テスト6回(30点)+試験(70点) 【Gallagher】Classperformance (70%), test (30%)			
実務経験のある教員等による授業科目 該当しない			
有する実務経験と授業への活用			
学生へのメッセージ 授業内の学習だけでは英語力がつくことはありません。各自意欲的に取り組んでください。			
オフィスアワー 【桑名・柳澤】事前にメールで確認してください。 【Gallagher】Ask questions in class, after class, or email me.			
授業用連絡先 (E-mail) yasukuwa@asahikawa-med.ac.jp ggallagher.amu@gmail.com			
担当教員の研究と履修主題			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) Vital Signs < Revised Edition >	Morooka	南雲堂	2,200円(税別)

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1~3	ガイダンス	・履修上の注意、確認テスト、映画 Chapter 6 まで視聴	桑名柳澤
		・ Getting to Know You: Class Mechanics ・ Unit 1 Hospital Departments (English names of departments and medical specialties)	Gallagher (非常勤)
4~6	総合演習	映画 Chapter 7 ~ Chapter 22 視聴	桑名柳澤
		・ Unit 1 Hospital Departments (English names of departments and medical specialties)	Gallagher (非常勤)
7~9	総合演習	小テスト、映画 Chapter 1 ~ Chapter 3 の学習	桑名柳澤
		・ Unit 3 Parts of the Body (Introduction to symptoms)	Gallagher (非常勤)
10~12	総合演習	小テスト、映画 Chapter 4 ~ Chapter 6 の学習	桑名柳澤
		・ Unit 4 Illnesses (more symptoms)	Gallagher (非常勤)
13~15	総合演習	小テスト、映画 Chapter 7 ~ Chapter 9 の学習	桑名柳澤
		・ Unit 5 Daily Routine (Anticipating and answering inpatient questions)	Gallagher (非常勤)
16~18	総合演習	小テスト、映画 Chapter 10 ~ Chapter 13 の学習	桑名柳澤
		・ Unit 5 Daily Routine (Anticipating and answering inpatient questions)	Gallagher (非常勤)
19~21	総合演習	小テスト、映画 Chapter 14 ~ Chapter 17 の学習	桑名柳澤
		・ Unit 5 Daily Routine (Anticipating and answering inpatient questions) ・ Unit 6 Hospital Objects (tools that nurses use)	Gallagher (非常勤)
22~24	総合演習	小テスト、映画 Chapter 18 ~ Chapter 22 の学習	桑名柳澤
		・ Unit 6 Hospital Objects (tools that nurses use) ・ Unit 8 Hospital Directions (giving simple instructions to patients)	Gallagher (非常勤)
25~27	総合演習	復習	桑名柳澤
		・ Unit 8 Hospital Directions (giving simple instructions to patients) ・ Review	Gallagher (非常勤)
28~30	試験	試験	桑名柳澤
		Test	Gallagher (非常勤)

22. 統計学（必修）〔統計学入門、データサイエンス基礎〕

担当 教員	◎加藤 勲		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第2学年	前期	1単位	15コマ
履修目的・授業概要			DP③
【履修目的】 医学、看護学を学習する上で、収集したデータを統計学的に処理する技術は基本的素養の一つです。また、技術だけでなく、データを扱う上での注意点（情報倫理）を学ぶことも重要です。近年では、それらを包括したデータサイエンスが重視されています。本講義では、看護統計学を軸として、データサイエンスの基礎を展開します。統計学では、高校数学の確率統計から、t検定、カイ二乗検定等の統計的仮説検定の基礎まで解説します。また統計処理ソフト（SPSS）を利用して、より実践的なノンパラメトリックな検定手法等も学びます。さらに、データ、AI活用、データリテラシーなどを学習します。なお、本講義は数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）の対象科目です。			
到達目標 ・ 順列、組み合わせ、確率を計算できる ・ 平均値、分散などの基本的な統計量を計算する ・ 記述統計学（観測データの特徴を知る）を理解する ・ 正規分布を学び、分布表をもとに知りたい情報を取り出せる ・ カイ二乗検定、t検定などを用いた検定手順を学習、理解する ・ SPSSを用いてヒストグラム、散布図などの基本的なグラフを出力し、分析できる			
授業の形式 対面授業、場所は以下の予定です： ・ 初回から8回程度は看護学科棟2階 講義室B、座学 ・ 9回目から14回目は看護学科棟2階 情報処理実習室（第1） ・ 15回目は未定（manabaにて掲示） ただし、座学の進行状況によっては情報処理実習室での講義回数が増える可能性があります。また、出席カードにより出欠確認をします。なお、15回目に期末試験を実施予定です。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 授業内容を理解するために予習を適宜行うことが望ましいです（教科書は指定しないのでどのテキストを使っても構いません）。復習については、講義資料をmanabaにあげる予定なので役立ててください。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） レポート、期末試験、出席状況を総合的に判断し、5段階評価します。それぞれ30%、60%、10%程度で、合計して60%以上なら合格です。合計が60%未満ならば、再試験を1度行う予定です。なお期末試験を受けるには3分の2以上の講義出席が必要です。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当しない			
有する実務経験と授業への活用			
学生へのメッセージ 講義はできるだけ丁寧に行うつもりですが、高校の時と比較するとスピードが速く感じられるかもしれません。質問があればいつでもしてください。また自分の使いやすいテキストを探して勉強すると良いでしょう。			
オフィスアワー 気軽に訪問してください。			
授業用連絡先（E-mail） isao_kato_84@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(参) やさしい保健統計学	縣 俊 彦	南 江 堂	1,800円
(参) はじめてのデータサイエンス	滋賀大学など	学 術 図 書	1,900円

コマ数	履修主題	履 修 内 容	担当 教員
1	記述統計と確率分布	記述統計量	加藤
2	記述統計と確率分布	度数分布表、ヒストグラム、散布図、相関係数、線形回帰	〃
3	記述統計と確率分布	確率、確率変数、確率分布、二項分布、正規分布	〃
4	記述統計と確率分布	標準正規分布の引き方、標準化	〃
5	推測統計	母集団と標本、母平均の区間推定	〃
6	推測統計	仮説検定の考え方、母平均の検定	〃
7	推測統計	t検定、カイ二乗検定	〃
8	データサイエンス	ビッグデータ、IoT、AI、オープンデータ、AI活用事例	〃
9	データサイエンス	ELSI、データ倫理、情報セキュリティ	〃
10	統計ソフト	SPSSの使い方	〃
11	統計ソフト	基本統計量の計算、データの可視化、ヒストグラム、散布図	〃
12	統計ソフト	2群間の比較、ノンパラメトリック検定	〃
13	統計ソフト	分割表の検定	〃
14	統計ソフト	クラスカル・ウォリス検定	〃
15	まとめ	まとめ	〃

23. 病理学各論（必修）〔病理学、臨床医学、疾患、病態〕

担当教員	◎平 義樹（看護学講座）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第2学年	後期	1単位	15コマ
履修目的・授業概要 DP③ 本科目はディプロマポリシーの主に「幅広い教養を身につけ、看護の専門的知識を習得している。」を実践するための科目です。看護師の業務は「医師の行う医療行為の補助」と「患者の療養上の世話」であり、患者の抱える「疾患」すなわち「医学」の知識が不可欠です。その医学の中核・礎をなすのが「病理学」で、本学科はそれを学ぶために開設されています。病理学は疾病の成り立ちを明らかにする学問であり、診療に直結する「臨床医学」の根拠となります。本科目では、1年後期に履修した「病理学総論」の知識を基盤とし、重要な疾患の概念・病因・病態・病理組織学的事項・臨床的事項について臓器ごとに学んでいきます。			
到達目標 1. 各臓器に発症する主要疾病の原因、発症メカニズム、形態学的変化および機能的変化、臨床的事項を説明出来る。 2. 1を踏まえて、病んでいる患者の全体像を理解出来る。			
授業の形式 B講義室にてPCを用いた講義を行います。出欠は出席カードの提出によって確認します。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 manabaのR7病理学各論コースより講義資料をダウンロードし、各自授業に備えてください。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） 「評価方法」：定期試験（80%）＋出席点（20%）で評価 「評価基準」：原則として定期試験＋出席点が60%以上を及第とします。ただし、2/3以上の出席が必要です。追再試・レポート提出などの救済措置あり（各1回）。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 学位を有し、長年基礎医学教育に従事してきた教員が講義を行います。			
学生へのメッセージ 各疾患の捉え方、エッセンスを解説していきます。履修内容を理解する上で1年生で学んだ解剖学・生理学・生化学・病理学総論の知識が必要になってきますので、適宜復習してください。本学科は同時に始まる臨床病態治療学の基礎になります。			
オフィスアワー 事前にメールで確認し、予約して下さい。			
授業用連絡先（E-mail） コーディネーター hira@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題 担当教員の研究テーマに関連する履修主題はありません。			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 系統看護学講座 病理学	大橋 建一	医学書院	2,400円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	各論① 循環器疾患	血管および心臓疾患の病因・病態・病理組織学的特徴、臨床的事項について学ぶ。学習する疾患群を以下に示す。 血管の疾患／先天性心疾患／虚血性心疾患／心筋症／心膜の疾患／弁膜症／不整脈	平
2			
3			
4	各論② 血液・造血器系の疾患	代表的な血液・造血器系疾患（貧血／白血病／悪性リンパ腫）および免疫不全症、敗血症などの病因・病態・病理組織学的特徴、臨床的事項について学ぶ。	平
5	各論③ 呼吸器系の疾患	頭頸部を含む気道・呼吸器系に発症する代表的疾患について、その病因・病態・病理組織学的特徴、臨床的事項について学ぶ。学習する疾患を以下に示す。 肺炎／気管支喘息／肺塞栓症／肺がん／悪性胸膜中皮腫	平
6			
7	各論④ 消化器系の疾患	食道～大腸に至る消化管、肝臓・胆管系、膵臓に発症する代表的疾患について、その病因・病態・病理組織学的特徴、臨床的事項について学ぶ。学習する疾患を以下に示す。食道がん／胃がん／大腸がん／炎症性腸疾患／肝炎／肝硬変／肝がん／胆石症／膵炎／膵がん	平
8			
9	各論⑤ 腎・泌尿器・生殖器系および乳腺の疾患	腎・泌尿器系、生殖器系、乳腺に発症する代表的疾患について、その病因・病態・病理組織学的特徴、臨床的事項について学ぶ。学習する疾患の一部を以下に示す。糸球体腎炎／腎不全／腎細胞がん／尿路がん／前立腺がん／子宮頸がん／子宮体がん／卵巣腫瘍／乳がん	平
10			
11	各論⑥ 内分泌系の疾患	内分泌器官の代表的疾患について、その病因・病態・病理組織学的特徴、臨床的事項について学ぶ。学習する疾患の一部を以下に示す。 下垂体腺腫／尿崩症／パセドウ病／橋本病／甲状腺がん／アジソン病／原発性アルドステロン症／クッシング症候群／褐色細胞腫	平
12			
13	各論⑦ 脳・神経・筋肉系の疾患	脳・神経系および筋肉系の代表的疾患（脳血管障害／感染症／神経変性疾患／脳腫瘍など）の病態について学ぶ。	平
14			
15	各論⑧ 骨・眼・耳・皮膚の疾患	骨・関節系、感覚器、皮膚の代表的疾患（骨折／関節リウマチ／骨肉腫／緑内障／白内障／中耳炎／皮膚腫瘍）の病態について学ぶ。	平

24. 薬理学 (必修)

担当 教員	◎結城 幸一、中山 恒、田崎 嘉一、 津村 直美		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第2学年	後期	1単位	15コマ
履修目的・授業概要 D P ③ 薬物の生体への薬理作用を理解する。これには、薬物の用量と作用の関係、薬物の作用機構や薬物の副作用などが含まれる。次いで、これらの基本をふまえて、各臓器や器官系でのさまざまな疾患や病態に使用される薬物について理解を深めることを目的とする。			
到達目標 主な薬物の薬理作用について説明できる。この講義で扱う薬物は、抗感染症薬、消毒薬、免疫治療薬、抗アレルギー薬、抗炎症薬、末梢神経作用薬、中枢神経作用薬、心血管系作用薬、呼吸器作用薬、消化器作用薬、物質代謝作用薬、抗がん薬である。			
授業の形式 全員登校による対面授業を原則とする。講義は、教科書に沿って進められるが、理解を深めるために関連資料 (manaba に提示) も使用する。			
準備学習 (予習・復習) 等の内容と分量 ・講義は、効率良く進めるために、教科書を一度読んでいることを前提に行われる。よって各講義の履修主題に関係する教科書の分野を、講義の前に必ず一度読んでおくこと。 ・講義終了後は、配信した講義資料を参考に教科書をもう一度読み、各単元末の work を行い、内容の理解を深めること。			
成績評価の方法と基準等 (合格基準、および追再試の回数) 筆記試験の受験資格として授業時間数の3分の2以上の出席率は必須とする。出席点は、出席カード (講義室で配付) の提出をもって加点していく。登校しての定期試験ができなくなった場合は、再度成績評価の基準を見直し、その時点で可能な方法に変更し、manaba で周知する。筆記試験問題は、講義の範囲内からほぼ均等に出题する。成績は筆記試験 (85%)、出席点 (15%) の合計で評価し、60%未満の場合は、再試験を1回実施する。ただし、筆記試験の得点率が60%以上であることを必須し、60%未満の場合は再試験の対象となる。必要な場合、追試験を1回行う。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 薬剤師免許を有し、病院薬剤師の実務経験がある教員が、大学病院等での多様な中枢神経疾患治療薬の開発経験を下に、中枢神経作用に関する基礎的な講義を行う。			
学生へのメッセージ 薬理学の教科書には膨大な数の薬物が記載されている。まず薬理学の基本と必要最低限の薬物を憶えるように努力してほしい。また、講義を効率的に進めるため、学生諸君の積極的な予備学習を期待する。			
オフィスアワー 結城: 13:00~18:00 (総合研究棟4階薬理学講座) 中山: 13:00~18:00 (総合研究棟4階薬理学講座) 田崎: 事前にメールしてからお越し下さい (病院薬剤部) 津村: 気軽に訪問して下さい (看護学科棟4階409号室)			
授業用連絡先 (E-mail) pharmacology@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題 ・抗アレルギー薬・抗炎症薬: プロスタノイドの生体における役割解明 ・中枢神経作用薬: パーキンソン病治療薬の開発			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 系統看護学講座 専門基礎分野薬理学	吉岡充弘他	医学書院	2,300円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	薬理学総論1	薬理学とは何か。その基本概念や方法論を理解する。また、薬理作用の発現や薬物動態を学習する。	中山 (薬理)
2	薬理学総論2	薬効に影響を及ぼす様々な要因への理解を深める。薬物の有害作用について学ぶ。薬物の投与経路と特徴を理解する。	中山 (薬理)
3	抗感染症薬と消毒薬	感染症の治療薬としての抗感染症薬と、感染症予防に用いる消毒薬について学ぶ。	中山 (薬理)
4	免疫治療薬	免疫反応のしくみを理解し、それを基に免疫抑制薬、免疫増強薬について学ぶ。	結城 (薬理)
5	抗アレルギー・抗炎症薬	アレルギーや炎症の概念を理解し、抗アレルギー薬、抗炎症薬、痛風治療薬について学ぶ。	結城 (薬理)
6	末梢神経系作用薬	交感・副交感神経作用薬、筋弛緩薬、局所麻酔薬について学ぶ。	津村 (生命科学)
7	中枢神経作用薬1	中枢神経系に作用する薬物として、全身麻酔薬、睡眠薬と抗不安薬について学ぶ。	田崎 (薬剤部)
8	中枢神経作用薬2	中枢神経系作用薬として、抗精神病薬、抗うつ病、パーキンソン病治療薬、抗てんかん薬、麻薬について学ぶ。	田崎 (薬剤部)
9	心血管系作用薬1	心血管系作用薬として、抗高血圧薬、抗狭心症薬、心不全治療薬について学ぶ。	結城 (薬理)
10	心血管系作用薬2	心血管系作用薬として、抗不整脈薬、利尿薬、脂質異常症治療薬について学ぶ。	結城 (薬理)
11	心血管系作用薬3	血液作用薬、主に血液凝固関連薬、貧血治療薬について学ぶ。	中山 (薬理)
12	呼吸器作用薬	呼吸器作用薬、として喘息治療薬や鎮咳薬、去痰薬、呼吸促進薬などについて学ぶ。	結城 (薬理)
13	消化器作用薬	消化器作用薬として消化性潰瘍治療薬や、制吐薬、下剤、止痢薬などについて学ぶ。	結城 (薬理)
14	物質代謝作用薬	物質代謝作用薬として、糖尿病治療薬、骨粗鬆症治療薬や各種ホルモン製剤について学ぶ。	結城 (薬理)
15	抗がん薬	がん治療に用いられる薬物の抗がん作用のしくみを理解する。また、各抗がん薬の特徴について学ぶ。	結城 (薬理)

25. 感染制御学（必修）〔細菌、ウイルス、感染、予防〕

担当 教員	◎眞鍋 貴行、 原 英樹（微生物学講座）、 松田 泰幸（微生物学講座）、 吉田 逸朗（非常勤）、網元 亜依（看護学科）、 山口 希美（看護学科）		
	対象学年	開講期	単位数
	第2学年	前期	2単位
履修目的・授業概要 DP③ 感染症の原因である「病原体（細菌・ウイルスなど）」の生物学的性状を理解し、これら微生物の増殖と生体応答との相互関係から起こる感染症の発症機序を把握する。この基盤の上に、感染症治療学や、スタンダードプリコーションなど基本的な感染予防対策の概念と実際について理解し、院内感染や新興感染症の特徴・問題点と、その予防・管理についても学ぶ。			
到達目標 1. 細菌、マイコプラズマ、リケッチア、クラミジア、およびウイルスに属する病原微生物の性状を理解し、これらの微生物の増殖と生体応答との相互反応から起こる感染症の発症機序を理解出来る。 2. 主な感染症の治療法について説明できる。 3. 感染症の予防対策の概念と実際について説明できる。 4. 院内感染・新興感染症の特徴について説明できる。			
授業の形式 原則教室での対面授業です。 出席カードで出欠を取ります。 履修の順番はシラバスと異なる場合があります。manaba に提示する講義日程を参照してください。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 manaba の感染制御学コースより講義資料をダウンロードしておいてください。基本的には復習に重点をおく学習でいいですが、履修前に講義資料と教科書を読み、予習しておくことが望ましいです。 疑問点は manaba を通して質問するようにしてください。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） 「評価基準」：原則として定期試験の得点が60%以上で及第とします。ただし、30コマのうち20コマ以上の出席をしなければ受験することができません。 定期試験にて得点率が60%未満の場合は、再試験を1回実施する。 明確な理由により定期試験が受験できなかった者には追試験を実施する。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 長年、微生物や感染制御の教育に従事してきた講師によって、看護師に必要な感染制御に必要な基礎を講義する。			
学生へのメッセージ 感染症という疾病の成り立ちとその原因としての病原微生物や感染症に対して、実際に看護師が、どのような役割を果たすべきなのか、実践的な感染制御・管理を学ぶ学科です。目に見えないミクロの世界で何が起きているのか、学んでいきましょう。			
オフィスアワー 随時（コーディネーター）事前にメールもしくは manaba で連絡いただくとスムーズです。			
授業用連絡先（E-mail） tmanabe@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題 担当教員の研究テーマに関連する履修主題はありません。			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 系統看護学講座専門基礎分野 疾病の なりたちと回復の促進 [4] 微生物学	吉田 眞一 編	医学書院	2,420 円
(参) 休み時間の免疫学 (第3版)	斎藤 紀 先 講 談 社		2,200 円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	病原微生物学序論	ヒト病原体としての微生物の種類と生物界における位置を学習し、感染症成立に必須の3要素を把握する。	吉田 (非常勤)
2	細菌学総論 1 細菌の生物学	病原体としての細菌が、二分増殖する原核生物であることを理解し、細菌の分類、形態、構造の概要を把握する。	吉田 (非常勤)
3	細菌学総論 2 滅菌と消毒	高圧蒸気滅菌、ガス滅菌等の滅菌法、及び各種薬剤等による消毒法の原理を学習し、感染防御におけるスタンダードプリコーションの理念を理解する。	吉田 (非常勤)
4			
5	感染制御学 1 滅菌と消毒	滅菌と消毒について学ぶ。	網元
6	感染制御学 2 医療関連感染症対策の基本	手指衛生、個人防護具、スタンダードプリコーション、医療廃棄物、ワクチンと予防接種について学ぶ。	網元
7	細菌学総論 3 化学療法	細菌感染症に対する化学療法薬の作用機序を学習し、薬剤耐性菌出現機序並びに抗菌薬適正使用の理念を理解する。	吉田 (非常勤)
8	細菌学総論 4 細菌感染の成立と予防	病原細菌の侵襲作用と毒素産生性について学習し、細菌感染の成立が、病原細菌の毒力と宿主の抵抗力のバランスに依存することを理解して、細菌による医療関連感染症の発生防止対策に関する基本的知識を習得する。	吉田 (非常勤)
9	細菌学各論 1 病原球菌	代表的なヒト病原球菌であるスタフィロкокカス属、ストレプトкокカス属、ナイセリア属等の性状、並びにそれらによる感染症の概要を把握する。	吉田 (非常勤)
10			
11	細菌学各論 2 病原杆菌 (1)	代表的なグラム陰性病原杆菌である腸内細菌科、ビブリオ科、シュードモナス科、スピロヘータ科等の性状、並びにそれらによる感染症の概要を把握する。	吉田 (非常勤)
12	細菌学各論 3 病原杆菌 (2)	代表的なグラム陽性杆菌であるクロストリジウム属、コリネバクテリウム属、マイコバクテリウム属等の性状、並びにそれらによる感染症の概要を把握する。	吉田 (非常勤)
13	細菌学各論 4 マイコプラズマ、リケッチア、クラミジア論	マイコプラズマ、リケッチア、及びクラミジアの微生物学的特徴を学習し、これらによる主なヒト感染症の概要を把握する。	吉田 (非常勤)
14			
15	実習 1 細菌の接種	身近常在細菌を検出するために、各種材料を血液寒天平板培地に接種し、培養する。	吉田 (非常勤)

感染制御学 第2学年・前期・30コマ（必修）

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	細菌学実習1 細菌の接種	身近常在細菌を検出するために、各種材料を血液寒天平板培地に接種し、培養する。	吉田 (非常勤)
17	実習2 細菌集落の観察	培地上に形成された細菌等のコロニーを観察・スケッチし、常在細菌の存在を確認する。	吉田 (非常勤)
18			
19	ウイルス学総論1 ウイルスの生物学	濾過性病原体と呼ばれるウイルスの分類法、構造、増殖サイクルを細菌と対比しながら学習し、その生物学的特徴を把握する。	松田
20	ウイルス学総論2 ウイルス感染症の予防と治療(1)	ウイルス感染を制御する抗ウイルス薬の作用機序について理解する。	松田
21	ウイルス学総論3 ウイルス感染症の予防と治療(2)	ウイルス感染を予防するためのウイルスワクチン及びウイルス感染を診断するための検査法について理解する。	松田
22	ウイルス学各論1 RNAウイルス(1)	オルソミクソウイルス科、パラミクソウイルス科、ピコルナウイルス科に属する、代表的なヒト病原ウイルスの性状、感染様式と標的臓器、並びに病態を理解する。	松田
23	感染制御学3 医療器材別の医療関連感染対策	医療器材別の医療関連感染対策について学ぶ。	山口
24	感染制御学4 手術部位感染症対策	手術室の感染制御と手術部位感染症対策、血液・体液暴露対策について学ぶ。	山口
25	ウイルス学各論2 RNAウイルス(2)	トガウイルス科、フラビウイルス科に属する代表的なウイルスの性状、感染様式と標的臓器、並びに病態を学ぶ。	松田
26	ウイルス学各論3 RNAウイルス(3)	レトロウイルスについて、その感染の概要と起こす病気を把握する。	松田
27	ウイルス学各論4 DNAウイルス(1)	ポックスウイルス科、アデノウイルス科、パピローマウイルス科、ポリオーマウイルス科、パルボウイルス科について、それぞれの機構と特徴を理解する。	松田
28	ウイルス学各論5 DNAウイルス(2)	ヘルペスウイルス科のウイルスの構造と、その感染経路並びに潜伏感染機序を理解する。	松田
29	ウイルス学各論6 肝炎ウイルス、腫瘍ウイルス、及びプリオン	A、B、C、D、E型肝炎ウイルスの各々の特徴を理解する。腫瘍をおこすウイルスの種類とその発がん機序を理解する。プリオンについて、その概念と生化学的特徴を理解する。	松田
30	感染制御学5 看護師からみた感染制御	院内感染対策上の看護師の役割について学ぶ。	山口

26. 臨床病態治療学Ⅰ（精神・小児・婦人科系疾患）（必修）〔臨床医学、精神科、小児科、小児外科、婦人科、産科、麻酔科、手術と看護〕

担当 教員	◎看護学講座（眞鍋貴行） 精神医学（大宮友貴、菱山真広、吉原慎佑（非常勤講師））、外科学（血管・呼吸・腫瘍病態外科学分野）（石井 生）、小児医学（長森恒久、中右弘一、鈴木 滋、二井光鷹、竹口 諒、櫻井由香里）、産婦人科学（片山英人、吉澤明希子、水崎 恵）、麻酔・蘇生学（渡辺麻由、荒木 走）、歯科口腔外科学（佐藤栄晃、矢島優己）、看護部（山近真美）		
	対象学年	開講期	単位数
	第2学年	前期	2単位
			コマ数 30コマ
履修目的・授業概要 DP③ 本科目は健康障害を有する人に対する、健康回復のための看護ケアに必要な知識として、「臨床診断・治療学」について学ぶ。臨床病態治療学Ⅰでは、精神疾患、小児の疾患、婦人科系疾患、口腔外科的疾患、口腔ケア、麻酔科学に関する講義を展開する。講義では、各疾患の病因・概念・病態・診断法・治療法と、麻酔法や周術期の合併症について、現在の標準的な考え方に加え、最新の知見に基づいた up-to-date な内容、大学病院で行われる最先端の診療についても教授する。さらに産科領域の内容として、周産期の正常と異常、ヘルスプロモーションについて学修する。なお本科目は助産選択学生において、「助産診断・技術学」の妊娠・分娩・産褥期の生殖生理及び逸脱状態を理解するために必要な科目としても位置付けられる。			
到達目標 1. 主要な疾患の成り立ちが理解出来る。 2. 診断法の意味、適応を理解出来、診断への道筋を理解出来る。 3. 診断結果をもとに治療法の選択肢を列挙出来、それぞれの短所、長所を理解出来る。 4. 病期や予後判定などの意義が理解出来る。 5. 上記を統合し患者への援助を考えることが出来る。			
授業の形式 原則教室での対面授業です。 出席カードで出欠を取ります。 履修の順番はシラバスと異なる場合があります。manaba に提示する講義日程を参照してください。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 manaba の臨床病態治療学Ⅰコースより講義資料をダウンロードしておいてください。基本的には復習に重点をおく学習でいいですが、履修前に講義資料と教科書を読み、予習しておくことが望ましいです。 疑問点は manaba を通して質問するようにしてください。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） 「評価基準」：原則として定期試験の得点が60%以上で及第とします。ただし、30コマのうち20コマ以上の出席をしなければ受験することができません。 定期試験にて得点率が60%未満の場合は、再試験を1回実施する。 明確な理由により定期試験が受験できなかった者には追試験を実施する（届け出必要）。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 各領域とも臨床経験が豊富な講師によって、看護師に必要な臨床診断・治療について必要な基礎を講義する。			
学生へのメッセージ 専門基礎で得た解剖・生理・病理学の知識を復習・補強しつつ、将来皆さんが勤務するかもしれない病棟・診療現場の風を感じながら、臨床医学の神髄を学んでください。			
オフィスアワー 随時（コーディネーター）事前にメールもしくは manaba で連絡いただくとスムーズです。			
授業用連絡先（E-mail） tmanabe@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題 担当教員の研究テーマに関連する履修主題はありません。			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 看護のための臨床病態学 第5版	浅野 嘉延 編	南山堂	¥9,680
(参) 病気がみえる vol.9 婦人科・乳腺外科 第4版	医療情報科学研究所（編）	メディックメディア	¥3,630
(参) 病気がみえる vol.10 産科 第4版	医療情報科学研究所（編）	メディックメディア	¥3,960

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	気分障害	気分障害の診断・治療について学ぶ	大宮
2	神経症	神経症の診断・治療について学ぶ	大宮
3	認知症	認知症の診断・治療について学ぶ	菱山
4	統合失調症	統合失調症の診断・治療について学ぶ	菱山
5	てんかん	てんかんの診断・治療について学ぶ	吉原 (非常勤)
6	中毒症	中毒症の診断、治療について学ぶ	吉原 (非常勤)
7	新生児医療・低出生体重児	新生児期の異常について学ぶ	二井
8	小児神経疾患	小児に特徴的な神経疾患（脳性麻痺、発達障害など）について学ぶ	竹口
9	小児の遺伝性疾患	人の遺伝学の基礎、代表的遺伝性疾患について学ぶ	竹口
10	小児の腫瘍	代表的小児腫瘍（白血病、脳腫瘍等）について学ぶ	櫻井
11	小児心疾患	先天性心奇形、川崎病について学ぶ	中右
12	手術看護と手術室	手術看護と大学病院手術室について学ぶ	山近
13	小児感染症	小児期に多く見られる代表的感染症（肺炎、髄膜炎）について学ぶ	長森
14	予防接種	予防接種について学ぶ	長森
15	う蝕と歯周疾患	齲蝕症、歯肉炎、歯周病、歯性病巣感染について学ぶ	佐藤

臨床病態治療学Ⅰ（精神・小児・婦人科系疾患）第2学年・前期・30コマ（必修）

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	口腔ケア	口腔ケアの重要性について学ぶ	矢島
17	婦人科疾患とヘルスプロモーション1	婦人科良性疾患について学ぶ	片山
18	婦人科疾患とヘルスプロモーション2	婦人科腫瘍性疾患（子宮頸癌、体癌、卵巣腫瘍）について学ぶ	片山
19	小児外科Ⅰ	小児外科の特殊性について学ぶ	石井
20	小児外科Ⅱ	小児外科疾患および、その外科的対応について学ぶ	石井
21	成長と発達	ホルモンの働きについて学ぶ	鈴木
22	糖尿病・栄養障害	小児の糖尿病について学ぶ また小児期における栄養障害についても学ぶ	鈴木
23	リプロダクティブヘルス1	性感染症について学ぶ	水崎
24	リプロダクティブヘルス2	避妊法について学ぶ	水崎
25	局所麻酔	局所麻酔（薬理・脊髄麻酔・硬膜外麻酔）について学ぶ	荒木
26	全身麻酔	全身麻酔を学ぶ	渡辺
27	女性のライフサイクル	性機能と内分泌動態、受精、初期発生、妊娠について学ぶ	吉澤
28	周産期と女性のヘルスプロモーション1	妊娠各期の異常（流産、子宮外妊娠、早産、妊娠中毒症）について学ぶ	吉澤
29	周産期と女性のヘルスプロモーション2	分娩（正常、異常）について学ぶ	吉澤
30	周産期と女性のヘルスプロモーション3	産褥の生理と病理について学ぶ	吉澤

27. 臨床病態治療学Ⅱ（内科・外科系疾患）（必修）〔臨床医学、内科、外科〕

担当 教員	◎看護学講座（眞鍋貴行） 内科学（循環・腎臓 川村祐一郎（非常勤）、松木孝樹）／呼吸・脳神経（佐々木高明、澤田潤）／消化器（盛一健太郎、澤田康司、岩本英孝）／内分泌・代謝・膠原病（野本博司、岡本健作）／血液（畑山真弓）／外科学（血管・呼吸・腫瘍病態（安田俊輔、筒井真博、大平成真）／心臓大血管／消化管／肝胆膵・移植）		
	対象学年	開講期	単位数
	第2学年	後期	2単位
			コマ数 30コマ
履修目的・授業概要 DP③ 本科目は、健康障害を有する人に対する、健康回復のための看護ケアに必要な知識として、「臨床診断・治療学」について学ぶ。臨床病態治療学Ⅱでは、循環器系疾患、呼吸器系疾患、消化器系疾患、造血器系疾患、代謝内分泌系疾患、膠原病、腎疾患、神経疾患についての講義を展開する。講義では、各疾患に関する病因・概念・病態・診断法・治療法について、現在の標準的な内容に加え、最新の知見に基づいた up-to-date な内容、大学病院で行われる最先端の診療についても教授する。			
到達目標 1. 主要な疾患の成り立ちが理解出来る。 2. 診断法の意味、適応を理解出来、診断への道筋を理解出来る。 3. 診断の結果をもとに治療法の選択肢を列挙出来それぞれの短所、長所を理解出来る。 4. 病期や予後判定などの意義が理解出来る。 5. 上記を統合し患者への援助を考えることが出来る。			
授業の形式 原則教室での対面授業です。 出席カードで出欠を取ります。 履修の順番はシラバスと異なる場合があります。manaba に提示する講義日程を参照してください。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 manaba の臨床病態治療学Ⅱコースより講義資料をダウンロードしておいてください。基本的には復習に重点をおく学習でいいですが、履修前に講義資料と教科書を読み、予習しておくことが望ましいです。 疑問点は manaba を通して質問するようにしてください。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） 「評価基準」：原則として定期試験の得点が60%以上で及第とします。ただし、30コマのうち20コマ以上の出席をしなければ受験することができません。 定期試験にて得点率が60%未満の場合は、再試験を1回実施する。 明確な理由により定期試験が受験できなかった者には追試験を実施する。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 各領域とも臨床経験が豊富な講師によって、看護師に必要な臨床診断・治療について必要な基礎を講義する。			
学生へのメッセージ 専門基礎で得た解剖・生理・病理学の知識を復習・補強しつつ、将来皆さんが勤務するかもしれない病棟・診療現場の風を感じながら、臨床医学の神髄を学んでください。			
オフィスアワー 随時（コーディネーター） 事前にメールもしくは manaba で連絡いただくとスムーズです。			
授業用連絡先（E-mail） tmanabe@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題 担当教員の研究テーマに関連する履修主題はありません。			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 看護のための臨床病態学 第5版	浅野嘉延編	南山堂	9,680円
(参) 病気がみえる vol.1～8	医療情報科学研究所(編)	メディックメディア	3,740～4,400円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	血管疾患	閉塞性動脈硬化症、バージャー病、動脈瘤、静脈瘤の外科的治療について学ぶ	大平
2	高血圧	高血圧について学ぶ	川村(非常勤)
3	虚血性心疾患	狭心症、心筋梗塞、不整脈について学ぶ	川村(非常勤)
4	心筋症・弁膜症・心不全	心筋症、弁膜症、心不全について学ぶ	川村(非常勤)
5	食道癌の手術	食道癌の手術と術後の管理について学ぶ	外科(消化管)
6	肝癌の手術	肝癌の手術と術後管理、予後について学ぶ	外科(胆肝膵・移植)
7	膵胆管系疾患の手術	膵胆管系の癌に対する手術、術後管理、予後について学ぶ	外科(胆肝膵・移植)
8	代謝内分泌疾患Ⅰ	糖尿病の病態生理、治療、ケアについて学ぶ	野本
9	心臓・弁膜疾患	弁膜疾患に対する外科的対応について学ぶ	筒井
10	貧血・出血性疾患	種々の貧血性疾患、出血傾向について学ぶ	畑山
11	白血病・悪性リンパ腫	血液悪性疾患について学ぶ 骨髄移植についても学ぶ	畑山
12	代謝内分泌疾患Ⅱ	糖尿病合併症について学ぶ	野本
13	膵胆管系の疾患	膵癌、胆管癌などについて学ぶ	岩本
14	上部消化管疾患	食道、胃、十二指腸疾患について学ぶ	盛一
15	下部消化管疾患	小腸、大腸の疾患について学ぶ	盛一

臨床病態治療学Ⅱ（内科・外科系疾患）第2学年・後期・30コマ（必修）

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	肝移植手術	移植医療、肝移植の適応疾患、手術と術後管理について学ぶ	外科 (胆肝膵・移植)
17	胃の手術	胃の手術と術後管理、予後について学ぶ	外科 (消化管)
18	肺癌	肺癌について学ぶ	佐々木
19	腎疾患・透析療法	腎炎、ネフローゼ症候群、腎不全について学ぶ	松木
20	呼吸器感染症	呼吸器感染症（市中肺炎、院内感染、結核、耐性菌感染症等）について学ぶ	佐々木
21	腸の手術	腸の手術と術後管理、予後について学ぶ	外科 (消化管)
22	閉塞性肺疾患	慢性気管支炎、肺気腫、気管支喘息などについて学ぶ	佐々木
23	呼吸不全	呼吸不全の病態、治療について学ぶ	佐々木
24	神経疾患	神経変性疾患、脱髄疾患について学ぶ	澤田 (潤)
25	代謝内分泌疾患Ⅲ	下垂体、甲状腺、副腎の疾患について学ぶ	野本
26	肺癌肺疾患の手術	肺癌について学ぶ 肺の良性、悪性腫瘍の手術、術後管理について学ぶ	安田
27	乳腺腫瘍の術	乳腺の良性、悪性腫瘍の鑑別、外科的治療について学ぶ	安田
28	肝疾患	肝炎、肝硬変、肝癌について学ぶ	澤田 (康)
29	膠原病Ⅰ	自己免疫疾患の概念について学ぶ	岡本
30	膠原病Ⅱ	関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、全身性強皮症、多発性筋炎・皮膚筋炎などについて学ぶ	岡本

28. 健康教育論（必修）〔健康行動理論、自己効力感、ストレスコーピング、ソーシャルサポート〕

担当 教員	◎伊藤 俊弘（看護学科） 尾上 恵子（学内特別講師／看護部）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第2学年	前期	1単位	15コマ
履修目的・授業概要		DP③	
健康教育論の目的は、健康および健康教育に関連する概念やモデルについて幅広く学ぶとともに、看護学の各専門領域で実践される健康指導の基礎となる知識を習得することです。本講義では、WHOによる健康の定義をはじめ、生活習慣病（糖尿病や高血圧）などの予防を目的とした健康行動理論を学びます。さらに、若者に対する性教育に必要な知識やその指導方法についても学び、具体的な実践に結びつける力を養います。			
到達目標			
1) 「健康」「健康教育」「ヘルスプロモーション」の概念を正確に説明し、それらが看護の実践にどのように役立つかを理解する。 2) 健康行動理論に基づく各モデル（例：トランスセオレティカルモデル、健康信念モデル）の基本的な概念と活用法を習得し、生活習慣病の予防や若者の性教育など、具体的な症例に応用できる力を身につける。			
授業の形式			
講義は教科書および manaba に掲載した講義資料を用いて行います。授業では、健康教育に必要な知識を体系的に解説し、理解を深めるために具体的な事例や実践的な内容も取り上げます。また、講義内容の定着を図るため、必要に応じてレポートを課し、学生の考察力や応用力を養います。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量			
講義に臨む前に、教科書および配布資料を1～2時間程度かけて読み、健康教育の基礎知識を予習してください。講義中は、配布された課題に必要な事項を記入しながら、各健康教育の特徴を具体的に理解することを目指します。講義後は、復習課題に取り組み、内容の定着を図るとともに、定期試験への準備を行ってください。復習には1時間程度を目安に計画してください。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数）			
評価基準：定期試験：70%、レポート：20%、出席状況：10% 出席の加点方法：10回出席で0点とし、11回目以降1回の出席ごとに2点を加算。15回出席で満点（10点）となります。 試験受験の条件：出席が2/3（10回以上）に満たない場合、定期試験の受験資格を失います。 注意事項：定期試験の得点が60点以上であっても、課題の未提出や出席不足により総合評価が不可となる場合があります。課題の提出と出席を怠らないようにしてください。 出席確認は出席カードまたは出席管理システムで行います。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当しない			
有する実務経験と授業への活用			
学生へのメッセージ			
本講義では、健康やQOL、疾病予防に関する知識を一般の人々にわかりやすく伝え、理解してもらう力を養うことを目指します。学んだ内容を基に、健康意識を向上させるための具体的なアプローチや実践方法を習得してください。これらの知識とスキルは、将来の仕事で大きな力となるはずで、皆さんが本講義で得た学びを活かし、人々の健康づくりに貢献することを期待しています。			
オフィスアワー			
いつでも対応しますが、その際は事前に連絡して下さい。			
授業用連絡先（E-mail） toshitoh@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題			
健康教育論に関連する研究は大学院生の指導中心に行っています。			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
医療・保健スタッフのための健康行動理論の基礎	松本千明	医歯薬出版	1,800円
健康教育ナビゲーター 三訂版	渡邊正樹	大修館書店	2,200円
<参考図書>保健スタッフのためのソーシャル・マーケティングの基礎	松本千明	医歯薬出版	1,800円
<参考図書>健康行動理論による研究と実践	日本健康教育学会	医学書院 医学書院	3,800円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	健康・健康教育・ヘルスプロモーション・健康行動モデルの意義	WHOの健康の定義、WHOのヘルスプロモーションに関するオタワ憲章とバンコク憲章について学ぶ。健康教育における健康行動モデルの意義について学ぶ。	伊藤
2	健康信念モデル	健康信念モデル（ヘルスピリーフモデル）の概念と活用について学ぶ。	伊藤
3	変化のステージモデル	変化のステージモデルの概念と活用について学ぶ。	伊藤
4	変化のステージモデル	変化のステージモデルの概念と活用について学ぶ。	伊藤
5	自己効力感	自己効力感の概念と活用について学ぶ。	伊藤
6	HIV 予防	HIV 予防における看護職の役割について学ぶ。	尾上
7	計画的行動理論	計画的行動理論の概念と活用について学ぶ。	伊藤
8	ストレスとコーピングとソーシャルサポート	ストレスとそれに対するコーピングの概念と活用について学ぶ。ソーシャルサポートの概念と活用について学ぶ。	伊藤
9	コントロール所在	コントロール所在の概念と活用について学ぶ。	伊藤
10	健康行動理論の現場への応用	講義の前半で学んだ健康行動理論を現場に応用するための方法を学ぶ。	伊藤
11	ソーシャルマーケティング	商業分野のマーケティングの考え方や技術を健康教育プログラムの計画、実施、評価のプロセスに生かす方法を学ぶ。	伊藤
12	新しい健康増進プログラム1	健康行動に関連する最近の健康増進プログラムについて学ぶ。 1) SOC (Sense of Coherence)	伊藤
13	新しい健康増進プログラム2	健康行動に関連する最近の健康増進プログラムについて学ぶ。 2) Work Engagement	伊藤
14	新しい健康増進プログラム3	健康行動に関連する最近の健康増進プログラムについて学ぶ。 3) ヘルスリテラシー	伊藤
15	健康教育論における健康行動理論の位置づけ	健康教育論で紹介された各健康行動理論の研究における役割について総括し、健康教育における位置づけを理解する。	伊藤

29. 保健統計（必修）〔統計学、人口統計、保健統計調査、情報処理〕

担当 教員	◎伊藤 俊弘（看護学科）		
	西篠 泰明（社会医学講座）		
	吉岡 英治（社会医学講座）		
	神田 浩路（社会医学講座）		
	佐藤 遊洋（社会医学講座） 汐月 博之（社会医学講座）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第2学年	通年	2単位	30コマ
履修目的・授業概要 DP③④			
<p>統計学は、地域や集団の健康状態を正確に評価するために不可欠な学問であり、看護師、保健師、助産師が実務で活用するために必要不可欠な知識です。疫学調査などを実施するには、適切な方法を用いてデータを評価することが求められます。本講義では統計学の基礎知識を習得するとともに、日本で実施されている多様な保健統計調査や統計情報の扱い方を正しく理解し、説明できる力を養うことを目標とします。</p>			
到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・統計に関する幅広い基礎知識を習得し、主な統計手法の特徴を説明できる。 ・主な統計調査の種類や意義を説明できる。 ・データベースや適切なツールを用いて、効率的に保健医療関連の文献を検索・活用できる。 			
授業の形式			
<p>本講義は複数の教員によるオムニバス形式で行います。各教員が教科書に沿った内容を、manabaに掲載されたパワーポイント資料を用いて講義します。また、無料の統計処理ソフト（EZR）を用いた演習を実施し、実践的なスキルを養います。</p> <p>授業は学生主体で進める問題解決型教育を目指し、多様な統計解析手法の基礎知識を学ぶとともに、保健医療分野に関連する主要な保健統計調査（例：国民健康・栄養調査）とその動向を理解します。これにより、状況に応じた統計解析の応用力を身につけることを目指します。</p>			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量			
<p>講義資料はmanabaを通じて配信します。履修開始前にシラバスを確認し、履修内容を把握してください。配信された資料は事前にダウンロードし、内容を確認するとともに、教科書などを活用して予習を行ってください。</p> <p>講義終了後は、学んだ内容を整理し、EZRを使用して実際に統計解析を実践できるように復習を行ってください。これにより、講義内容の理解を深め、統計解析スキルの向上を目指します。</p>			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数）			
<p>成績は、2回実施する定期試験の成績に加え、課題、小テスト、講義の出席状況を総合的に評価します。定期試験で60点以上を取得しても、課題未提出や出席不足により総合評価で不合格となる場合があります。課題提出と出席を怠らないように注意してください。</p> <p>また、出席が全授業の3分の2に満たない場合は、原則として定期試験を受験できません。ただし、やむを得ない理由（例：病気等）がある場合は、事前に担当教員に相談してください。</p>			
実務経験のある教員等による授業科目			
該当しない			
有する実務経験と授業への活用			
学生へのメッセージ			
<p>保健統計学は、卒業後の調査や研究において必要不可欠な知識です。統計処理は、現在ではPCや専用ソフトを用いることが一般的ですが、統計の基本を正しく理解していなければ適切に解析を行うことはできません。そのため、基礎をしっかりと学び、状況に応じた統計解析手法を身につけることが重要です。講義や演習を通じて基本的な知識を深め、統計処理ソフトを活用することで実践力を養いましょう。この学びは、保健医療分野でのデータ解析や地域健康指標の評価など、将来の多くの場面で役立つスキルとなります。</p>			
オフィスアワー			
いつでも対応しますが、その際は事前に連絡して下さい。			
授業用連絡先（E-mail）			
toshitoh@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題			
統計処理は、担当教員の研究に必須スキルです。			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
看護学生のための疫学・保健統計 改訂4版	浅野 嘉延	南山堂	2,500円
国民衛生の動向 2024/2025	厚生労働統計協会	厚生労働統計協会	2,700円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス	保健統計を学ぶ意義、講義の進め方、評価の方法など講義の概要と統計に関する基礎知識についてガイダンスを行う。	伊藤（看護）
2	演習（1）	統計パッケージ EZR による演習を行う。インストールの方法など。	伊藤（看護）
3	保健統計の基礎（1）-（4）	①データの種類と分布、測定と尺度など、統計解析を行うために必要な基礎知識を学ぶ。 統計に関するあらゆる状況で知っておくべき知識である。	吉岡（社会）
4		②主な確率分布（正規分布、二項分布など）および代表値（平均値、中央値、最頻値）と散布度（分散と標準偏差、四分位数とパーセンタイル値）について学ぶ。	
5		③関連の指標（相関・散布図、回帰、クロス集計など）について学ぶ。	
6		④推定と検定（点推定と区間推定、帰無仮説と統計学的有意性）について学ぶ。割合に関する推定と検定について学ぶ。	
7	保健統計学の基礎（5）-（6）	統計分析3：推定と検定（平均に関する推定と検定）について学ぶ。	西條（社会）
8			
9	演習（2）	統計ソフト SPSS による演習を行う。 1) 確率分布・相関・回帰分析・クロス集計	伊藤（看護）
10			
11	演習（3）	統計ソフト SPSS による演習を行う。 2) 代表値の差の検定（パラメトリック・ノンパラメトリック検定）	伊藤（看護）
12			
13	演習（4）	統計ソフト SPSS による演習を行う。 3) 多変量解析（重回帰分析・ロジスティック回帰分析ほか）	伊藤（看護）
14			
15	保健統計の基礎（7）	⑩推定と検定 多変量解析について学ぶ（3）生存分析	西條（社会）

保健統計 第2学年・通年・30コマ（必修）

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	保健統計の基礎（8）	⑩推定と検定 多変量解析について学ぶ（4） 因子分析など	伊藤（看護）
17	人口統計（1）	年齢調整死亡率：直説法と間接法の計算方法を学ぶ	伊藤（看護）
18			
19	保健統計調査（1）-（2）	わが国の基幹統計について学ぶ（1）	佐藤（社会）
20			
21	保健統計調査（3）-（4）	わが国の基幹統計について学ぶ（2）	汐月（社会）
22			
23	保健統計調査（5）-（6）	保健統計調査：わが国の基幹統計以外の統計について学ぶ	伊藤（看護）
24			
25	人口統計調査	人口動態統計・生命表について学ぶ。	神田（社会）
26			
27	保健医療・情報管理	保健医療情報の管理・活用と関連する法令・指針について学ぶ	伊藤（看護）
28	まとめ1	保健統計のまとめ（推定と検定）	伊藤（看護）
29	まとめ2	保健統計のまとめ（統計調査）	伊藤（看護）
30	試験問題		伊藤（看護）

30. 公衆衛生論（必修）〔公衆衛生、疾病予防、保健行政、各種保健活動、環境衛生〕

担当教員	◎伊藤 俊弘（看護学科）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第2学年	後期	1単位	15コマ
履修目的・授業概要 DP③ 公衆衛生学は、疾病の予防、健康増進、生活の質（QOL）の向上を目指し、医療制度、地域保健、環境保健、産業保健などの多岐にわたる分野が関与する学問です。講義では人の健康が多くの要因から成り立つことを理解し、健康増進と疾病予防を達成するための知識と方法論を修得します。これにより、広い視野を持って課題に対応し、実践的に考え行動できる力を養うことを目的とします。			
到達目標 本科目の受講者は以下を達成することを目標とします。 ・母子、青少年、成人、高齢者など各年齢層に応じた公衆衛生活動の具体例を挙げ、説明できる。 ・学校、職場、地域など異なる活動の場における公衆衛生活動について、組織や職種、制度の「しくみ」と法規や規則の「きまり」を具体的に説明できる。 ・公衆衛生活動を通じて健康課題を解決するための方法を実践的に提案できる。 これにより、専門知識と実践力を兼ね備えた視点で健康問題に取り組む基盤を築きます。			
授業の形式 本講義は、教科書の章ごとに分類された内容をもとに、パワーポイントを使用して進めます。講義資料は、manabaを通じて事前に配布します。授業の理解を深め、知識を整理するために、期間中に数回の小テストを実施します。 授業内容に関する質問は、以下の方法で受け付けます。 ・授業中（質問の時間を適宜設けます） ・オフィスアワー（曜日・時間はmanabaで告知します） ・電子メール（質問の件名に「授業名+質問内容」を記載してください） どの方法でも気軽に質問してください。学びのサポートを全力で行います。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 授業の理解を深めるため、以下の予習・復習を行ってください。 予習：manabaで配布される講義資料に目を通してからシラバスに記載された履修内容を確認してください。 教科書だけでなく、参考書の「国民衛生の動向」などを参考に、日本の公衆衛生における現状や課題について概要を把握してください（予習の目安は約30分）。 復習：配布資料の空欄部分を講義後に埋め、内容を整理してください。授業で取り上げたトピックについて、自分で調べた内容をノートにまとめることで、理解が深まります。（復習の目安は約1時間）。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） 成績は以下の基準に基づいて評価します。 評価基準 定期試験：70%、課題および小テスト：20%、出席状況：10% 出席点の計算方法 出席10回を基準として0点とし、それを越えた出席回数に応じて加点します。 学生はすべての講義に出席することが求められています。出席が授業回数の2/3に満たない場合は、定期試験の受験資格を失いますので注意してください。 注意事項 定期試験が60点以上でも、課題未提出や出席点の不足がある場合、総合評価で「不可」となることがあります。課題提出と出席は必ず守るよう心掛けてください。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当しない			
有する実務経験と授業への活用			
学生へのメッセージ 公衆衛生学は、医療や看護をはじめ、さまざまな職業と深く関わる重要な分野です。本講義では、地域保健、感染症対策、健康増進など、幅広いトピックを学びます。それぞれの内容が看護学の専門領域とどのように結びついているかを意識しながら学ぶことで、皆さんの将来のキャリアに役立つ知識と視点を身につけることができます。 講義範囲が広いので、大変に感じることもあるかもしれませんが、疑問があれば遠慮なく質問してください。一緒に学びを深めていきましょう。			

オフィスアワー いつでも対応しますが、その際は事前に連絡して下さい。
授業用連絡先（E-mail） toshitoh@asahikawa-med.ac.jp
担当教員の研究と履修主題 健康長寿、ストレス、環境衛生など

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
ナーシンググラフィカ公衆衛生（第7版）	平野かよ子他	メデイカ出版	3,400円
国民衛生の動向 2025/2026版（前期「保健統計」で使用）		厚生労働統計協会	2,700円
図説国民衛生の動向 2025/2026版		厚生労働統計協会	1,750円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	公衆衛生学総論1	公衆衛生の歴史と健康の定義、疾病予防、プライマリヘルスケア、ヘルスプロモーションなど健康に関わる概念を理解する。	伊藤
2	公衆衛生学総論2	現在の公衆衛生システムと政策、特徴、国と地方自治体の役割を理解する。保健所・市町村保健センターおよび公衆衛生専門職について学ぶ。	伊藤
3	公衆衛生学総論3	公衆衛生の理念・概念、ヘルスプロモーションの考え方、公衆衛生と健康格差・社会経済格差、ソーシャルキャピタルについて学ぶ。	伊藤
4	公衆衛生活動のプロセス	保健師の活動、ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチを理解する。健診、社会ネットワーク、日本人の様々な健康問題を学ぶ。	伊藤
5	親子保健・母子保健	すこやか親子21・母子保健に係る出生や死亡に関する保健統計指標の動向と母子保健対策の制度と法律を学ぶ。	伊藤
6	高齢者保健・医療福祉、歯科保健	高齢者の医療と福祉、介護保険など高齢者をとりまく状況と疾病動向について学ぶ。我が国の歯科保健の特徴と対策の現状を学ぶ。	伊藤
7	精神保健福祉	精神保健福祉の目的・意義と精神障害者を含む政策のシステム・制度について学ぶ。	伊藤
8	難病保健	国際生活機能分類をとおして障害者の健康状態を学ぶとともに難病患者を含む障害者に対する福祉施策や自立支援のしくみを理解する。	伊藤
9	健康危機管理と災害	我国の健康危機管理システムおよび災害の特徴を理解し、災害への備えと対策等について学ぶ。	伊藤
10	感染症の予防と対策	感染症の成立の三要因とこれらによる感染予防対策を理解し、が国の感染症対策を学び、国内外で問題になっている感染症の動向を理解する。	伊藤
11	学校保健	児童生徒の健康状態と学校保健の概要を学ぶ。	伊藤
12	産業保健	職場の安全衛生管理のしくみと労働衛生に関連する法律、職場の安全衛生を支える制度とともに労働に関する様々な健康障害について学ぶ。	伊藤
13		伊藤	
14	環境保健	生活環境から地球規模の環境まで人間の健康に影響を及ぼす環境要因と環境汚染による健康被害とその対策、上下水道および廃棄物処理のしくみを学ぶ。	伊藤
15	国際保健	諸外国の公衆衛生政策を通して国際保健の意義と役割を学ぶ。	伊藤

31. 臨床心理学（必修）〔心理療法、心理査定、メンタルヘルス〕

担当 教員	丸山 利弥（非常勤）、佐藤 博昭（非常勤） ◎長谷川博亮（コーディネーター）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第2学年	後期	2単位	30コマ
履修目的・授業概要 DP③ 臨床心理学を概念的だけではなく、演習など体験を通して理解を深め、病を抱えて苦しんでいる人の心理的問題をどのようにとらえ、どのように理解し、そしてどのように対応していくかを学ぶ。 加えて、講義を自分自身を客観的に見つめるきっかけにし、援助者側のメンタルヘルスにも関心を持つ。			
到達目標 ・臨床心理学の基礎知識や社会的位置付けを知る。 ・心理療法の理論や事例を学び、心理学的視点からみた援助者としての姿勢・態度を知る。 ・心理査定の基本的な理論の説明、簡単な解釈が出来るようになる。			
授業の形式 スライドや講義内容を紹介するのにパワーポイントを用い、講義内容を取りまとめたプリントを配付する。演習やグループワークも取り入れる。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 シラバスに記載されている内容を確認し、講義各回のテーマについて、各種書籍、文献等を利用し予習すること。 実習、グループワークで感じたこと、考えたことは講義終了後、周囲の友人たちと共有して欲しい。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） ①最終レポート試験 60% ②各講義で実施する小レポート試験 40% ①②の合計点により成績を算出する ③公休等の欠席の状況に基づき追試験を1回実施する。 ④レポート試験の合計が60%に満たない者は再試験を1回実施する。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 臨床心理士及び公認心理士の資格を有する実務経験のある教員が、臨床経験を踏まえ心理療法（履修課題）や豊富な事例に基づいた講義を展開する。			
学生へのメッセージ ただ講義を聴いているだけではなく、課題やグループワーク等体験を通して理解し、しっかり考えられるようになってほしい。ぜひ、楽しんでください。			
オフィスアワー 研究室在室時はいつでも来てください（507研究室）			
授業用連絡先（E-mail） hiroh@asahikawa-med.ac.jp（コーディネーター：長谷川）			
担当教員の研究と履修主題			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(参) DSM-5 精神疾患の分類と診断の手引	American Psychiatric Association	医学書院	4,860円(税込)
(参) 心理療法ハンドブック	乾 吉祐他	創元社	3,780円(税込)
(参) 心理アセスメントハンドブック	上里一郎(監)	西村書店	15,120円(税込)

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1 2 3	心理療法①	心理療法の基礎・技法、精神力動的な心理療法について学ぶ	佐藤 非常勤
4 5 6	心理療法②	ヒューマニスティック・アプローチ、心身相関について学ぶ	佐藤 非常勤
7 8 9	心理療法③	家族・集団療法、芸術・感覚などに関わる療法について学ぶ	佐藤 非常勤
10 11 12	心理療法④	認知行動療法について学ぶ	丸山 非常勤
13 14 15	心理査定①	知能検査について演習を通して学ぶ	丸山 非常勤
16 17 18	心理査定②	人格検査について演習を通して学ぶ	丸山 非常勤
19 20 21	事例①	児童思春期例に対する心理的関わりについて学ぶ	佐藤 非常勤
22 23 24	事例②	統合失調症、気分障害、強迫性障害などへの心理師の関わりについて学ぶ①	丸山 非常勤
25 26 27	事例③	メンタルヘルス、高齢者事例に対する心理的関わりについて学ぶ	佐藤 非常勤
28 29 30	事例④	統合失調症、気分障害、強迫性障害などへの心理師の関わりについて学ぶ②	丸山 非常勤

32. 基礎看護技術学Ⅲ（診療関連技術）（必修）

担当 教員	◎網元 亜依、神成 陽子、升田由美子、 一條 明美、平 義樹、未定（薬剤部）、他		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第2学年	前期	1単位	30コマ
履修目的・授業概要		DP④⑤	
【履修目的】 1. リスクマネージメントに対する理解を深めながら、診療に伴う援助技術を学ぶ。 2. 実施する看護を説明する方法・態度を身につける。 3. 与薬・検査に関連した医療チームにおける看護師の役割を学ぶ。 4. 看護の対象の症状や受ける治療・検査に応じた看護援助を学ぶ。			
到達目標		【一般目標】 対象に必要な診療に伴う援助技術について、科学的根拠、原理・原則に基づき、安全に実施するための知識と技術を習得する。診療に関連した医療チームにおける看護師の役割と責任、対象の症状や受ける治療・検査に応じた看護援助を理解する。 【到達目標】 1. 与薬の目的を述べることができる。 2. 薬物療法における看護の意義を述べるができる。 3. 与薬における援助を理解し、基本看護技術として注射薬の準備、皮下注射、筋肉内注射、点滴静脈内注射の準備と観察ができる。 4. 検査の目的を述べるができる。 5. 検査における看護の意義を述べることができる。 6. 検査における援助を理解し、基本看護技術として静脈血採血ができる。 7. 与薬・検査に関連した医療チームにおける看護師の役割を述べるができる。 8. 看護の対象の症状や受ける治療・検査に応じた看護援助について述べるができる。	
授業の形式 講義では診療に関連する看護技術の実践に必要な知識を学習する。学修支援システム manaba を用いた予習を行った後に演習を行う。演習で行う看護技術は予習確認テストを行う。演習は学生同士で看護者役、患者役、観察者の役割をグループで行いながら進める。講義・演習ともに教科書・資料・パワーポイント・動画などを使用する。自己の課題を明確化するため、適宜タブレット端末を用い撮影も行う。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 学習目標を達成するために各履修主題・履修内容について、事前・事後の予習・復習を行う。正確・安全な看護技術を習得、患者役となる対象者の安全を確保するために、予習・復習は必須となる。予習では履修内容の看護技術について、演習で実施できるように方法・留意点を覚え、自宅用練習物品を用い練習する。自己の課題を明確する事後課題（復習）がある。課題の実施について、内容に不足がある場合は、再提出を課す。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） 1. 定期試験 60% 2. 予習確認テスト・manaba 小テスト（演習毎）20% 3. レポートおよび提出課題 20% 4. 講義・演習への参加状況（欠席1コマにつき1点の減点、遅刻は3回で1コマ分の欠席として減点） 3の提出遅滞は減点対象、未提出は評価の対象としない。 以上の総合点が60点以上、出席時間数が20時間を上回るものを合格とする。定期試験の得点が60点以下の場合は再試験を設ける。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 看護師免許を有し、病院看護師の実務経験（8年間）がある教員が、大学病院等での勤務経験を踏まえ、診療に伴う援助技術に関する基礎的な講義、演習を行う。			
学生へのメッセージ 形態機能学で学んだ知識を活用し安全・正確で根拠に基づいた看護技術を習得することが必要です。患者に説明し、同意を得る能力・実施後の振り返りから課題を明確にする能力も必要です。体調管理に努め、知識・態度・技能を身につけられるよう主体的に学習することを期待します。			
オフィスアワー 質問がある際は研究室に訪問もしくはメールで連絡ください。			
授業用連絡先（E-mail） march22@asahikawa-med.ac.jp（科目責任者：網元）			
担当教員の研究と履修主題			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 系統看護学講座 専門分野Ⅰ②基礎看護技術Ⅰ	茂野香おる	医学書院	2,600円+税
(教) 系統看護学講座 専門分野Ⅰ②基礎看護技術Ⅱ	茂野香おる	医学書院	2,900円+税
(教) 看護がみえる vol.1・2 基礎看護技術	医療情報 科学研究所編	メディック メディア	3,300円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス	基礎看護技術学Ⅲの講義演習の進め方と自己学習の必要性を理解する。	網元
2	診療関連技術における看護師の役割	診療関連技術における看護師の役割と法的責任を学ぶ。	神成
3	与薬	与薬における看護師の役割と責任を学ぶ。 与薬の種類と方法、留意点を学ぶ。	網元
4	与薬に関する看護技術(1) 注射器の清潔な取扱い	演習：注射器の無菌的取扱いのモデルを見る。注射器の無菌的取扱いの方法を学ぶ。	網元 神成 升田 一條 他
5	与薬に関する看護技術(2) 注射部位の選択	演習：正確・安全に注射法を行うための注射部位の選択方法を学ぶ	神成 網元 升田 一條 平
6	与薬：皮下注射・筋肉注射	皮下注射・筋肉注射の目的・方法、実施時の観察点、留意点について学ぶ	神成
7	与薬に関する看護技術(3) 皮下注射	演習：皮下注射技術のモデルを見る。皮下注射技術を学ぶ。	神成 網元 升田 一條 他
8	与薬に関する看護技術(4) 筋肉内注射	演習：筋肉内注射技術のモデルを見る。筋肉内注射技術を学ぶ。	神成 網元 升田 一條 他
9	薬物療法を受ける患者の看護	薬剤師と看護師の連携について学ぶ。	未定 (薬剤部)
10	与薬：点滴静脈内注射	点滴静脈内注射の目的・方法、実施時の観察点、留意点について学ぶ。	網元
11	与薬に関する看護技術(5) 様々な注射法	演習：様々な注射法について、トレーニングを行う。	神成 網元 升田 一條
12	与薬に関する看護技術(6) 点滴静脈内注射	演習：点滴静脈内注射技術のモデルを見る。点滴静脈内注射技術を学ぶ。	網元 神成 升田 一條

基礎看護技術学Ⅲ（診療関連技術）第2学年・前期・30コマ（必修）

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	与薬に関する看護技術(6) 点滴静脈内注射	演習：点滴静脈内注射技術のモデルを見る。 点滴静脈内注射技術を学ぶ。	網元 神成 升田 一條
17	薬物療法を受ける患者の看護	事例を用いて薬物療法を受ける患者の看護について学ぶ。	網元
18	検査	検査における看護師の役割と責任を学ぶ。 検査の種類と方法、留意点について学ぶ。	網元
19	採血	採血の目的・方法、実施の観察点、留意点について学ぶ	網元
20	検査に関する看護技術(1):採血	演習：採血技術モデルを見る。 採血の技術を学ぶ。	網元 神成 升田 一條 他
21			
22	検査に関する看護技術(2):採血	演習：グループで採血技術トレーニングを行い採血の技術を学ぶ。	網元 神成 升田 一條 他
23			
24	検査に関する看護技術(3):採血	演習：人形モデルで採血を行い、採血を受ける患者の一連の採血技術を学ぶ。	網元 神成 升田 一條 他
25			
26	検査を受ける患者の看護	事例を用いて検査を受ける患者の看護について学ぶ。	神成
27		検査で得られた所見のアセスメントおよび看護ケアへの活用について学ぶ。	神成
28	症状がある患者の看護	事例を用いグループワークを行う。症状があり治療・検査を受けながら療養生活を送る患者の観察および看護援助の計画を考える。	神成
29		演習：症状があり治療・検査を受けながら療養生活を送る患者の観察および看護援助を学ぶ。	神成 網元 升田 一條
30			

33. 基礎看護技術学Ⅳ（看護過程）（必修）

担当 教員	◎一條 明美、升田由美子、神成 陽子、 綱元 亜依		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第2学年	前期	1単位	15コマ
履修目的・授業概要		DP④⑤	
看護過程の展開に関する基礎的な知識・考え方を学び、論理的思考・判断力に基づいた看護実践のための基本を修得する。紙上事例による事例展開を行い、個人ワークとグループワーク、全体発表によって看護過程による思考方法を理解する。			
到達目標		一般目標 科学的思考技術であり問題解決技法である看護過程を理解し、根拠に基づいた看護実践のための看護過程の展開ができるようになる。 行動目標 1. 看護実践と看護過程の関係について説明出来る。 2. 看護過程の構成要素を列挙できる。 3. 紙上事例に対して看護過程を展開し、ゴードンの機能的健康パターンに沿ってアセスメントした内容を記述することができる。 4. 紙上事例に対して看護問題の明確化、看護目標の決定、看護計画の立案を行い、具体策までを記述することができる。 5. グループワークおよび全体発表を通して、紙上事例に対する看護過程と看護実践を説明し、記述することができる。 6. 評価とは何かについて理解し、評価方法を説明することができる。	
授業の形式 講義およびグループワークと全体発表により学ぶ。1～6コマは看護過程について講義を行う。7～14コマはグループワークと全体発表によって紙上事例の看護過程を展開する。グループワークはファシリテーターである教員の助言を受けながら学生が主体となって進める。別途看護過程展開に関するオフィスアワーを行う。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 この科目は毎回事前学習課題を課し、提出を求める。ガイダンスで配布する学習スケジュールに記載された予習内容（課題）に沿って、紙上事例についてアセスメントなど看護過程のプロセスを学習し、講義やグループワークに臨む。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） 1. 出席状況：10点（1コマ欠席につき2点減点）*評価対象は授業時間の2/3以上を出席したものとする。 2. 小テスト：20点（公欠自己欠問わず健康状態が良ければ提出する） 3. 事前学習課題：期日までに提出する。 *遅滞であっても必ず提出する。期日までに提出できなかった場合、速やかに教員に理由を報告し指示に従い提出する。ただし遅滞1回につき2点減点となる。 4. 最終課題：70点（ルーブリック評価）によって評価を行う。 *最終課題は定期試験に相当するため、遅滞は単位習得に影響する。 (1)アセスメントシート・全体像・看護問題リスト（最終提出の60%配分）が目標に達成していない場合は、夏季休業中に個別指導し、指導後に再提出を課す。 (2)初期計画（最終提出の40%配分）*最終課題が提出期限に提出しなかった場合、速やかに教員に理由を報告し指示に従い提出する。提出期限を過ぎて提出された提出物は採点の80%が得点となる。 上記1. 2. 3. 4の合計100点のうち60点以上をもって合格とする。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 看護師免許を有し、病院看護師の実務経験（10年間）がある教員を中心に、実務経験5～10年の教員が講義グループ学習を行う。			
学生へのメッセージ 「基礎看護学実習Ⅱ」で担当する患者さんに根拠のある看護を実践するために看護過程について学びます。また、「看護フィジカルアセスメント」と連動する科目になります。既習内容を活用し、自己学習を行い、看護過程に関する理解を深めましょう。グループワークを有益なものとするには個人ワークをしっかりと行うことが必要です。事前・事後学習にも真摯に取り組むことを期待しています。			
オフィスアワー 随時およびワーク①②③の後			
授業用連絡先（E-mail） aichijo@asahikawa-med.ac.jp（科目責任者：一條）			
担当教員の研究と履修主題 日常生活援助の実施に至る看護師の臨床判断に関する研究			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 系統看護学講座専門分野Ⅰ 基礎看護技術	茂野 香おる	医学書院	
(参) ゴードンの機能的健康パターンに 基づく看護過程と看護診断第6版	江川 隆子 編	ヌーヴェル ヒロカワ	
(参) 看護がみえる Vol.4 看護過程の展開	医療情報 科学研究所 編	メディック メディア	

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス 看護過程とは	看護過程とは何かについて理解する。 看護過程の構成要素について理解する。	升田
2	情報とは何か	看護にとって必要な情報とは何かについて理解し、情報収集とその整理方法を学ぶ。データベースの活用方法を知る。	〃
3	アセスメントとは何か	情報の分析・解釈について学ぶゴードンの機能的健康パターンにを用いてアセスメントを行う。	〃
4	〃	〃	〃
5	看護問題とは何か	看護問題の抽出と記述方法について学ぶ。全体像が表す情報と記述方法について学ぶ。	〃
6	看護目標と看護計画	看護問題の優先順位の決定方法及び看護目標について学ぶ。短期目標・長期目標の設定方法について学ぶ。	〃
7	看護計画と実施・評価	初期計画における具体策の立案方法を学ぶ。評価方法とその意義を学ぶ。	〃
8	ワーク①基礎的アセスメント	紙上事例を用いて、対象者を把握するプロセスを体験・理解する。グループワークによりアセスメントを検討する。	一條 升田 神成 綱元
9	ワーク②全体像と問題の明確	グループワークにより全体像を検討する。	〃
10	〃	グループワークにより看護問題を検討する	〃
11	全体像の発表	各グループの全体像・看護問題を共有する。事例の看護問題を明確にする。	〃
12	ワーク③初期計画	グループワークにより初期計画を検討する。	〃
13	〃	〃	〃
14	初期計画の発表	各グループの初期計画を共有する。	〃
15	看護過程の展開まとめ	看護過程の展開と看護実践の関係を整理する。	〃

34. 看護フィジカルアセスメント（必修）〔フィジカルアセスメント、ヘルスアセスメント〕

担当 教員	◎神成 陽子、升田由美子、一條 明美、 平 義樹、綱元 亜依、未定（看護部）、他		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第2学年	通 年	1単位	15コマ
履修目的・授業概要		DP④⑤	
1. 看護技術としてのフィジカルアセスメントの概念、目的、意義について理解する。 2. フィジカルアセスメントに必要な共通技術を学ぶ。 3. 看護の対象の健康状態および療養生活をアセスメントする方法を学ぶ。 4. 看護の視点から、得られた情報の分析・解釈について学ぶ。			
到達目標			
一般目標 対象者・対象者の生活を支える「生きていく」機能、「生きている」機能をアセスメントするための技術を習得する。フィジカルアセスメント・ヘルスアセスメントにより得た情報から、対象者に必要な看護を導き出す過程を理解する。			
行動目標 1. 看護技術としてのフィジカルアセスメントの概念、目的、意義について説明できる。 2. 身体各機能のアセスメントに必要な基本的知識（解剖学的位置および機能）を活用できる。 3. 身体各機能の観察に必要な・技術・態度について説明できる。 4. 身体各機能について、問診、視診、触診、打診、聴診をし、対象者の健康状態および療養生活のアセスメントに必要な所見を得ることができる。 5. 看護者として適切な態度で行動できる。 6. 得られた所見をアセスメントおよび看護過程の各段階で情報として活用できる。			
授業の形式			
講義（フィジカルアセスメントの実践に必要な知識）およびグループワーク（演習形式を含む）を主に行う。フィジカルアセスメントの実践に必要な知識について、小テストを行う。グループワークは基礎看護技術学Ⅳと連動したものであるため、適宜共通の事例を用いる。フィジカルアセスメントについて、学生同士で行うものと模擬患者を用いたものがある。模擬患者を用いた演習ではアセスメント方法などについて発表を行う。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量			
この科目はフィジカルアセスメント技術について方法・留意点を覚えることに加え、これまで学習してきた形態機能学に関する学習を予習として行う。この予習を基に、グループワークなどに臨み、正確・安全なフィジカルアセスメント技術を習得する。事前課題・演習で得られた知識を基にフィジカルアセスメントを行う事後課題を提示する。課題の実施について、内容に不足がある場合は、再提出を課す。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数）			
1. 定期試験 70% 2. manaba 小テスト（演習毎） 10% 3. 提出課題 20% 4. 講義・演習への参加状況 出席時間は10時間を上回るものを評価対象とする。 欠席1コマにつき1点の減点、遅刻は3回で1コマ分の欠席として減点する。 2の提出遅滞、未提出は評価の対象としない。 3は必ず提出する。提出遅滞は減点対象とする。 2/3以上の出席、上記1が60%以上、1～4の総合点が60点以上であることで合格とする。 定期試験の得点が60点未満の場合は再試験を1回設ける。			
実務経験のある教員等による授業科目			
該当する			
有する実務経験と授業への活用			
看護師免許を有し、病院看護師の実務経験がある教員が、大学病院等での勤務経験を踏まえ、基礎的な講義、演習を行う。			
学生へのメッセージ			
フィジカルアセスメントは看護過程の一側面であるアセスメントを指し、後期に行う基礎看護学実習Ⅱにも関係する看護技術です。患者さんから得られた所見について療養生活に関連させたアセスメントが理解できるよう、積極的に臨むことを期待しています。基礎看護技術学Ⅳと関係が大きい科目です。双方の科目の履修内容を理解できるように、体調・生活の管理に努め、欠席しないことも大切です。			
オフィスアワー			
随時受付。教員にメールでアポイントメントをとってください。			
授業用連絡先（E-mail）			
ykannari@asahikawa-med.ac.jp（科目責任者：神成陽子）			
担当教員の研究と履修主題			
模擬患者を用いた演習による学生の学びの構造			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 看護がみえる vol.3 フィジカルアセスメント	医療情報科学 研究所 編	メディック メディア	3,300円+税
(教) 系統看護学講座 専門分野Ⅰ②基礎看護技術Ⅰ	茂野香おる	医学書院	2,600円+税
(参) 系統看護学講座 解剖生理	坂井建雄 岡田隆夫	医学書院	3,300円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス・フィジカルアセスメント	看護フィジカルアセスメントのガイダンスを行う。看護技術としてのフィジカルアセスメントについて学ぶ。	神成
2	フィジカルアセスメント(1)	フィジカルアセスメント実施にあたり、必要な技術・態度を学ぶ。脳神経、感覚、高次脳機能のフィジカルアセスメントを学ぶ。事例に基づき、〈認知・知覚〉パターンのアセスメントを行う。	神成 升田 一條 綱元 他
3	生きていく機能：神経系		
4	フィジカルアセスメント(2)	腹部の観察および排泄機能のフィジカルアセスメントを学ぶ。事例に基づき、〈排泄〉パターンのアセスメントを行う。	神成 升田 一條 綱元 他
5	生きていく機能：栄養吸収・排泄機能	栄養状態のフィジカルアセスメントを学ぶ。事例に基づき、〈栄養・代謝〉パターンのアセスメントを行う。	
6	フィジカルアセスメント(3)	呼吸・循環機能のフィジカルアセスメントに必要な知識について学ぶ	神成 升田 一條 平 綱元
7	生きていく機能：呼吸・循環機能	呼吸・循環機能のフィジカルアセスメントを学ぶ。事例に基づき、〈活動・運動〉パターンのアセスメントを行う。	神成 升田 一條 綱元 他
8			
9	フィジカルアセスメント(4)	運動調節・運動機能のフィジカルアセスメントについて学ぶ。事例に基づき、〈活動・運動〉パターンのアセスメントを行う。	神成 升田 一條 平 綱元 他
10	生きていく機能：運動調節・運動機能		
11	フィジカルアセスメント(5)	2-10コマ目で事例に対して行ったフィジカルアセスメントを整理し、看護の視点から分析解釈を行う。	神成
12	フィジカルアセスメント(6)	事例に基づき、看護実践に必要なフィジカルアセスメントの内容を検討し、実施する	神成
13		事例に基づき、立案した観察計画をフィジカルアセスメントを活用し実施する。模擬患者を観察し、必要な所見を得る方法を学ぶ。	神成 升田 一條 綱元 他
14	フィジカルアセスメント(7)	看護実践への活用③	
15		フィジカルアセスメントで得られた所見の記録について学ぶ。	

35. 看護倫理（必修）

担当 教員	◎升田由美子、一條 明美、神成 陽子、 綱元 亜依		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第2学年	後期	1単位	15コマ
履修目的・授業概要		DP①②③④	
【履修目的】 看護を実践する場では、さまざまな形の問題や葛藤が生じる。看護者として適切な倫理的意思決定と行動をするために必要な基本的知識を学習する。			
到達目標 一般目標： 看護実践に必要な看護倫理に関する基本的知識を理解するとともに、看護実践における倫理的問題やジレンマと倫理的意思決定について理解する。 行動目標： 1. 看護実践に必要な看護倫理に関する基本的知識である看護倫理原則、看護職の倫理綱領について説明できる。 2. 紙上事例、DVD 事例、抑制体験演習に基づき、看護実践における倫理的問題やジレンマについて倫理的に分析し、介入方法について自分の考えを述べるができる。 3. チームカンファレンス（グループ学習）により、チームの一員としての看護実践を考えることができる。			
授業の形式 講義、グループ学習を行う。紙上事例、DVD 事例などを用いて看護実践における倫理的問題やジレンマについて検討する。抑制体験を行い、看護師・対象者両者の立場から抑制について考察する。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 適宜、学習のまとめのレポートや授業中に行う個人ワーク・グループワークの内容の提出を求める。manaba による小テストを行う。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） 出席状況：10%（1コマ欠席につき5点減点） 事前・事後学習などの提出物：10% 定期テスト・小テスト 50% レポート：30%（ルーブルック評価による） 定期テストの得点率が60%未満のものには再試験を1回のみ行う。 出席2/3以上かつ上記内容を100点満点で換算し、60点以上で単位を認定する。60点未満の場合は追加レポートを課す。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 看護師免許を有し、看護師の実務経験（6年間以上）がある教員が、大学病院等での病棟勤務経験を踏まえ、看護倫理に関する基礎的な講義・演習を行う。			
学生へのメッセージ 自分自身にある「倫理」観と向き合いながら、看護者としてあるいは看護学生として看護実践に必要な看護倫理について学びましょう。チームカンファレンスを通して、倫理的意思決定と看護実践について全員で考えましょう。授業での意見交換を重視しますので、積極的に参加しましょう。			
オフィスアワー 講義終了後またはメールで事前にアポイントを取ってください。			
授業用連絡先（E-mail） y-yumiko@asahikawa-med.ac.jp（升田）			
担当教員の研究と履修主題 看護倫理：看護師の倫理的問題の経験が倫理的判断に及ぼす影響			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 看護学テキスト NiCE 看護倫理 改訂第3版	小西恵美子編	南江堂	2,300円+税
(参) 看護実践の倫理 第3版	サラ T. フライ他	日本看護協会出版会	2,200円+税
(参) 医療倫理学のABC 第4版	服部健司他編	メヂカルフレンド社	2,900円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス・看護倫理とは	講義の進め方についてガイダンスを行う。看護倫理の定義、倫理原則について学ぶ。	升田
2	看護倫理原則	ピーチャムとチルドレスによる倫理原則、フライによる倫理原則について学ぶ。	〃
3	看護職の倫理綱領	日本看護協会（2021）が示す「看護職の倫理綱領」に基づき、専門職の倫理について学ぶ。	〃
4	看護学生の倫理行動規準	実習体験を振り返り、「看護学生の倫理行動規準」に基づいて看護学生に求められる倫理的態度を理解する。	〃
5	看護実践と看護倫理	看護実践における倫理的問題について事例を通して検討する。 事例：紙上事例看護学生Pさんのケース	〃
6	〃		〃
7	看護実践上の倫理的概念	事例を用いて看護実践上の倫理的概念（アドボカシー、責務、他）について理解する。	〃
8	事例検討① 抑制（身体拘束）	事例：DVD 事例について、個人ワーク後にグループで検討する。	〃
9	〃	演習：抑制体験	升田 一條 神成 綱元
10	〃	〃	〃
11	〃	DVD 事例について、グループで倫理的問題と倫理的態度について検討する。	升田
12	〃	抑制に関する事例を通して看護倫理についてグループで検討・発表する。	〃
13	事例検討②	事例について、グループで倫理的問題と倫理的態度について検討する。	〃
14	〃	〃	〃
15	まとめ	看護実践と倫理についてこれまでの学習のまとめを行う。看護職に必要な倫理的態度について考える。	〃

36. 看護理論（必修）

担当教員		◎升田由美子	
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第2学年	前期	1単位	15コマ
履修目的・授業概要			DP③
<p>【履修目的】 看護実践の科学的基盤となる看護理論とは何かを学び、看護実践に看護理論がどのように活用されるかを理解する。</p>			
<p>到達目標 一般目標 看護理論とは何かについて理解するとともに、代表的な看護理論について説明することができる。 行動目標 1. 看護理論の定義と歴史の変遷について理解し、看護理論のタイプを説明できる。 2. 以下の看護理論について理解し、看護実践での活用について説明できる。 ①哲学としての看護理論（ナイチンゲール、ウィーデンバック） ②ニーズ論（ヘンダーソン） ③ケアリング理論（ワトソン、メイヤロフ、他） ④セルフケア理論（オレム） ⑤人間関係の看護理論（トラバエルピー） ⑥目標達成理論（キング） ⑦文化ケア理論（レイニンガー） ⑧システム理論（ジョンソン） ⑨適応モデル（ロイ） ⑩キャリア発達理論（ベナー、シャイン他） 3. 看護実践における看護理論の活用について説明することができる。</p>			
<p>授業の形式 講義およびグループワーク、学生によるプレゼンテーションを組み合わせて行う。上述した看護理論①～⑩については個人で行う事前学習と疑問の明確化、学生によるプレゼンテーションと質疑応答、評価を行う。</p>			
<p>準備学習（予習・復習）等の内容と分量 看護理論①～⑩について各自が教科書・参考書を用いて事前学習（指定様式あり）を行う。プレゼンテーションを担当する看護理論に関しては課外の時間も活用してグループワークを行い、発表内容をまとめる。</p>			
<p>成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） 定期テスト：50% 出席・グループワーク・発表の参加度：10% 提出課題：40% 定期テストの得点率が60%未満のものには再試験を1回のみ行う。 出席2/3以上かつ上記内容を100点満点で換算し、60点以上で単位を認定する。60点未満の場合は追加レポートを課す。</p>			
<p>実務経験のある教員等による授業科目 該当する</p>			
<p>有する実務経験と授業への活用 看護師免許を有し、看護師の実務経験（6年間）がある教員が、大学病院での病棟勤務経験を踏まえ、看護理論に関する基礎的な講義を行う。</p>			
<p>学生へのメッセージ これから大学で学ぶ「看護」そして「看護学」とは何かについて皆さんとともに考える科目です。この科目を通して、一人一人が自分の看護観を形成し、育てていくことを期待しています。大学生としてふさわしい主体的に学ぶ姿勢をもち、課題や授業に取り組んで下さい。</p>			
<p>オフィスアワー 講義終了後またはメールで事前にアポイントを取ってください。</p>			
<p>授業用連絡先（E-mail） y-yumiko@asahikawa-med.ac.jp（升田）</p>			
<p>担当教員の研究と履修主題 看護基礎教育における看護診断の教授について</p>			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 看護学テキスト NiCE 看護理論 改訂第3版	筒井真優美編	南江堂	2,200円+税
(参) 看護理論家の業績と理論評価 第2版	筒井真優美編	医学書院	6,400円+税
(参) フォーセット看護理論の分析と評価 新訂版	フォーセット 太田喜久子他訳	医学書院	4,000円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス・看護理論とは	講義の進め方についてガイダンスを行う。看護理論と看護実践の関係について学ぶ。	升田
2	看護理論の歴史の変遷	看護理論の歴史の変遷を概観し、看護理論の意義を理解する。看護理論のタイプについて学ぶ。	〃
3	プレゼンテーション準備	今後のプレゼンテーションについてグループで検討する。manabaに話し合った内容と今後の取り組みスケジュールを提出する。 場所：講義室B、ゼミ室1～5	〃
4	〃	〃	〃
5	哲学としての看護理論	学生のプレゼンテーションと質疑応答を通してナイチンゲールおよびウィーデンバックを中心として哲学としての看護理論について学ぶ。	〃
6	ニーズ論	学生のプレゼンテーションと質疑応答を通してヘンダーソンのニーズ論に基づき「看護独自の機能」について学ぶ。	〃
7	ケアリング理論	学生のプレゼンテーションと質疑応答を通してケアリングの概念およびケアリングに関する理論について学ぶ。	〃
8	セルフケア理論	学生のプレゼンテーションと質疑応答を通してセルフケア理論について学ぶ。	〃
9	人間関係の看護理論	学生のプレゼンテーションと質疑応答を通して人間関係の看護理論について学ぶ。	〃
10	目標達成理論	学生のプレゼンテーションと質疑応答を通して目標達成理論について学ぶ。	〃
11	文化ケア理論	学生のプレゼンテーションと質疑応答を通して文化ケア理論について学ぶ。	〃
12	システム理論	学生のプレゼンテーションと質疑応答を通してシステム理論について学ぶ。	〃
13	適応モデル	学生のプレゼンテーションと質疑応答を通して適応モデルについて学ぶ。	〃
14	キャリア発達理論	学生のプレゼンテーションと質疑応答を通してキャリア発達理論について学ぶ。	〃
15	看護理論についてのまとめ	プレゼンテーションのまとめ、学習した看護理論の活用方法について理解する。	〃

38. 基礎看護学実習Ⅱ（看護過程と看護実践）（必修）

担当教員	◎一條 明美、升田由美子、神成 陽子、 網元 亜依、植山さゆり（看護部）、 本間 敦（看護部）、稲垣 邦子（非常勤講師）、 江口 明子（非常勤講師）、 大友 麻紀（非常勤講師）、 九鬼 智子（非常勤講師）、 葛西真知子（非常勤講師）、他		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第2学年	後期	2単位	85コマ
履修目的・授業概要 DP①②③④⑤			
1. 入院患者を統合体として理解し、療養生活上の看護援助を行う。 2. 看護実践に必要な基礎的看護技術を習得する。 3. 対人関係を築くために必要なコミュニケーション能力を高める。			
到達目標			
1. 受け持ち患者および家族との対人関係を築くことができる。 2. 受け持ち患者の療養生活を身体・心理・社会的側面からとらえ、看護計画に沿って看護援助ができる。 3. 看護チームメンバーの役割について理解する。 4. 看護学生として、倫理行動規準に基づいた行動をとることができる。 5. 看護実践、リフレクションを通して、自己の課題を明らかにする。			
授業の形式			
1. 学内において実習ガイダンス（実習の概要・倫理行動規準・健康管理等の説明）を行う。 2. 病棟実習は旭川医科大学病院で行う。入院患者を受け持ち、看護実践（情報収集、計画立案、実施・評価）を行う。 3. 病棟実習期間中は実習後、学内で実習の振り返り、翌日の行動計画の立案、記録の記載（グループ別・個別指導を含む）などを行う。 4. 病棟での受け持ち実習終了後に学内で実習全体を振り返るリフレクションを行う。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量			
目標達成のためには、これまでに学習した内容をすべて統合させることが求められる。基礎看護技術Ⅳで学習した看護過程の展開方法および受け持ち患者の看護実践に必要な知識と看護技術を復習する。事前に教員から提示される予習・復習内容（解剖生理学や疾患、検査、治療など）を参考に個人・グループで学習する。基礎看護技術に関しては別途、技術チェックを受ける。また、全ての実習終了後は、実習中の指導内容、受け持ち患者の経過および看護実践を振り返り、アセスメント・全体像・看護計画・経過記録の修正（復習）を行い、記録の最終提出を行う。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数）			
1. ガイダンス・病棟実習状況（出席を含む）・実習記録：85点（ルーブリック評価） 2. 実習レポート：15点（ルーブリック評価） 単位認定には2/3以上の出席を必要とする。総合点が60点以上で合格とする。実習中の提出物および最終提出物の遅滞は受領するが減点となる。原則、再実習・追実習は行わない。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用			
看護師免許を有し、病院看護師の実務経験（10年間）がある教員が、複数で大学病院等での勤務経験を踏まえ、看護実践に関する基礎的な指導を行う。			
学生へのメッセージ			
これまでに学習した内容を活用し、積極的に実習に取り組んでください。実習でより良い学びを得るには日頃の学習が非常に重要です。また、体調管理も重要です。感染予防を十分に行い、生活習慣を整えて、実習に臨みましょう。			
オフィスアワー 随時			
授業用連絡先（E-mail） aichijo@asahikawa-med.ac.jp（科目責任者：一條）			
担当教員の研究と履修主題 模擬患者を用いた面接演習に関する研究			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
これまでに基礎看護技術学で使用している教科書・参考書等			

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1		実習心得 病院ガイダンス	升田、 看護部教育担当副 部長
2		健康管理に関して	保健管理 センター
3-4	実習ガイ ダンス	実習概要の説明	一條
5		セキュリティポリシーガイダンス	経営企画 部部長
6		実習グループ別ガイダンス	
7-9		看護技術練習 受け持ち患者への説明 ロールプレイ	
10-23	病棟実習	受け持ち患者の情報収集、基礎的アセス メント	
24-30	学内実習	受け持ち患者の基礎的アセスメント、 全体像、看護問題の抽出	一條 升田 神成 網元 稲垣 江口 大友 葛西 九鬼
31-41	病棟実習	受け持ち患者の情報収集、重点アセス メント、看護実践、経過記録記載	
42-44	学内実習	受け持ち患者の全体像、看護問題の抽 出	
45-72	病棟実習	看護計画に基づく看護実践、評価、経 過記録記載	
73-78	学内実習	受け持ち患者の看護過程	
79-85	学内実習	リフレクションおよび受け持ち患者の 看護過程	

39. 地域包括ケア論Ⅱ（地域の課題把握）（必修）

担当教員	◎菅原 峰子、山根由起子、升田由美子、塩川 幸子、神成 陽子、苫米地真弓、巻島 愛、松田奈緒美、牧野 志津、山口 希美、山田 咲恵、吉原 茉寿、他看護学科教員、非常勤講師		
	対象学年	開講期	単位数
	第2学年	通年	1単位
			コマ数
			15コマ
履修目的・授業概要 DP①② 地域住民の健康増進のための課題・健康問題を明確にし、より良い地域包括ケアについて考える。 住民の健康や生活に関するニーズを把握し、その解決に向けた方略を実施するための準備を行う。			
到達目標 I. 地域住民の生活について1年次より引き続き検討し、健康上の課題や問題点に対し、必要とする資源やケアについて能動的に考えることができる。 1. 地域包括ケアに関連するサービス提供機関を列挙し説明できる。 2. 保健・医療・福祉制度、在宅医療や多職種連携を支える制度を説明できる。 3. 地域包括ケアにおける多機関、多職種連携・協働について説明できる。 4. 複数の対象者のニーズと、その地域のニーズを理解する。 II. コミュニケーション能力を活用し、地域住民のニーズを把握することができる。			
授業の形式 講義・グループワーク・プレゼンテーション インタビュー（学外） 地域活動参加（学外）			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 実際に見て聞いて感じて考えて、必要な支援を学習する。グループでケア実践者や住民へのインタビューを計画する。発表に向けたグループワークによる準備、適宜事前・事後の課題を課す。文献や資料を用いて実際に学んだことをポートフォリオにまとめる。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） 出席と小テスト 30%（出席1コマにつき1点） 参加姿勢 15%（報告連絡相談姿勢、参加希望提出後予定変更は減点） 提出物 35%（提出遅滞減点あり） 発表会 20%（ルーブリック評価） 地域活動参加・報告書：加点対象 合計100点のうち60点をもって合格とする。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 看護師免許を有し、病院等で看護師の実務経験（6～10年間以上）がある教員、ならびに保健師免許を有し、保健師の実務経験（16年間）のある教員が保健所での勤務経験を踏まえ、地域包括ケアの講義とフィールドワークを教授する。			
学生へのメッセージ 1年次での学習を生かし、引き続き地域住民の一員として地域包括ケアについて学び、活動しましょう。インタビューを通して地域の人々のニーズを把握し、その人らしく暮らし続けるためにどのような支援が必要か分析しましょう。担当地区について、1年生とも連携し、より主体的に地域活動に参画することを期待します。			
オフィスアワー 月～金 事前にメール頂けると確実です			
授業用連絡先（E-mail） msugawara@asahikawa-med.ac.jp（科目責任者：菅原）			
担当教員の研究と履修主題			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) よくわかる地域包括ケア	隅田好美、藤井博志、黒田研二編	ミネルヴァ書房	2,500円+税
(参) 地域包括ケアのすすめ	東京大学高齢社会総合研究機構(編)	東京大学出版会	3,500円+税
(参) 地域包括ケアシステムのすすめ	宮崎徳子監修、豊島泰子、立石宏昭編	ミネルヴァ書房	2,600円+税
(参) ナーシング・グラフィカ 在宅看護論 (1) 地域療養を支えるケア第6版	臺有桂、石田千絵、山下留理子編	メディカ出版	3,400円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス	科目の目的と到達目標・スケジュール・地域活動等の進め方。担当地区について各自まとめて提出。1年生へのメッセージを添える。	菅原
2	担当地域の理解①	地域を看護の視点で理解するための「地区把握」について学ぶ。	菅原
3	地域包括ケアにおける制度	保健・医療・福祉制度、在宅医療や多職種連携の仕組みなど地域包括ケアにおける制度について学習する。	菅原 非常勤
4			
5	担当地域の理解②	1年生を対象に、担当地区および地域活動参加についてプレゼンテーションを行う。	菅原 山根 各チーム 教員
6	地域住民・担い手へのインタビュー	地域での生活上の課題・ニーズを見出すインタビューの準備を行う（インタビューガイド作成）。	菅原 各チーム 教員
7			
8			
9	地域活動参加	地域活動に参加する。活動からの学びを報告書にまとめる。	菅原 各チーム 教員
10			
11	地域の課題分析	インタビューから得られた情報を分析し、地域の持つ課題を明らかにする。	菅原 山根 各チーム 教員
12			
13	インタビューの学び報告	インタビューやこれまでの学びを報告し、住民の多様なニーズに応えるために必要な医療や多職種連携を考える。地域包括ケアに必要な機関、制度、役割を議論する。グループでまとめたものを発表する（写真を用いても良い）。1年生と2年生の合同発表会。	菅原 山根 各チーム 教員
14			
15	実習での実践計画	地域包括ケアシステムによって解決可能な課題を見出す。地域包括ケア論Ⅲ・実習に向けた準備を行う。	菅原 神成 苫米地

40. 成人看護学Ⅰ（健康状態と看護）（必修）〔成人期、対象理解、慢性期、急性期、セルフマネジメント〕

担当教員	◎小田嶋裕輝、苫米地真弓、山口 希美、 鈴木悠希江（育休代替助教）、 國本紅美子（学内特別講師）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第2学年	前期	2単位	30コマ
履修目的・授業概要		DP③	
【履修の目的】 ・成人看護学の対象である成人期の特徴や健康問題を理解し、成人看護学の重要性と健康増進や疾病予防など成人保健活動における看護職の役割を学ぶ。 ・成人各期、健康の諸段階、多様な健康障害の各側面から、成人を対象とした看護の特徴を理解する。 ・成人における急性期、周手術期、慢性期、リハビリテーション期、終末期、緩和ケアなどの健康段階に応じた看護を学ぶ。			
到達目標 ・成人期における各発達段階の特徴や健康課題を説明でき、成人看護学の重要性と看護職の役割を理解できる。 ・成人を対象とした看護の特徴を、健康の諸段階や多様な健康問題に応じて説明できる。 ・急性期、周手術期、慢性期、リハビリテーション期、終末期、緩和ケアにおける看護の基本概念、中範囲理論、実践内容を説明できる。 ・成人保健活動における看護職の役割を理解し、多職種連携の重要性を説明できる。			
授業の形式 講義、グループワークなど			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 記載されているキーワードについて教科書参考書にて予習する。関係する既習学習は復習しておく。講義終了後は、配布されたプリントを整理し履修主題についてまとめを行う。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） ・定期試験（60%）、課題レポートなどの提出物（40%）により評価する。 ・評価による得点により、60点以上を合格とし、成績は、目安として90点以上を秀、80点以上を優、70点以上を良、60点以上を可、59点以下を不可とする。 ・なお、定期試験の受験資格は、講義時間数の3分の2以上の出題とする。 ・追再試は1度実施する。 ・課題レポートの評価はルーブリックによる。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 外科系の看護、慢性期看護、緩和ケアなどの看護実践経験のある教員が実践経験を組み込んだ授業を展開します。			
学生へのメッセージ 成人看護の基盤となる考え方を学びます。主体的に望んで下さい。購入する教科書は、成人看護学Ⅱ、成人看護学の演習、チーム医療・リハビリテーション看護論でも用います。			
オフィスアワー 随時。事前にメールいただくと助かります。			
授業用連絡先（E-mail） odajima@asahikawa-med.ac.jp（科目責任者）			
担当教員の研究と履修主題 学士課程における成人看護学教育の質保証に関わる研究			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 成人看護学成人看護学概論 (改訂第4版)	林 直子他編	南 江 堂	2,500円+税
(教) 成人看護学急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護 (改訂第4版)	林 直子他編	南 江 堂	3,200円+税
(教) 成人看護学急性期看護Ⅱ クリティカルケア (改訂第4版)	佐藤まゆみ他編	南 江 堂	3,000円+税
(教) 成人看護学慢性期看護 (改訂第4版)	鈴木久美他編	南 江 堂	3,400円+税
(教) 成人看護学成人看護技術 [Web 動画付] (改訂第3版)	野崎真奈美他編	南 江 堂	3,200円+税
(教) リハビリテーション看護 (改訂第3版)	酒井郁子他編	南 江 堂	2,700円+税
(教) がん看護	鈴木久美他編	南 江 堂	2,600円+税
(教) 緩和ケア (改訂第2版)	梅田 恵 他 編	南 江 堂	2,400円+税

成人看護学Ⅰ（健康状態と看護） 第2学年・前期・30コマ（必修）

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	成人期の対象理解	授業の概要 成人看護の対象理解を深める① ・ゴードンの分類法を参考に	小田嶋
2	"	"	"
3	成人期の対象理解	成人看護の対象理解を深める② ・看護を導く全体像を描く	小田嶋
4	"	"	"
5	成人期の看護過程	成人看護の理解を深める ・全体像から看護実践を導く	小田嶋
6	"	"	"
7	成人期の生活習慣①	成人期の生活習慣を学ぶ ・食生活習慣を中心に	小田嶋
8	"	"	"
9	患者理解を深めるための看護理論①	成人患者に関連した看護理論を学ぶ ～病みの軌跡～	小田嶋
10	"	"	"
11	患者理解を深めるための看護理論②	成人患者に関連した看護理論を学ぶ ②セルフケア理論	小田嶋
12	"	"	"
13	急性期にある患者の特徴と看護	急性期にある患者の特徴や看護について学ぶ	苫米地
14	"	"	"
15	患者理解を深めるための看護理論③	成人患者に関連した看護理論を学ぶ ～危機理論・ストレスコーピング理論～	苫米地

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	患者理解を深めるための看護理論③	成人患者に関連した看護理論を学ぶ ～危機理論・ストレスコーピング理論～	苫米地
17	周術期看護①	周術期にある患者の看護を学ぶ①	山口
18	"	"	"
19	周術期看護②	周術期にある患者の看護を学ぶ②	山口
20	"	"	"
21	慢性期看護①	慢性疾患患者への看護を学ぶ ①皮膚統合機能障害を有する人への看護	小田嶋
22	"	"	"
23	慢性期看護②	慢性疾患患者への看護を学ぶ ②呼吸器病患者への看護	小田嶋
24	"	"	"
25	慢性期看護③	慢性疾患患者への看護を学ぶ ③呼吸器病患者へのリハビリテーション	小田嶋
26	"	"	"
27	終末期看護	終末期にある患者への看護を学ぶ	小田嶋
28	"	"	"
29	緩和ケア	緩和ケアを受ける患者への看護の実際を学ぶ	國本 学内特別 講師
30	"	"	"

41. 高齢者看護学Ⅰ（老いを生きる人と看護）（必修）〔高齢者、加齢変化、老化、高齢者観、老年症候群〕

担当 教員	◎菅原 峰子、野中 雅人、牧野 志津、 間瀬 智子（視能訓練士／学内特別講師）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第2学年	後期	1単位	15コマ
履修目的・授業概要		DP③	
履修目的：高齢者看護学の理念を学ぶ。 授業概要：高齢者の身体・生理的・心理的・発達の、社会的特徴を学び、高齢者に対する理解を深める。また、高齢者の家族、高齢者の権利擁護の現状から高齢者を取り巻く環境を把握する。			
到達目標			
1. 高齢者への看護の基本的な考え方が説明できる 2. 高齢者の身体的・生理的・心理的・発達の特徴を説明できる 3. 老年期に多い症候の特徴とそれらに対する看護を説明できる 4. 高齢者虐待、身体拘束の特徴を説明し、高齢者への権利擁護の重要性を考察できる			
授業の形式			
対面授業、manabaより講義資料の配信、小テストの実施、レポートの受付をする。また、講義中、オンラインによるアンケートで皆さんの考えを聞き、講義内容に反映させることがある。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量			
予習、復習としてmanabaより小テスト（3～5問）が出題されることがある。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数）			
参加態度10%（予習・復習の小テストの得点、遅刻などの出席状況） レポート20%（提出がない場合、単位が認定されないことがある） 試験70%（受験資格は講義時間数の3分の2以上の出席とする） 上記の内容を100点満点で換算し、60点以上で単位を認定する。追再試験については、試験日を設け1回のみ実施する。			
実務経験のある教員等による授業科目			
該当する			
有する実務経験と授業への活用			
多くの講義は看護師免許を有し、病院等での看護実践経験をもつ教員が担当する。他に講義の内容により視能訓練士の資格で医療に従事する教員が講義を担当する。			
学生へのメッセージ			
本科目は皆さんにとって未体験の「老い」への理解を促すねらいがあります。自身の高齢者へのイメージを自問しながら受講してください。			
オフィスアワー			
月～金曜 事前にメール連絡があるとよい			
授業用連絡先（E-mail）			
msugawara@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題			
菅原：高齢者のせん妄 野中：地域在住高齢者の呼吸筋訓練 牧野：急性期病院と在宅医療における看護職の連携			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 老年看護学 10版	北川 公子編	医学書院	2,970円
(教) 老年看護学 病態・疾病論	鳥羽 研二編	医学書院	2,530円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	高齢者看護の基本	高齢者看護の対象、目的、目標、役割、加齢と老化を学び、自身の高齢者観を考察する	菅原
2		高齢者の人口構成、寿命、健康状態などを示す資料から超高齢社会の様相を学ぶ	菅原
3	高齢者の特徴	高齢者の恒常性の特徴、感覚器の加齢変化と生活への影響を学ぶ	菅原
4		視覚、高齢者に多い眼科系疾患の基本的知識を学び生活への影響を考察する	間瀬
5		循環器、呼吸器、運動器の加齢変化と生活への影響を学ぶ	菅原
6		消化器、腎・泌尿器、生殖器の加齢変化と生活への影響を学ぶ	菅原
7		知能、認知機能の加齢変化と生活への影響を学ぶとともに高齢者の人格について考察する	菅原
8		老年期のライフイベントとエリクソンなどの提唱する老年期の発達課題を学ぶ	菅原
9		老年症候群と看護（1） 嚥下障害・脱水	野中
10	老年症候群への看護	老年症候群と看護（2） 排泄障害（失禁・便秘）	野中
11		老年症候群と看護（3） 廃用症候群（褥瘡・低栄養）	野中
12		老年症候群と看護（4） ADL障害・転倒	野中
13		高齢者看護に活用可能な概念、理論を学ぶ	菅原
14	高齢者看護の基本	高齢者差別、高齢者虐待、身体拘束などの現状から人権擁護とエンパワメントの重要性を学ぶ	牧野
15		高齢者の生活を支える地域包括ケアシステム、介護予防事業、退院支援を学ぶ	牧野

42. 小児看護学（必修）

担当教員	◎森 浩美、木下 千尋、岡村 綾子、菅野 芳美（非常勤）、金田 若奈（非常勤）		
	対象学年	開講期	単位数
	第2学年	通年	2単位
コマ数 30コマ			
履修目的・授業概要 DP①③ 本科目の目的は、小児看護学の基礎として、①小児と家族が生きる社会環境について理解する、②小児と家族の権利、健康や成長・発達に関する知識を修得する、③小児と家族の権利を用語するために必要な看護師としての倫理的態度を探究することである。 授業では、第一に小児と家族に関わる社会環境や法律・施策、統計データなどを概観する。次に、成長・発達段階別、症状別、状況別に小児と家族の特徴と看護について学ぶ。さらに、学修の過程では、常に小児と家族の権利について考え、看護師としての倫理を考察する。			
到達目標 1. 小児と家族を取り巻く社会環境について理解する。 2. 小児と家族の権利、健康、成長・発達について理解する。 3. 小児看護の役割と責務について説明できるようにする。 4. 小児と家族に対する倫理的態度について学ぶ。			
授業の形式 これまでの学修を基盤として、小児看護学の基礎について解説します。授業は、主に教科書、資料、パワーポイント資料、DVDを用いた講義形式で行い、随時、グループワークを取り入れます。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 教科書、資料を基にして、シラバスに記載されている内容について予習して授業に臨んでください。講義終了後は教科書や配付資料を読み返し、復習してください。グループワークでは自己の意見をもって積極的に臨んでください。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） 定期試験：80% 課題レポートもしくはグループワーク成果：20%（ルーブリック評価による） 出席2/3以上、かつ、上記内容を100点満点で換算し、60点以上で単位を認定します。60点に満たない場合は再試験を1回のみ実施します。 追試験は正当な理由が認められた場合にのみ1回実施します。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 看護師を有し、病院看護師の実務経験10年以上の教員が、大学病院等での小児看護の勤務経験を踏まえ、小児看護学に関する基礎的な講義を行う。			
学生へのメッセージ 「小児と家族の権利・最善」「小児看護の役割と責務」について学生の皆さんと考える授業にしたいと考えております。			
オフィスアワー 事前にメールで確認してください。			
授業用連絡先（E-mail） ekubo-h@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題 症状別看護：短期入院で計画手術を受けた小児の研究			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
小児看護学Ⅰ	二宮 啓子	南江 堂	3,960円
小児看護学Ⅱ	今野 美紀	南江 堂	3,740円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	小児看護の理念	小児看護の対象、小児看護の目的、役割・機能について学ぶ。	森
2		小児と家族の権利について学ぶ。	森
3	小児看護に関連する法律・統計	小児看護に関連する法律・施策、保健統計について学ぶ。	森
4	小児の成長・発達と看護	小児の特性、成長・発達の原則、発育評価について学ぶ。	森
5		乳児期の子どもの成長・発達と看護について学ぶ。	森
6			森
7		幼児期の子どもの成長・発達と看護について学ぶ。	森
8			森
9		学童期・思春期の子どもの成長・発達と看護について学ぶ。	森
10	森		
11	森		
12	症状別小児と家族の看護	症状別にみる小児と家族の家族の看護について理解する。 ①発熱 ②嘔吐 ③下痢 ④出血・貧血 ⑤痛み	森
13			森
14			森
15	状況別小児と家族の看護	外来を受診する小児と家族の看護について学ぶ。	森

小児看護学 第2学年・通年・30コマ（必修）

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	状況別の小児家族の看護	外来を受診する小児と家族の看護について学ぶ。	森
17		入院している小児と家族の看護について学ぶ。	森
18			森
19		周手術期の小児と家族の看護について学ぶ。	森
20			森
21		リハビリテーションにおける小児と家族の看護について学ぶ。	森
22		在宅療養する小児と家族の看護について学ぶ。	森
23		成人期に移行する慢性疾患をもつ小児と家族の看護について学ぶ。	森
24		医療的ケアを必要とする小児と家族の訪問看護について学ぶ。	森
25		小児と家族を支える社会資源について学ぶ。 －医療・福祉を中心に－	森
26		終末期にある小児と家族の看護について学ぶ。	森
27		特別な支援を必要とする小児と家族の看護について学ぶ。	森
28			森
29			森
30	小児看護の課題	小児看護の課題と今後の展望について学ぶ。	森

43. 母性看護学（必修）〔母性、女性のライフステージと健康課題、周産期・産後の看護〕

担当教員	◎山内まゆみ、巻島 愛、吉原 菜寿、 出村 唯、栗原かおる（学内特別講師）、 加藤 育民（学内特別講師）、 横浜 祐子（学内特別講師）、 伊藤 幸子（非常勤講師）		
	対象学年	開講期	単位数
	第2学年	通年	2単位
コマ数 30コマ			
履修目的・授業概要 DP③ 母性看護学における基本的な知識を学習する。女性のライフステージにおける健康課題と看護、リプロダクティブヘルス/ライツの概念、周産期の女性と新生児の生理的・心理的・社会的特徴と看護、母子関係を促進する看護を理解する。 ※助産師課程必修科目でもある。			
到達目標 1. 母性、女性の各ライフサイクルの健康課題を述べるができる。 2. 母子保健のための主な法律と施策を述べるができる。 3. 周産期の女性の健康のアセスメントと看護ケアについて述べるができる。 4. 胎児発育、新生児の健康度のアセスメントと看護ケアについて述べるができる（NICUに入院する新生児を含む）。 5. 新たな家族を迎える準備、必要な退院指導について述べるができる。 6. 母乳育児を確立するために必要な支援の方法を述べるができる。 7. 母子関係を促進する看護について述べるができる。			
授業の形式 講義形式。 積極的な参加・発言を期待する。適時小テスト機能を用い予習・復習を課す場合がある。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 シラバスや配布する資料から、学習内容について教科書・参考書での予習が望ましい。講義後は時間内に配布された資料の自分の理解度を確認し、教科書をまとめるなどの復習をしておくこと。本科目は助産師課程の学習の基礎となる。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） 全コマ出席を求め、欠席は減点対象となる場合がある。小テストへの無回答は欠席とする場合がある。試験は前期・後期に分けて行う。前期と後期得点はそれぞれ100点換算し、後期試験終了時点で120点以上を合格とする。そのため、前期試験後の追再試は行わない。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 助産師免許（一部アドバンス助産師の資格を有する）、NCPR（Aコース）修了認定を有し、病院での実務経験（5年以上）がある教員・非常勤講師、本学産婦人科学講座に所属する医師が担当。			
学生へのメッセージ 科目内容は看護師に必要な看護実践能力育成はもちろん、自己のライフステージ構築にとり有意義な知識となるため、性別を問わず学んでほしい。			
オフィスアワー 平日、予定が合えば適時可能			
授業用連絡先（E-mail） asayama@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題 母性看護学演習の教育評価に関連する研究			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 母性看護学〔1〕 母性看護学概論 第14版	森 恵美 他	医学書院	2,750円(税込)
(教) 母性看護学〔2〕 母性看護学各論 第14版	森 恵美 他	医学書院	3,410円(税込)
(参) 新訂版 写真でわかる母性看護技術 アドバンス[Web動画付]	平澤恵美子(監)	インターメディカ	3,520円(税込)

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	母性を学ぶ	母性の意味・定義・概念、母性看護学について、看護学での位置づけ、関連理論を学習する。	山内
2	女性のライフステージ・母性の発達	女性のライフステージ各期の特徴・母性発達と健康課題を学習する。	山内
3	生殖医療と看護～妊孕性温存療法を含む	生殖医療を取り巻く環境が変化し、看護の立場からも適切な知識の必要性について、妊孕性温存療法を含む生殖医療の現状を考える。	加藤(学内特別講師)
4	母子保健の動向、母子保健に関連する法律と施策	母子保健統計からその動向を学び、母子の健康を守るための法律と施策を学習する。	山内
5	思春期の健康	思春期に起こりやすい健康問題、課題と支援について学ぶ。	横浜(学内特別講師)
6	更年期の健康	更年期に起こりやすい健康問題、課題と支援について学ぶ。	伊藤(非常勤)
7	妊婦の看護①	妊娠による身体的変化とその経時的変化について学習する。	巻島
8	妊婦の看護②	妊婦の心理社会的特徴について学習する。	巻島
9	妊婦の看護③	妊婦の健康と胎児の健康について、アセスメントの視点を学習する。	巻島
10	妊婦の看護④	妊娠によって生じる日常生活の変化をアセスメントし、必要な看護を学習する。	巻島
11	妊婦の看護⑤	妊婦に起こりやすいトラブルについて学習する。	巻島
12	妊婦の看護⑥	妊婦に必要な健康教育について学習する。	出村
13	産婦の看護①	分娩の機序と経過、産婦の身体的特徴について学ぶ。	出村
14	産婦の看護②	分娩が母体と胎児に与える影響と胎児の健康について学ぶ。	出村
15	産婦の看護③	分娩経過に伴う産婦の心理、家族の心理を学ぶ。	出村

母性看護学 第2学年・通年・30コマ（必修）

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	産婦の看護④	分娩経過に伴う看護目標と産婦のケアについて学ぶ。	出村
17	産婦の看護⑤	分娩期に正常から異常へ逸脱した産婦の看護について学ぶ（帝王切開を含む）。	出村
18	褥婦の看護①	褥婦の身体的変化の経時的特徴を学ぶ。	山内
19	褥婦の看護②	産褥期の退行性変化である性器の復古（悪露の変化）、全身の回復について学び、褥婦のセルフケアへの支援について学ぶ。	山内
20	褥婦の看護③	産褥期の進行性変化（乳房の変化、母乳分泌の過程）と乳房のケア、母乳育児支援について学ぶ。	山内
21	褥婦の看護④	産褥期の心理的变化と母子相互作用、家族の役割調整について学ぶ。	山内
22	褥婦の看護⑤	産褥期に起こりやすいマイナートラブル・異常について学ぶ。	山内
23	新生児の看護①	新生児の看護の特徴について学ぶ。	吉原
24	新生児の看護②	新生児の生理的特徴とその経時的変化・アセスメントを理解する1)	吉原
25	新生児の看護③	新生児の生理的特徴とその経時的変化・アセスメントを理解する2)	吉原
26	新生児の看護④	新生児が胎外生活に順調に適応するよう促進する看護を学ぶ。	吉原
27	新生児の看護⑤	新生児におこりやすい異常と看護について学ぶ。	吉原
28	退院する母子に必要な看護・地域での母子への支援	退院に必要な指導・支援、新生児を受け入れ新しい家族に退院後も適応し、適切で安全な生活を送るための地域での支援や社会資源を学ぶ。	吉原
29	ハイリスク新生児の看護①	ハイリスク新生児、NICU から GCU の役割と看護について学ぶ1)	栗原 (学内特別講師)
30	ハイリスク新生児の看護②	ハイリスク新生児、NICU から GCU の役割と看護について学ぶ2)	栗原 (学内特別講師)

44. 精神看護学 I (個人と社会における精神保健) (必修) [精神看護、人権、メンタルヘルス]

担当教員	◎長谷川博亮		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第2学年	前期	1単位	15コマ
履修目的・授業概要 DP③ 精神看護の対象を発達の側面や社会的側面から理解し、精神障害の有無にかかわらず、全ての人の心の健康を支えるための看護について必要な基礎的知識と視点を学ぶ。			
到達目標 1. 精神医療が成立するまでの歴史的経緯と法制度を理解し、その中で精神科患者の人権がどう捉えられてきたか説明することができる。 2. 精神看護の対象の特徴を発達の視点や社会的視点と関連させながら説明することができる。 3. 精神障害の影響について個人と社会的要因を関連させながら説明することができる。 4. 精神科における行動制限の特徴と人権を擁護するための法的制度、及び看護について理解することができる。 5. 精神の健康を多角的に捉え、精神看護における人間理解と自己理解の必要性について説明することができる。 6. 現代の精神医療の課題をふまえ、精神看護の可能性と役割について考えることができる。			
授業の形式 講義形式です。講義前に必ず資料を配布しますが、考える材料として活用して欲しいため、講義内容を“聴き”そして“感じ”最後に“自分で考え”それを資料に書き込んで学びを深めてください。			
準備学習(予習・復習)等の内容と分量 参考図書や資料を示していますので、講義内容の部分あらかじめ読んでから参加すると良いでしょう。復習ができるように各履修主題を終えた後に課題用紙も配布しますが、強制はしません。			
成績評価の方法と基準等(合格基準、および追再試の回数) ①最終試験 1回 100点満点(100%) ①の合計点により成績を算出する ②公休等の欠席の状況に基づき追試験を1回実施する。 ③試験の合計が60%に満たない者は再試験を1回実施する。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 精神看護の専門職として、地域住民や保健師等と共に活動する実務を経験する教員が講義を行う。			
学生へのメッセージ 精神看護の人権擁護の第一歩は、主体的に学び対象者を理解しようとするところから始まります。決して大きなことはしなくてよいので、真摯に学んでください。			
オフィスアワー 研究室在室時はいつでも来てください(507研究室)			
授業用連絡先(E-mail) hiroh@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題 地域における自殺対策の実践活動 現代社会と精神の危機 思春期・青年期のデートDV			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(参) 精神看護学 I 精神保健学	吉松和哉、他	ヌーヴェルヒロカワ	2,310円
(参) 精神看護学 I	萱間真美、他	南江堂	2,640円
(参) 精神看護学 II	萱間真美、他	南江堂	3,080円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	精神看護学のガイダンス	・授業の進め方 ・成績評価 ・精神看護とは何かを理解	長谷川
2	精神医療の歴史の変遷	・精神医療の成立 ・精神医療と社会・法制度	長谷川
3		・精神科患者の人権と自立 ・精神医療の課題と可能性	長谷川
4	精神の機能と健康	・精神の概念と機能 ・精神機能の障害	長谷川
5		・パーソナリティと防衛機制 ・精神障害と健康の視点	長谷川
6		・幼児期～学童期の発達と精神の問題(親や友人関係の影響)	長谷川
7	生涯発達と精神の問題	・思春期・青年期の発達と精神の問題(自己と向き合う不安)	長谷川
8		・成人期の発達と精神の問題(社会関係の影響)	長谷川
9		・老年期の発達と精神の問題(人生の統合と孤独)	長谷川
10	生活の場と精神保健	・学校・職場、地域におけるメンタルヘルス	長谷川
11	現代社会と精神の危機	・ストレス社会と健康問題 ・危機理論と精神保健	長谷川
12		・暴力と健康問題 ・児童虐待死から見えるもの	長谷川
13		・統計データから自殺問題を考察 ・自殺と精神疾患の関連性	長谷川
14	精神看護と人権擁護	・精神科における行動制限 ・精神保健福祉法の理解	長谷川
15	精神看護と自己理解	・精神科における感情の活用 ・プロセスレコードの概念	長谷川

45. 精神看護学Ⅱ（精神症状と看護の展開）（必修）〔精神看護、人権、メンタルヘルス〕

担当教員	◎長谷川博亮、石川 千恵		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第2学年	後期	1単位	15コマ
履修目的・授業概要 DP③ 精神障害の基本的知識を踏まえながら、精神症状が対象者に及ぼす影響を精神機能、身体機能、生活機能、社会機能から多角的に捉え、対象者の発達段階を考慮した回復（リカバリー）と自立・自律を促進する看護援助について学ぶ。			
到達目標 1. 精神障害の特徴を対象者への影響と関連させながら理解できる。 2. 理論的背景を踏まえながら精神科治療について理解できる。 3. 精神障害の影響を多角的に考えながら、対象者の精神状態の回復（リカバリー）や安定に必要な情報収集とアセスメントができる。 4. 対象者の個性性を踏まえながら、自立・自律を考慮した看護援助の視点を身につける。 5. 精神科治療における看護師の役割を説明できる。 6. 精神科における医療安全管理（危機管理を含む）の留意点と看護について説明できる。 7. リエゾン看護について理解し、精神看護の多様性と可能性を深める。 8. 精神障害と社会復帰について理解し、対象者を地域で支える“人”“場”“制度”について説明できる。			
授業の形式 主に講義形式です。講義前に必ず資料を配布します。事例も多く提供していきたいと思っております。事例についてはその講義の復習として位置づけてください。様々な文献を検討しながら自己学習して、皆さんのアセスメント能力を高めて欲しいと考えています。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 予習をして欲しい内容は、事前に皆さんにお知らせします。各自、図書館等で学習してください。復習については事例を提供します。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） ①最終試験 1回 100点満点（100%） ①の合計点により成績を算出する ②公休等の欠席の状況に基づき追試験を1回実施する。 ③試験の合計が60%に満たない者は再試験を1回実施する。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 精神科看護師として、病棟及びデイケアで実務を経験する教員が講義を行う。また、認定看護師資格を有する教員がリエゾン看護について説明する。			
学生へのメッセージ 精神看護における現象は、視覚化やデータ化ができないことも多いため、我々は、様々な理論的背景を理解し、知識を得る必要があります。おそらく膨大な知識量になるでしょう。“専門職になる＝対象者と向き合い続ける”ということはそう簡単なことではありません。積極的にコツコツと学んでください。			
オフィスアワー 研究室在室時はいつでも来てください（507研究室）			
授業用連絡先（E-mail） hiroh@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題 精神科長期入院患者の退院と自立への不安			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(参) 精神看護学②	岩崎弥生, 他	メジカルフレンド社	4,400円
(参) 精神看護学②	出口禎子, 他	メディカ出版	3,200円+税
(参) 精神看護学Ⅱ	萱間真美, 他	南江堂	3,080円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	精神看護学Ⅱのガイダンス	・授業の進め方 ・成績評価 ・精神看護学Ⅱが目指すこと	長谷川
2	リエゾン看護	・リエゾン看護の概念 ・身体疾患と精神障害 ・リエゾンと医療チーム	石川
3	統合失調症と看護	・統合失調症の基本的理解 ・精神症状と生活への影響 ・薬物療法と副作用 ・ストレス脆弱性-対処技能モデル ・社会生活技能訓練の実際 ・統合失調症と自立支援 ・統合失調症と看護の留意点	長谷川
4			
5	気分障害と看護	・気分障害の基本的理解 ・うつ病と身体の関係 ・不眠と看護 ・気分障害と自殺企図 ・薬物療法と副作用 ・新型うつ病 ・気分障害と看護の留意点	長谷川
6			
7	不安障害と看護	・不安の定義 ・不安障害の基本的理解と治療 ・不安障害と看護の留意点	長谷川
8	摂食障害と看護	・身体表現性障害の基本的理解 ・疾病利得の理解 ・身体表現性障害と看護の留意点	長谷川
9	摂食障害と看護	・摂食障害の基本的理解 ・摂食障害が身体に及ぼす影響 ・摂食障害と看護の留意点	長谷川
10	物質関連障害と看護	・物質関連障害の基本的理解（アルコール依存と薬物依存） ・物質関連障害と看護の留意点	長谷川
11	パーソナリティ障害と看護	・パーソナリティ（PD）の概念 ・PDの基本的理解 ・PDと看護の留意点	長谷川
12	自閉症スペクトラム障害と看護	・自閉症スペクトラム障害の基本的理解 ・自閉症スペクトラム障害と看護の留意点	長谷川
13	精神科における安全管理と看護	・安全管理・危機管理の特徴 ・行動制限と留意点 ・人権擁護を踏まえた看護援助 ・精神科と医療チーム	長谷川
14	老年期と精神障害	・認知症と精神症状 ・せん妄の基本的理解	長谷川
15	精神障害と社会復帰	・精神障害と自立 ・長期入院患者と地域生活 ・リカバリーの概念 ・精神障害を支える地域の力	長谷川

必修科目

【第3学年】

46. 臨床薬理学（必修）〔薬理作用、薬物動態、薬物治療、副作用、薬剤関連法規〕

担当教員	◎眞鍋 貴行		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第3学年	前期	1単位	15コマ
履修目的・授業概要		D P ③	
<p>薬理学で学んだ薬理作用を確認しながら、薬が疾患の治療に用いられる理由を理解し、投与前の準備から投与後のアセスメントまでの薬の適正使用に関して、知っておかなければならない基本的事項、薬物相互作用など投薬・与薬場面における注意事項について学ぶ。さらに、副作用、有害事象などを含む薬物療法に関連したヒトの反応、薬物投与濃度計算、薬物管理、などについても学び、薬物療法中の看護援助に関連する知識を習得する。</p>			
到達目標			
<p>1. 各症状・疾患に使用する薬剤を列挙できる。 2. 代表的な薬剤の薬理作用を説明できる。 3. 看護業務に必要な薬の知識を列挙できる。</p>			
授業の形式			
<p>原則教室での対面授業です。 出席カードで出欠を取ります。</p>			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量			
<p>manabaの臨床薬理コースより講義資料をダウンロードしておいてください。基本的には復習に重点をおく学習でいいですが、履修前に講義資料と教科書を読み、予習しておくことが望ましいです。疑問点はmanabaを通して質問するようにしてください。</p>			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数）			
<p>「評価基準」：原則として定期試験の得点が60%以上で及第とします。ただし、15コマのうち10コマ以上の出席をしなければ受験することができません。 定期試験にて得点率が60%未満の場合は、再試験を1回実施する。 明確な理由により定期試験が受験できなかった者には追試験を実施する。</p>			
実務経験のある教員等による授業科目			
該当する			
有する実務経験と授業への活用			
<p>薬剤師免許を有し実務経験（8年間）がある教員が、看護師に必要な臨床薬理学の基礎を講義する。</p>			
学生へのメッセージ			
<p>薬の臨床使用に関する臨床薬理学を学ぶことは、患者ケアにおいて最も重要な事項の一つです。臨床現場で最も多い医薬品関連インシデントを減らすことにもつながります。臨床薬理学は、薬理学を習得されることを前提としていますので、薬理学の復習をしながら理解を深めてください。</p>			
オフィスアワー			
<p>随時、事前にメールもしくはmanabaで連絡いただくとスムーズです。</p>			
授業用連絡先（E-mail）			
tmanabe@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題			
<p>担当教員の研究テーマに関連する履修主題はありません。</p>			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ち② 臨床薬理学	古川裕之(編)	メディカ出版	3,400円
(参) 今日の治療薬2025 解説と便覧	伊豆津宏二	南江堂	5,280円
(参) 薬がみえる vol.1～4	医療情報科学研究所(編)	メディックメディア	3,600～3,900円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	臨床薬理学と医薬品総論	臨床薬理学および薬物治療の基盤となる知識、法令を学ぶ	眞鍋
2	薬物動態とその変化	医薬品の体内動態とともに臓器障害時、加齢による変化を学ぶ	眞鍋
3	看護業務に必要な薬の知識	薬剤の単位、看護計算、処方箋の読み方、添付文書を理解する	眞鍋
4	生活習慣病に用いる薬剤1	高血圧・狭心症・心筋梗塞・不整脈・心不全の治療薬と臨床薬理を学ぶ	眞鍋
5	生活習慣病に用いる薬剤2	脂質異常症・糖尿病・脳血管障害の治療薬と臨床薬理を学ぶ	眞鍋
6	消化器系疾患に使用する薬	消化性潰瘍薬、制吐薬等の作用機序と使用法、有害反応と看護における注意点について学ぶ	眞鍋
7	がん・痛みに関する薬剤	抗がん薬の適応・作用機序と有害作用及びその対策を理解する 疼痛治療の原則とオピオイド鎮痛薬の特徴を理解する	眞鍋
8	脳・中枢神経系疾患の薬剤1	中枢神経系の働きとパーキンソン病、アルツハイマー型認知症に対する臨床薬理を学ぶ	眞鍋
9	脳・中枢神経系疾患の薬剤2	抗てんかん薬、精神疾患に対する薬剤（向精神薬）の臨床薬理を学ぶ	眞鍋
10	感染症に使用する薬剤	化学療法薬の作用機序、適応、消毒薬の適応と有害作用、予防接種について学ぶ	眞鍋
11	救命救急時に使用する薬剤	救命救急の必要な急性期病態と、緊急時に使用する医薬品の特徴、使用上の注意点について学ぶ	眞鍋
12	呼吸器関連疾患で使用する薬剤	呼吸器関連疾患の薬物療法について理解する また鎮咳薬・去痰薬についても学ぶ	眞鍋
13	アレルギー・免疫不全状態の患者に使用する薬	ステロイドなど抗アレルギー薬の適応症、作用機序、投与方法、副作用、及び膠原病に使用する薬剤について理解する	眞鍋
14	その他の症状に対する薬剤1	代謝機能障害、内分泌障害、血液・造血器障害、腎機能障害、性・生殖機能障害について学ぶ	眞鍋
15	その他の症状に対する薬剤2	皮膚傷害、視覚障害、痛みに関する薬、水分・電解質・輸液について学ぶ	眞鍋

47. 臨床病態治療学Ⅲ (内科・外科系以外の疾患) (必修) [臨床医学 腎泌尿器外科、脳外科、眼科、整形外科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、皮膚科、放射線科、臨床検査医学、救急医学]

担当 教員	◎看護学講座(眞鍋 貴行) 腎泌尿器外科(大谷美結、菊地大樹)、脳神経外科(佐藤広崇、福山秀青、高野千恵)、眼科(神谷隆行、宇都宮嗣了)、整形外科(谷野弘昌、妹尾一誠、松倉圭佑)、耳鼻咽喉科・頭頸部外科(河野通久)、皮膚科(井川哲子、大坪紗和、高橋千晶)、放射線科(中島香織、石戸谷俊太、大屋明希子、戸田雅博)、臨床検査・輸血部(坂本 央、河端奈穂子、齊藤江里香)、救急医学(岡田 基、丹保亜希仁、中嶋駿介)		
	対象学年	開講期	単位数
	第3学年	前期	2単位
			コマ数 30コマ
履修目的・授業概要 DP③ 本科目は、健康障害を有する人に対する、健康回復のための看護ケアに必要な知識として、「臨床診断・治療学」について学ぶ。臨床病態治療学Ⅲでは、腎・泌尿器外科の疾患、脳外科の疾患、整形外科の疾患、眼疾患、耳鼻咽喉科的疾患、皮膚疾患、さらに、臨床検査医学、放射線医学などの統合的分野、救急医学などの急性期医療についての講義を展開する。講義では、各疾患に関する病因・概念・病態・診断法・治療法について、現在の標準的な内容に加え、最新の知見に基づいた up-to-date な内容、大学病院で行われる最先端の診療についても教授する。			
到達目標 1. 主要な疾患の成り立ちが理解出来る。 2. 診断法の意味、適応を理解出来、診断への道筋を理解出来る。 3. 診断の結果をもとに治療法の選択肢を列挙出来それぞれの短所、長所を理解出来る。 4. 病期や予後判定などの意義が理解出来る。 5. 上記を統合し患者への援助を考えることが出来る。			
授業の形式 原則教室での対面授業です。 出席カードで出欠を取ります。 履修の順番はシラバスと異なる場合があります。manaba に提示する講義日程を参照してください。			
準備学習(予習・復習)等の内容と分量 manaba の臨床病態治療学Ⅲコースより講義資料をダウンロードしておいてください。基本的には復習に重点をおく学習でいいですが、履修前に講義資料と教科書を読み、予習しておくことが望ましいです。 疑問点は manaba を通して質問するようにしてください。			
成績評価の方法と基準等(合格基準、および追再試の回数) 「評価基準」:原則として定期試験の得点が60%以上で及第とします。ただし、30コマのうち20コマ以上の出席をしなければ受験することができません。 定期試験にて得点率が60%未満の場合は、再試験を1回実施する。 明確な理由により定期試験が受験できなかった者には追試験を実施する。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 各領域とも臨床経験が豊富な講師によって、看護師に必要な臨床診断・治療について必要な基礎を講義する。			
学生へのメッセージ 専門基礎で得た解剖・生理・病理学の知識を復習・補強しつつ、将来皆さんが勤務するかもしれない病棟・診療現場の風を感じながら、臨床医学の神髄を学んでください。			
オフィスアワー 随時(コーディネーター) 事前にメールもしくは manaba で連絡いただくとスムーズです。			
授業用連絡先(E-mail) tmanabe@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題 担当教員の研究テーマに関連する履修主題はありません。			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 看護のための臨床病態学 第4版	浅野嘉延編	南山堂	9,680円
(参) 病気がみえる vol.7, 11~14	医療情報科学研究所(編)	メディックメディア	3,850~4,950円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	脳血管障害	脳出血、脳梗塞、くも膜下出血について学ぶ	佐藤
2	頭部外傷	頭部外傷の診断、治療、予後について学ぶ	福山
3	脳腫瘍	脳腫瘍の診断、治療、予後について学ぶ	高野
4	前眼部病変	前眼部病変の診断、治療と看護ケアについて学ぶ	神谷
5	後眼部病変	後眼部病変の診断、治療と看護ケアについて学ぶ	宇都宮
6	皮膚に表現される感染症	皮膚に表現される感染症について学ぶ	大坪
7	変形性股関節症	変形性股関節症の病態と治療、人工関節について学ぶ	谷野
8	皮膚悪性腫瘍	悪性黒色腫について学ぶ	高橋
9	アトピー性皮膚炎	アトピー性皮膚炎の診断、治療について学ぶ	井川
10	鼻疾患	鼻・副鼻腔における炎症、良性悪性腫瘍について学ぶ	河野
11	耳疾患	難聴、めまいについても学ぶ	河野
12	咽頭・喉頭疾患	咽頭・喉頭における炎症、良性悪性腫瘍について学ぶ	河野
13	検体の採取と輸血	検体の採取と保存の方法と輸血の検査について学ぶ	河端
14	放射線と医療	放射線の基礎を学ぶ	大屋
15	放射線診断学(胸部)	胸部の画像診断について学ぶ	石戸谷

臨床病態治療学Ⅲ（内科・外科系以外の疾患） 第3学年・前期・30コマ（必修）

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	放射線診断学（腹部）	腹部の画像診断について学ぶ	戸田
17	放射線治療学	放射線治療について学ぶ	中島
18	一般検査と血液検査	一般検査（尿検査・便検査）、血液検査（血算）について学ぶ	河端
19	生理機能検査	生理機能検査（心電図・心エコー・呼吸機能検査）について学ぶ	坂本
20	尿路性器感染症	腎盂腎炎、膀胱炎、尿道炎、前立腺炎について学ぶ	大谷
21	生化学検査	血液生化学検査について学ぶ	齊藤
22	骨粗鬆症	骨粗鬆症の病態と治療について学ぶ	妹尾
23	救急プライマリーケアとショック	救急プライマリーケアとショックについて学ぶ	中嶋
24	外傷性疾患	骨折、脊髄損傷、膝靭帯損傷について学ぶ	松倉
25	排尿障害	排尿困難、尿失禁について学ぶ	大谷
26	救急蘇生と脳蘇生・脳死	救急蘇生と脳蘇生・脳死について学ぶ	岡田
27	尿路結石	上部尿路結石、膀胱結石について学ぶ	菊地
28	災害医療・トリアージ	災害医療・トリアージについて学ぶ	丹保
29	尿路性器腫瘍	腎癌、膀胱癌、前立腺癌、精巣腫瘍について学ぶ	菊地
30	重症救急病態と患者管理	重症救急病態と患者管理について学ぶ	岡田

48. 疫学（必修）〔疫学、疫学調査、メタアナリシス、スクリーニング、公衆衛生看護〕

担当 教員	◎伊藤 俊弘（看護学科）、 西條 泰明（社会医学講座）、 吉岡 英治（社会医学講座）、 神田 浩路（社会医学講座）、 佐藤 遊洋（社会医学講座）、 汐月 博之（社会医学講座）			
	対象学年	開講期	単位数	コマ数
	第3学年	通年	2単位	30コマ
履修目的・授業概要				D P ④
<p>本講義では、看護師や保健師の活動に加え、公衆衛生や産業保健活動で必要となる疫学の基礎知識を学びます。疫学は、人間集団における健康や疾患の頻度と分布を明らかにし、それに基づいて効果的な対策を講じ、公衆衛生の向上を目指す学問です。この知識は、保健、医療、看護の各分野だけでなく、地域活動や日常生活においても欠かせません。本講義を通じて、疫学の基礎を習得し、実践的な場面での応用力を養うことを目的とします。</p>				
到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・疫学で用いられる調査方法（コホート研究、ケースコントロール研究など）や疫学指標（罹患率、死亡率など）を理解し、説明できる。 ・各疾患（感染症、生活習慣病など）の疫学について概説し、その背景や対策を説明できる。 ・疫学の演習を通じて、基本的な研究方法（データ収集、解析手法など）を理解し、実際の問題に適用できる。 				
授業の形式				
<p>本講義は、複数の教員によるオムニバス方式で行います。各教員が教科書の内容に基づき、パワーポイントを使用して講義を行います。疫学の範囲は広いので、教科書だけでは不十分な内容も講義に含まれています。</p>				
準備学習（予習・復習）等の内容と分量				
<p>予習（1）事前配信される講義資料を確認してください。（2）シラバスに記載されている履修内容を教科書で予習し、次回講義のテーマに関するキーワードや基本概念を把握してください。予習時間の目安は30分。復習（1）講義終了後、配信された資料や講義ノートを整理し、授業で学んだ内容をまとめてください。（2）疑問点があれば講義中またはオフィスアワーを利用して質問してください。復習時間の目安は1時間程度。</p>				
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数）				
<p>成績は以下の基準で評価します：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 出席点（10点）：全講義に出席すると10点加算、欠席する回数に応じて減点。 ※科目の単位修得には、授業時間の全てに出席することが原則です。 2) 課題レポート（10%）：複数回実施予定）評価基準：内容の正確性（50%）、構成（30%）、提出期限厳守（20%） 3) 定期試験（70%） 定期試験の得点が60点以上であっても、出席や課題提出状況、確認テストの成績が不十分な場合、総合評価で「不可」となる場合があります。 <p>注意事項 出席が授業回数の2/3（14回）に満たない場合は、定期試験を受ける資格を失います。課題提出および確認テストへの参加を怠らないようにしてください。</p>				
実務経験のある教員等による授業科目				
該当する				
有する実務経験と授業への活用				
<p>指導教員は、皆疫学の専門家です。各人の経験が講義に反映されるので、深みのある講義が期待されます。</p>				
学生へのメッセージ				
<p>疫学の手法は、保健師だけでなく、看護師や助産師としての活動にも欠かせない重要な知識です。本講義では、疫学の基礎をしっかり身につけて、看護研究や卒業研究で研究論文を読んだり、自分で調査や研究を行ったりできる力を養うことを目指します。</p> <p>講義はカリキュラムに沿って進めます。内容をより深く理解するために、教科書や配布資料を活用し、次回の講義のテーマについてあらかじめ目を通しておくことをお勧めします。予習をすることで、講義がさらに充実したものとなるでしょう。</p> <p>疫学は初めは難しく感じるかもしれませんが、学びを積み重ねることで確実に力になります。一緒に基礎を築き、将来の実践や研究に活かせる知識を身につけていきましょう。質問や疑問があれば、遠慮なく声をかけてください。</p>				
オフィスアワー				
いつでも対応しますが、その際は事前に連絡して下さい。				
授業用連絡先（E-mail）				
toshitoh@asahikawa-med.ac.jp				
担当教員の研究と履修主題				
疫学は、担当教員の研究に必須スキルです。				

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
看護学生のための疫学・保健統計 改訂4版	浅野 嘉延	南山堂	2,500円
国民衛生の動向 2024/2025	厚生労働統計協会	厚生労働統計協会	2,700円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス	疫学の講義の進め方について説明し、疫学の紹介をおこなう。疫学の歴史をとおして疫学の原理を学ぶ。	伊藤（看護）
2	疾患の概念（1）	指標の考え方（割合、率、比）、割合（有病率、累積罹患率、致命率、相対頻度）、率（罹患率、死亡率）を学ぶ。	汐月（社会）
3	疾患の概念（2）	相対危険（罹患率比・死亡率比、累積罹患比<リスク比>、オッズ比、ハザード比）を学ぶ	汐月（社会）
4	疫学研究における倫理	疫学研究における倫理（疫学研究に関する倫理指針、法令等）を学ぶ。	西條（社会）
5	疫学調査法（1）	対象集団の選定を説明できる。調査方法①－記述疫学、生態学的研究、横断研究を説明できる。	西條（社会）
6	疫学調査法（2）	調査方法②－コホート研究、症例対象研究を説明できる。調査方法③－介入研究を説明できる。	西條（社会）
7	スクリーニング	スクリーニングの目的と要件、評価（感受度と感度、陽性的中度、偏り<バイアス>）を説明できる。	伊藤（看護）
8			
9	疫学的研究方法（1）	交絡因子である年齢を調節することの重要性を学ぶ。	吉岡（社会）
10	疫学的研究方法（2）	交絡とその制御方法（交絡の概念、研究計画段階での交絡の制御方法、解析段階での交絡の制御方法）、偏り（バイアス）（選択の偏り、情報の偏り）を説明できる。	吉岡（社会）
11	疫学的研究方法（3）	交絡因子である年齢を調節することの重要性を学ぶ。	吉岡（社会）
12			
13	疫学演習1	疫学関連問題の演習1 疫学指標の計算問題	伊藤（看護）
14			
15	アウトブレイク	感染症の流行（エンデミック、エピソード、パンデミック、アウトブレイク）の概念について学ぶ。	伊藤（看護）

疫学 第3学年・通年・30コマ（必修）

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	疾病登録 (評価)	疾病登録の意義、がん登録、循環疾患の登録について学ぶ。	伊藤 (看護)
17	社会疫学・ 政策疫学	社会疫学（健康の社会的決定要因、健康格差）、政策疫学（政策の決定方針、リスクファクターと予防対策）について学ぶ。	佐藤 (社会)
18			
19	臨床疫学	臨床疫学（ケア効果の評価、エビデンスに基づく公衆衛生看護）について概説できる。	西條 (社会)
20	疫学演習 (2)	疫学調査法の復習と問題への対応(1)	伊藤 (看護)
21	主な疾患の 疫学	感染症・生活習慣病など、様々な疾患に関する疫学について学ぶ。	神田 (社会)
22			神田 (社会)
23	疫学演習 (2)	疫学調査法の復習と問題への対応(2)	伊藤 (看護)
24	疫学演習 (3)	疫学研究法の復習と問題への対応	伊藤 (看護)
25	疫学演習 (4)	スクリーニングの復習と問題への対応	伊藤 (看護)
26	疫学演習 (3)	主な疾患の疫学の復習と問題への対応	伊藤 (看護)
27	疫学演習 (4)	社会疫学、政策疫学、臨床疫学の復習と問題への対応	伊藤 (看護)
28	疫学演習 (5)	演習問題で学ぶ疫学（1）	伊藤 (看護)
29	疫学演習 (6)	演習問題で学ぶ疫学（2）	伊藤 (看護)
30	疫学演習 (7)	演習問題で学ぶ疫学（3）	伊藤 (看護)

49. 保健医療福祉システム論（必修）〔社会福祉、保健・医療・福祉システム〕

担当 教員	◎藤井 智子、塩川 幸子、原口眞紀子、 中澤 香織（非常勤）、 成年後見センター職員（非常勤）、 多田 伝生（非常勤）、 旭川市役所福祉・障がい部門職員（非常勤）、 難病連（非常勤）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第3学年	前期	2単位	30コマ
履修目的・授業概要 DP③ わが国の健康課題の変化とそれに対応した保健医療福祉制度の変遷、および制度を支える法体系、財政のしくみについて学びます。歴史を踏まえ、現在の人々の健康を支えるために保健、医療、福祉がどのようにかわりあっているのかを概観し、看護職として求められていることは何か、果たすべき役割、について学びます。			
到達目標 ・保健医療福祉制度の歴史、法的基盤および財政のしくみについて理解する。 ・社会福祉の概念をとらえ、障がい者、高齢者、労働者、子ども、女性が抱える問題について知り、社会福祉政策の現状と課題について理解する。 ・多様化・複雑化する社会福祉問題への援助について看護の機能とあり方について考えることができる。			
授業の形式 保健医療福祉の各専門分野で研究、活躍されている講師陣のオムニバス形式による講義			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 講義前には教科書の該当部分をよく読み込んでください。配られた資料、プリントは講義終了後よく読んでください。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） ・定期試験（各講師から出題）（85%）、出席状況（15%）により評価します。 ・合計100点のうち60点以上を合格とする。 ・追再試験は1回実施する。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 行政の福祉・保健部門、病院の看護部での活動経験のある教員が経験を踏まえ、社会福祉、保健医療福祉に関する基礎的講義を行う。			
学生へのメッセージ 人々の健康、生活を守るには医療だけではなく多様な分野の専門職と協力しながらしくみをつくっていかねばなりません。患者・住民に近い存在である看護職がどのような力を発揮すべきか考えてください。また、新聞・テレビ等のマスメディアに報道される保健医療福祉問題の話題に注意を向けてください。			
オフィスアワー 気軽に来てください。事前にメールいただくと確実です。			
授業用連絡先（E-mail） koitomo@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題 小規模自治体における地域ケア会議（藤井智子）			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 健康支援と社会保障制度③ 社会福祉	西村 淳 編 著	メチカルフレンド	2,200 円 + 税
(参) 健康支援と社会保障制度④ 関係法規	山本光昭編著	メチカルフレンド	2,420 円 + 税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	保健医療福祉のめざすもの	・なぜ法律や制度を学ぶのか ・看護と福祉領域のつながり ・保健・福祉・医療の連携とシステムづくり	藤井
2		健康づくり・疾病予防に関連する法規および施策の概観 ・母子保健対策	塩川
3	地域保健法と保健活動	・健康づくり対策（健康日本21） ・感染症対策	〃
4		・難病 ・がん対策	〃
5		・国民医療費の推移と財源構成 ・診療報酬の仕組み ・医療保険料の仕組み ・患者負担	藤井
6	医療の質と医療経済の構造	・少子高齢化の進展 ・高齢者介護費の推移と財源構成 ・介護報酬の仕組み ・介護保険料の仕組み、利用者負担	〃
7		・国民負担率とその国際比較 ・医療提供体制 ・地域医療と自治体立病院	〃
8		・今後の社会保障の課題と展望	〃
9	看護と経済	・診療報酬制度を看護を評価する指標としての観点から理解する	原口
10		・経済的側面から看護実践を理解する	〃
11		・社会福祉の概念・考え方 ・社会福祉の起源、歴史、範囲	中澤 (非常勤)
12		・生活者の健康と福祉 ・生活および生活構造、生活の障害とは	〃
13	社会福祉の基礎と応用	〃	〃
14		社会福祉の援助とソーシャルワーク ・ソーシャルワークの体系 ・ソーシャルワークの方法	〃
15		〃	〃

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	社会福祉の基礎と応用	社会福祉の援助とソーシャルワーク ・ソーシャルワークの体系 ・ソーシャルワークの方法	中澤 (非常勤)
17	社会保障・社会福祉の法規	・社会福祉諸法における基本理念と施策体系	〃
18		・障がいを持った人々への医療保障、生活ニーズを保障する制度を理解する	〃
19		・介護保障の制度をライフステージごとに理解する	〃
20		・精神に障害をもった人々の医療・生活を保障する制度を理解する	〃
21	社会福祉制度の概要と活動の実際	①年金保険・公的扶助 福祉事務所、ケースワーカーの役割	市役所職員 (非常勤)
22		〃	〃
23		②障がい者福祉制度 市町村福祉部門の役割	〃
24		〃	〃
25		患者の立場から 患者会の活動と役割	難病連 (非常勤)
26		〃	〃
27		③成年後見制度と地域福祉	成年後見センター (非常勤)
28		〃	〃
29		⑤児童家庭福祉 児童相談所、児童福祉司の役割	多田 (非常勤)
30		〃	〃

50. 地域包括ケア論Ⅲ（地域の課題解決）（必修）〔地域包括ケア、地域活動〕

担当 教員	◎神成 陽子、升田由美子、山根由起子、菅原 峰子、塩川 幸子、苔米地真弓、巻島 愛、山口 希美、牧野 志津、山田 咲恵、吉原 茉寿、他看護学科教員全員		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第3学年	通 年	1 単位	15コマ
履修目的・授業概要 DP①② これまで学習した地域住民の生活と健康、健康課題を踏まえて、具体的に地域包括ケアの実践を行う準備を行い、地域包括ケア実習で実践につなげる。また、4年生との合同授業で、より良い地域包括ケアについて検討する。 上級学年として、地域活動の中で1・2年生に伝達する。			
到達目標 一般目標 地域住民の生活と健康、健康課題を踏まえて、地域包括ケアとして解決するための実践内容を準備できる。地域包括ケア実習の学びを踏まえ、保健医療福祉チームの中での看護の役割について考えることができる。 行動目標 1. 地域と地域住民の生活や健康に関する課題を明確にできる。 2. 課題解決に向けた具体的な方略を検討できる。 3. 地域包括ケア実習で実践する活動計画を立案できる。 4. 実施した内容の評価を行い、今後の地域活動について検討できる。 5. 地域包括ケア実習の学びを踏まえ、保健医療福祉チームの中での看護の役割を意識した実習の臨み方を検討できる。			
授業の形式 講義とグループワークを行う。可能な範囲での地域活動参加を行う。4年生との合同授業（12-14コマ）では、4年生を交えたグループワーク、意見交換を行う。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 1・2年次の地域包括ケア論の活動を活かし、地域住民の特徴（健康状態・発達段階）等を踏まえたアセスメントやかかわりができるように準備する。チームとしてよりよい取り組みにすため、グループワークの参加状況を振り返る（小テスト課題）。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） ・出席・グループワークの参加状況：40% （2/3以上の出席を評価対象とする。欠席1コマにつき1点減点） ・授業終了後の提出物（小テスト課題）：20%（提出遅滞は減点あり） ・レポート：40%（ルーブリック評価） 提出遅滞は減点あり。レポートに不備がある場合は再提出を課す。 ・地域活動参加後の報告書：加点対象 上記評価対象を総合的に評定する。 合計100点のうち60点をもって合格とする。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 看護師免許を有し、病院看護師の実務経験がある教員、ならびに保健師免許を有し、地域での保健師活動の実務経験を有する教員で担当し、各々の経験に基づいて健康指導について教授する。			
学生へのメッセージ 1・2年次での地域活動を活かし、看護大学生、そして将来の医療者として地域包括ケアに主体的に取り組み、これからの地域の健康づくりに貢献しましょう。			
オフィスアワー 随時受付。教員にメールでアポイントメントをとってください。			
授業用連絡先（E-mail） ykannari@asahikawa-med.ac.jp（科目責任者：神成陽子）			
担当教員の研究と履修主題 看護系大学「地域包括ケア」人材育成プログラム活動参加が地域住民の心理・社会的健康に及ぼす影響（升田由美子）			

〈教科書・参考図書〉

書 名	著者名	発行所	価格
(教) よくわかる地域包括ケア	隅田好美、他	ミネルヴァ書房	2,500円+税
(参) 地域包括ケアのすすめ	角 田 直 枝	東京大学高齢社会総合研究機構	3,500円+税
(参) ケアする人のためのプロジェクトデザイン	西上ありさ	医学書院	2,500円+税

コマ数	履修主題	履 修 内 容	担当教員
1	ガイダンス	地域包括ケア論Ⅲの内容と進め方・地域活動参加計画について	神成 苔米地
2	各地区の健康課題	地域包括ケア実習での健康セミナー開催に向けて、各地区での健康課題・ニーズに即したケア実践について検討する	各地区 担当教員
3			
4	「げんき種」実施内容検討	地域包括ケア実習「げんき種」での実践内容を検討する	各地区 担当教員
5			
6			
7	地域包括ケア実習「げんき種」での実施内容を具体化し、プログラムを作成する	各地区 担当教員	
8			
9	実習での実践プログラム	地域包括ケア実習「げんき種」の役割分担し、具体的に実施準備する	各地区 担当教員
10			
11			
12	まとめ	4年生との合同授業を行う。地域包括ケア論Ⅲおよび地域包括ケア実習の学びを踏まえ、保健医療福祉チームの中での看護の役割を意識した実習、地域活動の臨み方を検討する	各地区 担当教員
13			
14			
15	今後の活動の検討	地域包括ケア論Ⅲおよび地域包括ケア実習の学びを基に今後の活動を計画する	神成

51. 地域包括ケア実習（必修）

担当 教員	◎苫米地真弓、升田由美子、山根由起子、菅原 峰子、塩川 幸子、神成 陽子、巻島 愛、山口 希美、牧野 志津、山田 咲恵、吉原 茉寿、他 看護学科教員全員		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第3学年	前期	1単位	45コマ
履修目的・授業概要 DP①②③④⑤ 地域包括ケア論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを通して立案した、地域住民の健康課題・問題解決のための対策・改善案などを看護学生として担当地区の住民と協働して実行する。1・2年次から継続している学習を基盤として、将来の医療人として「発展」するため、能動的活動をより具体的に実施する段階である。さらに学習成果を地域住民に報告し、学生とともに住民自身が地域医療を担う人材であるという意識を共有する。内容としては、1. 健康セミナー「げんき種」の実施、2. 地域包括ケアに関連した活動を行う専門職へのインタビュー、3. 地域包括ケアに携わる施設での見学実習を行い、地域包括ケアを統合的に理解するとともに実践能力習得を目的とする。			
到達目標 1. 地域包括ケア論Ⅱ、地域包括ケア論Ⅲで抽出した対象者・対象者の生活する場における健康課題について、実態把握や問題解決・課題達成に向けて具体的な活動ができる。 1) 健康セミナー「げんき種」の企画・運営を行う。 2) 「げんき種」を行い、学習成果を地域住民に報告する。 2. 地域で活動する専門職へのインタビューにより、地域包括ケアの実際を理解することができる。 3. 実習施設での活動の見学・参加を通し、地域包括ケアシステムの実際を理解することができる。 4. 地域包括ケアシステムに関して、実習からの学びや気づきを整理し、他者に伝えることができる。 1) 実習の振り返りと評価を行い、地区の状況・課題について比較検討できる。 2) 今後の課題と目標を明確にし、他者に伝える準備をすることができる。 5. 施設見学実習やインタビューを通して、保健医療福祉チームの中での看護の役割を考えることができる。 6. チームにおける自らの役割を考え、主体的に実習の準備・実施・評価に参加し、取り組むことができる。			
授業の形式 1. 旭川医科大学の近隣地区である緑が丘・西神楽・神楽の3地区に分れ、各地区で課題となっている事柄に対する課題解決に向けての取り組み、参画並びに企画の実施 2. 地域で活動する専門職へのインタビュー 3. 地域包括ケアに携わる施設での見学実習 4. 実習の学びを実習報告会で発表			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 これまでの地域包括ケア論や他科目の学びを活用し、地域住民の特徴（健康状態・発達段階）などを踏まえたアセスメントやかかわりができるように準備する。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） 実習目標の達成度・報告会参加状況（70％）ルーブリック評価 実習レポート（20％）ルーブリック評価 出席状況（10％）（3分の2以上の出席を評価対象とする。欠席1コマにつき1点減点） 上記評価対象を総合的に評定する。再実習は行わない。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する。			
有する実務経験と授業への活用 看護師免許や保健師免許を有し、病院での勤務経験や地域での保健師活動経験のある教員が担当する。			
学生へのメッセージ 1. 2年生での地域活動経験を活かし、看護学生、そして将来の医療者として地域包括ケアに主体的取り組み、地域の健康づくりに貢献しましょう。			
オフィスアワー 随時。事前にメールで教員と連絡を取ってください。			
授業用連絡先（E-mail） bechieco@asahikawa-med.ac.jp（科目責任者：苫米地真弓）			
担当教員の研究と履修主題 「地域包括ケア」人材育成プログラム活動参加が地域住民の健康に及ぼす効果に関する研究（升田由美子 他）			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
教）よくわかる地域包括ケア	隅田好美、藤井博志、黒田研二	ミネルヴァ書房	2,500円+税
(参) 地域包括ケアのすすめ	東京大学高齢社会総合研究機構	東京大学出版会	3,500円+税
(参) 地域包括ケアシステムのすすめ	宮崎徳子監修、豊島泰子、立石宏昭	ミネルヴァ書房	2,600円+税
(参) ナーシング・グラフィカ在宅看護論(1) 地域療養を支えるケア 第6版	臺有桂、石田千絵、山下留理子編	メディカ出版	3,400円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス	地域包括ケア実習の内容と進め方 実習計画の確認	苫米地他
2-5	「げんき種」セミナー準備	地域包括ケア論Ⅲで検討した「げんき種」実施内容を引き続き検討し、具体的な役割分担などを決定する。	各地区担当教員
6	施設実習・インタビューガイダンス	施設実習・インタビューに関する実習内容・方法を確認する。	各実習担当教員
7-11	「げんき種」セミナー準備	地域包括ケア論Ⅲで検討した「げんき種」実施内容を引き続き検討し、具体的な役割分担などを決定する。	各地区担当教員
12-35	地域での実践 施設実習・げんき種インタビュー他	以下の1-3について、各地区ごとに取り組む。 1. 健康セミナー「げんき種」 ①「げんき種」実施の準備 ②「げんき種」実施 ③「げんき種」実施後の評価 2. 地域で活動する専門職へのインタビュー 3. 地域包括ケアに携わる施設での見学と実践活動への参加	各地区担当教員
36-41	地域での実践のまとめ	各地区の「げんき種」実施の振り返りと評価を行う。実習報告会の準備を行う。	各地区担当教員
42-44	実習報告会	施設実習および各地区の健康セミナー「げんき種」の実施報告をし、全体で共有する。	全教員
45	まとめ	地域包括ケア実習「げんき種」の活動をまとめ、次年度の活動に引き継ぐ準備を行う。	苫米地他

52. 成人看護学Ⅱ（主な健康障害と看護）（必修）

担当 教員	◎苫米地真弓、小田嶋裕輝、山口 希美、 鈴木悠希江、学内特別講師		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第3学年	前期	2単位	30コマ
履修目的・授業概要		D P ③	
成人看護学Ⅰで学習した成人期にある対象者の特徴と関連する看護理論を踏まえて、様々な健康問題を有する成人期の患者および家族を、身体的、心理・社会的側面から多角的にとらえてアセスメントする視点と看護援助について学ぶ。			
到達目標			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康問題（疾患）を抱える患者および家族の特徴を身体的、心理・社会的側面から説明できる。 2. 患者が抱える健康問題（疾患）の特徴や誘因、症状について説明できる。 3. 健康問題（疾患）を有する患者に実施される検査および治療について説明できる。 4. 健康問題（疾患）を有する患者および家族のアセスメントの視点と看護援助について説明できる。 5. 健康問題（疾患）を有する患者および家族に対する退院支援・退院指導について説明できる。 			
授業の形式			
指定教科書や配付資料に基づく講義方式（講義内容によっては、グループワークや視聴覚機器などを活用することもある）。教科書は2年生で購入した成人看護学の教科書を使用する。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量			
事前に履修主題に関係する教科書の範囲を一読しておくことが望ましい。予習・復習を兼ねて、講義範囲に関連する課題・レポートの提出を求めることがあります。提出された課題・レポートの内容が不十分だった場合は再提出してもらうことがあります。講義終了後は、教科書や配付資料をもとに計画的に復習しておくことが望ましいでしょう。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数）			
定期試験（80%）、課題・レポート（20%）の得点の合計（100点満点）で評価する。定期試験の出題範囲は、講義内容（教科書、配付資料）と課題・レポートの内容を含む。なお、定期試験の受験資格は全講義時間数の3分の2以上の出席とする。成績評価の目安としては、90点以上を秀、80点以上を優、70点以上を良、60点以上を可、60点未満を不可とする。追再試験は、1回とする。			
実務経験のある教員等による授業科目			
該当する。			
有する実務経験と授業への活用			
看護師免許を有し、病院での勤務経験のある教員や学内特別講師が講義を担当する。			
学生へのメッセージ			
後期から開始される成人看護学実習に向けて、主体的な講義への参加姿勢を期待します。			
オフィスアワー			
随時。事前にメールでご連絡ください。			
授業用連絡先（E-mail）			
bechico@asahikawa-med.ac.jp（科目責任者：苫米地真弓）			
担当教員の研究と履修主題			
学士課程における成人看護学教育の質保証に関わる研究			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 慢性期看護（改訂第4版）	鈴木久美他編	南江堂	3,400円+税
(教) リハビリテーション看護（改訂第3版）	酒井郁子他編	南江堂	2,700円+税
(教) 急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護（改訂第4版）	林直子他編	南江堂	3,200円+税
(教) 急性期看護Ⅱ クリティカルケア（改訂第4版）	佐藤まゆみ他編	南江堂	3,000円+税
(教) がん看護	鈴木久美他編	南江堂	2,600円+税
(教) 緩和ケア（改訂第2版）	梅田恵他編	南江堂	2,400円+税
(教) 成人看護技術〔Web動画付〕（改訂第3版）	野崎真奈美他編	南江堂	3,200円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス 成人看護学の看護過程	ガイダンスを通して、成人看護学Ⅱの目的・目標などを理解する。また、成人期にある患者の看護過程について学ぶ。	苫米地 小田嶋
2	成人看護学の看護過程	成人期にある患者の看護過程について学ぶ。	小田嶋
3	退院支援	成人期にある患者の退院支援について学ぶ。	苫米地 鈴木
4	消化器疾患患者の看護（1）	消化器疾患患者の特徴やおもな症状、患者理解のためのアセスメントの視点や看護援助について学ぶ。	苫米地
5	消化器疾患患者の看護（2）	"	"
6	消化器疾患患者の看護（3）	"	"
7	消化器疾患患者の看護（4）	"	"
8	消化器疾患患者の看護（5）	"	"
9	循環器疾患患者の看護（1）	循環器疾患患者の特徴や主な症状、患者理解のためのアセスメントの視点や看護援助について学ぶ。	山口
10	循環器疾患患者の看護（2）	"	"
11	循環器疾患患者の看護（3）	"	"
12	循環器疾患患者の看護（4）	"	"
13	血液・造血器疾患患者の看護（1）	血液・造血器疾患患者の特徴や主な症状、患者理解のためのアセスメントの視点や看護援助について学ぶ。	小田嶋
14	血液・造血器疾患患者の看護（2）	"	"
15	腎疾患患者の看護（1）	腎疾患患者の特徴や主な症状、患者理解のためのアセスメントの視点や看護援助について学ぶ。	小田嶋

成人看護学Ⅱ（主な健康障害と看護） 第3学年・前期・30コマ（必修）

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	腎疾患患者の看護(2)	腎疾患患者の特徴や主な症状、患者理解のためのアセスメントの視点や看護援助について学ぶ。	小田嶋
17	内分泌・代謝疾患患者の看護(1)	糖尿病患者の特徴や主な症状、患者理解のためのアセスメントの視点や看護援助について学ぶ。	小田嶋
18	内分泌・代謝疾患患者の看護(2)	〃	〃
19	内分泌・代謝疾患患者の看護(3)	代謝疾患患者の特徴や主な症状、患者理解のためのアセスメントの視点や看護援助について学ぶ。	〃
20	脳・神経疾患患者の看護(1)	脳・神経疾患患者の特徴や主な症状、患者理解のためのアセスメントの視点や看護援助について学ぶ。	苫米地
21	脳・神経疾患患者の看護(2)	〃	〃
22	脳・神経疾患患者の看護(3)	〃	〃
23	脳・神経疾患患者の看護(4)	〃	〃
24	脳・神経疾患患者の看護(5)	〃	〃
25	整形外科疾患患者の看護(1)	整形外科疾患患者の特徴や主な症状、患者理解のためのアセスメントの視点や看護援助について学ぶ。	学内特別講師
26	整形外科疾患患者の看護(2)	〃	〃
27	呼吸器疾患患者の看護(1)	呼吸器疾患患者の特徴や主な症状、患者理解のためのアセスメントの視点や看護援助について学ぶ。	山口
28	呼吸器疾患患者の看護(2)	〃	〃
29	呼吸器疾患患者の看護(3)	〃	〃
30	呼吸器疾患患者の看護(4)	〃	〃

53. 高齢者看護学Ⅱ（老年期の生活障害と看護）（必修）

担当 教員	菅原 峰子（科目責任者）、 野中 雅人、牧野 志津、 佐藤 伸之（教育センター）、 内島みのり（非常勤講師）		
	対象学年	開講期	単位数
	第3学年	前期	1単位
履修目的・授業概要 DP③ 履修目的：高齢者の個性に応じた看護の展開ができるよう、基本となる知識の習得と感性を涵養する。 授業概要：高齢者に多い健康障害・生活障害が家族や地域とどのような関係があるかについて理解し、具体的な看護を学ぶ。また、高齢者を支える社会制度と現状のあり方について学ぶ。			
到達目標 1. 老年期に多い疾患・症候の予防と看護について説明できる 2. 認知症の基礎知識を学び、患者や家族の看護について説明できる 3. 高齢者看護の倫理について説明できる 4. 高齢者に関連する社会制度および資源について説明できる			
授業の形式 対面授業、manabaより講義資料の配信、小テストの実施、レポートの受付をする。また、講義中、オンラインによるアンケートで皆さんの考えを聞き、講義内容に反映させることがある。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 予習、復習としてmanabaより小テスト（3～5問）が出題されることがある。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） 参加態度10%（予習・復習の小テストの得点、遅刻などの出席状況） レポート20%（提出がない場合、単位が認定されないことがある） 試験70%（受験資格は講義時間数の3分の2以上の出席とする） 上記の内容を100点満点で換算し、60点以上で単位を認定する。 追再試験については、試験日を設け1回のみ実施する。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 多くの講義は看護師免許を有し、病院等での看護実践経験をもつ教員が担当する。			
学生へのメッセージ 高齢者看護学実習や将来の高齢者看護の実践に直結する事柄を学習します。また、既習の知識と関連した内容を含みますので、事前学習を活用してください。			
オフィスアワー 月～金曜 事前にメール連絡があるとよい			
授業用連絡先（E-mail） msugawara@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題 菅原：高齢者のせん妄 野中：地域在住高齢者の呼吸筋訓練 牧野：急性期病院と在宅医療における看護職の連携			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 老年看護学 9版	北川 公子編	医学書院	2,970円
(教) 老年看護学 病態・疾病論	鳥羽 研二編	医学書院	2,530円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	高齢者に多い疾患・症候と看護	高齢者におけるヘルスアセスメントの要点を学ぶ	菅原
2	高齢者の検査・治療と看護	高齢者の薬物動態と有害事象・アドヒアランス向上にむけた看護を学ぶ	野中
3		検査を受ける高齢者への配慮と手術を受ける高齢者への看護を学ぶ	菅原
4	認知症高齢者の看護	認知症を呈する代表的な疾患と症状の特徴、認知機能検査と治療、BPSDについて学ぶ	菅原
5		認知症の看護の原則とパーソンセンタードケアについて理解し、認知症看護への活用を考察する	菅原
6		介護する家族の状況、介護負担、新オレンジプラン等の支える仕組みを学ぶ	菅原
7	高齢者を支える制度	後見制度、日常生活自立支援事業、多職種連携、看護職にもとめられるコンピテンシーを学ぶ	牧野
8	高齢者に多い疾患・症候と看護	抑うつと睡眠障害のアセスメントと看護を学ぶ	菅原
9		高齢者のせん妄のアセスメントと看護を学ぶ	菅原
10		脳梗塞、脳出血、慢性硬膜下血腫の概要と看護を学ぶ	菅原
11		神経疾患の概要と看護を学ぶ。非薬物療法について学ぶ	内島
12	高齢者を支える制度	大腿骨頸部骨折とその看護、骨粗鬆症とその看護、転倒のアセスメントと予防方法を学ぶ	菅原
13		高齢者の高血圧、心不全の診断と治療を学ぶ	佐藤
14	高齢者を支える制度	介護保険制度の概要・導入例（実習内容の知識編）、退院支援を学ぶ	牧野
15	高齢者のエンドオブライフケア	人生会議、ACP、事前指示、DNAR、看取りの実践を学ぶ	牧野

54. 在宅看護学（必修）

担当教員	◎山根由起子、山田 咲恵、非常勤講師		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第3学年	前期	2単位	30コマ
履修目的・授業概要		DP①②③④⑤	
履修目的 在宅で生活する多様な健康状態やライフステージの人々とその家族を対象に、生活の質の維持・向上を支える看護の基本的な考え方、基礎知識、技術を修得する。 授業概要 幅広い年齢層を対象に、生活の場で全人的な視点から支援を行う在宅看護について学ぶ。臨床判断力と実践能力を養い、地域の人的・社会的資源を適切に活用しながら、個別の状況に応じた支援の方法を修得する。			
到達目標 1. 看護の対象を生活者と捉え、健康との関係性を理解できる。 2. 地域で暮らす対象者とその家族を理解し、看護実践へ繋げる必要性を表現できる。 3. 暮らしの場における看護と環境の重要性を理解し、それを具体的にイメージできる。 4. 安全管理と危機管理について理解を深める。 5. 在宅療養者の暮らし方に応じた看護過程を展開・記述できる。 6. 法令や制度（人的・社会的資源）の活用方法を説明できる。 7. 意思決定支援やコミュニケーション方法を説明できる。 8. 在宅療養者の症状や時期に応じた看護の方法を理解できる。 9. 地域包括ケアシステムにおける在宅看護の位置づけとその役割を理解できる。			
授業の形式 講義とグループワークを行う。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 予定された内容を教科書や資料で予習し、事前指示に従って予習小テストを提出する。授業で学んだことを復習し、必要に応じてオンラインレポートに学びや感想を記録する。また、授業をきっかけに他の文献や新聞などから情報を収集し、在宅看護への理解を深める。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） 成績評価対象者は、2/3以上出席した者 *原則全て出席 課題提出：30% ①在宅看護過程の吟味、②ペーパーベースの看護過程提出 ③その他提出物（目標1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9） 定期試験：50% 授業時間数2/3以上出席した者が受験できる（目標1～9） 授業態度：20% オンラインレポート提出（目標1～9）出席態度などによって評価を行う。提出物遅滞は減点した上で評価を行う。計100点のうち60点以上をもって合格とする。 追再試験1回認め。「秀」は5%以内、「秀・優」の合計は「良・可」の合計を超えない、「可」は「良」の割合以下とする。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 看護師免許を有し、病院と在宅の看護経験を複数年有する教員が、その経験を活かして基本的な知識と手法、考え方について授業を行う。			
学生へのメッセージ 在宅療養者と家族を支える看護の実践に向け、個別性を重視したケアや再入院予防の知識、社会資源の活用方法を学び、訪問看護師としての役割を理解しましょう。			
オフィスアワー 事前に連絡を取ってください。			
授業用連絡先（E-mail） yamane@asahikawa-med.ac.jp syamada@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題 山根由起子：食事ケアに関する研究、フレイルに関する研究、ケア従事者のウェルビーイングに関する研究 山田咲恵：医療的ケア児の災害支援、COPDに関する研究			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 地域・在宅看護論	尾崎章子(編)	メヂカルフレンド社	3,200 + 税10%
(教) 地域・在宅看護過程	河野あゆみ	医学書院	4,180 (税込)

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス	オリエンテーション、授業概要の説明、暮らしをイメージする	山根
2	地域における生活と健康	生活と健康を支えるケア	山根
3	地域・在宅看護の基盤	対象、理念、変遷、倫理	山根
4		地域・在宅看護を支える制度 地域包括ケアシステム	山田
5	地域・在宅看護を支えるしくみ	訪問看護の制度と機能	山田
6		ケアマネジメント	非常勤 山田
7		家族支援	山根
8	個別支援	療養移行支援	山根
9	慢性疾患の看護	在宅看護に多い疾患と管理	山根
10		糖尿病・慢性腎不全療養者への看護	山田
11	地域・在宅看護と健康障害	慢性閉塞性肺疾患・精神障害のある療養者への看護	山田
12		医療的ケア児への看護	山田
13		リスクマネジメント	山根
14	地域・在宅看護のマネジメントと健康障害	災害マネジメント	山根
15		生活不活発病予防 介護予防	山根

在宅看護学 第3学年・前期・30コマ（必修）

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	地域・在宅看護の援助技術・技法	生活を支える技術と医療ケア	山根
17			山根
18			山根
19	地域・在宅看護過程の展開	在宅における疾患別看護過程の展開方法	山根
20			山根
21		症例別看護過程の批判的吟味ワーク	山根
22		一事例における看護過程の展開 グループワーク 看護過程を作成する	山根
23	山根		
24		山根	
25	地域・在宅看護の援助技術・技法	コミュニケーション技術	山根
26		生活を支えるコミュニケーションの実際	非常勤 山根
27	地域・在宅看護と健康障害	終末期看護の実際	非常勤 山根
28	地域・在宅看護と健康障害	エンド・オブ・ライフケア 意思決定支援 アドバンス・ケア・プランニング	山根
29		看取り グリーフケア	山根
30		エンド・オブ・ライフケアディスカッション	山根

55. 実践看護技術学 I (成人) (必修)

担当教員	◎山口 希美、小田嶋裕輝、苫米地真弓、鈴木悠希江、野中 雅人、宗万 孝次 (学内特別講師)、太田 一美 (学内特別講師)、三栖あずさ (学内特別講師)、他		
	対象学年	開講期	単位数
	第3学年	前期	1単位
履修目的・授業概要 DP③④⑤ 健康障害を生じている成人期の患者に必要な看護援助を習得する。			
到達目標 1. 水分出納管理が必要な患者に看護援助を行うことができる。 2. 糖尿病を持つ患者に必要な検査・処置に関連した看護援助を行うことができる。 3. 呼吸機能障害患者の治療・検査・処置に関連した看護援助を行うことができる。 4. 緊急対応が必要な患者に看護援助を行うことができる。 5. 外来における看護を説明できる。 6. 化学療法を受ける患者の看護の実際を説明できる。 7. 医療器具の安全な取り扱いを説明できる。 8. 放射線療法を受ける患者の看護の実際を説明できる。 9. ストーマを造設した患者の看護の実際を説明できる。 10. 成人期にある患者の初期計画を立案し、その内容をグループで検討できる。 11. 手術を受ける患者に必要な検査・処置に関連した看護援助を行うことができる。 12. 糖尿病患者の看護の実際を説明できる。			
授業の形式 模擬患者やシミュレーターを活用して学内演習を行う。看護過程の展開に関してはグループワークやプレゼンテーション形式で行う。学内特別講師が担当の時は講義を受ける。			
準備学習 (予習・復習) 等の内容と分量 演習課題については、毎回指定された内容の事前課題に取り組み、演習後はチェックリストと感想を提出する。事例展開については夏季休暇中に看護過程の課題に取り組み、カンファレンス後は指定されたワークシートを提出する。			
成績評価の方法と基準等 (合格基準、および追再試の回数) 出席状況: 10% (欠席1コマにつき1点減点)、提出物: 20%、定期試験: 70%で評価する。 定期試験の出題範囲は、事例展開を除く全ての演習、臨床講義の内容を含む。なお、定期試験の受験資格は、講義時間数の3分の2以上の出席とする。 成績評価は90点以上を秀、80点以上を優、70点以上を良、60点以上を可、59点以下を不可とする。 追再試験は、1回とする。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 看護師免許を有し病院での勤務経験がある教員や、専門的資格 (CN、CE 等) をもった学内特別講師が担当する。			
学生へのメッセージ 演習を行うには、十分な事前学習と準備が必要です。グループ演習ですので、準備ができていないメンバーがいると演習課題が終了できません。また、学内特別講師の講義は、最新の看護です。積極的な参加を期待します。			
オフィスアワー 随時。事前にメールでご連絡ください。			
授業用連絡先 (E-mail) nozomi-y@asahikawa-med.ac.jp (科目責任者: 山口希美)			
担当教員の研究と履修主題 学士課程における成人看護学教育の質保証に関わる研究			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 成人看護技術 [Web 動画付] (改訂第3版)	野崎真奈美他編	南江堂	3,200円+税
(参) 看護がみえる vol.1 基礎看護技術	医療情報科学研究所編	メディックメディア	3,300円+税
(参) 看護がみえる vol.2 臨床看護技術	医療情報科学研究所編	メディックメディア	3,300円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	水分出納の管理が必要な患者に対する看護援助技術	水分出納の管理が必要な患者を設定、静脈確保、静脈内注射、輸液の管理 (輸液速度の調整) や輸液ポンプ、シリンジポンプ、膀胱留置カテーテルの取り扱いの演習と尿及び浮腫の観察を行う。	小田嶋 苫米地 山口 鈴木
2			
3			
4	糖尿病を持つ患者に対する看護援助技術	糖尿病患者を設定、糖尿病患者に必要なフィジカルアセスメント、自己血糖測定、インスリン皮下注射 (シリンジ・ペン型) の演習を行う。	小田嶋 苫米地 山口 鈴木
5			
6			
7	呼吸機能に障害のある患者に対する看護援助技術	呼吸機能に障害のある患者を設定、呼吸状態の観察、酸素吸入、ネブライザー、パルスオキシメーター測定、鼻腔内吸引、筋肉内注射の演習を行う。	小田嶋 苫米地 山口 鈴木
8			
9			
10	緊急時の看護援助技術	救急処置が必要な患者を設定、一次救命処置、AED、気管内挿管時の看護援助や患者急変時の看護援助の演習を行う。	小田嶋 苫米地 山口 鈴木
11			
12			
13	外来看護	外来における看護について学ぶ。	太田 (学内特別講師)
14	化学療法と看護	化学療法を受ける患者の看護の実際について学ぶ。	三栖 (学内特別講師)
15			

実践看護技術学 I (成人) 第 3 学年・前期・30コマ (必修)

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	医療機器の取り扱い	医療現場で使用されている医療機器を安全に取り扱うための知識を学ぶ。	宗万 (学内特別講師)
17			
18	事例展開 (1)	事例展開のガイダンス	小田嶋 山口
19	放射線療法と看護(1)	放射線療法を受ける患者の看護の実際について学ぶ。	野中
20	ストーマ造設患者の看護	ストーマを造設した患者の看護の実際について学ぶ。	学内特別講師
21			
22	事例展開 (2)	成人期にある患者の看護過程展開内容の検討 (グループワーク) を行う。	小田嶋 苦米地 山口 鈴木
23			
24			
25	手術を受ける患者に対する看護援助技術	周術期にある患者を設定、術前の呼吸器合併症予防のための看護援助、術前処置、術後の観察 (麻酔からの覚醒、呼吸音聴取等) や各種ドレーンの管理と観察の演習を行う。	小田嶋 苦米地 山口 鈴木
26			
27			
28	放射線療法と看護(2)	放射線療法を受ける患者の看護の実際について学ぶ。	野中
29	糖尿病患者の看護	糖尿病患者の看護の実際について学ぶ。	学内特別講師
30			

56. 実践看護技術学Ⅱ（精神・母性・小児）（必修）

担当教員	◎石川 千恵、長谷川博亮、山内まゆみ、 巻島 愛、出村 唯、吉原 茉寿、 学内教員（未定）、非常勤講師		
	対象学年	開講期	単位数
	第3学年	前期	2単位
			コマ数 60コマ
履修目的・授業概要 DP③④⑤			
母性看護学、精神看護学、小児看護学における看護専門技術を習得する。加えて、看護師としての倫理的態度についても考察し、対象者の生活の質を保证するための看護実践能力を身につける。 【母性看護学】褥婦および新生児の事例を用いて看護過程を展開し、産後の母子に必要な看護計画を立案する。また、母性看護に特有な看護技術を修得する。 【精神看護学】対象者の成長・発達の視点を考えながら、精神症状に応じた看護過程を展開する。治療的側面から対象者の安全と人権に配慮した看護技術を習得する。 【小児看護学】成長・発達の視点から小児を理解し、科学的根拠に基づく症に看護技術を習得する。加えて、小児と家族を看護の対象とする看護師としての倫理的態度を養う。			
到達目標			
母性1. 褥婦、新生児の事例を用いた看護過程を展開し、産後の母子に必要な情報収集から看護計画までを記述できる。 母性2. シミュレーション学習等から、安全で倫理的態度を伴った母性看護技術を実践できる。 精神1. 対象のリハビリを考慮した看護の理解と技術を獲得する。 精神2. 対象への安全管理の視点をもつと同時に倫理的配慮ができる。 小児1. 成長発達の著しい子どもと家族の看護に必要な技術を修得する。 小児2. 子どもと家族の権利を理解し倫理的態度を修得する。			
授業の形式			
・講義 ・シミュレーション ・グループワーク 上記を活用した学内演習			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量			
各専門領域より、事前課題・復習課題が提示される。課題を適切に理解し、期日までに必ず行うこと。後期に予定する臨床実習で提供可能な看護技術の到達度しておくこと。各領域の学びに有効な図書を選定して学習を強化すること。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数）			
成績評価は、母性20コマ・精神20コマ・小児20コマそれぞれの領域ごと2/3（15コマ）以上の出席をもって評価対象とする。 1. 評価項目：①出席点、②領域ごとの到達度、③学習への取り組み姿勢 2. 得点の換算割合：①出席点10%、②領域ごとの到達度（③学習への取り組み姿勢を含む）30%（3領域で90%）で100%と換算し、合計60%以上を合格とする。 3. 到達度の評価方法は、領域ごとに提示する。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用			
看護師免許を有し、病院看護師の実務経験5年以上ある教員が、大学病院等での実務経験を踏まえ、母性・精神・小児看護に関する実践的な演習を行う。			
学生へのメッセージ			
演習期間が長期にわたる。そのため、既習済みの看護技術は、自己学習時間を活用して積極的に自己練習・学習を行うこと。			
オフィスアワー			
演習期間は、気軽に訪室し課題解決に活用すること			
授業用連絡先（E-mail）			
chiei@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題			
母性看護学演習における新型コロナウイルス感染症対策を講じた看護技術演習の評価 他			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学2 (第17版)	森恵美(著)	医学書院	3,300円
(教) ナーシンググラフィカ 小児看護技術	中野綾美(編)	メディカ出版	3,520円
(教) エビデンスに基づく精神科看護ケア関連図 改訂版	川野雅資	中央法規出版	3,520円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	母性看護の支援に必要な看護技術	・母性看護学領域の演習オリエンテーション ・下記項目に必要な看護実践能力を学ぶ（説明、実践、ビデオ学習等） 1. 妊婦健康診査 2. 褥婦のフィジカルアセスメント 3. 新生児の抱き方・着替え・おむつ交換	山内 巻島 出村 吉原 非常勤講師
2			
3			
4	看護過程	紙上事例の紹介、母性看護学に有用な看護過程（褥婦、新生児）のポイント、課題の提示（説明）	山内 巻島 出村 吉原 非常勤講師
5	母性看護の支援に必要な看護技術	・下記項目に必要な看護実践能力を学ぶ（説明、実践、ビデオ学習等） 4. 新生児のバイタルサインズ測定・出生直後の身体計測 5. 産痛緩和法・分娩促進のケア	山内 巻島 出村 吉原 非常勤講師
6			
7	看護過程	紙上事例の看護過程を展開する（褥婦・新生児）し、疑問点の明確化、および解決（説明、グループワーク等）	山内 巻島 出村 吉原 非常勤講師
8	母性看護の支援に必要な看護技術	・下記項目に必要な看護実践能力を学ぶ（説明、実践、ビデオ学習等） 6. 新生児のフィジカルアセスメント 7. 乳頭・乳輪マッサージ、授乳援助	山内 巻島 出村 吉原 非常勤講師
9			
10	看護過程	紙上事例の看護過程を展開する（褥婦・新生児）し、疑問点の明確化、および解決（説明、グループワーク等）	山内 巻島 出村 吉原 非常勤講師
11	母性看護の支援に必要な看護技術	・下記項目に必要な看護実践能力を学ぶ（説明、実践、ビデオ学習等） 8. 沐浴・洗髪 9. ノンストレステスト（NST）	山内 巻島 出村 吉原 非常勤講師
12			
13	看護過程	紙上事例の看護過程を展開する（褥婦・新生児）し、疑問点の明確化、および解決（説明、グループワーク等）	山内 巻島 出村 吉原 非常勤講師
14	母性看護の支援に必要な看護技術	・自己練習を行う。 沐浴（洗髪法を含む）、褥婦のフィジカルアセスメント、他	山内 巻島 出村 吉原 非常勤講師
15			

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	看護過程	紙上事例の紹介、母性看護学に有用な看護過程（褥婦、新生児）のポイント、課題の提示（説明）	山内 巻島 出村 吉原 非常勤講師
17	看護過程	紙上事例の紹介、母性看護学に有用な看護過程（褥婦、新生児）のポイント、課題の提示（説明）	山内 巻島 出村 吉原 非常勤講師
18	母性看護の支援に必要な看護技術	・既習の母性看護技術を自己練習（課題の明確化を含む）	山内 巻島 出村 吉原 非常勤講師
19	母性看護の支援に必要な看護技術	・既習の母性看護技術を自己練習（課題の明確化を含む）	山内 巻島 出村 吉原 非常勤講師
20	新生児の全身観察の視点、他	・新生児のフィジカルアセスメントの視点を教授 ・まとめ	山内 巻島 出村 吉原 非常勤講師
21		・精神看護学演習オリエンテーション	
22	精神看護のガイダンス	・精神障害の内的体験と接近法(説明)	長谷川 石川
23		・事例提示：事例を分析し、対象者の内的体験を様々な視点から理解し、接近法を考察する。	
24		・精神症状と看護（説明） ・事例紹介	
25	様々な精神症状と看護（アセスメントする）	個人ワーク（アクティブラーニング） ・事例の精神症状を調べる ・精神症状が及ぼす影響を理解する	長谷川 石川 非常勤講師
26		個人ワーク（アクティブラーニング） ・事例の精神症状を調べる ・精神症状が及ぼす影響を理解する	
27		ロールプレイ ・事例について看護計画を立案する ・具体的なケアの方向性を見出す	
28	様々な精神症状と看護（リカバリーを考慮した看護援助を考える）	ロールプレイ ・事例について看護計画を立案する ・具体的なケアの方向性を見出す	長谷川 石川 非常勤講師
29		ロールプレイ ・事例について看護計画を立案する ・具体的なケアの方向性を見出す	
30	精神科治療と看護	精神科治療と看護（説明）	長谷川 石川

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
31		グループワーク ・精神科治療の概要を調べる ・看護の留意点を考える	
32		グループワーク ・精神科治療の概要を調べる ・看護の留意点を考える	
33	精神科治療と看護	ロールプレイ（精神科治療の実際） ・治療のポイント看護の役割を明確にする ・多職種連携の必要性を知る	長谷川 石川 非常勤講師
34		ロールプレイ（精神科治療の実際） ・治療のポイント看護の役割を明確にする ・多職種連携の必要性を知る	
35		ロールプレイ（精神科治療の実際） ・治療のポイント看護の役割を明確にする ・多職種連携の必要性を知る	
36		精神科における暴力のエビデンス（CVPPP から看護介入を考える）	
37	精神看護における安全管理と倫理観	行動制限と看護 ・緩和抑制帯の構造と看護の留意点	長谷川 石川 非常勤講師
38		緩和抑制帯の実際（デモンストレーション） 患者・看護者側の視点から倫理を含めた留意点を考察する。	
39	当事者のナラティブ	地域で当事者とかかわる精神科専門看護師の講演 ※コロナ感染症の状況により Zoom を利用した遠隔授業になる	長谷川 石川 非常勤講師
40		当事者によるミニシンポジウム ※コロナ感染症の状況により Zoom を利用した遠隔授業になる	
41	小児看護の役割・責務	小児と家族を看護する看護師の役割・責務を理解する	未定
42		小児の成長・発達を理解する	
43	対象理解と看護	小児の事故防止について理解する	未定 非常勤講師
44		小児のフィジカルアセスメント技術	
45		小児サイズのシミュレーターを使用し、フィジカルアセスメント技術を習得する	未定 非常勤講師

実践看護技術学Ⅱ（精神・母性・小児） 第3学年・前期・60コマ（必修）

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
46	小児のフィジカルアセスメント技術	小児サイズのシミュレーターを使用し、フィジカルアセスメント技術を習得する	未定 非常勤講師
47	小児の急性期看護	周術期の小児と家族への看護を理解する	未定 非常勤講師
48			
49		小児の救急救命技術を理解する	未定 非常勤講師
50	小児の生活援助技術	小児と家族に対する生活援助技術を理解する (主に食行動、排泄行動、清潔行動)	未定 非常勤講師
51			
52			
53	健康問題をもつ小児と家族	健康問題をもつ小児と家族を理解し、看護を考察する	未定 非常勤講師
54			
55			
56	健康問題をもつ小児と家族	小児と家族を看護する看護師としての倫理的態度を考察する (ロールプレイングを通して)	未定 非常勤講師
57			
58	健康問題をもつ小児と家族の看護	検査・処置を受ける小児と家族の看護について理解できる	未定 非常勤講師
59			
60	まとめ	小児と家族を看護する看護師としての役割・責務を理解する	未定 非常勤講師

57. 成人看護学実習 I (急性期) (必修)

担当教員	◎苫米地真弓、山口 希美、非常勤講師		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第3学年	後期	3単位	3週間
履修目的・授業概要 DP①②③④⑤			
<p>1. 周手術期にある対象者の特徴を理解し、援助関係を成立させ、対象者のニーズに応じた援助ができる。また、対象者のセルフケア能力が最大限に発揮されるとともに、QOLが向上するような看護援助を実践できる。</p> <p>2. 看護実践の体験から自己の看護観を深めることができる。</p>			
到達目標			
<p>1. 対象者の健康問題や手術について理解し、麻酔および手術侵襲による生体反応をふまえ、周手術期に必要な援助ができる。</p> <p>2. 対象者が手術に伴う身体機能の変化に適応するために必要な援助ができる。</p> <p>3. 手術からの回復状態に応じた日常生活の自立への援助ができる。</p> <p>4. 医療チームや家族との連携を保ちながら援助ができる。</p> <p>5. 継続看護や社会資源の活用を理解し、社会復帰に向けた援助ができる。</p>			
授業の形式			
周手術期にある対象者を1名から数名受け持ち、看護過程を展開し、看護援助を実践する。			
準備学習(予習・復習)等の内容と分量			
事前に看護過程や実習に関連する看護技術などを復習しておくことが望ましい。実習は既習学習の統合なので、これまでの講義・演習の資料などをすぐに活用できるように整理しておくようにしよう。			
成績評価の方法と基準等(合格基準、および追再試の回数)			
実習内容、日々の実習記録(行動計画、経過記録)、看護過程(全体像、看護問題リスト、初期計画)、実習レポート、看護サマリー、実習態度や出席状況等により総合的に評価する。詳細は、「臨地看護学実習実践編(成人看護学実習I評価表)」を参照。3分の2以上の出席をした場合を評価の対象とする。総合評価の目安としては、90点以上を秀、80点以上を優、70点以上を良、60点以上を可、60点未満を不可とする。原則、再実習は行わない。なお、3年次に実施されるOSCE(客観的臨床能力試験)に合格していることが履修の条件となる。			
実務経験のある教員等による授業科目			
該当する。			
有する実務経験と授業への活用			
看護師免許を有し、病院での勤務経験がある教員や非常勤講師が実習を担当する。			
学生へのメッセージ			
自己の健康管理と主体的な学習姿勢を期待します。また、実習の目的・目標の他に「成人看護学実習Iにおける自己の課題と目標」を明らかにして実習に臨みましょう。			
オフィスアワー			
随時。事前にメールでご連絡ください。			
授業用連絡先(E-mail)			
bechieco@asahikawa-med.ac.jp (科目責任者: 苫米地真弓)			
担当教員の研究と履修主題			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 成人看護技術(改訂第3版)	野崎真奈美他編	南江堂	3,200円+税
(参) 周術期看護—安全・安楽な看護の実践(改訂第2版)	中村美知子監修	インターメディカ	3,400円+税
(参) 症状別看護過程+病態関連図(第3版)	井上智子 窪田哲朗	医学書院	5,000円+税
(参) 疾患別看護過程+病態関連図(第4版)	井上智子 窪田哲朗	医学書院	7,000円+税
(参) 疾患別看護過程の展開(第6版)	石川ふみよ 高谷真由美	学研メディカル秀潤社	6,600円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
3週間		<p>①「臨地看護学実習ガイドライン」</p> <p>②「臨地看護学実習実践編」を参照</p> <p>○1週目:実習オリエンテーション、手術室見学実習、ICU見学実習、病棟実習(周手術期にある対象者を受け持ち、看護過程を展開し、看護実践を行う)</p> <p>○2週目:病棟実習(周手術期にある対象者を受け持ち、看護過程を展開し、看護実践を行う)、カンファレンスの実施</p> <p>○3週目:病棟実習(周手術期にある対象者を受け持ち、看護過程を展開し、看護実践を行う)、カンファレンスの実施、実習のまとめ</p>	苫米地 山口 非常勤講師

58. 成人看護学実習Ⅱ（外来）（必修）〔外来、専門外来、外来化学療法、入退院支援〕

担当 教員	◎小田嶋裕輝、鈴木悠希江（育休代替助教）、 高山 理紗（非常勤講師）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第3学年	後期	1単位	1週間
履修目的・授業概要 DP①②③④⑤			
1. 健康障害をもち外来を受診する成人期にある対象者を理解し、対象者に必要な看護支援ができる能力を養う。 2. 医療チームにおける看護の役割を理解し、継続看護を実践するために必要な能力を養う。			
到達目標			
1. 健康障害により外来を受診する対象者を、ライフスタイルや成人期の発達段階をふまえ、身体・心理・社会的特徴にそって、総合的にアセスメントができる。 2. 外来で行われている看護を通して、対象者のセルフマネジメント能力を高めるための看護支援について説明することができる。 3. 地域連携および入退院に関する機能を知り、対象者に必要な継続看護について説明することができる。 4. 外来で行われる治療・検査に必要な看護援助を説明することができる。 5. 外来実習を通して、チーム医療の意義や看護職の役割について説明することができる。			
授業の形式 臨地実習及び臨床講義			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 配付資料の中にある各実習場所における事前学習の内容をピックアップしてあるので各自学習する。実習中に不明だった点などはカンファレンス等で必ず解決する。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） 実習内容、実習記録類（レポート含む）、出席状況などにより総合的に評価する。詳細は「臨地看護学実習実践編（評価表）」を参照しておく。 3分の2以上の出席をした場合を評価の対象とし、総合評価にて90点以上を秀、80点以上を優、70点以上を良、60点以上を可、59点以下を不可とする。 なお、3年次に実施されるOSCE（客観的臨床能力試験）に合格していることが履修の条件となる。 原則、追実習・再実習は行わない。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 大学病院等で外来看護実践経験のある教員が病棟スタッフと共同して外来看護の意味付けを図る振り返りの時間を組み込んで行く。			
学生へのメッセージ 外来を受診する対象者および医療者の活動状況を見学して、自己の看護観を深めましょう。			
オフィスアワー 随時。事前にメールいただくと助かります。			
授業用連絡先（E-mail） odajima@asahikawa-med.ac.jp（科目責任者）			
担当教員の研究と履修主題 学士課程における成人看護学教育の質保証に関わる研究			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(参) 成人看護学 成人看護技術 [Web 動画付] (改訂第3版)	野崎真奈美他編	南江堂	3,200円 (税別)
(参) The 外来看護 第2版	数間恵子編著	日本看護協会出版会	2,600円 (税別)

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1週間		①「臨地看護学実習ガイドライン」、 ②「臨地看護学実習実践編」を参照して下さい。	小田嶋 鈴木 高山 (非常勤)

59. 成人看護学実習Ⅲ（慢性期）（必修）〔慢性期看護、終末期看護、全人的苦痛、QOL〕

担当教員	◎小田嶋裕輝、鈴木悠希江（育休代替助教）、高山 理紗（非常勤講師）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第3学年	後期	2単位	2週間
履修目的・授業概要 DP①②③④⑤			
<ol style="list-style-type: none"> 慢性期にある対象者の特徴を理解し、援助関係を発展させながら、対象者のセルフマネジメント能力が最大限発揮されるとともに、QOLが向上するような看護援助を実践する。 終末期の対象者の特徴を理解し、援助関係を発展させながら、苦痛の緩和とQOLが向上するような看護援助を実践する。 慢性期および終末期にある対象者にかかわる専門職やチーム医療、および継続的な医療・看護の役割機能について理解する。 看護実践の体験から自己の看護観（死生観）を深める。 			
到達目標			
【慢性期】			
<ol style="list-style-type: none"> 慢性疾患とともに生きる対象者および家族の身体的、心理・社会的特徴を発達課題と関連させて説明できる。 対象者および家族のセルフマネジメント能力を高めるための支援方法について説明できる。 社会資源の活用や継続看護の必要性を説明できる。 			
【終末期】			
<ol style="list-style-type: none"> 対象者の全人的苦痛（身体的苦痛、精神的苦痛、社会的苦痛、スピリチュアルペイン）の緩和のための看護援助ができる。 家族への援助の重要性について説明できる。 危篤時の観察方法や必要な看護援助および、死後の看護の具体的な援助方法について説明できる。 			
授業の形式			
臨地実習			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量			
看護過程をしっかり復習しておく。実習は既習学習の統合なので、今までの講義演習の資料などを、すぐに活用できるように整理しておく。実習後は自己の課題の達成度を含め今後の課題を明らかにする。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数）			
実習内容、実習記録類（レポート含む）、出席状況などにより総合的に評価する。詳細は「臨地看護学実習実践編（評価表）」を参照しておく。			
3分の2以上の出席をした場合を評価の対象とし、総合評価にて90点以上を秀、80点以上を優、70点以上を良、60点以上を可、59点以下を不可とする。			
なお、3年次に実施されるOSCE（客観的臨床能力試験）に合格していることが履修の条件となる。			
原則、追実習・再実習は行わない。			
実務経験のある教員等による授業科目			
該当する			
有する実務経験と授業への活用			
大学病院等で慢性期・終末期看護経験に携わったことのある教員が病棟スタッフと共同して看護行為の意味付けを図る振り返りの時間を組み込んで行く。			
学生へのメッセージ			
2週間という短い期間で履修目的の達成に向けて看護過程を展開するのはとても大変ですが、達成感も大きいはず。自己の健康管理も大切にして日々の実習に臨んで下さい。			
オフィスアワー			
随時。事前にメールいただくと助かります。			
授業用連絡先（E-mail）			
odajima@asahikawa-med.ac.jp（科目責任者）			
担当教員の研究と履修主題			
学士課程における成人看護学教育の質保証に関わる研究			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(参) 成人看護学 成人看護技術 [Web 動画付] (改訂第3版)	野崎真奈美他編	南江堂	3,200円 (税別)
(参) 成人看護学 慢性期看護 (改訂第4版)	鈴木久美他編	南江堂	3,400円 (税別)

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
2週間		①「臨地看護学実習ガイドライン」 ②「臨地看護学実習実践編」を参照して下さい。	小田嶋 鈴木 高山 (非常勤)

60. 母性看護学実習（必修）

担当教員	◎吉原 菜寿、山内まゆみ、巻島 愛、 出村 唯、吉本 朋加（非常勤）、 他複数未定（非常勤）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第3学年	後期	2単位	2週間
履修目的・授業概要 DP①②③④⑤ 妊産褥婦および新生児とその家族の特徴を理解し、個別性を考慮した看護過程を展開し、基本的な母性看護におけるケア実践ができる能力を養う。また、実習を通し、看護学生としての責務、倫理的行動、生命や人権の尊重について学ぶ。			
到達目標 ＜周産母子センター4階東実習＞ 1. 対象の看護に必要なアセスメントができる。 1) 受け持ち対象の身体的特徴を具体的に記述することができる。 2) 受け持ち対象の日常生活の特徴を記述することができる。 3) 受け持ち対象を通して、母児（妊婦含む）の心理的特徴を記述することができる。 4) 受け持ち対象を通して、母児（妊婦含む）の相互関係を記述することができる。 5) 受け持ち対象とその家族の日常生活の変化を記述することができる。 6) 受け持ち対象の胎児および新生児の成長・発達に必要なケアを記述することができる。 7) 受け持ち対象の退院後の生活に必要な保健指導を記述することができる。 8) 受け持ち対象の退院後の生活に必要な社会資源を記述することができる。 2. 看護問題を抽出できる。 3. 目標・評価基準を設定できる。 4. 看護計画が立案できる。 5. 看護計画に基づき、援助が実践または発案できる。 6. 実践した援助に基づいて評価することができる。 7. 看護チームの一員として、看護スタッフ・他職種との情報交換・報告をすることができる。 ＜周産母子センター NICU 実習＞ 1. 受け持ち対象のケアを実習指導者と共に実施、あるいは見学し、記述することができる。 2. 実施（見学含む）したケアの必要性について、病態、日常生活環境、母子相互作用等の観点から理解し、アセスメントとして記述できる。 3. 受け持ち対象を通して母児関係について記述できる。 4. NICUにおける看護の必要性、看護師の役割を実習体験から考察し、述べることができる。 ＜周産母子科外来実習＞ 1. 妊婦健康診査を教員と共に実施、または見学し学内で実施できる。 2. 妊婦健康診査項目の結果の評価を試みることができる。 3. 妊婦健康診査結果、および妊婦に必要な保健指導について内容を記述できる。 4. 妊婦健康診査と保健指導の必要性、看護の役割を実習体験から考察し、述べることができる。 5. 産後2週間健康診査（すくすく外来）または1か月健康診査の受け持ち対象を通して、退院後の褥婦、新生児の特徴について記述できる。 6. 産後2週間健康診査（すくすく外来）または1か月健康診査の結果、および褥婦と新生児に必要な保健指導について内容を記述できる。 7. 産後2週間健康診査（すくすく外来）または1か月健康診査と保健指導の必要性、看護の役割を実習体験から考察し、述べることができる。 ＜共通＞ ・T・P・Oに応じた態度・言葉遣い・行動をとることができる。 ・対象に関心を示し、積極的な姿勢で看護実践をすることができる。 ・カンファレンスに積極的に参加することができる。 ・遅刻、記録の不備や提出遅れなく実習を遂行できる。			
授業の形式 周産母子センター（4階東病棟、NICU）実習、周産母子科外来実習			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 看護過程に関する知識および2年次で学習した母性看護学の基本的な知識を復習し、実習に活用できるように整理しておくこと。実践看護技術学Ⅱ（母性領域）で修得した技術および紙上事例の展開を必ず復習しておくこと。 実習中の不明点は、自己学習を進めると共に、指導者や教員を活用し、できるだけ早期に解決すること。			

成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） 原則、全日程の出席が成績評価対象となる。欠席は減点対象となる。周産母子センター4階東病棟実習（50%）、周産母子科外来・周産母子センターNICU実習（50%）の配分とし、それぞれの評価表に基づき、実習内容・実習記録および出席状況等から総合的に評価する。100点満点で換算し、60点以上で単位を認定する。再実習は行わない。
実務経験のある教員等による授業科目 該当する
有する実務経験と授業への活用 看護師、助産師免許（一部アドバンス助産師の資格を有する）、NCPR専門コースの修了認定を有し、病院での実務経験（5年以上）がある教員が担当する。
学生へのメッセージ 周産期は、その特性から展開の早い実習になりますが、妊娠出産は受け持ちの対象やご家族にとって、新たな家族を育み迎える大切なライフイベントです。その機会に看護学生として関わることの貴重さ、意味を考えて、自己の健康管理に留意し、主体的に実習に臨んでください。
オフィスアワー 気軽に訪室してください。事前にメールをいただくと確実です。
授業用連絡先（E-mail） maamo@asahikawa-med.ac.jp（科目責任者：吉原菜寿）
担当教員の研究と履修主題 12ブースによるローテーション型演習に関する研究、第3学年の母性看護学演習が臨地看護学実習に及ぼす効果

＜教科書・参考図書＞

書名	著者名	発行所	価格
(教) 母性看護学 [1] 母性看護学概論 第14版	森 恵美他	医学書院	2,500円 + 税
(教) 母性看護学 [2] 母性看護学概論 第14版	森 恵美他	医学書院	2,500円 + 税
(教) 新訂版 写真でわかる母性看護技術アドバンス	平澤美恵子他	インターメディア	3,200円 + 税
(参) 新生児学入門 第5版	仁志田博志	医学書院	5,800円 + 税
(参) パーフェクト臨床実習ガイド母性看護<第2版>	堀内成子編	照林社	3,200円 + 税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
2週間		①『臨地看護学実習ガイドライン』 ②『臨地看護学実習実践編』を参照のこと。	山内 巻島 出村 吉原 吉本 (非常勤) 他

61. 精神看護学実習（必修）

担当教員	◎石川 千恵、長谷川博亮、他（非常勤）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第3学年	後期	2単位	60コマ
履修目的・授業概要 DP①②③④⑤			
<p>【目的】精神の健康問題を抱えながら病院・地域で生活する人々を理解し、学生と対象者の関係性を基盤に看護の方向性について探索しながらチーム医療に参画し、看護を実践する。さらに、リハビリを実現する多様な場の機能や特性を理解し、社会状況に応じた精神保健と看護の多様性を考える。</p> <p>【概要】1週目は3日間学内実習で1名の模擬患者を担当しロールプレイングを行う。残り2日間は2か所の社会復帰施設で実習を行う。2週目は学外施設を含む病院で3病棟に別れ実習を行い、1病棟で受け持ち患者を1名担当し実習を行う。実習施設の感染対策状況により、学内実習に切り替えを行う。学内実習では、ロールプレイングを引継ぎ行い看護を展開する。</p>			
到達目標			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神の健康問題を抱えながら病院・地域で生活する人々を理解できる。 2. 学生と対象者の関係性を基盤にした看護の方向性を探索することができる。 3. ケアに参画しながらチームの一員としての態度を養うことができる。 4. 受け持ち患者のリハビリを考慮した看護過程を展開できる。 5. 社会状況に応じた精神保健と看護の役割を理解できる。 6. 倫理的態度を踏まえた行動をとることができる。 			
授業の形式			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 臨地（施設・病院）実習 ・ ロールプレイング 			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量			
<p>精神看護学演習（3年次）において各自作成した資料を振り返る。 精神看護学Ⅱ（2年次）の全般的な復習、特に病院における安全管理に関する学習を行う。 実習で使用する記録物は、manabaに保存しておく。</p>			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数）			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習到達目標の達成状況における教員評価 85% 2. 実習到達目標の達成状況における自己評価 15% 3. 欠席は減点とし、1回の欠席は上記総合点から-10点とする。 <p>*ただし、病院実習において3回以上の欠席があった場合は、評価の対象にはならない。 *公休の場合は補充実習を行う場合がある。 *上記により60点以上であったものを大学基準に沿い秀・優・良・可の成績判定する。</p>			
実務経験のある教員等による授業科目			
該当する			
有する実務経験と授業への活用			
看護師免許を有し、病院看護師の実務経験（20年）がある教員が、大学病院等での精神科勤務、訪問看護勤務経験を踏まえ、看精神障害者の看護について学生とともに考える。			
学生へのメッセージ			
患者との関わりの中で、自己の傾向に気づき、自己洞察をしながら、主体的に実習を進めていってほしい。			
オフィスアワー			
気軽に訪室し課題解決に活用する。			
授業用連絡先（E-mail）			
chiei@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題			
自殺予防、精神障害をもつ当事者の社会における生活継続支援			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
精神看護学実習ガイド	萱間 真美	照林社	2,940円
精神看護臨地実習	川野 雅資	医学書院	2,625円
援助技法としてのプロセスレコード	宮本 真己	精神看護出版	2,700円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
60コマ	援助技術	ロールプレイング	長谷川石川 非常勤講師
	地域で生活する人々の理解	社会復帰施設実習	
	病院で入院生活する人々の理解	病院実習	
まとめ		看護過程の展開と精神看護の展望に関するカンファレンス	

62. がん看護学（必修）〔がん看護、がんを持つ人とその家族、症状マネジメント〕

担当教員	◎濱田 珠美、非常勤講師（梅岡京子がん看護専門看護師、稲垣邦子）、 國本紅美子（学内特別講師・がん看護専門看護師）、 清水 知沙（学内特別講師・がん看護専門看護師）、 三栖あずさ（学内特別講師・がん看護専門看護師）、 江口 卓也（学内特別講師・がん看護専門看護師）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第3学年	前期	2単位	30コマ
履修目的・授業概要 DP①②③④⑤			
近年、エビデンスに基づくがん医療は、先進的な技術を伴い、高度化・複雑化している。また、がん医療の主体であるがんと共に生きる人、その家族の療養の状況も多様化している。こうした社会、状況の理解に基づき、高度で専門的ながん看護の基本的知識として必要な援助テーマとアプローチなどを学び、ロールプレイなどを通して、がんを持つ人とその家族ががんと共生することを支援する技術、倫理的課題について取り組み QOL を高めるための実践を導く基本的がん看護を学ぶ。			
到達目標			
一般目標： 我が国のがんの現状とその対策・治療方法についての理解をふまえ、がん医療の主体であるがんと共に生きる人、その家族が主体的に健康問題を解決するために求められる看護の基本的アプローチを理解し、言語化する。			
行動目標： 1. 我が国で多いがん（乳がん、肺がんなど）と共に生きる人とその家族の健康問題を説明できる。 2. がん（乳がん、肺がんなど）と共に生きる人とその家族の共生の過程を支えるアプローチと支援のあり方について表現できる。 3. がんと共に生きる人（乳がん、肺がんなど）とその家族へのチームアプローチの重要性と看護の役割を説明できる。			
授業の形式			
講義では、がんと共に生きる人とその家族の特徴ならびに看護の特異性に関する概念・理論を紹介しながら、がんと共に生きる人とその家族を支援するための方策を解説する。また、ロールプレイにより、がんと共に生きる人の症状を体験的に理解し、正確なアセスメント、緩和ケア方策を効果的にするための看護技術の学習へとつなげる。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量			
シラバスに記載されているキーワードについて教科書・参考図書にて予習してくること。乳がん・肺がん・大腸がん・生殖器系がんと共に生きる人の体験が書かれた闘病記などを各講義前に1冊読んでおくこと。講義終了後は、配布された資料を読み返し、疑問点、看護ケアについて復習すること。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数）			
1. 出席率が60%を下回る者は受験資格をもたない。 2. GWと指定されたコマは、原則的にGメンバー全員の参加を必須とします。 3. 出席状況の小テスト（10%）、学習態度ならびに成果発表状況（20%）、援助技術に関する課題レポート（30%）、期末テスト（40%）。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用			
看護師免許を有し、がん看護での実務経験は5年以上である。がん看護専門看護師は認定資格を有する。			
学生へのメッセージ			
がんを持ち生きる人とその家族がどこにいようと、がん医療チームのメンバーとして看護の役割を担うため、がん看護の知識、技術、態度を学び、効果的ながん看護実践につながる基盤を培うことを期待します。がん看護コアカリキュラムは、がん看護実践に必要な知識を体系的にまとめた基礎から応用まで活用できる優れた教科書です。一緒に基礎から始めましょう。そして、4年生への発展的ながんサバイバーシップとがんエンドオブライフケアへの関心を深めることを期待しています。			
オフィスアワー			
随時。事前にメールで確認してください。			
授業用連絡先（E-mail） thamada@asahikawa-med.ac.jp			

担当教員の研究と履修主題
がん看護の臨床実践で生じている課題は答えのないものが大半です。教員は現在進行形の難しい研究課題について新しいエビデンスの確立を目指しています。教員の研究テーマは次に示すとおりです。 濱田①：進行非小細胞肺がん患者の症状クラスターとそのサポートプログラムの開発・評価 濱田②：エビデンスに基づいた禁煙支援のできるオンコロジーナーズの育成

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイドランス・がんの動向	欧米・わが国のがんの動向、がん患者の病態、がん医療及び治療の特殊性について学ぶ。	濱田
2	予防メカニズム	がんと共に生きる人について生じる身体メカニズムの変化について学ぶ。	濱田
3	QOL	がんと共に生きる人とその家族のQOLの概念の重要性について学ぶ。	濱田
4	がんに伴う苦痛症状－栄養・排泄状態の変化	がんと共に生きる人が体験する苦痛症状及びそれらの諸症状によって生じる全人的痛みについて学ぶ。	濱田
5	がんに伴う苦痛症状－呼吸・循環	がんと共に生きる人が体験する苦痛症状及びそれらの諸症状によって生じる全人的痛みについて学ぶ。	三栖（学内特別講師）
6	がんに伴う苦痛症状－痛み	がんと共に生きる人が体験する苦痛症状及びそれらの諸症状によって生じる全人的痛みについて学ぶ。	清水（学内特別講師）
7	がんの集学的治療1 濱田①	がんと共に生きる人が体験する薬物療法を理解し、それらが進むプロセスで生じる全人的痛みについて学ぶ①。	梅岡 濱田
8	がんの集学的治療2 濱田①	がんと共に生きる人が体験する放射線療法を理解し、それらが進むプロセスで生じる全人的痛みについて学ぶ②。	濱田
9	がんの集学的治療3 濱田①	がんと共に生きる人が体験する薬物療法を理解し、それらが進むプロセスで生じる全人的痛みについて学ぶ③。	濱田
10	がんの予防 濱田②	がんの動向を踏まえ、たばこなどの影響を学び、がん予防の重要性について学ぶ。	濱田
11	肺がんと共に生きる人の看護ケア 濱田①	肺がんの動向を踏まえ、肺がんと共に生きる人とその家族の特徴と支援について学ぶ。	濱田
12	大腸がんと共に生きる人の看護ケア	大腸がんの動向を踏まえ、大腸がんと共に生きる人とその家族の特徴と支援について学ぶ。	國本（学内特別講師）
13	乳がんと共に生きる人の看護ケア	乳がん動向を踏まえ、乳がんと共に生きる人とその家族の特徴と支援について学ぶ。	清水（学内特別講師）
14	遺伝性がん人と家族への看護ケア	遺伝性がんの動向を踏まえ、遺伝性の要因により発症したがん患者と発症する可能性を持つ家族への遺伝カウンセリングなどと看護の役割を学ぶ。	濱田
15	生殖器系がんと共に生きる人の看護ケア	生殖器系がんの動向を踏まえ、生殖器系がんと共に生きる人とその家族の特徴と支援について学ぶ。	濱田

がん看護学 第3学年・前期・30コマ（必修）

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	血液がんと共に生きる人と家族への看護ケア	血液がんの動向を踏まえ、血液がんと共に生きる人とその家族の特徴と支援について学ぶ。	江口 (学内特別講師)
17	がん患者の理解とセルフケア支援	がんと共に生きる人が取り組む治療過程を理解し、セルフケア支援のアプローチを学ぶ。	濱田
18	がん患者の理解と支援① 症状マネジメント 濱田①	がんと共に生きる人の症状体験を理解し、症状マネジメントのアプローチを学ぶ。	濱田
19	がん患者の理解と支援② エンドオブライフケア 濱田①	がんと共に生きる人が歩むコースを理解し、エンドオブライフケアのアプローチを学ぶ	濱田
20	がん患者の看護過程①	事例紹介：がん看護の看護過程を展開しその特徴を学ぶ。	濱田 非常勤講師
21	がん患者の看護過程②	看護過程：がん看護の看護過程を展開しその特徴を学ぶ。	濱田 非常勤講師
22	がん患者の看護過程③	同上	濱田 非常勤講師
23	がん患者の看護過程④	同上	濱田 非常勤講師
24	がん患者とその家族への援助技術	がん患者への看護技術の適用を検討する。	濱田 非常勤講師
25	がん患者とその家族への援助技術	がん患者への看護技術の適用を検討する。	濱田 非常勤講師
26	がん患者とその家族への援助技術	がん患者への看護技術の適用を検討する。	濱田
27	援助技術の適用	がん患者への看護技術の適用を検討する。	濱田 非常勤講師 学内特別講師
28	援助技術の適用	がん患者への看護技術の適用を行い考察する。	
29	援助技術の適用	がん患者への看護技術の適用を行い考察する。	
30	まとめ	がんと共に生きる人とその家族への援助技術について学習成果と課題（GW）	濱田 非常勤講師

63. チーム医療・リハビリテーション看護論（必修）〔チーム医療・リハビリテーション看護・多職種連携〕

担当教員	◎野中 雅人、牧野 志津、菅原 峰子、大田 哲生、大宮 剛（学内特別講師）、呂 隆徳、村岡 法彦、佐藤 聖、岡村 綾子、島貫 克哉		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第3学年	前期	1単位	15コマ
履修目的・授業概要 DP③			
<p>[目的]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーションの概念やリハビリテーションにおける看護師及びリハビリ専門職の役割とチーム医療を理解する。 <p>[概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーション専門職から、臨床におけるセラピーの実際を聞き、専門職の役割を理解する ・看護職、及び専門職の役割を理解し、リハビリテーションにおけるチーム医療についてワーク（ワールドカフェ）を行い、本科目における成果を共有する 			
到達目標			
<ol style="list-style-type: none"> 1. チーム医療について説明できる 2. リハビリテーションの理念を理解できる 3. リハビリテーション看護の役割を説明できる 4. リハビリテーション専門職の役割を説明できる 			
授業の形式			
対面形式、グループワーク、及び manaba による講義			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量			
シラバスの内容について、教科書・参考書で予習をして下さい。講義終了後は、他の科目の教科書や資料・参考書を読み、主題について整理しておいてください。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数）			
<p>試験70%・レポート30%（ルーブリック評価）</p> <p>出席2/3以上、かつ上記内容を100点満点で換算し、60点以上で単位を認定する。追再試験については、試験日を設け、1回のみ実施する。</p> <p>レポートを提出しない場合は、単位を認定しないことがありますので注意してください。</p>			
実務経験のある教員等による授業科目			
該当する			
有する実務経験と授業への活用			
看護師免許を有し、病院看護師の実務経験がある教員、及びリハビリテーションの経験豊富な専門職が、チーム医療・リハビリテーション看護の知識、経験を踏まえ、本科目に関する基礎的な講義を行う。			
学生へのメッセージ			
リハビリテーションは、医療・看護のすべての対象者に関わる概念です。参考書なども活用して主体的に学んでください。			
オフィスアワー			
月～金 事前にメール連絡してください。			
授業用連絡先（E-mail）			
masato-n@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題			
<p>野中：地域在住高齢者の呼吸筋訓練に関する研究</p> <p>大田：広域でのリモート技術を活用した地域リハビリテーションに関する研究</p> <p>菅原：高齢者せん妄に対する看護に関する研究</p> <p>牧野：急性期病院と在宅療養における看護職の連携に関する研究</p>			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) リハビリテーション看護	酒井郁子他編	南江堂	2,400円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	チーム医療・リハビリテーション看護	チーム医療・リハビリテーション看護とは	野中
2	チーム医療の概念	チーム医療に必要な要素・IPW / IPEについて	野中
3	リハビリテーションの概念	リハビリテーション医療と専門医の役割	大田
4	リハビリテーションが必要な患者の心理	患者の心理とリハビリテーションについて学ぶ	野中
5	リハビリテーション看護	リハビリテーション看護の実際を学ぶ（1）リハビリテーション看護とは	大宮 学内特別講師
6	リハビリテーション看護	リハビリテーション看護の実際を学ぶ（2）リハビリテーション看護の実際	大宮 学内特別講師
7	リハビリテーションとチーム医療	ライフサイクルに沿ったリハビリテーションを学ぶ	菅原
8	リハビリテーション専門職の役割	理学療法士の役割を学ぶ	呂 学内特別講師
9	リハビリテーション専門職の役割	作業療法士の役割を学ぶ	島貫 学内特別講師
10	リハビリテーション専門職の役割	言語聴覚士の役割を学ぶ	佐藤 学内特別講師
11	小児に対するリハビリテーション	小児に対するリハビリテーションを学ぶ	岡村 学内特別講師
12	リハビリテーション専門職の役割	がんのリハビリテーションを学ぶ	村岡 学内特別講師
13	リハビリテーションとチーム医療	地域包括ケアとリハビリテーションを学ぶ	大田
14	討論会	全世代を対象としたリハビリテーションにおける多職種連携、及び多職種連携教育について学生間で討論し、学びを共有する	野中 菅原 牧野
15			

64. 看護研究（必修）〔研究法・研究倫理・質的研究・量的研究・研究計画書の作成〕

担当教員	◎伊藤 俊弘、看護学科全教員、糸林真優子、 田中 愛子、會木 千恵、 田丸 恵 (学内特別講師/図書館)		
	対象学年	開講期	単位数
	第3学年	通年	1単位
履修目的・授業概要		DP④	
<p>1. 看護研究に必要な基礎知識（文献レビュー、研究デザイン）、技術（データ収集・分析）、および研究者としての姿勢（批判的思考、研究倫理の遵守）を学びます。</p> <p>2. 実践科学である看護学における看護研究の意義と、看護実践に基づいた研究の特徴を理解します。</p> <p>3. 看護研究が自然科学的な手法から、人間の意識や体験などの主観性に着目した質的研究方法（例：インタビュー法、現象学的アプローチ）へ発展してきた背景を学びます。</p>			
到達目標			
<p>1. 看護領域でよく用いられる研究方法（事例研究、調査研究、実験研究）の特徴とプロセスを口頭またはレポートで説明できる。</p> <p>2. 看護研究で使用される主要な用語（例：信頼性、妥当性、仮説など）を定義し、具体例を挙げて説明できる。</p> <p>3. 文献を活用して学んだ研究方法（量的研究、質的研究）の実際を検証し、研究手法や結果を批判的に分析できる。</p> <p>4. 看護研究を行う学生としての基礎的な準備が整っている（遅刻や欠席がなく、教科書や資料を活用して学習を進めている。課題が期限内に提出され、内容が十分に整理されている）。</p> <p>5. 4年生で行う卒業研究の「研究課題」に基づいた研究計画を作成し、教員からのフィードバックを基に改善できている。</p>			
授業の形式			
<p>授業は以下の2つのパートで構成されます：</p> <p>前半（6月30日まで）：対面による講義形式で、看護研究に必要な知識（研究の種類、デザイン、データ収集・分析の基礎など）を学びます。講義ではスライドや教材を活用し、実践例を交えながら進めます。</p> <p>後半（7月3日以降）：看護学科の教員配属による研究計画書作成の演習を行います。演習では以下を実施します：</p> <p>1) 各自の研究課題に基づいた計画書の作成</p> <p>2) 担当教員からのフィードバックを受け、改善案を反映</p> <p>3) データ収集や分析方法のシミュレーション（例：アンケート作成、統計ソフトの使用）</p>			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量			
<p>予習：教科書の指定された範囲（例：第3章～第5章）を事前読んでおき、重要な用語や概念を確認してください。特に、講義で取り上げるテーマに関連する部分（例：研究方法、データ収集の手法）を重点的に復習してください。予習時間の目安：30～45分。</p> <p>復習：講義終了後、配布資料や講義ノートをもとに内容を整理し、自分なりのまとめを作成してください。必要に応じて、教科書や関連資料を参照し、理解を深めてください。復習時間の目安：1時間程度とってください。</p> <p>質問・疑問点の解決：復習を通じて生じた疑問や不明点は、manabaのプロジェクト掲示板等を活用して教員に問い合わせてください。質問の際、講義日や具体的な箇所を明記すると回答がスムーズになります。</p>			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数）			
<p>成績は以下の基準で評価します。</p> <p>1. 講義課題の提出（20%）：研究論文（ケーススタディ、調査研究、実験研究、質的研究）を対象とした図書館演習およびクリティークを中心としたレポートの提出。</p> <p>2. 講義の出席状況（10%）：出席は授業内容への積極的な参加を評価します。遅刻や欠席が多い場合、減点対象となります。</p> <p>3. 教員配属による活動状況（70%）。ルーブリック評価基準に基づいて評価します。評価項目は以下の通りです：課題への取り組み姿勢、グループ活動や教員との連携の積極性、データ収集・分析の技能、レポートや計画書の完成度、研究計画発表会の評価など</p>			
実務経験のある教員等による授業科目			
該当しない			
有する実務経験と授業への活用			
学生へのメッセージ			
<p>看護研究を学ぶ中で、日常生活や実習中に見聞きする人権や倫理的配慮について、意識を向けてください。講義で得た知識と実習での経験を結びつけることで、新たな興味や問題意識が芽生えてきます。実習中に感じたことや疑問は、メモやノートに残し、講義や仲間との話し合いを通して共有してください。看護研究は、自分の気づきや関心を形にして深めていく学びです。焦らずに一歩ずつ、興味を持ったことを大切に育てていきましょう。何か気になることがあれば、教員にいつでも相談してください。</p>			

オフィスアワー いつでも対応しますが、その際は事前に連絡して下さい。
授業用連絡先（E-mail） toshitoh@asahikawa-med.ac.jp
担当教員の研究と履修主題 健康長寿、ストレス、環境衛生など

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
看護研究 第2版	坂下玲子他	医学書院	2,750円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス	・看護研究の講義日程、看護研究とは科学としての看護における研究の意義・目的（看護） ・研究倫理と研究者の責務を理解する。	伊藤
2	文献の検索	文献の検索司書 ・電子ジャーナル、医学中央雑誌 WEB版 CINAHL, MEDLINE, PubMed, OPACの使い方を習得する。 ※講義は第2講目から第1借報処理室 3（リモート講義の場合、自宅）で 行う予定です。	図書館司書
3			
4	看護研究の基礎知識（1）	研究デザイン ・主な研究デザインの種類とそれらの特徴について学ぶ。	伊藤
5	看護研究の基礎知識（2）	・実験研究の特性について理解する。 ①操作、②コントロール、③無作為（看護） ・質問紙調査票を用いた調査研究の特性について理解する。	山根
6	看護研究の基礎知識（3）	・事例研究の特性について理解する ・質的研究の特性について理解する ①データ収集方法、②分析手法	濱田
7	看護研究の基礎知識（4）	・質的記述的分析に取り組む ・事例研究論文のクリティークの実際	小田嶋
8	研究課題の抽出	・研究計画書の構成・作成上の確認事項について理解する： ①テーマ ②研究の背景（文献検討の重要性） ③研究目的と意義 ④予測される結果（仮説） ⑤研究デザイン方法 ⑥研究の進行計画 ⑦看護への示唆・研究の準備性について（想起） ・看護研究テーマの厳選	伊藤
9			
10～21	研究計画書の作成・提出	・模擬指導 ・研究計画書の作成・提出 ・発表用のPowerPointの作成・提出 ・研究計画書の作成・指導1 ・7月3日（木）4～6講目 ・9月4日（木）1～3講目 ・9月25日（木）1～3講目	看護学科教員
22～24	研究計画発表会	・自身の研究計画をPowerPointを使って発表する（臨床第1講義室） ・10月9日（木）1～6講目	看護学科教員
25～30	卒業研究発表会への参加	・卒業研究発表会における4年生発表を学ぶ ・興味のある研究テーマのディスカッションに参加し、その内容をレポートする	看護学科教員

必修科目

【第4学年】

65. 地域包括ケア論Ⅳ（地域課題の継続的な取組）（必修）〔地域包括ケア、多職種連携、多職種協働〕

担当教員	◎升田由美子、菅原 峰子、山根由起子、塩川 幸子、真鍋 貴行、神成 陽子、苫米地真弓、巻島 愛、山口 希美、牧野 志津、山田 咲恵、吉原 茉寿、他看護学科教員、教育センター教員		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第4学年	通 年	1 単位	15コマ
履修目的・授業概要 DP①② これまで学習した地域住民の生活と健康、健康課題を踏まえて、将来医療職者としてどのように地域包括ケアに携わっていくかを検討する。地域包括ケアに必要な多職種連携・多職種協働について理解する。 上級学年として、3年生の健康セミナーの支援や地域活動に参加し、1・2・3年生に自らの経験を伝える。			
到達目標 1. 地域医療連携と地域包括ケアの関係について説明することができる 2. 医療職者として、多職種と連携し地域包括ケアに携わることについて述べるができる。 3. 看護大学生として主体的に地域包括ケア構築に貢献する活動について考えることができる 4. 自らの体験をもとに下級生の地域活動参加を支援することができる			
授業の形式 講義とグループワーク、地域活動参加、活動報告を行う。それぞれの学習・実習スケジュールに応じて、参加可能な地域活動（健康セミナーげんき種含む）に2回以上参加し、報告書を提出する。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 3年次までの地域包括ケア論の活動から、地域の特徴等を踏まえたアセスメントや実践を整理する。 自らの考える「地域包括ケア」とそれを担う医療人像を明確にしておく。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） ・出席と小テスト：30% ・講義終了後の提出物・レポート：50% ・地域活動参加（2回以上）と報告書：20%（10×2回） ※3回以上の参加は加点対象 上記を合算し、得点率60%以上で単位認定する。 レポートに不備がある場合は再提出を課す。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 看護師免許を有し、病院看護師の実務経験（6～10年間）がある教員、ならびに保健師免許を有し、地域での保健師活動の実務経験（16年間）を有する教員で担当し、各々の経験に基づいて健康指導や多職種連携について教授する。			
学生へのメッセージ 3年次での地域包括ケア論Ⅲ、地域包括ケア実習での活動を踏まえ、看護大学生、そして将来の医療者として地域包括ケアに主体的に取り組み、これからの地域の健康づくりに貢献しましょう。			
オフィスアワー 随時受け付けます。教員にメールでアポイントメントをとってください。			
授業用連絡先（E-mail） y-yumiko@asahikawa-med.ac.jp（科目責任者：升田）			
担当教員の研究と履修主題 地域包括ケア：看護系大学「地域包括ケア」人材育成プログラム活動参加が地域住民の心理・社会的健康に及ぼす影響			

〈教科書・参考図書〉

書 名	著者名	発行所	価格
(教) よくわかる地域包括ケア	隅田好美、藤井博志、黒田研二編	ミネルヴァ 房	2,500円+税
(参) 地域包括ケアのすすめ	東京大学高齢社会総合研究機構(編)	東京大学 出版 会	3,500円+税
(参) 病院と地域を“看護”がつなぐ	角 田 直 枝	日本看護協会出版会	1,600円+税
(参) ケアする人のためのプロジェクトデザイン	西上ありさ	医 学 書 院	2,500円+税

コマ数	履修主題	履 修 内 容	担当教員
4/15	ガイダンス	地域包括ケア論Ⅳの内容と進め方 多職種連携 地域ケア会議、退院支援、チームカンファレンス	升田
4/15	地域医療連携と地域包括ケア	地域包括ケアにおける医療者・看護職の役割について学ぶ。卒業後に自らがどのような形で地域包括ケアに携わっていくかを考える。	菅原
4/15	地域包括ケアと多職種連携	地域包括ケアに必要な多職種連携・多職種協働について学ぶ。	看護学科教員
8/18	多職種連携①	事例（夏休み前に提示）の確認 グループごとに打ち合わせ	〃
8/18		8/20ロールプレイの準備	〃
8/20	多職種連携②	医学生と合同で地域ケア会議（または在宅医療移行に向けたチームカンファレンス）のロールプレイを行う。 登場人物：病棟看技師、訪看看護師、ケアマネ、主治医、PT、OT、MSW、退院支援看護師、薬剤師、患者、家族 検討内容の共有	看護学科教員、教育センター教員
8/20			
8/20			
9/5	まとめ	ロールプレイを振り返り、地域包括ケアと多職種連携について検討する。	看護学科教員
9/5	〃	〃	〃
9/5	〃	3年生に地域包括ケアと多職種連携について報告し意見交換を行う	〃
9/26	地域活動参加①	〃	〃
9/26	〃	各担当地区の地域活動に参加する。 （日程は地域活動の実施状況により変更する） 地域活動について事前に内容を把握し、学生の役割を明確にして参加する。	〃
10/17	地域活動参加②	地域活動終了時には「地域活動報告書」を作成し、活動の評価を行う。	〃
10/17	〃	〃	〃

66. 実践看護技術学Ⅲ（高齢者・在宅）（必修）〔高齢者・在宅〕

担当教員	◎山根由起子、菅原 峰子、野中 雅人、 牧野 志津、山田 咲恵、 非常勤講師、学内特別講師		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第4学年	前期	1単位	30コマ
履修目的・授業概要		DP①②③④⑤	
履修目的 入院中の高齢者が退院後も在宅療養を継続できるように、必要な技術を習得する。 授業概要 高齢者が退院後に在宅で療養を続けられるよう、個別の状況に応じた必要な技術を習得し、本人と家族への適切な説明ができる能力を養う。			
到達目標 1. 高齢者の特徴を理解し、安心して療養できるよう必要なケアが述べられる。 2. 認知症のある高齢者と家族への配慮ができる。 3. 在宅に退院する高齢患者の事例に応じた看護技術の目的、根拠、方法、注意事項が説明できる。 4. 高齢者の個性に応じた看護技術を実施できる。 5. 在宅で療養するために本人や家族へ必要な説明ができる。 6. 在宅でも継続する工夫ができる。 7. 倫理的配慮ができる。			
授業の形式 主に実習室での実技を実施する。事例に適した看護を考えグループワークを行い、必要なケアを実践する。 筆記試験、技術試験を行う。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 高齢者看護学と在宅看護学で学んだことを復習する。更に文献を参考に事例に必要な技術やケアについてグループで各技術の予習をし、実践とディスカッションをしながらまとめる。技術は練習を重ねて習得する。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） 成績評価対象者は、2/3以上出席した者 *原則全て出席 レポート：20% 技術に関する目的、根拠、方法、注意事項をまとめる。家族へ説明するパンフレットを作成する。 実技試験：40% 授業時間数2/3以上出席した者が受験できる。 筆記試験：40% 授業時間数2/3以上出席した者が受験できる。 によって評価を行う。提出物遅滞は減点した上で提出物の評価を行う。 計100点のうち60点以上をもって合格とする。 追再試験1回認める。 「秀」は5%以内、「秀・優」の合計は「良・可」の合計を超えない、「可」は「良」の割合以下とする。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 看護師免許を有し、病院や地域の医療施設などで複数年の臨床経験を有する教員が、その経験を活かして基本的な知識と手法について教育を行う。			
学生へのメッセージ 本人や家族への配慮をしつつケアが行えるよう、グループで話し合いながら進め、技術習得のため、積極的に練習をしましょう。			
オフィスアワー 事前に各技術の担当教員に連絡をください。			
授業用連絡先（E-mail） yamane@asahikawa-med.ac.jp msugawara@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題 山根由起子：食事ケアに関する研究			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 根拠と事故防止からみた老年看護技術	亀井智子(編)	医学書院	4,000円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス	オリエンテーション、授業概要の説明、事例と課題導入	山根
2	課題グループワーク	事例に必要な各技術の目的、根拠、方法、注意事項を予習し、整理してまとめる	山根 野中 牧野 山田
3			
4		★認知症療養者の家族から学ぶ	牧野 山田
5	事例に必要な技術グループワーク	退院に向けた説明用パンフレットを作成する。 技術で使用する物品を確認する。 各技術のゴールドスタンダードを学ぶ。実際の物品を見る、触る、使ってみる。	山根 野中 牧野 山田
6			
7		★移乗介助について理学療法士から学ぶ	学内特別 講師 野中
8	グループ技術演習	グループ演習①	山根 菅原 野中 牧野 山田
9			
10			
11	グループ技術演習	グループ演習②	山根 野中 牧野 山田
12			
13		★福祉用具について学ぶ	非常勤講師 牧野 山田
14	グループ技術演習	グループ演習③	山根 菅原 野中 牧野 山田 菊地 (非)
15			

実践看護技術学Ⅲ（高齢者・在宅）第4学年・前期・30コマ（必修）

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	グループ技術演習	グループ演習④	山根 菅原 野中 牧野 菊地 (非)
17			
18			
19	グループ技術演習	グループ演習⑤	山根 菅原 野中 牧野 山田
20			
21			
22	グループ技術演習	グループ演習⑥	山根 菅原 野中 牧野 山田
23			
24			
25	グループ技術演習	筆記試験	山根 菅原 野中 牧野 山田
26		グループ演習⑦ 実技試験 くじ引き	
27			
28	実技試験	実技試験の実施とフィードバック	山根 菅原 野中 牧野 山田 非常勤
29			
30			

67. 高齢者看護学実習（必修）〔高齢者、看護過程、高齢者専門病棟、地域資源〕

担当教員	◎牧野 志津、菅原 峰子、野中 雅人、 九鬼 智子（非常勤講師）、 非常勤講師（未定）		
	対象学年	開講期	単位数
	第4学年	前期	3単位
			コマ数 3週間
履修目的・授業概要 DP①②③④⑤			
【履修目的】 高齢者とその家族の地域での暮らしや看取りまで見据えた看護が提供できる看護師を目指す。			
【実習概要】 健康障害や生活障害がある高齢者やその家族を理解し、個別性に 応じた看護を実践できる能力を養う。			
到達目標			
1. 社会資源を活用しながら地域で暮らす高齢者とその家族を理解し、他職種および看護の役割を考慮することができる。 2. 高齢者の健康障害と生活障害を把握し、援助する能力を習得する。 3. 高齢者の尊厳を守り、高齢者の健康障害と生活障害に応じた日常生活の援助ができる。 4. 健康障害および生活障害のある高齢者をもつ家族を理解し適切な援助を考慮することができる。 5. 高齢者の個別性に合わせた看護過程が展開できる。 6. 健康障害および生活障害を抱えた高齢者の在宅支援を考慮することができる。 7. 看護学生として責任のある行動や態度を習得することができる。			
授業の形式 体験型実習、病院実習、統合学習を通して、高齢者とその家族への支援方法を学ぶ。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量			
1. 高齢者看護学Ⅰ・Ⅱの講義、教科書の内容を整理し、復習して実習に臨むこと。 2. 実践看護技術学Ⅲで演習した技術、基礎看護学領域で学んだ技術を復習し実施出来るようにしておくこと。 3. 実習ガイダンスで提示する。事前課題を実施する。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数）			
評価の割合は「臨地看護学実習実践編（評価表）」に基づき、実習内容・実習記録を80%、出席・姿勢および態度を20%とする。 上記評価対象を総合的に評価する。 出席3分の2以上を、評価対象とする。 合計100点のうち60点をもって合格とする。 原則、再実習は行わない。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 看護師免許を有し、病院看護師実務経験（10年以上）がある教員、地域での高齢者施設実務経験を有する教員で担当する。			
学生へのメッセージ 自己の健康管理に留意し、主体的に実習へ取り組んでほしい。これまでの実習・演習を振り返り、自分の課題と目標を明確にしたうえで、積極的な姿勢で臨むこと。			
オフィスアワー 随時可能、事前にメールで教員と連絡を取ってください。			
授業用連絡先（E-mail） kml1208@asahikawa-med.ac.jp（科目責任者：牧野志津）			
担当教員の研究と履修主題 菅原：高齢者のせん妄に関する看護 野中：口腔アセスメントツールの開発 牧野：急性期病院と在宅療養における看護職の連携			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 系統看護学講座 老年看護学	北川公子編	医学書院	2,970円
(教) 系統看護学講座 老年看護病態・疾患論	鳥羽研二編	医学書院	2,530円
(参) 生活機能から見た 老年看護過程	山田律子編	医学書院	4,070円
(参) 高齢者看護の実践	堀内ふき編	メディカ出版	3,960円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
3週間		①臨地看護学実習ガイドライン ②臨地看護学実習「実践編」 ③高齢者看護学実習要項を参照すること。	菅原 野中 牧野 九鬼 非常勤

68. 小児看護学実習（必修）

担 当 教 員	◎森 浩美、非常勤講師		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第4学年	前期	2単位	2週間
履修目的・授業概要 DP①②③④⑤ 本科目の目的は、小児看護の対象となる小児と家族を理解し、対象に応じた看護実践能力を養うことである。健康な小児や健康問題をもつ小児とその家族への看護を体験し、基本的な知識と技術、倫理的な態度の修得に向けた実習である。			
到達目標 1. 小児と家族を身体的、心理的、社会的側面から捉え、ありのままに理解する。 2. 小児における家族、看護師をはじめとする多職種の役割・機能について理解する。 3. 小児と家族の成長・発達段階、発達課題、個性にあった看護を計画・実施し、評価する。 4. 小児と家族の看護を実践する看護学生として倫理的かつ責任ある行動・態度を修得する。			
授業の形式 旭川市内の保育所、認定こども園、旭川医科大学病院で実習する。保育所、認定こども園での実習では幼児期の小児との生活体験を通して健康な小児の成長・発達と看護を理解する。病棟実習では入院している小児1名を受け持ち看護を展開する。外来実習では、受診する小児の看護を見学、実施する。そして、小児期のリハビリテーションについて見学する。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 小児看護学講義、演習をはじめ、これまでに学習した内容を復習して実習に臨んでください。教科書や参考書を活用しながら、日々の実習での看護を振り返り、実習終了後には学んだことをレポートにまとめてください。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） 実習内容、実習記録などにより総合的に評価します。評価項目、評価基準、評価配分割合については、「臨地看護学実習実践編・小児看護学実習」を参照してください。評価表の得点を100点満点で換算し、60点以上で単位を認定します。再実習は特別な理由がない限り、原則、実施しません。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 看護師免許を有し、病院看護師の実務経験がある教員が、大学病院等での小児看護の勤務経験を踏まえ、小児看護学に関する基礎的な講義を行う。			
学生へのメッセージ 子どもの目線に立ち、子どもを尊重して看護を学んで欲しいです。子どもの安全を守る事故防止対策を徹底し、自己の健康管理にも努めてください。			
オフィスアワー 事前にメールで確認してください。			
授業用連絡先（E-mail） ekubo-h@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題 小児看護実践：看護学生の受け持ち患者になった子どもの思い			

〈教科書・参考図書〉

書 名	著者名	発行所	価格
小児看護学Ⅰ	二宮啓子	南江堂	3,960円
小児看護学Ⅱ	今野美紀	南江堂	3,740円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
2週間	小児看護実践	1. 『臨地看護学実習ガイドライン』 2. 『臨地看護学実習実践編』 3. 小児看護学実習要項を参照してください。	森

69. 国際保健・災害看護論（必修）〔国際保健、異文化、災害〕

担当 教員	◎藤井 智子、 神田 浩路（社会医学講座）、 鈴木 智子（旭川日本赤十字院（非常勤））、 太田 文子（旭川日本赤十字院（非常勤））			
	対象学年	開講期	単位数	コマ数
	第4学年	前期	1単位	15コマ
履修目的・授業概要				D P ②
<p>今や、看護師、保健師、助産師は、国際的視点で保健・看護について考えることの必要性を理解する。人々の集まりを対象とする地域保健・地域看護を家族や学校、企業、地方自治体、さらには日本という国へと広げ、最終的に大きな視野でとらえると、国際保健看護になるという基本的なことを学ぶ。さらに、人々の生活や環境、健康は、日常的に世界とつながっており、世界の健康の状況の変化とその対応を理解し、将来に向けての目標をさまざまな立場の人々が共有していくことの重要性を理解する。また、健康危機管理としての国際保健看護と災害看護の特徴を理解し活動の土台となる人道支援の原則および看護のあるべき役割を探索する。</p>				
到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・国際協力の基本的な枠組みについて知る。 ・保健医療分野での国際協力に関わる主な国際機関、非政府組織などの特徴とその活動について説明できる。 ・世界の健康格差と国際協力の必要性を説明できる。 ・プライマリヘルスケアと看護職への期待を説明できる。 ・災害という特殊状況下における被災の場や被災者に必要とされる医療、看護の専門的知識、技術の必要性を理解する。 				
授業の形式				
講義、グループワーク、視聴覚機器の活用				
準備学習（予習・復習）等の内容と分量				
日常的に国際社会の情勢、世界的な健康課題に関する情報に関心を持つこと。特に印象深い情報については、その背景を調べまとめておくこと。				
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数）				
出席（15%）および試験（85%）から総合的に評価する。合計100点のうち60点以上を合格とする。追・再試験は1回行う。				
実務経験のある教員等による授業科目				
該当する				
有する実務経験と授業への活用				
<p>JICA で国際保健活動の経験がある教員が国際保健の基礎的講義を行う。さらに、保健師免許を有する北海道の保健所で保健師活動の経験のある教員が実践を踏まえ基礎的な国際看護活動の講義を行う。</p> <p>また、災害現場の経験を有する教員（非常勤）により、実践を踏まえた災害看護活動の講義を行う。</p>				
学生へのメッセージ				
国内外の社会情勢、保健医療分野等の新聞、テレビ、ラジオのニュースに耳を傾け、「国際保健看護とは」、「国際協力とは」について興味と関心を持ち、世界の人々の健康、広く地球の健康まで考えが発展することを強く望んでいます。				
オフィスアワー				
気軽に来てください。事前にメールください。				
授業用連絡先（E-mail）				
koitomo@asahikawa-med.ac.jp				
担当教員の研究と履修主題				
<p>小規模自治体における地域ケア会議</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アジア諸国における顧みられない熱帯病等の感染症疫学に関する研究（神田浩路） 2. 開発途上国におけるユニバーサル・ヘルズ・カバレッジ（UHC）を含む地域住民の健康に関する研究（神田浩路） 				

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 災害看護学・国際看護学看護の統合と実践3	浦田喜久子他	医学書院	2,300円+税
(参) 知って考えて実践する国際看護	近藤麻理	医学書院	1,800円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	国際保健看護とは	グローバル社会における日本の現状をとらえ、国際的な看護の視点の必要性を理解する。	神田
2	国際協力とは	国際協力の基本的な枠組み、政府開発援助（ODA）について学ぶ。	〃
3	〃	保健医療分野での国際協力に関わる主な国際機関、非政府組織などの特徴とその活動について学ぶ。	〃
4	国内の健康の格差と世界の健康の格差	国内外の健康に関する格差・不平等について理解し、誰のため何のための国際保健看護なのかを学ぶ。	藤井
5	国際保健看護の場と対象	人々の生活や環境の変化と出現する健康問題について学ぶ。	〃
6	〃	健康問題と国際保健看護活動について理解する。	〃
7	日本の看護経験と国際協力	世界から求められている日本の看護の役割について考える。	〃
8	〃	保健師活動と技術協力について学ぶ。	〃
9	プライマリヘルスケアと看護職への期待	プライマリヘルスケアにおける看護職への期待について学ぶ。	〃
10	日本および世界における災害発生と救護活動	看護者に求められるグローバルな視点について学ぶ。日本および世界における災害発生活動の実態、救護の歴史について学ぶ。	鈴木（非常勤）
11	災害医療・災害看護の基礎知識	災害の定義、種類と健康障害、災害医療の特徴について学ぶ。	〃
12	災害サイクルに応じた活動現場の災害看護	急性期・亜急性期、慢性期・復興期、静穏期について学ぶ。	〃
13	災害とこころのケア	災害時のこころのケアの基本被災者と救済者のこころのケアについて学ぶ。	太田（非常勤）
14	災害救護の実際1	これまで経験した救護活動から、活動内容を知る。	〃
15	災害救護の実際2	〃	〃

70. 卒業研究（必修）〔看護学、卒業研究〕

担当 教員	◎山内まゆみ、伊藤 俊弘、小田嶋裕輝、菅原 峰子、長谷川博亮、濱田 珠美、平 義樹、藤井 智子、升田由美子、山根由紀子、一條 明美、塩川 幸子、野中 雅人、原口真紀子、真鍋 貴行、苔米地真弓、石川 千恵、神成 陽子、綱元 亜依、巻島 愛、牧野 志津、水口和香子、山口 希美、山田 咲恵、吉原 菜寿、出村 唯、他数名			
	対象学年	開講期	単位数	コマ数
	第4学年	通 年	2単位	120コマ
履修目的・授業概要 D P ④ これまで看護学について学んできたことを基礎に、それらに対する関心や疑問を明らかにするために研究課題の決定、研究計画の作成、データ収集と分析、研究抄録の作成、研究発表までのプロセスを体験する。				
到達目標 ・研究課題の決定に際して、看護学をとおして学んだ知識や疑問を具体化し、研究の意義を明らかにするために必要な文献等を正しく検索できる。 ・エビデンスに基いた仮説の設定と研究目的に沿った研究デザインにより研究計画を作成できる。 ・適切な方法に基いた調査や実験からデータの収集と分析を適切に行える。 ・研究結果や考察が明瞭な研究抄録を作成できる。 ・研究発表では他人が用意に理解できるように研究内容を説明できる。				
授業の形式 原則、3年次の看護研究の担当教員が指導を担当し、ゼミ形式となる。具体的な研究スケジュールや研究の進め方については、担当の指導教員と相談して決める。				
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 研究課題の内容については、これまで看護学科で学んできたすべての教科が基盤になっており、研究方法に関しては情報リテラシー・保健統計学・看護研究が基盤となるので十分に復習しておくこと。				
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） 研究抄録、研究発表会および研究への取り組み姿勢等についてルーブリック評価を用いて評価する。100点満点換算し60点以上を合格とする。自己評価の未提出者は評価対象とならない。				
実務経験のある教員等による授業科目 該当する				
有する実務経験と授業への活用 学位（修士以上）を持つ教員が指導を担当。				
学生へのメッセージ 卒業研究は知的好奇心・向上心を持ち、エビデンスの作成と発信を目指して主体的に取り組もう。そして卒業後の職場で期待される問題解決能力と研究に対する力量を培おう。教科書・図書は担当教員からも紹介を求めてもよい。				
オフィスアワー 指導担当の教員に確認すること。				
授業用連絡先（E-mail） asayama@asahikawa-med.ac.jp				
担当教員の研究と履修主題 各教員に確認してください。				

〈教科書・参考図書〉

書 名	著者名	発行所	価格
※「看護研究」科目を参照			

コマ数	履修主題	履 修 内 容	担当教員
1	研究を再開	・開始日より指導担当教員と連絡を取り、適時研究を進める。	全員
	研究計画の決定・提出、実施、結果と分析、考察、抄録作成と提出、発表会に向けたプレゼンテーションの準備。	【大まかな研究の予定】 ・研究テーマの決定・提出・当該グループのみ倫理審査委員会への申請（4月下旬） ・当該グループのみ、医大病院看護部に調査の場合は依頼を行う（5月上旬） ・研究計画書を提出する（5月初旬） ・研究を進行する。 ・夏季休業後のコマで抄録作成・提出に向けたガイダンスを行う（山内）。 ・研究を進行する。 ・抄録原稿の提出を行う（11月初～中旬） ・研究発表会に向けた準備を行う。	全員
120	研究発表会	研究を発表、および他のグループの発表を聴き、質疑・応答をしながら、研究グループ相互の評価を行う。	全員

71. 在宅看護学実習（必修）〔在宅療養者、訪問看護、社会資源、多職種連携〕

担当 教員	◎山田 咲恵、山根由起子、 菊地 忍（非常勤）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第4学年	前期	2単位	2週間
履修目的・授業概要 DP①②③④⑤ 多様な健康課題を抱える在宅療養者および、その家族の生活と健康に対する支援の実際を理解する。また、訪問看護を取り巻く社会資源の機能と役割、それらとの連携について学習することを目的とする。保健医療福祉介護チームの一員として、多職種・多機関と連携して行う訪問看護師の看護活動について、プログラムに沿って系統的に学習する。			
到達目標 1. 在宅療養の場、対象者の特性に応じたコミュニケーションを図ることができる。 2. 在宅療養者と家族の生活を包括的にとらえ、健康課題および生活課題（強み、弱み）をアセスメントすることができる。 3. 在宅療養者と家族に対する看護の方向性を示すことができる。 4. 在宅における生活援助技術を経験し在宅看護技術の特徴を説明できる。 5. 訪問看護を取り巻く社会資源の機能と役割、連携について説明できる。 6. 療養の場に応じた倫理的態度・行動が実践できる。			
授業の形式 旭川市内の訪問看護ステーションで実習を行い、受け持ちの利用者の看護過程を展開する。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 実習する訪問看護ステーションの特徴や、掌握する地区の特徴を旭川市のホームページなどを活用し事前に学習すること。また、旭川市のホームページに記載されている「いきいき長寿旭川2025年度版」を参考に介護保険サービスについて事前に学習すること。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） ①実習記録・実習態度・出席状況（70%） ②最終レポート（20%） ③カンファレンス資料（10%） により総合的に判断し60点以上を合格とする。なお、2/3（60時間）以上出席した場合を評価対象とする（原則すべての実習日に出席すること）。再実習は行わない。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 看護師免許を有し、病棟、訪問看護ステーションの勤務経験がある教員が指導を行う。			
学生へのメッセージ 協力してくださる方がいるからこそ実習が成立していることを自覚し、積極的かつ、実践から多くのことを学習することを期待します。対象者の生活の場に足を踏み入れることの意味を十分にわきまえた態度・行動をとることを望みます。			
オフィスアワー 担当教員と時間を調整し研究室にお越しください。			
授業用連絡先（E-mail） 山田：syamada@asahikawa-med.ac.jp 山根：yamane@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題 山田：COPD（慢性閉塞性肺疾患）を抱える療養者に関する研究 山根：摂食嚥下ケアに関する研究			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 地域・在宅看護の基盤	河原加代子	医学書院	2,200円
(教) 地域・在宅看護の実践	河原加代子	医学書院	2,750円
(教) 地域・在宅看護過程	河野あゆみ	医学書院	4,180円
(参) やさしくわかる訪問看護	椎名美恵子	ナツメ社	2,750円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
2週間		①「臨地看護学実習ガイドライン」 ②「臨地看護学実習実践編」を参照のこと	山田 山根 菊地 (非常勤)

73. 看護管理・医療安全論（必修）

担当 教員	◎原口眞紀子、井戸川みどり、黒崎 明子、 植山さゆり、中村 智美		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第4学年	前期	1単位	15コマ
履修目的・授業概要 DP①③ 看護管理や医療安全の基本的知識を習得する。看護管理では、組織における看護提供体制や人的資源管理、看護の質保証について学ぶ。また、看護活動の場が施設から在宅へ移行していることを踏まえ、看護を取り巻く諸制度の理解、チーム医療の中での看護職の役割や多職種連携・協働について学ぶ。 医療安全では、医療事故に伴う看護職の法的責任やインフォームド・コンセント、ヒューマンエラーのメカニズムと防止対策、病院組織における医療安全管理体制等について学ぶ。			
到達目標 1. 看護管理の定義と看護組織、看護提供体制について説明できる。 2. チーム医療における多職種連携と協働、看護職の役割について説明できる。 3. 看護管理に必要な看護情報の活用と看護の質評価について説明できる。 4. 施設環境の管理と組織における安全管理（感染管理、災害対策等）について理解できる。 5. 看護職の人的資源管理とキャリア開発について理解できる。 6. 看護を取り巻く諸制度や看護の経済的評価について理解できる。 7. 医療事故に伴う看護職の法的責任について説明できる。 8. 医療安全の基本的な考え方と国の医療安全施策について理解できる。 9. 医療事故発生のメカニズムと防止対策について説明できる。 10. 看護事故の特徴と安全対策について説明できる。 11. 病院組織における医療安全管理体制について理解できる。			
授業の形式 講義は配付資料やパワーポイントを用いて行う。また、病院組織の看護管理実践・医療安全活動では学内特別講師の協力を得てリアルな講義を目指す。可能な限りディスカッションやグループワークなどを取り入れて行う。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 参考書等で予習を行うことや臨地看護学実習等での体験、見聞きした情報から問題意識をもって授業に臨むことで理解が深まる。復習は到達目標にそって、配付資料や参考書で思考を整理すること。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） 出席状況及び授業への参加態度（40%）、試験もしくは課題レポート（60%）の配分で評価を行う。定期試験にて得点率が60%以上で合格とし、60%未満は再試験を1回実施する。 *課題レポートの場合はルーブリック評価			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 認定看護管理者の資格を有する看護管理者が、看護管理、医療安全の実践を通しての講義を行う。			
学生へのメッセージ 看護管理は看護管理者だけでなく、臨床の看護職も重要なケアマネジメントを担っています。また組織の一員として多職種と協働し、チーム医療を実践することで医療・看護の質向上に貢献しています。医療安全は看護の質の根本を成すものです。学びが卒業後の良質な看護実践につながることを期待しています。			
オフィスアワー 随時 事前にメールで確認してください			
授業用連絡先（E-mail） makiko38@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題 看護管理に関する研究			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(参) 系統看護学講座 看護管理	上泉和子他	医学書院	2,500円+税
(参) 系統看護学講座 医療安全	川村治子	医学書院	2,200円+税
(参) 学習課題とクイズで学ぶ看護マネジメント入門	原 玲子	日本看護協会出版会	3,000円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	看護管理と看護組織	看護管理の定義・対象・範囲を理解する。また、組織の構造や看護提供システムを学ぶ。	原口
2	チーム医療と看護職の役割	チーム医療における看護職の役割や多職種連携と協働について学ぶ。	原口
3	看護情報の活用と看護の質保証	看護管理に必要な看護情報の活用と医療・看護の質評価について学ぶ。	原口
4	施設環境と安全管理	施設環境の管理と組織の安全管理（感染管理、災害対策等）について学ぶ。	井戸川（看護部）
5	人的資源管理	人材フローの管理や看護職員の労働環境の整備、ワークライフバランスについて学ぶ。	黒崎（看護部）
6	看護を取り巻く諸制度	看護管理の視点から法制度を概観し、保健医療福祉政策の動向について学ぶ。	原口
7	キャリア開発と継続教育	キャリア開発システムと継続教育について学ぶ。	植山（看護部）
8	看護を取り巻く諸制度	看護の経済的評価（診療報酬、DPC/PDPS）について学ぶ。	原口
9	医療安全と看護職の責務	過去の医療事故事例や看護職の法的責任、インフォームドコンセント（IC）について学ぶ。	原口
10	医療安全の基本的な考え方と医療安全施策	医療安全の基本的な考え方と国の医療安全施策を理解する。また、医療事故の報告制度と医療事故発生時の初期対応について学ぶ。	原口
11	医療事故発生のメカニズムと防止対策	医療事故発生のメカニズムとヒューマンエラーについて理解する。また、医療事故分析手法と防止対策について学ぶ。	原口
12	看護業務と安全対策	看護業務と事故発生要因を理解する。また、看護事故と安全対策（与薬、転倒・転落事故防止）について学ぶ。	原口
13	看護業務と安全対策	看護業務と事故発生要因を理解する。また、看護事故と安全対策（与薬、転倒・転落事故防止）について学ぶ。	原口
14	病院組織における安全管理体制とその取り組み	病院組織における医療安全管理体制を理解する。また、医療事故防止活動、安全文化の醸成のための取り組みについて学ぶ。	中村（看護部）
15	病院組織における安全管理体制とその取り組み	病院組織における医療安全管理体制を理解する。また、医療事故防止活動、安全文化の醸成のための取り組みについて学ぶ。	中村（看護部）

選 択 科 目

【一般基礎科目】

74. 生命科学（入門）（選択）〔代謝、DNA、細胞、生殖、発生〕

担当 教員	◎津村 直美（生命科学）、 日下部博一（生物学）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第1学年	前期	1単位	15コマ
履修目的・授業概要		DP③	
地球上には多種多様な生物が生息しており、それぞれ特徴的な生命活動を営んでいる。しかし、細胞でできていること、エネルギーを利用すること、遺伝子をもつこと、子孫を残すことなど、基本的な生命のしくみはすべての生物種に共通である。本科目では、初めに、生命を構成する物質の種類と役割について学び、続いて、生命の最小単位である細胞の構造と働き、DNAの構造と働き、細胞分裂のしくみ、ヒトの生殖について学び、最後に、生命を育む生態系の役割について学ぶ。			
到達目標			
1) 糖、タンパク質、脂質の種類と役割について説明できる。 2) ビタミンとミネラルの種類と役割について説明できる。 3) 細胞の構造と細胞小器官の働きについて説明できる。 4) DNAの構造と働きについて説明できる。 5) 細胞内外の情報伝達のしくみについて説明できる。 6) 体細胞分裂と減数分裂のしくみについて説明できる。 7) 無性生殖と有性生殖の過程について説明できる。 8) ヒトの配偶子形成、受精、発生について説明できる。 9) 生態系の物質生産とエネルギー循環について説明できる。			
授業の形式			
基本的に対面授業となる。授業の前日までに、各コマ数に対応した講義資料（パワーポイントスライドのPDFファイルなど）をmanabaコンテンツ内にアップする。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量			
時間割で講義日時を確認し、manabaコンテンツ内の対応する資料に目を通してください。インターネットだけでなく高校生物の教科書・参考書等も活用してください。質問はmanabaを利用するか、もしくはメールで問い合わせてください。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数）			
毎回、授業終了後にmanaba上で小テストを行う。このテストは授業に参加し当該回の範囲を学修したことを確認するためのものである。成績評価は小テスト（30%）と前期試験週に実施予定の最終試験（70%、点数配分はコマ数で案分予定）で判定する。合計60点以上で単位が認定される。ただし、最終試験が実施できない場合は改めて成績の評価基準を提示する。いずれの場合も全講義数の3分の2（10コマ）以上の出席が必要である。再試験は行わない。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用			
薬剤師免許、民間研究所での実務経験、他大学での薬理学講義経験（非常勤）、学内での基礎生化学講義など。以上を踏まえ、ヒトの健康について学修するために必要となる基礎事項を講義する。			
学生へのメッセージ			
生命科学は生命すべてに関わる学問です。本講義を通して、生命の不思議さ、すばらしさを知ってください。			
オフィスアワー			
事前にメールで確認いただけると確実です。			
授業用連絡先（E-mail）			
津村：nshi@asahikawa-med.ac.jp 日下部：hkusa55@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(参) 大学で学ぶ 身近な生物学	吉村成弘	羊土社	2,800円
(参) 楽しくわかる生物・化学・物理	岡田隆夫	羊土社	2,600円
(参) サイエンスビュー 生物総合資料 四訂版		実教出版	850円
(参) 看護系で役立つ生物の基本 第2版	西沢いづみ	化学同人	1,600円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	生命と物質 (1)	生体の階層性を踏まえて、糖・タンパク質・脂質の種類、サイズ、性質を学ぶ。一般的な飲食物と医薬品との違いを理解する。	津村
2	生命と物質 (2)	糖からエネルギーを得るしくみを学ぶ。独立栄養生物と従属栄養生物との相違を学ぶ。	〃
3	生命と物質 (3)	タンパク質の代謝と細胞内外でのさまざまな役割を学ぶ。	〃
4	生命と物質 (4)	脂質の輸送・分布と代謝を学ぶ。ビタミンとミネラルの種類・役割が生物種により異なることを学ぶ。	〃
5	生命の最小単位：細胞 (1)	細胞の基本構造と細胞小器官などの働きを学ぶ。	〃
6	生命の最小単位：細胞 (2)	DNAの構造と働き、細胞周期との関わりを学ぶ。	〃
7	生命の最小単位：細胞 (3)	DNAからタンパク質が作られる過程を学ぶ。	〃
8	生命の最小単位：細胞 (4)	細胞内外のコミュニケーション（細胞内・細胞間の情報伝達）を学ぶ。	〃
9	生命の連続性と多様性 (1)	体細胞分裂の過程を学び、それらの意義について理解する。	日下部
10	生命の連続性と多様性 (2)	減数分裂の過程を学び、それらの意義について理解する。	〃
11	生命の連続性と多様性 (3)	動物の性決定に関わる遺伝子、ホルモン、環境要因について学ぶ。	〃
12	生命の連続性と多様性 (4)	ヒトの精子形成と卵子形成について学ぶ。	〃
13	生命の連続性と多様性 (5)	ヒトの発生（受精、着床）について学ぶ。	〃
14	生命の連続性と多様性 (6)	ヒトの発生（器官形成）について学ぶ。	〃
15	生命の連続性と多様性 (7)	生態系における物質生産とエネルギー循環について学ぶ。	津村

75. 看護化学（選択）〔原子、分子、酸・塩基、酸化・還元、エネルギー、反応速度論、生体分子〕

担当教員	◎眞山 博幸、室崎 喬之（化学）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第1学年	前期	1単位	15コマ
履修目的・授業概要 DP③④ 本科目は高校化学の復習、ならびに1年次で開講される生命科学分野緒科目への準備・接続科目として位置づけられる。 将来、疾病と治療法の理解に到達するためには、生命・生体の基本原理を理解する必要がある。また、医療現場にある物質についての基本知識も重要である。生体を構成する分子や分子集合体の分子構造と高次構造、それらの変化を理解する法則を学ぶ。自己組織化、恒常性など生命に特徴的な性質や物質の性質を理解する化学的な考え方を学ぶ。			
到達目標 ・化学の理解に必要な基礎知識を説明し、濃度計算などの基本技能を実施できる。 ・原子や分子の基本的な構造と化学反応性を説明できる。 ・酸と塩基、酸化と還元を説明できる。 ・物質の状態を定量的に表す基本法則を説明できる。 ・平衡状態の基本的性質を説明できる。 ・化学変化の速度（反応速度論）の基本原則を説明できる。 ・生体分子や分子集合体の構造と性質、医学との関係を説明できる。			
授業の形式 講義（スライド提示、板書、プリント）。講義資料のファイルはmanabaに掲載するとともに、講義では印刷した資料を配布する。講義中に問題練習を行うことがある。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 講義資料は講義の前日夜までにmanabaに掲載する。講義後は理解の定着（復習）のためにmanabaに掲載するレポート課題を解いて指定された期日までに必ず提出すること。提出期限後に解答例を掲載するので、分からなかった問題を解いて確認し、理解の定着につなげる。また、掲載された練習問題も活用して勉強すること。講義内容や問題で分からなかった部分について積極的な質問を歓迎する。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） すべての講義に出席することを原則としている。定期試験（筆記試験）を2回行い、試験成績（60%）と、出席状況と受講態度（40%）を含めた総合で60%以上の得点を合格とする。欠席する場合は欠席届を必ず提出すること。出席はコマごとの提出物（出席票と小テストの両方）が提出されて認定される。なお、試験時点のコマ数で3分の1以上の欠席したものは筆記試験の受験資格を失う。追再試は実施するが、時期と回数は状況に基づいて判断する。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当しない			
有する実務経験と授業への活用			
学生へのメッセージ 看護化学の中では右表の履修内容の他に、単位の意味、有効数字、単位換算、濃度計算、浸透モル濃度といった基本的な知識を学び、実際に計算してゆきます。誤った濃度の薬剤の投与が医療事故の原因の1つであるからです。概念の理解に基づいた計算を習得していただきたいと考えています。			
オフィスアワー 月～金 16:30-18:00 随時訪問可（複数名での訪問可。講義実習棟3階L323室、L325室）。ただし、大学用務等で対応できない場合がある。			
授業用連絡先（E-mail） mayama@asahikawa-med.ac.jp, murosaki@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題 生物模倣工学（バイオミメティクス）			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 系統看護学講座 基礎分野 化学(第7版)	奈良 雅之	医学書院	2,400円+税
(参) コ・メディカル 医療・看護系のための基礎化学	斉藤勝裕・荒井貞夫・久保勘二	裳華房	2,400円+税
(参) 新しい高校化学の教科書	左巻 健男	講談社	1,300円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	身の回りの化学	混合物、純物質、水の性質、モル、分子の重さ、電解質、非電解質、生理食塩水について理解する。	眞山
2	化学の単位と元素の周期表	元素の周期表、イオンになりやすい元素、一般的な単位（SI単位）、医療で用いられる特別な単位について理解する。	〃
3	物質の三態と気体の性質	固体、液体、気体、状態変化、融点、沸点、気体の圧力について理解する。	〃
4	液体・溶液の性質	気体の状態方程式、気体の体積、圧力、温度、溶液の浸透圧について理解する。	〃
5	溶液の濃度と浸透圧	溶液の濃度と注射液の浸透圧について理解する。	〃
6	化学平衡（1）	化学平衡と平衡定数、ルシャトリエの原理、酸塩基平衡の基本を理解する。	〃
7	化学平衡（2）	酸塩基平衡の発展として、電離と電解質、酸と塩基の定義、酸塩基の価数と強弱、水素イオン濃度とpHを理解する。	〃
8	化学平衡（3）	中和反応と塩の生成、電離平衡と電離定数、緩衝液、中和滴定と滴定曲線を理解する。	〃
9	生体分子の化学（1）	生体分子を理解するための有機・無機・物理化学の基礎を理解する。	室崎
10	生体分子の化学（2）	アミノ酸の分子構造と化学的性質、タンパク質の分子構造と化学的性質の基礎を理解する。	〃
11	化学反応（1）	化学反応の基本法則と種類について理解する。	〃
12	化学反応（2）	酸化と還元の基本原則について理解する。	〃
13	化学反応（3）	反応速度の表し方と反応機構について理解する。	〃
14	化学反応（4）	酸化還元平衡、平衡定数と溶解平衡について理解する。	〃
15	分子集合体と生体高分子	糖質、核酸のような高分子化合物や脂質のような分子集合体、含水軟組織（ハイドロゲル）について理解する。	〃

選 択 科 目

【専門基礎科目】

76. 看護遺伝学（選択）〔ゲノム、遺伝性疾患、遺伝カウンセリング〕

担当教員	◎日野 敏昭、蒔田 芳男		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第2学年	後期	1単位	15コマ
履修目的・授業概要		DP③④	
<p>遺伝医学の急速な発展とともに、医療や患者に関わる遺伝情報も医療現場で増大している。医療従事者は、それらの遺伝情報を正しく理解しながら日常の業務に従事することが求められている。本科目では、人類遺伝学や臨床遺伝学の基礎知識の習得から看護介入を進めるまでの全体像を理解することを目標とする。本科目は、助産学に必要な内容を網羅する内容となっている。</p>			
到達目標			
<p>①ゲノムの基本である遺伝子の本体と機能を説明できる。 ②常染色体遺伝様式とX連鎖遺伝様式を説明できる。 ③非メンデル遺伝の遺伝性疾患について説明できる。 ④エピゲノムと遺伝性疾患の関係について説明できる。 ⑤遺伝子診断に関わる生命倫理および法的・社会的課題を概説できる。 ⑥遺伝カウンセリングの具体例をもとに、クライアントに提案するシナリオを作成し、ロールプレイを行うことができる。</p>			
授業の形式			
<p>第1～9回（日野担当分）は、対面による講義形式で授業を行う。第10～15回（蒔田担当分）は、遺伝性疾患の事例をもとにロールプレイによる擬似遺伝カウンセリングを行う。</p>			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量			
<p>教科書「遺伝看護学」やmanabaで配付された資料にあらかじめ目を通し、その日の授業内容を知っておくこと。質問があれば、授業やmanabaの個別指導を利用すること。研究室を訪問する場合は、事前にメールで教員の都合を確認すること。</p>			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数）			
<p>筆記試験（2月）の成績とロールプレイに取り組む姿勢で評価する。具体的には、日野担当分から60点（筆記試験）、蒔田担当分から40点（筆記試験が30点、ロールプレイの取り組む姿勢が10点）を合計した100点のうち、60点以上の者を単位認定する。成績の評定は、「旭川医科大学医学部アセスメント・ポリシー」（履修要項）を参照のこと。定期試験を受けるには講義時間の3分の2以上の出席を必要とする。追試験は、疾病やその他事由により、あらかじめ定期試験欠席届が然るべき方法で提出され受理された者に行う。再試験は行わない。</p>			
実務経験のある教員等による授業科目			
該当する			
有する実務経験と授業への活用			
<p>医師免許を有し臨床遺伝専門医資格をもつ教員が大学病院の遺伝カウンセリング室での勤務経験を踏まえ、講義と演習を担当する。</p>			
学生へのメッセージ			
<p>本講義を通して遺伝学の理解を深め、また疑似遺伝カウンセリングを体験することで、将来直面しうる、遺伝的課題を抱えた患者（児）やその家族への看護介入の場に役立ててください。</p>			
オフィスアワー			
事前にメールで連絡すること。			
授業用連絡先（E-mail）			
日野:hino@～, 蒔田:makita5p@～（@の後は asahikawa-med.ac.jp）			
担当教員の研究と履修主題			
染色体異常：マウス生殖細胞・受精卵の細胞遺伝学的研究、臨床遺伝学：遺伝カウンセリング入門 講義・演習			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 遺伝看護学	西垣・渡邊編	羊土社	2,400円+税
(参) 遺伝/ゲノム看護	有森・溝口編	医歯薬出版	3,200円+税
(参) 助産学講座2：母子の基礎化学代6版	我部山・武谷編	医学書院	4,400円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ゲノムの基本	DNA・遺伝子・染色体の構造と役割およびそれらの関連性を学び、ヒトゲノムの全体像を理解する。	日野 (生物学)
2	細胞周期と細胞分裂	細胞周期および体細胞分裂や減数分裂の仕組みについて学び、遺伝の伝承性や多様性を理解する。	〃
3	遺伝情報の発現と制御	DNAの転写と翻訳の仕組みについて学び、遺伝情報の発現や制御の意義について理解する。	〃
4	単一遺伝子病(1):常染色体遺伝	ヒトの常染色体顕性遺伝病と潜性遺伝病の遺伝様式、発症の仕組みや発症に影響する因子について学ぶ。	〃
5	単一遺伝子病(2):X連鎖遺伝	ヒトのX連鎖潜性遺伝疾患の遺伝様式について学び、性による発症リスクの違いについて理解する。	〃
6	非メンデル遺伝の遺伝性疾患(1)	遺伝要因と環境要因との相互作用によって発症する多因子遺伝疾患について学ぶ。	〃
7	非メンデル遺伝の遺伝性疾患(2)	ミトコンドリア病の原因と遺伝形式およびインプリンティング疾患について学ぶ。	〃
8	がんと遺伝子変異	がんの特徴や、がんの生成機序に関わる原がん遺伝子、がん抑制遺伝子、DNA修復遺伝子について学ぶ。	〃
9	染色体異常	染色体の数的異常と構造的異常の種類や生成機序について学び、代表的な染色体異常症の特徴を理解する。	〃
10	遺伝カウンセリングの入門1	ビデオの供覧を通じて遺伝性疾患家族の抱える諸問題を理解し、演習を通じて家系図の記載方法を学ぶ。	蒔田 (遺伝子診療カウンセリング室)
11	遺伝カウンセリング入門2	遺伝医学の臨床応用において欠くことのできない遺伝カウンセリングの必要性について理解する。	〃
12	遺伝カウンセリングロールプレイ1	カウンセリング具体例をもとに、どのようにクライアントに提案するかをグループで話し合い、シナリオを作成する。	〃
13	遺伝カウンセリングロールプレイ1	カウンセリング具体例をもとに、どのようにクライアントに提案するかをグループで話し合い、シナリオに基づくロールプレイをする。	〃
14	遺伝カウンセリングロールプレイ2	カウンセリング具体例をもとに、どのようにクライアントに提案するかをグループで話し合い、シナリオを作成する。	〃
15	遺伝カウンセリングロールプレイ2	カウンセリング具体例をもとに、どのようにクライアントに提案するかをグループで話し合い、シナリオに基づくロールプレイをする。	〃

77. 保健医療福祉行政論（選択）〔保健医療福祉政策、計画策定〕

担当 教員	◎藤井 智子、 佐々木 健（非常勤）、 赤松 由美（非常勤）、 深津 恵美（非常勤）		
	対象学年	開講期	単位数
	第3学年	後期	1単位
履修目的・授業概要 DP③ 保健医療福祉行政とは国民の基本的な人権である健康で文化的な生活を営む権利を保障するために、行政権の主体である国・地方自治体が行う活動である。その基本原則や社会情勢に伴う変遷を学び、様々なライフサイクル、健康課題をもつ人々の支援に向けての施策、保健医療福祉計画の立案について理解を深める。			
到達目標 ・基本的な法体系や保健医療福祉行政の目的、制度、仕組み、財政について理解する。 ・保健医療福祉計画の作成、評価の方法、策定のプロセスについて理解する。 ・将来、専門職として保健医療福祉施策を担い、社会情勢に応じた新たな施策の構築に主体的に参画するための役割を探究する。			
授業の形式 ・講義およびディスカッション ・保健・福祉分野の第一線で活躍、研究されている方々を講師に迎え、オムニバス方式の講義です。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 講義前には教科書の該当部分をよく読み込んでください。配られた資料、プリントは講義終了後よく読んでください。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） ・試験（85%）及び出席状況（15%）で評価します。試験は各講師から出題し、合計します。 ・合計100点のうち60点以上を合格とする。 ※再試験はしません（追試験は公休で試験を受けられなかったとき1回実施）			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 行政の専門職（保健所、道庁）として活動している教員（非常勤）が実践を踏まえ、保健医療福祉政策、健康づくりを促す理論の基礎講義、広域的な保健師活動、計画づくりについて基礎的講義を行う。			
学生へのメッセージ 地域で暮らす住民の健康を守るには保健、医療、福祉が連携をとりながら、地域にあったしくみをつくっていくことが不可欠であり、多様な専門職が活躍していることを理解することが大切です。選択制で少人数であることが予想されますので積極的な発言、態度で参加することを期待しています。			
オフィスアワー 気軽に訪問してください。メールでご連絡いただくと確実です。			
授業用連絡先（E-mail） koitomo@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題 小規模自治体における地域ケア会議（藤井智子）			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 保健医療福祉行政論第5版	藤内修二他	医学書院	3,100円+税
(教) 厚生指針・国民衛生の動向	厚生統計協会	厚生統計協会	2,970円(税込)

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	保健医療福祉行政のめざすもの	・保健医療福祉行政の基本理念と目標	佐々木 (非常勤)
2	公衆衛生行政の機能	・地域保健法と地方自治 ・国、都道府県、市町村の行政の仕組みと役割	
3	保健医療福祉制度の変遷	・公衆衛生の基盤形成	
4		・ライフサイクルに応じた各対策、施策	佐々木 (非常勤)
5	保健医療福祉行政と政策	〃	
6		〃	
7		・ヘルス・ベリーフモデル ・プリシード・プロシードモデル ・健康の社会モデル 等	佐々木 (非常勤)
8	保健医療福祉行政と理論	〃	
9		〃	
10		・地域保健の体系 ー地域保健に関する公的機関 保健所・市町村における保健師活動と連携	赤松 (非常勤)
11	保健医療福祉行政と保健師活動	・健康課題に応じた各対策、施策	
12		〃	
13		・地方自治体の保健医療福祉計画	深津 (非常勤)
14	保健医療福祉計画と評価	・保健医療福祉計画の策定プロセス ・計画の推進と評価 ・住民と行政の協働	
15		・計画策定における保健師の役割と責任	

選 択 科 目

【専門科目】

78. 看護英語 (選択)

担当 教員	◎桑名 保智、 Gwendolyn Gallagher (非常勤)		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第2学年	通年	1単位	30コマ
履修目的・授業概要 DP⑤ The purpose of this class is to improve students' communication skills, and students aim to express their opinions in English by participating in the discussion about general issues on nursing and medicine. この授業の主な対象は、国際看護に関心があり、平易な英語を書く基礎的能力が身につけている学生とする。			
到達目標 Students will be able to conduct more in-depth patient assessments, provide detailed instructions for complex medical procedures or treatments, and confidently communicate a broader range of actions and rationales involved in patient care, with an emphasis on clinical reasoning and empathy.			
授業の形式 We will begin by exploring the nursing profession by sending questions to several veteran nurses in the United States, especially about their various experiences, nursing specialties, and work-life balance. We will study and discuss their answers. Later we will talk about students' ambitions as nurses. No textbook is required.			
準備学習 (予習・復習) 等の内容と分量 Students will prepare questions for American nurses and study the resulting answers for a quiz. We will also have an opportunity to talk about news, small or large, personal or public, at the beginning of each class. In order to participate, students should reflect on recent happenings in their life before each class and think about how to explain them in English. Students should expect to do about one hour of preparation.			
成績評価の方法と基準等 (合格基準、および追再試の回数) Students will be evaluated on class participation (70%), and on a final pair conversation(30%). GRADING CRITERIA: S: Top 5% of students with 90 or more points, A: 89-80, B: 79-70, C: 69-60, D (Fail): 59-0			
実務経験のある教員等による授業科目 該当しない			
有する実務経験と授業への活用			
学生へのメッセージ The schedule below is subject to change and adjustment.			
オフィスアワー Ask questions in class, after class, or email us.			
授業用連絡先 (E-mail) yasukuwa@asahikawa-med.ac.jp ggallagher.amu@gmail.com			
担当教員の研究と履修主題			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	Introduction	Getting to Know You: Class Mechanics	桑名 Gallagher (非常勤)
2	Introduction	Medical history forms	〃
3	Introduction	How to take a medical history	〃
4	US nurses	Introducing profiles of veteran US nurses	〃
5	US nurses	Introducing profiles of veteran US nurses	〃
6	US nurses	Introducing profiles of veteran US nurses	〃
7	Writing	Questions and answers from American nurses	〃
8	Writing	Nurses as innovators, past and present	〃
9	Writing	Nurses as innovators, past and present	〃
10	Discussion	Seasonal Activity	〃
11	Discussion	The child's hospitalization experience as seen through English picture books	〃
12	Discussion	The child's hospitalization experience as seen through English picture books	〃
13	Discussion	How non-fiction picture books portray the nursing profession	〃
14	Discussion	How non-fiction picture books portray the nursing profession	〃
15	Discussion	Nursing specialties and nursing Ambitions	〃

看護英語 第2学年・(通年)・30コマ(選択)

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	Discussion	Reading, understanding, and discussing answers from American nurses	桑名 Gallagher (非常勤)
17	Discussion	Reading, understanding, and discussing answers from American nurses	”
18	Discussion	Reading, understanding, and discussing answers from American nurses	”
19	Discussion	Nursing as a profession: advantages and disadvantages	”
20	Discussion	Nursing as a profession: advantages and disadvantages	”
21	Discussion	Nursing as a profession: advantages and disadvantages	”
22	Discussion	Our nursing ambitions	”
23	Discussion	Our nursing ambitions	”
24	Discussion	Our nursing ambitions	”
25	Review	Board game for nursing!	”
26	Review	Board game for nursing!	”
27	Review	Board game for nursing!	”
28	Conver- sation	Pair conversation about nursing	”
29	Conver- sation	Pair conversation about nursing	”
30	Conver- sation	Pair conversation about nursing	”

79. 公衆衛生看護学概論（選択）〔保健師の歴史、公衆衛生、看護〕

担当 教員	◎藤井 智子、塩川 幸子、 杉浦 圭輔（非常勤）、佐藤 結衣（非常勤）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第2学年	後期	2単位	30コマ
履修目的・授業概要 DP② 公衆衛生看護学は、地域社会の大きなヘルスケアシステムの中に位置づけられる固有の看護専門機能である。その定義は、それぞれの時代の健康問題を反映し実践活動の積み重ねの中で形成されてきた。どの時代にも共通する要素として公衆衛生看護学は、公衆衛生学および看護学という2領域が統合したひとつの専門領域となっている。 本科目の目的は、地域社会で生活をしている人々の健康レベルの向上と地域全体の健康レベルの向上を目指す活動について理解する。			
到達目標 ・地域で生活している人々が健康に関心を持ち、自ら健康問題と課題を（認識し）解決できる力を高める必要性を学ぶ。 ・既習の教育課程で学んだ知識・技術をさらに地域・対象特性に合わせて工夫し発展させることを学ぶ。 ・常に実態ニーズ把握、計画、実施、評価を行い“無”から“有”を生み出す創造力と実践力が求められることを学ぶ。			
授業の形式 講義、グループワーク、視聴覚機器の活用			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 看護とは、公衆衛生とは、福祉とは、について復習・予習を充分に行って臨むこと。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） 出席（15%）、レポート・試験（85%）から総合的に評価します。 合計100点のうち60点以上を合格とする。 追再試験は1回行う。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 保健師免許を有し、北海道の保健所、市町村で保健師活動を実践してきたことを踏まえ、公衆衛生看護学のものの見方、考え方の原則について基礎的な講義を行う。			
学生へのメッセージ 公衆衛生とは何か、福祉とは何か、地域の健康レベルの向上とは何か……など次々と疑問が湧き社会が求める公衆衛生看護について考えましょう。人々の健康・福祉や、人権に関する日常の出来事や歴史にも大いに興味を持ち物事の見方、考え方の視野を広めましょう。			
オフィスアワー 気軽に訪問してください。メールでご連絡いただくと確実です。			
授業用連絡先（E-mail） koitomo@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題 ルーラルナースング 小規模自治体 ・地域包括ケアシステムの構築と歴史の研究（藤井智子） ・地域精神保健活動の研究（塩川幸子）			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 公衆衛生看護学概論	村嶋幸代編集	メジカルフレンド	3,100円+税
(参) 公衆衛生看護学.jp	鳩野洋子他	インターメディカル	4,800円+税
(参) 新版保健師業務要覧	井伊久美子他	日本看護協会出版会	4,500円+税
(参) 沢内村奮戦記	太田祖電他	あけび書房	1,800円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	看護の本質	・既習の教育課程で得た自己の看護観を明確にすることにより、公衆衛生看護学は、看護が基盤になっていることを理解する。	藤井
2		”	”
3		”	”
4		”	”
5	公衆衛生看護活動の意義と目的	・公衆衛生の本質や健康管理活動を理解し、公衆衛生看護学は看護学と公衆衛生学から成る専門領域であることを学ぶ。	”
6		”	”
7		・保健師の活動事例をとおして公衆衛生看護活動の目的、目標、意義について理解する。	”
8	”	”	”
9	わが国の保健師活動の特徴	・保健師が誕生した背景について学ぶ。	”
10		”	”
11		・特に保健所・市町村の行政機関に勤務する保健師と憲法第25条、地方自治法との関連、社会的責任について学ぶ。	”
12	”	”	”
13	公衆衛生看護活動と看護理論	・履修内容の地域保健法・社会福祉法・介護保険法などの法律、ヘルスプロモーション、ナイチンゲール等の理論を通しサポートネットワークづくり、政策づくりなど公衆衛生看護活動の本質を学ぶ。	”
14		”	”
15	公衆衛生看護活動の芽生え・時代的背景推移とその要因	”	”

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員	
16	公衆衛生看護活動の芽生え・時代的背景推移とその要因	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆衛生や公衆衛生看護は、社会情勢が深く関連していることについて学ぶ。 ・先輩保健師の活動から、地域の人々の健康上のニーズを行政施策、制度化に反映するとはどういうことなのかについて学ぶ。 ・歴史的事実に照らして考察した公衆衛生看護活動をふまえ、現代にどのように影響しているのか、さらに将来を展望する意義について学ぶ。 	藤井	
17			”	
18			”	
19			”	
20			”	
21			”	
22			”	
23	保健師と公衆衛生看護活動	<ul style="list-style-type: none"> ・対象となる個人・家族の特性および保健行動と保健活動について学ぶ。 ・保健師の活動モデルについて学ぶ。 	”	
24			”	
25	公衆衛生看護活動の展開とその特性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を俯瞰的・緻密にみる視点について理解する。 ・情報収集は多面的に行い、情報の“意味あい”を明確にする意義について学ぶ。 	杉浦 (非常勤)	
26			<ul style="list-style-type: none"> ・個人・家族・集団・地域全体の相互関係を考慮した支援の継続性の意義について学ぶ。 ・ソーシャルキャピタルについて学ぶ。 	佐藤 (非常勤)
27			<ul style="list-style-type: none"> ・活動計画や評価において、量的・質的の両側面を重視することの意義を学ぶ。 	杉浦 (非常勤)
28	公衆衛生看護活動の将来と展望	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所保健師の役割と活動の実際について学ぶ。 	塩川	
29			<ul style="list-style-type: none"> ・専門職業人とは何か、その本質について理解し、保健師の現任教育、生涯学習の必要性について学ぶ。 	”
30			<ul style="list-style-type: none"> ・公衆衛生看護活動の展望について考える。 	”

80. 助産学概論（選択）〔助産観連の概念・定義・法律・理論、国内・外の母子保健統計〕

担 当 教 員	◎山内まゆみ、吉原 菜寿、原口眞紀子、 金井 麻子（学内特別講師）、 未定（学内特別講師）、 伊藤 幸子（非常勤）、 北田 恵美（非常勤）		
	対象学年	開講期	単位数
	第3学年	前 期	1 単位
履修目的・授業概要			
DP①②③ 助産学の基本として、さまざまな概念・定義、助産師の専門性、役割を法律や倫理から学び、助産師に求められる能力（知識・技術・態度）を理解する。また、助産師として、母子保健の向上に果す責務を考えることができる。			
到達目標			
1. 助産の定義を述べることができる。 2. 法に基づいた助産師の責務、業務と役割を説明できる。 3. 母子保健の動向と課題を外国と比較して説明できる。 4. 母子保健の施策、制度について述べるができる。 5. 母子保健に関わる法律の種類と内容を述べるができる。 6. 助産管理について学び、産科施設、対象者、助産管理の特徴を説明できる。 7. 助産師教育の基礎教育、現任教育、継続教育を理解し、助産学の発展に寄与する看護研究の必要性を説明できる。			
授業の形式			
講義（ほぼオムニバス形式）			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量			
既習済みの母性看護学、人間生涯発達論を復習しておくこと。履修内容に該当する教科書の範囲は予習してから出席すること。母子保健やプロダクションに関連する新聞記事やカレント情報などを積極的に収集し、そのことについて、既習の専門的知識を用いて自己学習を主体的に行うこと。研国助産師課程選択を希望する学生は復習が必須。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数）			
オムニバス形式の講義にて全日出席を原則とする。欠席者は減点する場合がある。助産師課程希望者には必須科目となる。 成績評価は、小テストやレポートなどの課題が適切に提出されている場合、筆記試験で成績評価する。小テスト、課題提出が適切にされない場合、5点ずつ減点する。60点以上を合格とする。追試験は1度行う。			
実務経験のある教員等による授業科目			
該当する			
有する実務経験と授業への活用			
助産師免許（一部アドバンス助産師の資格を有する）、NCPR（Aコース）修了認定を有し、病院での実務経験（5年以上）がある教員・非常勤講師、本学産婦人科学講座に所属する医師が担当。			
学生へのメッセージ			
助産師課程希望者には必須科目であり、看護学の選択科目としても受講可能。参考書は適時紹介する。			
オフィスアワー			
平日、予定が合えば適時可能			
授業用連絡先（E-mail）			
asayama@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題			
母性看護学演習の教育評価に関連する研究			

〈教科書・参考図書〉

書 名	著者名	発行所	価 格
(教) 助産学講座1 助産学概論 第6版 2022年改訂	我部山キヨ子他編	医 学 書 院	4,180円(税込)
(教) 助産学講座5 助産 診断・技術学Ⅰ第6版	我部山キヨ子他編	医 学 書 院	4,180円(税込)
(教) 助産学講座9～10 助産管理 第6版 2023年改訂	我部山キヨ子他編	医 学 書 院	3,850円(税込)、 3,520円(税込)

コマ数	履修主題	履 修 内 容	担当教員
1	ガイダンス／助産師の定義・責務・業務範囲①	・ガイダンス・助産の基本概念、について学習する。助産師に求められる役割と能力、業務範囲、助産に関する関係法規と助産師の責務について、学習する。	山内
2	助産師の定義・責務・業務範囲②	・助産の基本概念、について学習する。助産師に求められる役割と能力、業務範囲、助産に関する関係法規と助産師の責務について、学習する。	山内
3	母子保健の動向	母子保健統計から母子保健の課題と動向を学ぶ。	山内
4	母子保健に関する法律と施策	我が国の母子保健にかかわる法律と施策について学ぶ。	山内
5	外国の母子保健	外国の母子保健の現状と課題について学ぶ。	吉原
6	助産師と倫理1	助産師の倫理綱領について学習し、助産師の職業倫理について学ぶ	山内
7	助産師と倫理2	助産師としてかかわる倫理的問題について学ぶ	山内
8	助産師の活動の場と助産管理（総論）	助産師の活動の場の特徴と業務管理について学ぶ。	原口
9	助産管理－産科病棟	周産母子センターの産科病棟の助産管理とその実際、課題について学ぶ。	未定 (学内特別講師)
10	助産管理－助産所	助産所の特徴、助産管理とその実際、課題について学ぶ。	北田 (非常勤)
11	助産に関わる理論	助産ケアに活用される理論と技術（援助の基本、健康教育、女性中心のケア、家族中心のケア）について学ぶ。	山内
12	助産師教育	助産基礎教育、現任教育、継続教育について、助産学と看護研究の意義と必要性について学ぶ。	山内
13	お産の歴史と産習俗	日本における助産の歴史と参習俗について学ぶ。	伊藤 (非常勤)
14	助産師が扱う超音波診断の基礎1	助産師が扱う超音波診断の基礎（危機の基礎、胎児発育の味方）について学ぶ（講義）。	金井 (学内特別講師)
15	助産師が扱う超音波診断の基礎2	助産師が扱う超音波診断の基礎（危機の基礎、胎児発育の味方）について学ぶ（演習）。	金井 (学内特別講師)

81. 助産活動論Ⅰ（リプロダクティブヘルス/ライツと女性・家族への支援）（選択）〔リプロダクションと健康、健康問題を抱える女性と家族への支援〕

担当教員	◎山内まゆみ、巻島 愛、吉原 菜寿、長谷川博亮、蒔田 芳男（学内特別講師）、宇津野泰弘（学内特別講師）、伊藤 幸子（非常勤講師）、林 時仲（非常勤講師）、金森 聖美（非常勤講師）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第3学年	通年	1単位	15コマ
履修目的・授業概要 DP①②③ 女性の生涯をとおして、リプロダクティブヘルス/ライツを支援するために必要な女性特有の課題と支援を学ぶ。 ※大学のBCPレベルにより分散登校の可能性、方法変更の可能性がある。			
到達目標 1. リプロダクティブヘルス/ライツの概念を述べることができる。 2. 家族の発達、家族システムについて説明できる。 3. 愛着理論、母子・父子関係と相互作用について説明できる。 4. 不妊症と生殖補助医療について理解し、看護師の役割を説明できる。 5. 母乳育児の意義と支援について理解し、看護師の役割を説明できる。 6. 周産期におけるグリーフワークを理解し、看護師の役割を説明できる。 7. 児童虐待や家庭内暴力について理解し、看護職の役割を考える。 8. 遺伝と遺伝カウンセリングの必要性について学び、看護師の役割を説明できる。			
授業の形式 課題となるテーマを専門とする講師によるオムニバス形式の講義が中心となる。各履修主題を理解し、不明点・疑問点は積極的に質問や自己学習により解決して学習を重ねること。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 関連トピックスについて様々なメディアを通して予習し、自己の考えをもって参加すること。また復習として、学習した内容について看護職者としての役割を考察し、記述しておくなど自己学習を工夫すること。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） 原則全日程の出席を要する。試験は筆記試験で100点満点中60点以上を合格とする。原則再試験は行わない。各トピックスについて、レポートで評価する場合がある。レポート提出の場合は、適切なレポートの書き方となっていない場合は成績から減点する（レポートの体裁、文章の構成は正しいか、引用文献は活用しているか、引用方法は正しいか、引用が長すぎないか、引用した内容は自分の意見は区別できる記述となっているか、文献活用により自己の考え導いているか、などを評価）。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 助産師免許、一部NCPR（Aコース）修了認定を有し、病院での実務経験（5年以上）がある教員・非常勤講師、精神看護学の教員、本学産婦人科学講座や遺伝子診療カウンセリング室室長を務める医師、小児医療を専門とするに医師（非常勤）、双子支援を専門とする非常勤講師が担当。			
学生へのメッセージ 助産師課程希望者には必須科目であり、看護学の選択科目としても受講可能。参考書は適時紹介する。			
オフィスアワー 平日、予定が合えば適時可能			
授業用連絡先（E-mail） asayama@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題 助産実践能力が向上するシミュレーション教育プログラムの開発とその効果に関する研究			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 助産学講座2, 3, 4 第6版 2023年改訂	我部山キヨ子他編	医学書院	計13860円 (税込)
(教) 助産学講座5 助産診断・技術学Ⅰ第6版 2021年改訂	我部山キヨ子他編	医学書院	4180円 (税込)

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	女性のライフサイクルとリプロダクション	女性の発達の特徴と健康問題をリプロダクションの視点から学ぶ（不妊症、若年妊娠、高齢の妊婦・産婦・褥婦）。	山内
2	健康問題を抱える女性や家族への支援	さまざまな健康問題を抱える女性とその家族を支える支援を学ぶ。	山内
3	家族の発達 親子関係	家族システム論、家族の発達について学ぶ。	山内
4	母子・父子関係	アタッチメント、愛着・愛着障害、親子関係・父親の役割（女性の発達）、母子相互作用について学ぶ。	山内
5	思春期・青年期のケア	思春期・青年期のメンタルヘルスケア、思春期の栄養など思春期・青年期の課題と看護について学ぶ。	巻島
6	双胎育児支援	双胎児の育児の実際について理解し、育児支援について考察する。	金森
7	不妊症の現状と生殖補助医療	不妊症の現状と治療、生殖補助医療を学ぶ。	宇津野（学内特別講師）
8	不妊症の女性・家族に対する支援	不妊症の女性・家族への支援と看護職の役割を学ぶ。	伊藤（非常勤）
9	児童虐待防止に向けた周産期からの支援	児童虐待の現状について学び、周産期から有効な予防に向けた看護職（助産師）ができる支援と役割について考察する。	吉原
10	周産期関わる遺伝と奇形	周産期に関わる遺伝学的な問題を整理できる。新生児に観察される外表奇形を記載できる。	蒔田（学内特別講師）
11	出生前診断と遺伝カウンセリング	現在用いられている出生前診断の問題点を列挙できる。周産期における遺伝カウンセリングの現状を述べるができる	蒔田（学内特別講師）
12	カウンセリングの技術	遺伝カウンセリングや助産ケアに活用できる相談技術（カウンセリング、アサーション）について学び、具体的にイメージできる。	長谷川
13	母乳育児	母乳育児について学び、支援について考察する。	林（非常勤講師）
14	小児医療・キャリアー・オーバー・ケア児・医療的ケア児・育成医療等	小児医療の進歩とキャリアーオーバー児の現状、医療的ケア児育成に関する様々な課題と支援、助産師（看護職）との連携について学ぶ。	林（非常勤講師）
15	周産期におけるグリーフケア	死産、新生児死亡を体験した女性、終末期の子どもを育てる女性と家族への支援について学ぶ。	林（非常勤講師）

82. 助産活動論Ⅱ (助産学基礎知識) (選択) (生殖機能と形態、受精と着床、妊娠の成立・維持、分娩の三要素、正常な分娩機転と分娩経過、褥婦と胎児・新生児の健康)

担当教員	◎山内まゆみ、巻島 愛、吉原 茉寿、 出村 唯、長屋 健 (学内特別講師)、 吉本 朋加 (非常勤) 他未定 (非常勤講師)		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第3学年	通年	2単位	30コマ
履修目的・授業概要 DP①②③ 妊娠、分娩及び産褥期・新生児の正常な経過を判断するために基本となる解剖生理、基礎的知識を理解する。生殖に関わる解剖生理、妊娠の成立機序、胎児発育と妊娠経過、分娩機序と母児への影響、分娩経過、褥婦、新生児の身体・心理・社会的特徴を理解する。			
到達目標 ①妊娠の成立に必要な男女の生殖器の形態・機能を説明できる。 ②女性の性周期とホルモンについて説明できる。 ③妊娠の成立(受精と着床)と検査法を説明できる。 ④胎児の発育とその評価方法、胎児循環と胎盤機能、新生児の子宮外適応現象と生理的経過を説明できる。 ⑤妊娠経過と母体の身体的心理的变化～妊娠時期を判断する情報を説明できる。 ⑥分娩機転と正常分娩の経過、分娩が母児に及ぼす影響と心理的特徴を説明できる。 ⑦産褥期の経時的な身体的変化と心理的特徴を説明できる。			
授業の形式 開講前に科目ガイダンスを1コマ夏季休業前の時期に1コマ設ける予定。 一部講義、多くは担当学生が学習内容をプレゼンテーション60分以内のモジュール形式で報告し合い、質疑・応答も活用した学習方法。開講中はミニテストも予定(結果から学修状況を自己確認すること)。通年科目として、冬季休暇も活用し、専門知識を学修する。			
準備学習(予習・復習)等の内容と分量 求める学習内容は、春期以降に学習課題として提示予定なため、夏季休業終了時期に提出を求める。また、4年次の助産師課程を進行するための基礎知識となるため、復習も適時必要である。特に、既習した母性看護学を含む看護学の知識・技術の復習も必要な学習となるため、日頃より学びを深めておくこと。			
成績評価の方法と基準等(合格基準、および追再試の回数) ・原則全コマの出席を求める。欠席により減点する。 ・ミニテストも評価の対象とし、未提出は減点対象。 ・自己学習プレゼンテーション学習内容は参考点とする。 ・成績評価は、筆記試験2種行う(妊娠期、分娩期の各学習終了後)。各100点満点中60点以上を合格とする。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 助産師免許(一部アドバンス助産師の資格を有する)、NCPR(Aコース)修了認定を有し、病院での実務経験(5年以上)がある教員・非常勤講師、本学周産母子センター長(医師)が担当。			
学生へのメッセージ 助産師課程希望者には必須科目。看護学の選択科目に該当しない。参考書はプリンシプル産科婦人科学2第3版を奨める。他の参考書は適時紹介する。			
オフィスアワー 平日、予定が合えば適時可能			
授業用連絡先(E-mail) asayama@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題 助産実践能力が向上するシミュレーション教育プログラムの開発とその効果に関する研究			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
助産学講座(全10巻)	我部山キヨ子他編	医学書院	総額43,450円(税込)
(教)最新産科学 改訂23版 正常編・異常編	荒木勤	文光堂	総額14,300円(税込)
(教)産婦人科診療ガイドライン産科編2023	日本産婦人科学会他監	日本産婦人科学会	8,000円(税込)

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	妊娠期の基礎知識(課題学習)	学習目標：①以下の課題について事前学習を活用し、聴衆にわかるよう報告できる。②報告者は課題への質疑が適切にできる。 進め方：1)以下の課題について、事前学習を基に知識の整理を行う。2)報告会の準備を行う(報告予定内容について教員から助言を得、適宜修正する)。3)報告会で学習内容を報告する。4)不足・修正箇所を再度報告する。 1 妊娠の基礎知識に関する知識(詳細は後日 manaba で再提示予定) 1. 妊娠 1) 男女の生殖器の形態と機能 2) 女性の性周期とホルモン、卵巣機能 3) 妊師の成立機序(受精と着床) 妊娠の診断方法 4) 不妊症の原因 2. 胎児・胎盤系 1) 胎芽の発生・発育、器官形成 2) 胎児循環の構造と特徴 3) 器官形成、胎児の発育評価 4) 胎盤の形態機能、卵膜・臍帯の構造、羊水の源と役割、胎盤ホルモン 3. 妊娠経過 1) 妊娠経過に伴う生理的变化(全身的变化、子宮増大とその影響) 2) 妊婦の心理的变化 4. 母児の免疫と感染 1) 妊娠の維持機構と母体の免疫能 2) 胎児・新生児の免疫学的特性 3) 母子感染の機序 4) 具体的な母子感染症と対策 5. 他	山内巻島吉原出村吉本他(非常勤講師)
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

助産活動論Ⅱ（助産学基礎知識）第3学年・通年・30コマ（選択）

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	分娩の基礎知識（課題学習）	I 分娩の基礎知識に関する知識（詳細は後日 manaba で再提示予定） 1. 分娩の分娩の三要素（St） 2. 分娩機転（T） 第1～第4回旋と児頭の下降 胎児応形機能、軟産道開大機序 3. 分娩経過 1) 正常分娩経過と経時的变化 2) 分娩予知とビショップスコア 3) フリードマン曲線と分娩経過 4) 分娩経過に伴う産道・胎児・娩出力の変化と関係 5) 分娩経過を判断するための観察項目と内容 4. 分娩経過に伴う産婦の身体的変化と分娩が母体に及ぼす影響 5. 産婦の分娩児のストレスと心理的特徴 6. 分娩が胎児に及ぼす影響と健康状態の観察 7. 他	山内 巻島 吉原 出村 他
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26	正常新生児の定型発達、発育を理解する。		
27	母子関係と母乳育児を理解する		
28	産褥期の基礎知識	助産師の能力に必要な褥婦の身体的、心理的特徴とその経過の基礎知識を理解する	巻島
29			
30			

83. 公衆衛生看護活動論 I (個人・家族・集団) (選択)

担当教員	◎塩川 幸子、水口和香子、吉田 貴彦 (非常勤)、高松 葉子 (非常勤)、南雲 望美 (非常勤)、断酒会 (非常勤)		
	対象学年	開講期	単位数
	第3学年	前期	2単位
履修目的・授業概要 D P ③			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域で生活する人々のライフサイクル、健康課題の特性に応じた健康と生活を守るために必要な基本的な知識・技術を学ぶ。 ・公衆衛生看護活動の特徴と具体的な展開を理解し、地域の健康課題の解決に結びつけていく保健師の役割について探求することができる。 			
到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期から高齢期に至る発達段階の特性を踏まえて全てのライフサイクルにある人々の健康を保持・増進するために、地域で行われる保健福祉活動の展開方法を理解する。 ・行政、産業保健、学校保健における場の特性に応じた健康課題と看護の役割を理解する。 ・時代や社会の変化から多様化する健康課題の特性に応じた保健福祉活動について、その背景を理解し、保健師が果たす役割と具体的な展開方法を理解する。 			
授業の形式			
<ul style="list-style-type: none"> ・講義、グループワーク、課題学習を組み合わせる。 ・毎回、資料を配付する。 			
準備学習 (予習・復習) 等の内容と分量			
<ul style="list-style-type: none"> ・公衆衛生看護活動の目的、活動展開方法について教科書・参考書にて予習してくる。配付資料、教科書等に掲載されている事例を読み、様々なライフサイクル、健康課題を持つ人々への支援方法についてまとめる。 			
成績評価の方法と基準等 (合格基準、および追再試の回数)			
<ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は、出席状況 (15%)、課題レポート (20%)、試験 (65%) とし、総合的に評価します。 ・2 / 3 以上の出席かつ計100点のうち60点以上を合格とする。 ・追再試は1回とする。 			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用			
保健師免許を有し、保健師の実務経験がある教員が保健所での活動経験を踏まえ、公衆衛生看護に関する基礎知識と実践について講義する。			
学生へのメッセージ			
様々なライフサイクル、健康課題に対する公衆衛生看護活動の展開方法について、地域でよく出会う事例を通して具体的に理解を深めていきましょう。積極的な発言、主体的な学習を期待します。			
オフィスアワー			
月～金 事前にメール頂けると確実です			
授業用連絡先 (E-mail)			
shio32@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題			
保健師の看護過程、家庭訪問、精神保健、高齢者保健			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動	松田正己他	医学書院	3,740円
(教) 国民衛生の動向 (2024/2025)		厚生統計協会	2,695円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	公衆衛生看護活動とは	個人、家族、集団、組織、地域全体を対象とする公衆衛生看護活動とは何か	塩川
2		ライフサイクル、健康課題の特性に応じた公衆衛生看護活動の考え方と活動展開方法について学ぶ。	〃
3	健康課題別保健活動① 難病保健福祉活動	難病対策の現状と課題について学ぶ。	〃
4		難病患者・家族が抱える課題と保健師の支援について理解する。	〃
5		難病患者・家族を支える地域ケアシステムづくりにおける保健師の役割を学ぶ。	〃
6		感染症対策の基本となる法律と考え方、感染症の予防対策と発生時における保健師の役割を学ぶ。	〃
7		健康課題別保健活動② 感染症保健福祉活動	結核の基礎知識と法律、結核対策の実際と保健師の役割について理解する。
8	健康課題別保健活動③ 地域精神保健福祉活動	主な感染症 (エイズ、肝炎、インフルエンザ等) の予防と対策、保健福祉活動について学ぶ。	〃
9		精神障害者に関わる施策の歴史と支援活動について学ぶ。	〃
10		地域で生活する精神障害者の相談、家庭訪問、グループ支援、地域づくりについて学ぶ。	〃
11	断酒会の活動とアルコール依存症の回復について学ぶ。	断酒会の活動とアルコール依存症の回復について学ぶ。	断酒会 (非常勤)
12		自殺対策と心の健康づくり活動における保健師の役割について理解する。	塩川
13	産業保健① 労働衛生行政	労働衛生行政と産業保健の考え方について学ぶ。	吉田 (非常勤)
14		〃	〃
15	産業保健② 産業保健活動	産業保健活動の現状、地域保健と産業保健の連携について学ぶ。南雲 (非常勤)	南雲 (非常勤)

公衆衛生看護活動論 I (個人・家族・集団) 第 3 学年・前期・30コマ (選択)

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	学校保健①	学校保健の現状と課題、地域保健と学校保健の連携について学ぶ。	塩川
17	学校保健②	学校保健の実際と養護教諭の役割について学ぶ。	高松 (非常勤)
18		母子保健福祉活動の理念と変遷、子育て支援施策について学ぶ。	塩川
19		子育て支援における保健師の役割と活動(乳幼児健診、予防接種)について理解する。	〃
20	ライフサイクル別保健活動① 母子保健福祉活動	子育て支援における保健師の役割と活動(母子健康手帳の交付、新生児訪問)について理解する。	〃
21		地域の子育て支援体制づくりについて事例をもとに考える。	〃
22		障害児の支援活動や児童虐待予防活動における保健師の役割について学ぶ。	〃
23		成人保健の現状と課題、健康づくりの基盤となる施策・制度・事業について学ぶ。	水口
24	ライフサイクル別保健活動②	〃	〃
25	成人保健活動	生活習慣病予防活動と保健指導について学ぶ。	〃
26		〃	〃
27		高齢者保健福祉の現状と課題、介護予防活動の基盤となる施策・制度・事業について学ぶ。	水口
28	ライフサイクル別保健活動③ 高齢者保健福祉活動	介護予防に向けた保健師活動の展開について学ぶ。	〃
29		高齢者保健福祉活動における保健師の役割について学ぶ。	〃
30	まとめ	公衆衛生看護活動の特徴と保健師の役割について考える。	塩川

84. 公衆衛生看護活動論Ⅱ（地域アセスメント）（選択）〔地域診断〕

担当 教員	◎藤井 智子、 工藤 裕子（非常勤）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第3学年	後期	2単位	30コマ
履修目的・授業概要 DP③ 公衆衛生看護活動とは、地域の特性やそこで生活する人々の健康・生活のニーズをとらえ、どのような地域になることが望ましいのかその姿を描き、実現に向け人々が協働して活動することです。この活動の中で看護の立場で地区活動、すなわち地域を看護の対象として、受け持ち地区に責任を持ち、活動を展開していく一連の看護過程を学習します。地区活動の目的、対象の捉え方、活動方法の特徴を理解し、そのダイナミックな動きを学んでください。			
到達目標 ・地区活動の目的、対象の捉え方、活動方法の特徴を理解する。 ・地域の特性を把握し、地域の健康課題を明確するための地区診断の視点を理解する。 ・地域の健康課題を解決していくための地区活動計画作成における目標設定、事業計画の立案、評価方法を理解できる。			
授業の形式 講義、グループワーク、課題学習を組み合わせ進めます。毎回、プリントを配ります。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 履修主題にかかわる部分の教科書を事前に読んでくること。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） ・試験（85%）、出席状況（15%）で評価します。 ・合計100点のうち60点以上を合格とする。 ・追・再試験は1回行う			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 保健師免許を有し、北海道の保健所、市町村で保健師活動を実践してきたことを踏まえ、地域アセスメントを実施していくための基礎的な講義を行う。			
学生へのメッセージ 看護の対象を個人から地区へと広がります。地域に住むすべての人々の健康を守るという責任について考えてみましょう。自由に発言しながら皆さんの考える力を大切にしたいと思っています。主体的な学習を期待しています。			
オフィスアワー 気軽に訪問してください。メールでご連絡いただくと確実です。			
授業用連絡先（E-mail） koitomo@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題 小規模自治体における地域ケア会議 ・地域包括ケアシステム構築の研究（藤井智子）			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 公衆衛生看護支援技術論	岸恵美子編集	メジカルフレンド社	3,500円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1		・公衆衛生看護活動における地域とはなにか	藤井
2	地区活動の基本と対象の捉え方	・地区活動の目的～なぜ地区が看護の対象となるのか	〃
3		・地区活動を支えている理念 ヘルスプロモーション	〃
4		・地区を看護の対象とした活動を支えるモデル コミュニティ・アズ・パートナーモデルなど	〃
5		・地区の看護過程の概要 ・地区把握の方法	〃
6	地区の看護過程① 地区把握	・地区把握に必要な情報 ○地域特性・基本構造 ○地域の健康課題 ○地域の力	〃
7		〃	〃
8		〃	〃
9		・データ収集方法とデータの加工	〃
10	地区の看護過程② データ収集と分析	〃	〃
11		〃	〃
12		〃	〃
13	地区の看護過程③ 健康課題の明確化	・健康課題の種類 ・地区アセスメントから健康課題を抽出 ・健康課題の種類と優先順位	〃
14		〃	〃
15	地区の看護過程④ 地区活動計画	・地区活動計画の種類と位置づけ ・計画の構成要素	〃

公衆衛生看護活動論Ⅱ（地域アセスメント）第3学年・後期・30コマ（選択）

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	地区の看護過程④	<ul style="list-style-type: none"> ・計画づくりの方法とプロセス ・目標の構造と事業 	藤井
17	地区活動計画	〃	〃
18	地区の看護過程⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・評価とは ・評価の指標 ・評価計画 	〃
19	地区活動の評価	〃	〃
20		<ul style="list-style-type: none"> ・事例を使って地区活動を考える ・グループワーク 	〃
21	地区活動の実際①	〃	〃
22		〃	〃
23		市町村保健師の地区活動の実際	工藤 (非常勤)
24	地区活動の実際②	〃	〃
25		〃	〃
26	地区活動の実際③	<ul style="list-style-type: none"> ・事例を使って地区活動を考える ・グループワーク 	藤井
27		〃	〃
28		<ul style="list-style-type: none"> ・行政に所属する看護職の役割 ・全住民を対象とした活動とは ・保健師活動と自治体の政策との関連 	〃
29	行政組織に所属する看護職の特徴	〃	〃
30		〃	〃

85. 看護英語文献講読（選択）

担 当 教 員	◎濱田 珠美		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第3・4学年	前期	1単位	15コマ
履修目的・授業概要 DP①③ 英文で書かれた看護・保健・医療の文献や論文を教材として、グローバルな視点から健康問題を意識し、看護師や保健師として活躍する際に活用できる英文読解力や実践的英語力の基礎を養う。本科目は、DP①③の達成に重点を置いている。			
到達目標 1. 看護、保健、医療に関する英語表現の語彙を増やす。 2. 英文の構造に慣れ、短時間で内容を正確に読み取ることができる。 3. WHOからのレポートなど、英文の文献・資料の内容を理解し、グローバルな視点から、健康問題について説明できる。 4. 欧米の看護師が活用する実践的英語表現の基礎的内容を理解し、日本の看護師が臨床適用できる表現を考察できる。			
授業の形式 看護・保健・医療に関する英語文献の抄読とディスカッション、GWをします。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 教材を前もって読解し、分らない単語や熟語を辞書で調べておくなどの準備が必要です。3コマあたり1時間程度を想定しています。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） 出席・小テスト20% 提出課題：30% レポート：20%（ルーブリック評価による） 出席2／3以上かつ上記内容を100点満点で換算し、60点以上で単位を認定する。再試験については、試験日は設けず対象者に課題を提示する。 1. 授業時間のすべての出席を原則とし、単位履修には、3分の2以上の出席が必要です。manabaでの小テストの設問が出席の確認となります。必ず、回答をしてください。 2. 出席小テスト（20%）、成果物（80%）となります。第4回～13回で読解する資料について成果物を作成し、第14・15回で発表していただきます。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当しない			
有する実務経験と授業への活用			
学生へのメッセージ 看護英語文献講読の受講を通して、看護・保健・医療についてグローバルな視点を持ちたい。または、グローバルな活躍を視野に考えたいと考えている方に選択をお勧めします。まずは、皆さんの関心に引き寄せたグローバルな視点や知識、思考を養っていきましょう。 楽しんで世界の看護・医療・保健の情報に教員と共に一歩踏み出しましょう。			
オフィスアワー 随時。事前にメールで連絡をしてください。			
授業用連絡先（E-mail） thamada@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題 濱田①：進行非小細胞肺癌患者の症状クラスターとそのサポートプログラムの開発・評価 濱田②：エビデンスに基づいた禁煙支援のできるオンコロジーナーズの育成			

〈教科書・参考図書〉

書 名	著者名	発行所	価格
教材は適宜示します。			

コマ数	履修主題	履 修 内 容	担当教員
1～3 濱田②	グローバルな健康課題	ガイダンス 英文資料の抄読	濱田
4～6	文献・論文の抄読	英文資料の抄読	濱田
7～9	文献・論文の抄読	英文資料の抄読	濱田
10～12	文献・論文の抄読	英文資料の抄読	濱田
13～15	文献・論文の抄読	グローバルな視点、知識、思考について成果発表	濱田

86. 医療経済・看護経営論（選択）〔医療保険、国民医療費、費用対効果、医療機関の経済性、職場の活性化〕

担当教員	廣岡 憲造 (旭川市立大学)、 江口 尚文 (旭川市立大学)、 ◎升田由美子 (コーディネータ)		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第3・4学年	通年	1単位	15コマ
履修目的・授業概要 DP③			
<p>当講義の前半は、マクロの視点で医療の経済性を論じます。日本の国民医療費は人口高齢化とともに増加しています。なぜ、高齢者が増えると医療費が増加するのか。その理由は、決して高齢者の有病率が高いからという理由だけでなく、日本の医療制度そのものにも原因があります。日本の医療費から医療制度の課題を理解し、その解決策を考えます。</p> <p>後半では、ミクロの視点、いわゆる病院組織を対象に医療の経済性を論じます。医療機関も一般企業と同じく、経済性の追求が必要です。いまや経営が破綻する病院が散見されます。医療機関も利益概念なしの運営はできません。ただ病院の場合、一般企業とは異なり競争に一定の制約が課されています。それを踏まえた上で、経済性を実現できる病院経営を模索します。</p>			
到達目標			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代の医療保険制度について説明することができる。 2. 経済の視点から保健医療福祉制度と看護を考えることができる。 3. 医療機関における経済性の大切さを知る。 4. 職場の活性化が医療組織の経済性をもたらすことを知る。 5. 優れた職場の創造を理論的に考えられるようになる。 			
授業の形式 講義			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量			
新聞等の各種メディアを通して社会、経済、経営に興味を持ち、そこから医療・看護に関わる問題意識を持つ（予習）。その問題について、講義で得た知識を用い解決できないか考える（復習）。疑問点があれば、講義担当教員に質す。日々学習。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数）			
正規の最終試験80点、講義における平常点20点、計100点満点。最終試験は上記到達目標の達成度を採るものとし、その程度を点数化する。平常点は毎回の講義態度を、たとえば小テストあるいは出席で採り、それを点数化する。			
実務経験のある教員等による授業科目			
有する実務経験と授業への活用			
学生へのメッセージ			
本授業の前半部には看護師国家試験における必修問題の範囲が含まれます。授業のなかで逐次、過去問を出題して授業と国試の関連を意識づけたいと思います。後半部は、卒業して医療現場へ従事した際に役立つ実践的知識が獲得できます。			
オフィスアワー			
休憩時間あるいは講義終了後に質問してください。			
授業用連絡先（E-mail）			
y-yumiko@asahikawa-med.ac.jp（升田）			
担当教員の研究と履修主題			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(参) 市場原理に揺れるアメリカの医療	李 啓 充	医学書院	2,200円
(参) 医療の経済評価	池上直己・池田俊也・土屋有紀 監訳	医学書院	3,700円
(参) 経営管理	塩次喜代明ほか	有斐閣	1,900円
(参) ゼミナール経営学入門	加護野・伊丹	日本経済新聞社	3,000円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	社会保障制度としての医療	日本の社会保障制度を学び、社会保障の一分野に医療が位置づけられる意義を理解する。	廣岡 (非常勤)
2	日本の医療保障制度	日本の医療保険制度を理解する。	廣岡 (非常勤)
3		各国の診療報酬支払い方法を比較し、日本の特徴と課題を理解する。	廣岡 (非常勤)
4	国民医療費の動向	国民医療費の内訳を学び、経年比較による変化の特徴を理解する。	廣岡 (非常勤)
5		人口高齢化、地域による医療の偏在など、医療費増加の理由を理解する。	廣岡 (非常勤)
6		医療法改正を例に、最適医療供給を実現する医療政策を理解する。	廣岡 (非常勤)
7	医療の最適配分による国民医療費の節約	現代的課題である「保健・医療・福祉の連携」「地域包括ケアシステム」の意義を理解する。	廣岡 (非常勤)
8	国民医療の経済評価の方法	「最適な医療供給」を検討する、ひとつの手段として費用対効果による分析例を学ぶ。	廣岡 (非常勤)
9	企業としての医療機関	企業は技術を用いて価値を生み出す。医療機関も同様に医療・看護技術で価値を生み出す企業であることを理解する。	江口 (非常勤)
10	医療における経営理論の必要性	ある費用で達成される効果の度合いが経済性である。病院は経済性と医療効果を追究する経営主体であることを理解する。	江口 (非常勤)
11	動因と誘因で決まる働く意欲	働く意欲は経済性を左右する。職場のモチベーション高揚が課題となる。意欲は動因と誘因に規定されることを理解する。	江口 (非常勤)
12	働く意欲が湧くプロセス	魅力的な誘因が意欲を高めるとは限らない。片や誘因なしでも意欲的になれる。モチベーションのプロセスを理解する。	江口 (非常勤)
13	人を動かすパワーとリーダーシップ	一人で大きな仕事はできない。目的へ向け人を凝集するのがリーダーである。リーダーシップの2つの側面を理解する。	江口 (非常勤)
14	リーダーシップの状況適合理論	あらゆる状況に適合する唯一最善のリーダーシップはあるのか。状況に応じたリーダーシップスタイルを理解する。	江口 (非常勤)
15	優れた病院組織の構築を目指して	優れた組織は、成員が自ら動き、かつまとまりがある。本来は難しい自律性と統一性の両立を実現する鍵を理解する。	江口 (非常勤)

87. 家族看護論（選択）

担当 教員	◎長谷川博亮、野中 雅人、石川 千恵、 学内特別講師		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第3・4学年	通年	1単位	15コマ
履修目的・授業概要		DP①③	
<p>現代の多様性ある社会における「家族」を探求し、少子高齢化、疾病構造の変化、在宅療養への転換などに伴う家族のあり様やニーズを理解する。</p> <p>家族構成員（個人）の健康は家族（全体）に影響し、家族の健康は家族構成員に影響する。家族を看護の対象と捉え、家族のエンパワメントの実現に向けた看護活動について理解する。</p>			
到達目標			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会における家族の構造・機能、過程（変化）について説明できる。 2. 家族構成員と家族、家族と社会の関係を説明できる。 3. 患者（生活者）の家族としての病気体験について説明できる。 4. 家族と看護師のパートナーシップについて説明できる。 5. 家族エンパワメントの実現に向けた看護活動について説明できる。 			
授業の形式			
講義資料は manaba を通じて配付する。配付資料を基に講義とグループワークを中心に授業を展開する。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量			
家族看護は各看護学領域を横断します。これまでに学んだ「家族への看護」を復習することは本科目の予習となります。既習内容、参考書、配付された講義資料をもとに、シラバスに記載されている内容について予習し授業に臨んでください。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数）			
<p>個人レポート課題：70%</p> <p>グループワーク課題：30%（ルーブリック評価による）</p> <p>出席2/3以上、かつ、上記内容を100点満点で換算し、60点以上で単位を認定します。60点に満たない場合は再試験を1回のみ実施します。</p> <p>追試験は正当な理由が認められた場合のみ1回実施します。</p>			
実務経験のある教員等による授業科目			
該当する			
有する実務経験と授業への活用			
看護師免許を有し、病院看護師の実務経験が10年以上の教員が、大学病院等での勤務経験を踏まえ、家族看護に関する基礎的な講義を行う。			
学生へのメッセージ			
自ら学ぶという主体的で積極的な姿勢で学習して欲しいと思います。授業に関する質問や意見は大歓迎です。一緒に学んで行きましょう。			
オフィスアワー			
事前にメールで確認してください。			
授業用連絡先（E-mail）			
hiroh@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題			
家族看護の実践：終末期にある子どもと家族の訪問看護			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
家族看護学 理論と実践	鈴木和子	日本看護協会出版会	3,200+税
家族看護学	中野綾美	メディカ出版	2,200+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス	授業ガイダンス	長谷川
2		家族の多様性を理解する (グループワーク)	長谷川
3			長谷川
4			長谷川
5		家族の多様性を理解する (グループワーク 成果発表)	長谷川
6			長谷川
7			長谷川
8		家族を理解するための諸理論・看護過程について学ぶ	長谷川
9			野中
10			野中
11	家族看護の 実践	脳卒中と共に生きる人の家族の看護	学内特別 講師
12		終末期にある人の家族の看護	学内特別 講師
13		医療的ケアが必要な子どもの家族の看護	未定
14		精神疾患と共に生きる家族の看護	石川
15	まとめ	家族の看護についての自分の考えを説明できる	長谷川

88. 認知症ケア論（選択）〔認知症・高齢者・施設ケア〕

担当 教員	◎野中 雅人、牧野 志津、菅原 峰子、 未定（非常勤講師）、未定（学内特別講師）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第3・4学年	通年	1単位	15コマ
履修目的・授業概要 DP③			
<p>[目的]</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知症ケアの実際を学ぶ <p>[概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知症のある人やその家族のニーズを理解するため、文献・映画・新聞記事などを用いて学習する 認知症を持つ患者の家族のニーズを理解する 病院、及び施設の職員、訪問看護師などの地域の専門職から、認知症看護、介護の実際を聞いて実践的な理解を深める。 学習したことを発表し全員で討論する。 <p>これらを通して認知症ケアについて理解を深め、看護観を育む。</p>			
到達目標			
<ol style="list-style-type: none"> 1) 認知症について理解を深めることができる 2) 認知症高齢者の看護の実践能力を高めることができる 3) 介護家族のニーズを理解し、必要な援助を考える事ができる 4) 病院、及び施設や在宅で生活する認知症高齢者への援助が理解できる 			
授業の形式			
対面形式、グループワーク、及び manaba による講義			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量			
シラパスの内容について、教科書・参考書などで予習してください。講義終了後は講義内容に該当する高齢者看護学の教科書だけではなく、他の科目の教科書や資料・参考書を読み、資料と合わせて主題について整理・統合してください。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数）			
学習成果のプレゼンテーション40%・レポート60%（ルーブリック評価）			
出席2/3以上、かつ上記内容を100点満点で換算し、60点以上で単位を認定する。			
レポートを提出しない場合は、単位を認定しないことがありますので注意してください。			
実務経験のある教員等による授業科目			
該当する			
有する実務経験と授業への活用			
看護師免許を有し、病院看護師の実務経験がある教員、及び認知症看護の経験豊富なグループホーム職員、訪問看護師が、看護・介護の経験を踏まえ、本科目に関する基礎的な講義を行う。			
学生へのメッセージ			
自ら考え、意欲的に取り組んでください。			
オフィスアワー			
月～金 事前にメール連絡してください			
授業用連絡先（E-mail）			
masato-n@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題			
野中：地域在住高齢者の呼吸筋訓練に関する研究 菅原：高齢者せん妄に対する看護に関する研究 牧野：急性期病院と在宅療養における看護職の連携に関する研究			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(参) 認知症世界の歩き方	樋口直美	ライツ社	2,090円
(参) 認知症の人びとの看護	中島紀恵子	医歯薬出版	3,520円
(参) ボクはやっと認知症のことがわかった	長谷川和夫	KADOKAWA	1,430円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	認知症ケア論の概要	・本科目の学習内容、及び方法について理解する・認知症の基礎知識を再確認する	野中
2	認知症のある人の理解	・認知症がある人のニーズを理解する・視覚教材を用い認知症がある人に対するケアの視点を学ぶ	野中
3	認知症のある人の理解	グループワーク（グループで学習テーマを決める。認知症がある人の家族に対する質問内容を検討する）	野中
4	認知症のある人の家族への援助	認知症がある人の家族のニーズを理解する（1） ・家族から講義を聞き介護の実際を理解する	非常勤講師
5	認知症ケアの実際	認知症がある人に対する急性期病院での援助－事例検討会（1） ・事例提供者：大学病院看護職－病院に入院する認知症の高齢者への支援－	学内特別講師
6			
7	認知症ケアの実際	認知症がある人に対する施設での援助－事例検討会（2） ・事例提供者：施設職員－施設に入所する認知症の高齢者への支援－	非常勤講師
8			
9	認知症のある人の家族への援助	認知症がある人の家族のニーズを理解する（2）	菅原
10	認知症ケアの実際	認知症がある人に対する在宅での援助－事例検討会（3） ・事例提供者：訪問看護ステーション職員－自宅で生活する認知症の高齢者への支援－	非常勤講師
11			
12	認知症のある人の理解	グループワーク ・発表スライドの作成	野中
13	成果発表会	グループごとに学習内容を発表し、成果を共有する	野中 菅原 牧野
14			
15			

89. クリティカルケア論（選択）〔クリティカルケア、集中治療、救急看護〕

担当 教員	◎山口 希美、小田嶋裕輝、苫米地真弓、 酒井 周平（学内特別講師）、 練合 若菜（学内特別講師）、 佐藤 希（学内特別講師）、他			
	対象学年	開講期	単位数	コマ数
	第3・4学年	通年	1単位	15コマ
履修目的・授業概要				D P ③
クリティカルケアは、急激な侵襲を受けている患者に生じている様々な生体反応に対して、その緩和や患者自身の持つ生体機能を最大限に高めるための看護といえます。クリティカルケアの対象は、患者のみならず、その家族も含まれます。こうしたクリティカルケアは、高度化する医療技術のもとに重症患者を集中的に看護するために必要な知識や技術に基づき提供されています。このクリティカルケア論では、こうした背景を含め、クリティカルケアの基本を理解するための知識と学内特別講師によるクリティカルケアの実際を学びます。またグループワーク等により、クリティカルな状態にある患者の特徴や倫理的問題についての理解を深めます。				
到達目標				
【一般目標】 クリティカルケアの基本を理解し、クリティカルケアがどのようなものか、必要とされる知識と態度、クリティカルケアの実際を説明できる。				
【行動目標】				
1. クリティカルケアが必要な患者および家族の状態、アセスメント、看護援助について説明できる。				
2. クリティカルケアの実際（カテーテル室での看護、ICUでの集中治療と看護、救急センターでの看護、フライトナースの活動、急性・重症看護専門看護師の活動）について説明できる。				
3. クリティカルケアに必要な患者家族に対する倫理的問題とその援助について説明できる。				
授業の形式				
講義・グループワーク				
準備学習（予習・復習）等の内容と分量				
シラバスに記載されているキーワード及び各講義時に示された履修主題について教科書・参考書にて予習しておくこと。講義終了後は、配付されたプリント等を整理し当該主題についてまとめを行うこと。グループワークでは、講義主題をまとめたノート・教科書・参考書を持参して挑むこと				
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数）				
筆記試験（80%）、グループワーク（レポート）の成果（20%）で評価する。				
定期試験の受験資格は、講義時間数の3分の2以上の出席とする。				
成績評価は90点以上を秀、80点以上を優、70点以上を良、60点以上を可、59点以下を不可とする。				
追再試験は、1回とする。				
実務経験のある教員等による授業科目				
該当する				
有する実務経験と授業への活用				
看護師免許を有し病院での勤務経験がある教員や、専門的資格（CNS、CN等）をもった学内特別講師が担当する。				
学生へのメッセージ				
クリティカルケアの知識は、将来病院医療に携わる時に欠かせないものとなります。この講義を通してクリティカルな状態にある患者家族に提供する看護を一緒に考えていきましょう。				
オフィスアワー				
随時。事前にメールでご連絡ください。				
授業用連絡先（E-mail）				
nozomi-y@asahikawa-med.ac.jp（科目責任者：山口希美）				
担当教員の研究と履修主題				
学士課程における成人看護学教育の質保証に関わる研究				

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護(改訂第4版)	林 直子他編	南江堂	3,200円+税
(教) 急性期看護Ⅱ クリティカルケア(改訂第4版)	佐藤まゆみ他編	南江堂	3,000円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス	講義の概要 クリティカルケアの特性を学ぶ	山口
2	クリティカルケアの対象(1)	クリティカルケアを必要とする患者の特徴を学ぶ(急性呼吸不全)	山口
3	クリティカルケアの対象(2)	クリティカルケアを必要とする患者の特徴を学ぶ(意識障害)	苫米地
4	クリティカルケアの対象(3)	クリティカルケアを必要とする患者の特徴を学ぶ(アナフィラキシーショック)	未定
5	IVR部門における看護の実際	カテーテル室における看護の実際を学ぶ	山口
6	ICUにおける看護の実際	ICUにおける集中治療と看護の実際を学ぶ	酒井(学内特別講師)
7			
8	救急部門における看護の実際	救命救急センターにおける救急看護の実際を学ぶ	佐藤(学内特別講師)
9			
10	フライトナースの活動	救急部門におけるフライトナースの活動と看護の実際を学ぶ	練合(学内特別講師)
11	急性・重症看護専門看護師の活動	急性・重症看護専門看護師の活動の実際を学ぶ	酒井(学内特別講師)
12			
13	クリティカルケアにおける倫理的問題	クリティカルケアにおける倫理的問題を学ぶ	山口 酒井(学内特別講師)
14			
15	医療安全	クリティカルケア領域における医療安全を学ぶ	小田嶋

90. 看護教育論（選択）〔看護教育の歴史、カリキュラム作成過程〕

担当教員	◎長谷川博亮		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第4学年	通年	1単位	15コマ
履修目的・授業概要 DP③ 我が国の看護教育制度及び看護教育の変遷を概観し、看護教育の現状及び課題について学ぶ。 さらにカリキュラム作成を学び、様々な大学の教育について調べ「理想の大学」作りをしていく。最後にグループ討議を通して看護教育の発展のための未来像について考えていく。			
到達目標 1. 我が国の看護教育制度の歴史の変遷を概観し、現在の日本の看護教育の特徴を説明できる。 2. 看護教育カリキュラムの作成過程について説明できる。 3) 理念と信念の違い 2) タキソノミーの要素と記述例 3) 平行軸と垂直軸 3. 現行の看護教育制度及び看護教育の課題を踏まえ、カリキュラム作成方法に従いながら、理想の看護教育のカリキュラムを作成することができる。 4. 看護教育の未来を踏まえた意見交換ができる。			
授業の形式 講義及びグループワークを展開する。 また、アクティブラーニングを中心に主体的な学習を行う。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 アクティブラーニング中心とするため、学生が主体的に調べ、考えを深めていく学習となります。15回の中で3つの課題を提示します。課題を調べる時間は十分に確保します。予習復習も毎回1時間程度必要になります。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） ① 課題～課題1（20%） 課題2（20%） 課題3（20%） ※課題の提出遅れは-10点/日 ② プレゼンテーション（30%） ③ 意見交換の積極性（10%） ①による課題1、2、3が提出されていること。 ①②③の合計点により成績を算出する。 ④ 公休等の欠席の状況に基づき追試験を1回実施する。 ⑤ ①②③の合計が60%に満たない者は再試験を1回実施する。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 精神看護の管理者としてデイケアのプログラム作りに従事していた経験を有する教員が担当する。			
学生へのメッセージ 看護教育をうけながら、日頃わからないままにしてきたことあるいは関心がありじっくり考えてみたい、調べてみたいと思うこと…そんな思いを是非ともカリキュラム作成で形にしてください！			
オフィスアワー 研究室在室時はいつでも来てください（507研究室）			
授業用連絡先（E-mail） hiroh@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(参) DSM-5 精神疾患の分類と診断の手引	American Psychiatric Association	医学書院	4,860円(税込)
(参) 心理療法ハンドブック	乾 吉祐他	創元社	3,780円(税込)
(参) 心理アセスメントハンドブック	上里一郎(監)	西村書店	15,120円(税込)

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	看護教育論導入	・看護基礎教育と継続教育 ・基礎教育（学校教育法より） ・看護師資格と教育課程	長谷川
2	看護教育の歴史の変遷	・ナイチンゲールと看護教育 ・日本の看護教育の流れ ・GHQと看護教育 ・大学教育、大学院教育の流れ	長谷川
3	戦後から現代までの養育制度	・看護教育制度の流れ ・看護カリキュラム改正 ・看護基礎教育のありかた ・モデル・コア・カリキュラム	長谷川
4		・日本の看護系大学の割合 アクティブラーニング 【課題①】	長谷川
5	日本の看護教育の現状	・看護系大学の教育に触れる アクティブラーニング 【課題②】	長谷川
6		・看護系大学の教育に触れる アクティブラーニング 【課題②】	長谷川
7		・カリキュラムとは ・看護とカリキュラム編成 ・カリキュラムと教育理念と目標	長谷川
8	カリキュラムの作成過程	・タキソノミーの実際	長谷川
9		・カリキュラムの作成 ～看護のメタパラダイム ～3つのポリシー ～平行軸と垂直軸	長谷川
10		・理念からカリキュラムを作成 課題の説明 アクティブラーニング	長谷川
11	理念を形にする	・理念からカリキュラムを作成 アクティブラーニング 【課題③】	長谷川
12	看護大学のカリキュラムづくり～	・理念からカリキュラムを作成 アクティブラーニング 【課題③】	長谷川
13		・理念からカリキュラムを作成 アクティブラーニング 【課題③】	長谷川
14	理想の看護教育	・発表および意見交換	長谷川
15	プレゼンテーション	・発表および意見交換 ・まとめ	長谷川

91. がんサバイバーシップ（選択）〔がん看護、サバイバーシップ〕

担当 教員	◎濱田 珠美、 非常勤講師（稲垣邦子） 國本紅美子（学内特別講師・がん看護専門看護師） 清水 知沙（学内特別講師・がん看護専門看護師）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第4学年	前期	1単位	15コマ
履修目的・授業概要 DP①②③④⑤			
近年、がんと診断されてからがんと共に生きるがんサバイバーは、長期の生存を可能としてきた。がんと共に生きる人、その家族に焦点を当て、長期的な療養過程を支援する看護師の役割が重要となっている。がんサバイバーシップにおける中長期に渡る健康リスクを支援できる基本的看護技術、倫理的課題を理解し、QOLを高めるための実践を導くがん看護を学ぶ。			
到達目標			
一般目標： 欧米のがんサバイバーシップが提唱された背景の理解をふまえ、がん医療の主体であるがんと共に生きる人、その家族の中長期のサバイバーシップの健康リスクを支援するために求められる看護の基本的アプローチを理解し、言語化する。			
行動目標： 1. がんサバイバーシップの中長期の健康リスクを説明できる。 2. がんサバイバーシップにあるがんと共に生きる人とその家族の長期の共生の過程を支えるアプローチと支援における課題を表現できる。 3. がんサバイバーシップにあるがんと共に生きる人とその家族の長期の共生の過程を支えるチームアプローチの重要性と看護の役割を説明できる。			
授業の形式			
講義では、がんサバイバーシップにおいて、がんと共に生きる人とその家族の健康リスクの特徴ならびに看護の特異性に関する概念・理論を紹介する。がんサバイバーシップにおいて長期の健康リスクをがんと共に生きる人の健康リスクの特徴と支援するための課題とその支援策をGWで学び広げる。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量			
シラバスに記載されているキーワードについて教科書・参考図書にて予習してくること。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数）			
1. 出席率が60%を下回る者は受験資格をもたない。 2. 出席状況の小テスト（10%）、学習態度ならびに成果発表状況（10%）、支援に関する成果レポート（80%）。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用			
看護師免許を有し、がん看護実践経験5年以上。がん看護専門看護師は資格認定者である。			
学生へのメッセージ			
がんを持ち生きる人とその家族がどこにしようとも、がん医療チームのメンバーとして看護の役割を担うため、がん看護の知識、技術、態度を学び、効果的がん看護実践につながる基盤を培うことを期待します。がん看護コアカリキュラムは、がん看護実践に必要な知識を体系的にまとめた基礎から応用まで活用できる優れた教科書です。3年次のがん看護学の基本的学びに基づき、発展的がん看護学Ⅱ（がんサバイバーシップ）の理解を進めましょう。			
オフィスアワー			
随時。事前にメールで連絡をしてください。			
授業用連絡先（E-mail） thamada@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題			
がん看護の臨床実践で生じている課題は答えのないものが大半です。各教員は現在進行形の難しい研究課題について新しいエビデンスの確立を目指しています。各教員の研究テーマは次に示すとおりです。 濱田①：進行非小細胞肺がん患者の症状クラスターとそのサポートプログラムの開発・評価			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) がん看護コアカリキュラム	監 小 島 操 訳 佐 藤 禮 子	医学書院	11,000円
(教) 成人看護学 E. がん患者の看護 第3版	監修：氏家幸子 編集：小松浩子 土居洋子	廣川書店	2,420円
(参) 看護学テキスト がん看護学	編集：鈴木久美、林直子、佐藤まゆみ	南江堂	2,860円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス がんサバイバーシップとその動向	欧米から提唱されたがんサバイバーシップの定義 欧米とわが国のがんサバイバーシップの動向について学ぶ	濱田
2	がんサバイバーシップを支えるケア1	がんと共に生きる人とその家族のがんサバイバーシップの概念の重要性について学ぶ。	濱田
3	がんサバイバーシップを支えるケア2	がんと共に生きる人とその家族のQOLの概念の重要性について学ぶ。	濱田
4	がんサバイバーシップでの健康状態のリスク1 濱田①	がんサバイバーシップで体験する健康状態のリスクについて学ぶ。	濱田
5	がんサバイバーシップでの健康状態のリスク2 濱田①	がんサバイバーシップでの専門的課題を学ぶ。	濱田
6	がんサバイバーシップでの健康状態のリスク3	がんサバイバーシップでの緩和ケアの課題を学ぶ。	國本 (学内特別講師)
7	がんサバイバーシップでの健康状態のリスク4	がんサバイバーシップでの健康状態のリスクと看護の課題を学ぶー心毒性	清水 (学内特別講師)
8	がんサバイバーシップでの課題1	がんサバイバーシップで体験する健康リスクの支援への課題を探究するーGW。	濱田 非常勤講師 (稲垣)
9	がんサバイバーシップでの課題2	がんサバイバーシップでの体験する健康リスクの支援への課題を探究するーGW。	濱田 非常勤講師 (稲垣)
10	がんサバイバーシップでの支援1	がんサバイバーシップで体験する健康リスクへの支援策を提案するーGW。	濱田 非常勤講師 (稲垣)
11	がんサバイバーシップでの支援2	がんサバイバーシップで体験する健康リスクへの支援策を提案するーGW。	濱田 非常勤講師 (稲垣)
12	がんサバイバーシップでの支援3	がんサバイバーシップで体験する健康リスクへの支援策を提案するーGW。	國本 (学内特別講師)
13	がんサバイバーシップでの支援4	がんサバイバーシップで体験する健康リスクへの支援策を提案するーGW。	濱田 非常勤講師 (稲垣)
14	がんサバイバーシップでの支援5	がんサバイバーシップで体験する健康リスクへの支援策を提案するーGW。	濱田 非常勤講師 (稲垣)
15	まとめ	がんサバイバーシップにおけるがんと共に生きる人とその家族の特徴と支援について学びを共有する。	濱田 非常勤講師 (稲垣)

92. がんエンドオブライフケア（選択）〔エンドオブライフ（EOL）、意思決定支援、アドバンス・ケア・プランニング〕

担当教員	◎濱田 珠美、 非常勤講師（稲垣 邦子）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第4学年	前期	1単位	15コマ
履修目的・授業概要 DP①②③④⑤ 近年、がんと長期の共生を可能にしても、がんサバイバーはその延命の過程で残念ながら死を迎える時が来る。がんと共に生きる人が死を意識した時からエンドオブライフ（EOL）期のケアは始まる。看護において、長期的な療養過程のEOLにその人らしく過ごすための支援が重要となる。そこで、EOLを理解し、その人らしく死を迎えることを支援する基本的看護技術、倫理的課題を理解し、QOLを高めるための実践を導くがん看護を学ぶ。			
到達目標 1. EOLケアを必要とするがんとともに生きる人とその家族が直面する諸問題や体験について理解できる。 2. EOLケアを必要とするがんとともに生きる人とその家族をケアする上で必要な知識・技術・態度について説明できる。			
授業の形式 講義、グループディスカッション、プレゼンテーションを通して学習を深める。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 キーワードについて教科書・参考図書などを活用して調べておいてください。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） ①小テスト（10%）、②学習態度ならびに成果発表状況（10%）、③成果レポート（80%）により評価する。①については、60%以上が単位取得の前提条件です。③については、到達目標についての知識・理解の達成度で評価する。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 看護師免許を有し、がん看護実践経験5年以上。			
学生へのメッセージ EOLケアは倫理的に困難な状況に直面します。治療や療養場所の選択などの場面で特に難しい問題を検討することになります。これらの選択の中心にいるのが、EOLケアを必要とする人々です。			
オフィスアワー 随時。事前にメールで連絡をしてください。			
授業用連絡先（E-mail） thamada@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題 がん看護の臨床実践で生じている課題は答えのないものが大半です。各教員は現在進行形の難しい研究課題について新しいエビデンスの確立を目指しています。各教員の研究テーマは次に示すとおりです。 濱田①：進行非小細胞肺がん患者の症状クラスターとそのサポートプログラムの開発・評価			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
教材は適宜示します。			

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	エンドオブライフについて	EOLケアの基盤となる概念・理論	濱田
2	死にゆく人を理解する	死と死にゆくことについて学ぶ。	濱田
3	QOL	死を意識した時から始まるエンドオブライフケアの対象となる人とその家族のQOLの概念の重要性について学ぶ。	濱田
4	アドバンス・ケア・プランニング	アドバンス・ケア・プランニングについて学ぶ。	濱田
5	死と死にゆくことに伴う症状	死にゆく人とその家族が体験する症状及びそれらの諸症状によって生じる全人的痛みについて学ぶ。	濱田
6	死と死にゆくことに伴う症状とケア① 濱田①	死にゆく人とその家族が体験する症状及びそれらの諸症状へのケアについて学ぶ。	濱田
7	死と死にゆくことに伴う症状とケア② 濱田①	支持的ケア：死と死にゆくことに伴う苦痛・症状	濱田
8	死と死にゆくことに伴う症状とケア③	支持的ケア：死と死にゆくことに伴う苦痛・症状	濱田
9	死と死にゆくことに伴う症状とケア④	支持的ケア：死と死にゆくことに伴う苦痛・症状	濱田
10	EOLケア	EOLケアを必要とするがんと共に生きる人とその家族への看護ケア1	濱田 稲垣
11	EOLケア	EOLケアを必要とするがんと共に生きる人とその家族への看護ケア2	濱田 稲垣
12	EOLケア	EOLケアを必要とするがんと共に生きる人とその家族への看護ケア3	濱田 稲垣
13	EOLケア	EOLケアを必要とするがんと共に生きる人とその家族への看護ケア4	濱田 稲垣
14	EOLケア	EOLケアを必要とするがんと共に生きる人とその家族への看護ケア5	濱田 稲垣
15	まとめ	EOLケアを実践する看護者の役割と責任	濱田 稲垣

93. 助産診断・技術学 I (妊娠期) (選択) [妊娠期の助産診断過程・必須技術]

担当教員	◎山内まゆみ、巻島 愛、吉原 茉寿、 出村 唯、吉澤明希子 (学内特別講師)、 吉本 朋加 (非常勤、非常勤講師 (未定))		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第4学年	前期	1単位	30コマ
履修目的・授業概要 DP①③④⑤ 妊婦の健康管理に必須な妊婦健康診査や保健指導が実施できるように必要な助産課程とそれに基づく助産技術について理解する。			
到達目標 1. 妊娠の診断のための検査項目と基準について説明できる。 2. 妊娠時期について判断するための診査項目と基準について説明できる。 3. 妊娠各期の母児の状態を判断するための診査項目と基準について説明できる。 4. 妊娠に影響する健康状態や日常生活および家族関係等について説明できる。 5. 紙上事例 (妊娠中期・後期) を用いて、妊娠の有無、妊娠時期、母児の健康状態、影響要因についてアセスメントし、必要な保健指導等、助産計画を立案する。 6. 妊婦健康診査、妊娠各期に必要な診断技術と保健指導が実施できる。			
授業の形式 演習科目だが一部講義を含む。妊婦の紙上事例は助産診断過程・実践過程を妊娠各期で展開し、教員からの助言を適時求め、最終的に助産過程の提出を求める。助産過程の展開は自己学習 (グループワーク含む) により紙面に記述し、学生の疑問点等の解決に演習時間を使用していく。			
準備学習 (予習・復習) 等の内容と分量 看護過程の復習を行い演習に望むこと。また、実践看護技術学 II (母性編)、助産活動論 II で活用した資料や事例の展開は活用すること。			
成績評価の方法と基準等 (合格基準、および追再試の回数) 全日程の出席を求める。欠席は減点対象とする場合がある。提出記録 (妊娠中期の助産診断過程40%、妊娠後期の助産診断過程40%) 80%、技術演習20%で評価し、全体の60%以上を合格とする。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 助産師免許、一部 NCPR (A コース) 修了認定を有し、病院での実務経験 (5年以上) がある教員・非常勤講師、本学産婦人科学講座医師が担当。			
学生へのメッセージ 助産師課程希望者には必須科目。看護学の選択科目に該当しない。(教) 新訂版 写真でわかる助産技術 (DVD 付) も購入すること。(参) プリンシプル産科婦人科学 2 第3版、(参) 新生児学入門 第5版の使用を奨める。他の参考書は適時紹介する。			
オフィスアワー 平日、予定が合えば適時可能			
授業用連絡先 (E-mail) asayama@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題 助産実践能力が向上するシミュレーション教育プログラムの開発とその効果に関する研究			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
助産学講座 (全10巻)	我部山キヨ子他編	医学書院	総額 43,450 円 (税込)
(教) 最新産科学 改訂23版 正常編・異常編	荒木 勤	文光堂	総額 14,300 円 (税込)
(教) 産婦人科診療ガイド ライン産科編2023	日本産婦人科学会他監	日本産婦人科学会	8,000 円 (税込)

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員	
1	学習の進め方	学習の進め方 (ガイダンス) 妊娠期の助産過程の展開 妊娠期の助産診断	山内 巻島 吉原 出村 吉本 他 (非常勤)	
2	妊娠期に起る異常・健康課題	・ハイリスク妊娠 (心疾患・糖尿病・腎臓病等合併妊娠、他) ・妊娠期の異常 (流早産・妊娠合併症、前置胎盤、胎児発育不全、絨毛膜羊膜炎、他) 知っておくべき異常な妊娠経過について、産科学の基本的知識を理解する。	吉澤 (学内特別講師)	
3				
4				
5	妊娠中期事例展開①	・妊婦事例を用い、①妊娠中期の助産過程に基づく助産診断を以下の項目を活用して行い、必要な助産計画 (観察・ケアの実施・保健指導) を立案する。方法は、以下 I ~ III で進める。I. 教員から事例の提示、II. 学生は妊娠中期の助産過程の展開を行う (中期の助産過程を記述し、提出期日までに提出予定)、III. 各提出期日以前に、疑問点等の解決に向け、フィードバックの時間を設ける。	山内 巻島 吉原 出村 吉本 他 (非常勤)	
6	事例展開② 自己学習			
7	事例展開③ 自己学習			
8	事例展開④ フィードバック			
9	事例展開⑤ 自己学習			
10	事例展開⑥ 自己学習			
11	事例展開⑦ 自己学習			
12	事例展開⑧ 自己学習			
13	事例展開⑨ フィードバック			
14	技術演習①			・レオポルド触診、腹囲・子宮底の測定、NST 装着と判読、など妊娠期の助産診断に必要な技術の実際を学ぶ
15	技術演習②			

助産診断・技術学Ⅰ（妊娠期）第4学年・前期・30コマ（選択）

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	妊娠後期事例展開①	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦事例：妊娠後期の助産過程に基づく助産診断を以下の項目を活用して行い、必要な助産計画（観察・ケアの実施・保健指導）を立案する。方法は、以下Ⅰ～Ⅲで進める。Ⅰ. 教員から事例の提示、Ⅱ. 学生は妊娠後期の助産過程の展開を行い、助産過程を記述し、提出期日までに提出。Ⅲ. 各提出期日以前に、疑問点等の解決に向け、フィードバックの時間を設ける。 1. 妊娠の診断 1) 妊娠（確定）の診断 2) 妊娠時期の診断 3) 分娩予定日の診断 2. 妊娠経過の診断 1) 母体の生理的变化の診断 2) 母体の健康度の診断 3) 初産婦と経産婦の診断 4) マイナートラブルの診断 3. 正常からの逸脱の診断 1) 妊娠合併症の診断 2) 異常妊娠の診断 4. 胎児の診断 1) 胎児の生死の診断 2) 胎児数の診断 3) 胎位の診断 4) 胎児発育の診断 5) 胎児の健康度の診断 5. 胎児付属物の診断 1) 羊水の診断 2) 臍帯の診断 3) 胎盤の診断 4) 胎盤機能の診断 5) 卵膜の診断 6. 妊婦の日常生活への適応診断 1) 日常生活行動の診断 2) ボディイメージの診断 7. 妊婦の心理的適応の診断 1) 妊娠の受容の診断 2) 胎児の受容の診断 3) 親役割準備状態の診断 8. 出産・育児準備の診断 1) 出産・育児準備に伴う身体的準備の評価 2) 出産・育児準備に伴う心理的準備の評価 3) 出産・育児準備に伴う物品準備の評価 4) パースプランの評価 9. 妊婦の社会的適応の診断 1) 妊娠に伴う家族適応の診断 2) 妊娠に伴う社会的適応の診断 ・上記項目の助産診断から導きだした統合診断名に基づき、助産計画を立案する 	山内 巻島 吉原 出村 吉本 他 (非常勤)
17	事例展開②自己学習		
18	事例展開③自己学習		
19	事例展開④フィードバック		
20	事例展開⑤自己学習		
21	事例展開⑥自己学習		
22	事例展開⑦フィードバック		
23	事例展開⑧自己学習		
24	事例展開⑨自己学習		
25	事例学習（中期・後期）まとめ		
26	出産準備教育演習①	出産準備教育の実際について、保健指導を計画し、シミュレーション学習する。	山内 巻島 吉原 出村 吉本 他 (非常勤)
27	出産準備教育演習②		
28	妊娠期の健康診査演習	妊婦健康診査（保健指導を含む）を理解し、その実際を、シミュレーション学習により実施する。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 診査内容と必要性の説明 2. 診査項目の決定 3. 健康診査の実施（ロールプレイ） 4. 診査結果の説明 5. 正常逸脱の判断 6. 保健指導の立案・実施・評価 7. 母子手帳の記載、など 	山内 巻島 吉原 出村 吉本 他 (非常勤)
29			
30			

94. 助産診断・技術学Ⅱ（分娩期）（選択）〔分娩期の助産診断、診断に必要な技術、分娩介助法、分娩時の異常、新生児蘇生法〕

担当 教員	◎山内まゆみ、巻島 愛、吉原 茉寿、 出村 唯、栗原かおる（学内特別講師）、 長屋 建（学内特別講師）、 横浜 祐子（学内特別講師）、 吉澤明希子（学内特別講師）、 中西研太郎（学内特別講師）、 市川 英俊（学内特別講師）、 石田久美子（学内特別講師）、 伊藤 幸子・吉本 朋加・目黒 里奈・ 伊藤 彩他（非常勤講師）		
	対象学年	開講期	単位数
	第4学年	通 年	2 単位
コマ数 60コマ			
履修目的・授業概要 DP①③④⑤ 分娩期の助産に必要な知識・技術を学び、シミュレーション学習 で基本的な分娩介助技術を学修する。 ・分娩期の助産診断能力を養う（紙上事例展開）。 ・診断に必要な診察方法を身につける。 ・分娩介助法の基本を身につける。 ・分娩期の正常逸脱や異常時の対応、新生児蘇生法を学ぶ。			
到達目標 ①分娩経過判断に必要な観察項目、技術、判断基準が説明できる。 ②分娩経過に応じた支援の必要性和内容を説明できる。 ③分娩各期の予測をふまえた対応について説明できる。 ④分娩介助準備の時期と内容を説明できる。 ⑤分娩介助の根拠を理解し、基本的な介助技術ができる。 ⑥分娩期の異常について、病態・治療・ケアを説明できる。 ⑦出産にかかわる諸手続と書類について説明できる。 ⑧新生児蘇生法の基本を説明・修得できる（NCPR 1次コース修了 予定）。			
授業の形式 演習科目。一部講義を交え、技術演習、事例展開を個人学習、グ ループ学習、シミュレーション学習を適時行い進行する。3年まで の既習の専門知識を要する。本科目終了後に予定する助産学実習 （分娩介助実習）に進むには分娩期のOSCEに合格が必須条件であ る。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 助産師選択課程の既習内容を必ず復習し受講すること。また、シ ラバスや配布する資料から、学習内容について教科書・参考書を予 習してくること。授業内容は、自分自身の理解度を確認し、教科書 をまとめるなどの復習をしておくこと。反復学習が必須の助産技術 は、自己学習を通じて主体的に進めること。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数）			
実務経験のある教員等による授業科目			
有する実務経験と授業への活用			
学生へのメッセージ 助産師課程必修科目。介助実習に必要な助産技術の修得のため、 多くの自己学習時間を要する。※助産診断技術学Ⅰに示す教科書、 参考書はすべて使用する。重複しない書籍のみ以下に記す。他、参 考書は適時紹介する。			
オフィスアワー 平日、予定が合えば適時可能			
授業用連絡先（E-mail） asayama@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題 助産実践能力が向上するシミュレーション教育プログラムの開発 とその効果に関する研究			

〈教科書・参考図書〉

書 名	著者名	発行所	価格
(教) 日本版救急蘇生ガイドライン2020 に基づく 新生児蘇生法テキスト	細野 茂春	MEDICAL VIEW	4,000円(税込)
(参) 今日の助産改訂第4版	北川眞理子他	南 江 堂	9,680円(税込)

コマ 数	履修主題	履 修 内 容	担当 教員
1	分娩期の助 産診断①	講義) 分娩各期の分娩機転と進行を学 習し、分娩進行の診断に必要な知識を 確認する。	山内 巻島
2			
3			
4	分娩期の助 産診断②	講義) 分娩三要素の診断に必要な項目 と診察方法、判断基準、影響因子につ いて学ぶ。	山内 巻島
5			
6			
7	分娩期の助 産診断③	分娩期の助産過程の展開 紙上事例を用いて、分娩第1期から第 4期までのアセスメント・診断、助産 援助を導く。	山内 巻島 吉原 出村 吉本 (非常勤)
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

助産診断・技術学Ⅱ（分娩期）第4学年・通年・60コマ（選択）

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	分娩期の助産診断④	分娩期の助産過程の展開 紙上事例を用いて、分娩第1期から第4期までのアセスメント・診断、助産援助を導く	山内 巻島 吉原 出村 吉本 (非常勤)
17			
18	分娩時の書類と記録	分娩児の必要な諸文書や記録書き方を学ぶ（パルトグラム、助産録、出生証明書、母子手帳など）	山内 出村
19	産婦への支援の実際①	分娩第1期・第2期の支援 （入院時、破水時、産痛緩和法、日常生活支援、産痛緩和法、リラクゼーション法）	山内 巻島 吉原 出村 吉本 他 (非常勤)
20			
21	産婦への支援の実際②	分娩第3期・第4期の支援 （子宮収縮の促進、出血予防、愛着形成、等）	山内 巻島 吉原 出村 吉本 他 (非常勤)
22			
23	誘発分娩と麻酔分娩	誘発分娩・麻酔分娩の意義、適応、観察・注意点について学び適応産婦のケアを考察する。	吉澤 (学内特別講師)
24			
25	分娩介助の実際	①産道通過に伴う介助原理と要点 ②内診の観察項目と判断基準、手技の実際、注意点	山内 巻島 吉原 出村 吉本 他 (非常勤)
26			
27			
28	分娩介助技術演習①～⑩	①機械の準備－清潔操作 ②清潔野の作成（外陰部消毒、ガウンテクニック） ③分娩介助 ・肛門保護 ・会陰保護 ・軀幹娩出 ④出生直後の新生児のケア ⑤胎盤娩出 ⑥分娩後精査 ⑦産婦の身仕舞い	山内 巻島 吉原 出村 吉本 他 (非常勤)
29			
30			

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
31	分娩介助技術演習①～⑩	①機械の準備－清潔操作 ②清潔野の作成（外陰部消毒、ガウンテクニック） ③分娩介助 ・肛門保護 ・会陰保護 ・軀幹娩出 ④出生直後の新生児のケア ⑤胎盤娩出 ⑥分娩後精査 ⑦産婦の身仕舞い	山内 巻島 吉原 出村 吉本 他 (非常勤)
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39	入院時の援助に関する演習	1. 問診 □問診の留意点を踏まえた入院の決定、入院時の助産録聴取（ロールプレイ） 2. 入院時に必要な助産技術 □①入院時に必要な検査方法 □②分娩監視装置による診断 □③分娩期の安全・安楽の確保	山内 巻島 吉原 出村 吉本 他 (非常勤)
40			
41			
42	子宮頸がんリスク・検体採取法	子宮頸がんに関する基本的知識を理解し、検体採取方法について知る。	市川 (学内特別講師)
43	新生児の異常	新生児仮死、早産低出生体重児、ハイリスク児の病態とケア、母親と家族への支援について学習する。	長屋 (学内特別講師)
44			
45			

助産診断・技術学Ⅱ（分娩期）第4学年・通年・60コマ（選択）

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
46	新生児蘇生 (NCPR)	NCPR 指導者による新生児蘇生演習	栗原 (学内特別講師) 山内 巻島 吉原 出村
47			
48			
49	会陰縫合術演習	軟産道の縫合について学習し、シミュレーターにより、練習する	石田 (学内特別講師) 山内 巻島 吉原 出村
50			
51	異常分娩	分娩三要素の正常からの逸脱・異常について学び、産婦のケアを考察する。	横浜 (学内特別講師)
52			
53			
54	産科出血・産科手術	分娩時に起こる出血の特徴と産科出血に備えた管理、帝王切開を含む産科手術について学習し、ケアを考察する。	中西 (学内特別講師) 山内 巻島 吉原 出村
55			
56			
57	分娩介助技術試験	課題に基づいて分娩期の OSCE を行い評価する。終了後、結果についてフィードバックする。	山内 巻島 吉原 出村 吉本 他 (非常勤)
58			
59			
60	筆記試験	これまでの学習内容確認・評価	山内 巻島 吉原 出村

95. 助産管理学 (選択) (助産管理 (院内・地域、ハイリスク妊産褥婦、メンタルヘルス)、政策、母子保健 (施策・事業)、健康教育)

担当教員	◎山内まゆみ、巻島 愛、吉原 茉寿、出村 唯、藤井 智子、塩川 幸子、原口眞紀子、未定 (学内特別講師)、杉山 結理 (非常勤講師)、吉本 朋加 (非常勤講師)、山田和佳奈 (非常勤講師)、未定 (非常勤講師)		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第4学年	後期	1単位	15コマ
履修目的・授業概要 DP①③④⑤ これまでに既習した知識・技術を基に、保健師課程と一部共同した学習により子育て世代の包括的な支援や、事例の検討会、メンタルヘルスに課題のある対象者のシミュレーション学習を通じ、病院・助産所・地域における様々な健康状態における連携の重要性を具体レベルで学び、助産管理の必要性を把握する。			
到達目標 ①助産管理と政策・母子保健の施策・保健事業の関係が具体的に理解できる。 ②産前・産後を通じた産後ケア事業と保健医療福祉の連携が説明できる。 ③健康教育の実際を企画・実施・評価できる。 ④病院の助産業務管理の実際と課題を説明できる。 ⑤産後から一貫した助産管理の在り方と地域母子保健活動との連携、生後4ヶ月を迎える母子への支援を説明できる。 ⑥周産期のメンタルヘルス、ハイリスク妊産褥婦の管理についてシミュレーション学習、事例検討会を通じて深め、様々な健康状態における連携の必要性が具体化でき、助産管理の必要性が説明できる。			
授業の形式 講義科目。科目開講までに適時課題を提示し学生が準備した状態で講義が進む。前半6コマは保健師課程との合同講義となる。講義・演習、シミュレーション学習、事例検討会、臨地における4か月健診の見学、産後ケアの現状の講義などを組み合わせ進行する。			
準備学習 (予習・復習) 等の内容と分量 これまでの看護学・助産学で修得した知識・技術・態度を統合して講義・演習となるため、復習等の自己学習・グループ学習を事前に行っておくこと。これまでの実習事例検討会に向け、事例の適切な紹介、検討事項の説明等ができるよう事前準備が必要である。			
成績評価の方法と基準等 (合格基準、および追再試の回数) 筆記試験は行わない。小テスト、課題の提出物、講義への参加態度を総合して成績を評価する。提出期限の遅れは10点減点、小テストへの無回答は各回5点減点としていく。60点以上を合格とする。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 保健師免許を持ち実務経験のある教員、助産師免許を持ち実務経験・管理の実務経験のある教員、助産師として国外で活躍する助産師 (非常勤) が担当する。			
学生へのメッセージ 助産師課程必須科目である。これまでの看護学・助産学の実践能力を総合して参加すること。合同講義は (参) 行政看護学、金子仁子、講談社、(参) 公衆衛生看護技術、麻原きよみ、医歯薬出版株式会社、も活用してほしい。			
オフィスアワー 平日、予定が合えば適時可能			
授業用連絡先 (E-mail) asayama@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題 助産実践能力が向上するシミュレーション教育に関する研究母乳育児に関連する研究、死産を経験した母親に関する研究			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(参) 助産学講座9 (2023年改訂)・10 (2022年改訂) 第6版	我部山キヨ子, 他	医学書院	計7,150円 (税込)
(参) 公衆衛生看護管理論	平野かよ子	メジカルフレンド社	3,000円+税
(参) 看護職者のための政策過程入門	見藤隆子, 他	日本看護協会出版会	1,900円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	政策とは (保健師課程と合同演習)	・政策とは、政策形成のプロセス ・計画づくりの構成要素 ・PDCA サイクルに基づく事業計画の作成と評価	藤井
2	母子保健の施策と保健事業 (保健師課程と合同演習)	・母子保健施策の体系と流れ・母子健康手帳の交付から始まる児童虐待のスクリーニングと支援	塩川
3	母子保健の施策と連携 (保健師課程と合同演習)	・乳幼児健康診査の位置づけと役割 (出生から4カ月児健康診査までのプロセスを中心に)	塩川
4	母子保健の施策と連携 (保健師課程と合同演習)	・産後の母子支援 ・乳児の成長発達を促す母乳育児の支援①研究空の見解、②支援の実際演習)	吉原 巻島
5	母子保健の施策と連携 (保健師課程と合同演習)	・思春期における健康課題と性教育の企画・評価① (健康教育の実際)	巻島 吉原
6	母子保健の施策と連携 (保健師課程と合同演習)	・思春期における健康課題と性教育の企画・評価② (健康教育の実際)	巻島 吉原
7	産科病棟の助産管理	周産母子センターの運営・課題を理解する。	未定 (学内特別講師)
8	ハイリスク妊婦の助産管理	MFICU の役割、支援等を再確認し、ハイリスク妊婦への看護を具体化できる	杉山 (非常勤)
9	ハイリスクの妊産褥婦の管理①	事例報告① これまでに受け持った対象者の事象を振り返り、ハイリスク妊産褥婦への予防的な具体案の提案ができる。	山内 原口 他 吉本 (非常勤)
10	ハイリスクの妊産褥婦の管理②	事例報告② これまでに受け持った対象者の事象を振り返り、ハイリスク妊産褥婦への予防的な具体案の提案ができる。	山内 原口 他 吉本 (非常勤)
11	周産期のメンタルヘルスの管理①	演習) 周産期のメンタルヘルス事例・シミュレーション学習①	山内 他 吉本 (非常勤)
12	周産期のメンタルヘルスの管理②	演習) 周産期のメンタルヘルス事例・シミュレーション学習②	山内 他 吉本 (非常勤)
13	地域母子保健の管理の実際	4ヶ月健診の実際を見学し母子のアセスメントを行うことで、地域における母子保健の実際を学ぶ。(AM か PM)	山田 (非常勤)
14	地域母子保健の管理の実際	4ヶ月健診の実際を見学し母子のアセスメントを行うことで、地域における母子保健の実際を学ぶ。(AM か PM)	山田 (非常勤)
15	4ヶ月児の健康・産後ケア・地域におけるメンタルヘルス管理	現地保健師より、地域での産後うつ、産後ケア事業、虐待等の具体的な支援・他職種連携の実際を講義から学び、地域における母子保健の管理・連携の必要性や課題について考察する。(AM か PM)	山田 (非常勤)

96. 助産学実習（選択）〔助産学、継続事例、分娩介助〕

担当 教員	◎巻島 愛、山内まゆみ、出村 唯、 吉原 茉寿、 吉本 朋加（非常勤）、箕島かおり（非常勤）、 目黒 里奈（非常勤）、他複数未定（非常勤）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第4学年	後期	11単位	11週間
履修目的・授業概要		DP①②③④⑤	
【履修目的】 1. 妊婦・産婦・褥婦および新生児の助産過程を展開し、助産診断に基づく助産援助を実践する能力を養う。 2. 実習を通じて、助産にかかわる助産師の職務の責任と倫理的態度、省察する能力を養う。 【実習概要】 助産学実習は、継続事例実習、分娩介助実習で構成する。			
到達目標			
＜継続事例実習＞ 1. 妊婦健康診査予定日に実施すべき助産計画が、助産過程を基にして健診日前日までに立案できる。 2. 継続事例の妊婦健康診査、および健診結果に基づく保健指導を実施できる。 3. 産婦および家族に対して、安全で安楽な援助の提供を、臨床実習指導者・教員の指導のもと実施できる。 4. 産褥期・新生児期にある入院中の母子に必要な援助、および新生児を新しい家族として迎えらるる養育環境を整えるために必要な援助を、助産過程を基に実施できる。 5. 退院後、産後（生後）1か月、生後4ヶ月頃までの家族を含む母子の経過について、産褥経過や心理・社会的適応状態、新生児の成長・発達状態を、母子の産後健診、1か月健（検）診、地域で行う乳児の4か月健診などの機会を活用して把握し、各時期に必要な助産診断や助産援助に関する考察ができる。 6. 妊娠期、分娩期、産褥期・新生児期で実施した援助結果について、客観的事実と継続事例の反応から導いた評価を、臨床実習指導者や必要な医療従事者に報告できる。 7. 実習中、助産師としての役割を認識し自己の向上に努めるための省察ができる。 8. 継続事例実習を通して、助産師に必要な責任と倫理的な行動について実施、あるいは考察することができる。 ＜分娩介助実習＞ 1. 分娩各期に必要な診断技術を用いて、分娩経過中に必要な援助を助産診断に基づき、臨床実習指導者の指導のもと助産が実施できる。 2. 分娩経過中の逸脱・異常の予防及び徴候の早期発見と対応を指導のもとにできる。 3. 間接介助係、出生直後の新生児係の役割を担うことを通して、分娩直接介助係や他職種との協働、新生児の母体外生活適応の観察や促進の援助を臨床実習指導者の指導のもと実施できる。 4. 産褥期・新生児期の助産過程を展開し、対象に必要な援助が実施できる。 5. 助産援助を通し、助産師に必要な倫理的かつ責任ある行動を取ることができる。			
授業の形式 助産診断・技術学ⅡのOSCE合格の学生が臨地実習を行える。 実習施設：旭川医科大学病院、産科施設（市内・市外）、市町村			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 看護学・助産学の既習内容をすべて活用する。基本的な看護技術の練習・修得や、解剖・生理学等の復習を確実に行っていくこと。助産師課程選択を決意した時点から開始することが望ましい。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） 原則、全日程の出席が成績評価対象となり、欠席は減点対象となる。 ・継続事例実習 40% ・分娩介助実習 60% （各実習評価表、実習中の態度、実習記録、レポートから総合的に評価する。） 上記内容を100点満点で換算し、60点以上で単位を認定する。 再実習は行わない。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			

有する実務経験と授業への活用 看護師・助産師免許、NCPR「専門」コース修了認定を有し、病院助産師の実務経験がある教員が、大学病院等での臨床勤務経験を踏まえ、助産過程・助産実践の指導を行う。一部の教員は、アドバンス助産師の資格を有する。
学生へのメッセージ 長期にわたる実習である。そのため、自己の生活を整え、体調管理に努めること。事前の演習や学習を積み重ね実習に臨むこと。学生が身体的、心理的課題を抱えたときには、速やかに教員等へ相談し解決に努力すること。
オフィスアワー 月～金 8:30～17:15 来訪前にメールでアポイントをとること。
授業用連絡先（E-mail） sai-mizu@asahikawa-med.ac.jp
担当教員の研究と履修主題 助産実践能力が向上するシミュレーション教育プログラムの開発とその効果に関する研究、助産学生の卒業時学習到達度に関する研究

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 助産学講座 1～10(全10巻)	我部山キヨ子他編	医学書院	総額43,450円(税込)
(教) 最新産科学 改訂23版 正常編・異常編	荒木勤・鈴木俊治	文光堂	計14,300円(税込)
(教) 産婦人科診療ガイドライン 産科編2023	日本産婦人科学会他監	日本産婦人科学会	8,000円(税込)
(教) 日本版教員ガイドライン2020に基づく第4版 新生児監生法テキスト	細野茂春監	メジカルビュー	4,400円(税込)
(参) 新訂版 写真でわかる助産技術アドバンス(動画付)	平澤恵美子・村上睦子監	インターメディア	3,520円(税込)
(参) 新生児学入門 第5版	仁志田博司	医学書院	6,380円(税込)
(参) 分娩介助学 第2版	進 純郎	医学書院	5,280円(税込)

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
11週間		【実習内容】 ・継続事例実習1例（妊婦健康診査～生後4か月健康診査） ・分娩介助実習（直接介助10例以上、間接介助2例以上、新生児係2例以上、産褥・新生児期） ・後日配布される実習要項「継続事例実習編」「分娩介助実習編」を参照すること。 ・分娩介助例数、間接介助・新生児係事例数が規程に到達しない場合、あるいは実践能力が到達目標に達しない場合は、正規の実習期間に続く冬季休業中の補充実習期間（12月末まで）、さらに1月初旬、国家試験受験終了後の2月中旬以降の期間に、到達目標に達するまで実習を継続する場合がある。	山内 巻島 出村 吉原 吉本 (非常勤) 箕島 (非常勤) 目黒 (非常勤) 他 (非常勤)

97. 公衆衛生看護活動論Ⅲ（公衆衛生看護管理）（選択）〔公衆衛生看護管理〕

担当教員	◎藤井 智子、塩川 幸子、水口和香子、 工藤 裕子（非常勤）、阿部 浩美（非常勤）、 佐藤 伸之（教育センター）、 神田 浩路（社会医学講座）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第4学年	通年	2単位	30コマ
履修目的・授業概要 DP③ 公衆衛生看護活動とは、地域の特性やそこで生活する人々の健康・生活のニーズをとらえ、どのような地域になることが望ましいのかその姿を描き、実現に向け人々と協働して活動することです。そのために、地域が抱える健康課題を施策に反映させ、地域の実情に応じた地域ケアシステムを構築する役割が保健師には期待されています。これらの活動を進めていくための公衆衛生看護管理とは何か、人、モノ、金をどのように管理していくかを学びます。 また、地域ケアシステムを構築していくためのプロセスには何が必要なのか、保健師としての姿勢について考察します。多職種の専門性を深く理解し、人々の力を育て、繋げ、同じ目標に向かって協力するための連携・調整技術としての事例検討会や地域ケア会議の企画・方法も学びます。			
到達目標 ・公衆衛生看護管理の目的および機能を理解する。 ・施策・事業の円滑な運営のために必要な事例管理・予算管理の内容と方法を理解する。 ・地域の健康課題を解決していくための施策化・システム化に向けた連携調整の技術を学ぶ。			
授業の形式 講義、グループワーク、課題学習を組み合わせ進めます。毎回、プリントを配ります。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 履修主題にかかわる部分の教科書を事前に読んでくること。講義内でミニテストを数回実施します。これらのテスト内容がしっかり理解できるよう講義を復習してください。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） ・試験（50%）、レポート（35%）、出席状況（15%）から総合的に評価します。 ・合計100点のうち60点以上を合格とする。 ・追・再試験は1回行う。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 保健師免許を有し、北海道の保健所・市町村、地域包括支援センターで保健師活動の経験のある教員が実践を踏まえ、公衆衛生看護管理の基礎的な講義を行う。さらに、医師免許を持った教員、国際保健活動の経験がある教員とともに地域ケアシステムを構築する手段としての多職種連携（地域ケア会議）をロールプレイを通して教授する。			
学生へのメッセージ 連携、調整とは何か？施策化、システム化とは？そこにどのような技術があるのか？そこでの保健師の動き方とは？自由に発言しながら皆さんの考える力を大切にしたいと思っています。主体的な学習を期待しています。			
オフィスアワー 気軽に訪問してください。メールでご連絡いただくと確実です。			
授業用連絡先（E-mail） koitomo@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題 ・地域包括ケアシステム構築と地域ケア会議の研究（藤井智子） ・事例検討の技術に関する研究（塩川幸子）			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 公衆衛生看護支援技術	岸恵美子編集	メジカルフレンド社	3,500円+税
(参) ケア会議の技術	野中 猛	中央法規	2,860円(税込)

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	公衆衛生看護管理の目的と機能	・公衆衛生看護管理とは ・定義と特徴 ・前提となる公共性の理念	藤井
2		・新任期から担う公衆衛生看護管理の機能 地区管理、事例管理、事業・業務管理、情報管理、予算管理、健康危機管理	〃
3	公衆衛生看護の倫理	・日常生活の中の倫理を考える ・公衆衛生看護の倫理的実践における原則	〃
4	事例管理	・保健師が行う家庭訪問の特徴を学ぶ ・事例管理とは何か、事例管理のプロセスについて学ぶ ・支援台帳の作成方法と台帳管理	塩川
5		・事例管理から地区管理への広がり（事例を通して考える）	〃
6		・保健師の看護過程について学ぶ。	〃
7	予算管理	・市町村財政と保健師活動 ・法律と予算	工藤（非常勤）
8		・予算編成のプロセス ・予算書を作成する ー予防接種の予算を作ってみるー	〃
9		〃	〃
10	事業・業務管理	・地域の健康課題に応じた保健事業の内容と種類について学ぶ ・保健事業の企画・評価と考え方と具体的な手法について学ぶ	塩川
11		・保健事業の企画のプロセス	〃
12		〃	〃
13	地域ケアシステムの概念	・地域ケアシステムとは～その理念、構成要素、機能および必要性について理解する	藤井
14	地域ケアシステムの構築のプロセス	・社会資源とは何か、種類・内容 ・地域ケアシステムのアセスメント	〃
15	〃	・地域ケアシステム構築における保健師の役割	〃

公衆衛生看護活動論Ⅲ（公衆衛生看護管理）第4学年・通年・30コマ（選択）

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16	連携・調整の技術① (ケースカンファレンス技術) (プレゼンテーション技術)	・公衆衛生看護における連携調整の技術	藤井 塩川
17		・地区の健康管理の明確化（地区把握や事例の共通するニーズ から抽出、分析）	”
18		・事例検討会とは	”
19	まとめ	・公衆衛生看護管理のまとめ	”
20	連携・調整の技術② (事例検討会)	・事例検討会の企画 ・事例検討会のねらいの検討、資料作成	”
21		・事例検討会の実施	”
22	連携・調整の技術③ (ネットワーク技術・チームワーク技術)	・実態把握～他職種と共有すべき健康課題の分析・焦点化・抽出	藤井 塩川 水口 阿部 (非常勤)
23		・課題を解決していくための方法の分析、役割分担の検討	”
24		”	”
25	”	・地域ケア会議の企画 ・企画書、媒体（会議資料）の作成	”
26		”	”
27		”	”
28	連携調整の技術の実践 (地域ケア会議の実践)	・地域ケア会議のロールプレイ	藤井 塩川 水口 佐藤 神田 阿部 (非常勤)
29		”	”
30		・会議の評価およびまとめ	”

98. 公衆衛生看護活動論Ⅳ（政策づくり）（選択）〔政策づくり〕

担当教員	◎藤井 智子、塩川 幸子、水口和香子、山内まゆみ、吉原 菜寿、巻島 愛、小畑 大輔（非常勤）、深津 恵美（非常勤）、川村ひとみ（非常勤）、宮城 明奈（非常勤）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第4学年	後期	1単位	15コマ
履修目的・授業概要 DP④			
<p>地域に顕在・潜在する健康課題のうち、地域住民だけでは解決できない問題や公共性の高い健康課題に対してどのような支援が必要かを住民と行政が話し合い、解決方法を見出していきます。さらに、住民・関係者とともにそれぞれの立場で役割を担いながら実践していく際に立案されるのが事業計画です。地域における保健福祉活動は様々なレベルの計画に基づき展開されています。行政で働く保健師には、地域のあるべき姿としてビジョンを描き、計画策定のプロセスを理解し、人々と協働しながら日々の活動を計画し推進していく力が求められます。</p> <p>本授業では、公衆衛生看護学実習を通して学んだ政策や事業計画の実践を踏まえ、モデル地域の母子保健のビジョンを描き、体系的に目標と計画のつながりを可視化し、計画を立案するプロセスについて学ぶ。ディプロマポリシーは、思考・判断です。</p>			
到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> 政策とは何か、その目指すものを考え、施策、事業とのつながりを体系的に理解する。 計画づくりにおける構成要素を理解する（ヒト、モノ、カネ）。 PDCA サイクルに基づき、評価の視点を踏まえ、計画策定のプロセスを理解する。 モデル地域について母子保健のビジョンを描き、目標と事業のつながりの体系図を作成し、計画作成を行うことができる。 作成した計画のプレゼンテーションを通して、多角的に計画を検討することができる。 母子保健に関する看護職同士の連携について学ぶ。 			
授業の形式			
講義、グループワーク、課題学習を組み合わせて進めます。必要に応じて資料を配付します。			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量			
<ul style="list-style-type: none"> 履修主題にかかわる部分の教科書を事前に読んでくること。 レポート「計画づくりを通して学んだこと」A4用紙1枚 			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数）			
<ul style="list-style-type: none"> 出席（2/3以上）、政策の内容、個人レポート、提言報告をもとに総合的に評価する。 合計100点のうち60点以上を合格とする。 再試験は試験日は設けず対象者に課題を提示する。 			
実務経験のある教員等による授業科目			
該当する			
有する実務経験と授業への活用			
保健師免許を有し、北海道の保健所・市町村、地域包括支援センターで保健師活動の経験のある教員、行政職員の経験のある教員（非常勤）が実践を踏まえ、政策提言の基礎的講義を行う。また助産師の免許を有する教員が助産師の経験を踏まえ母乳育児、思春期への性教育について基礎的講義を行う。			
学生へのメッセージ			
政策づくりとは何か？地域の目指す姿を実現するためにビジョンを描き、そこにどのような政策、施策、事業が位置づけられるとよいか考えてみましょう。地域の社会資源もふまえ、その地域で何ができるか、住民とともに地域づくりを行う力を身に付けることをねらいとしています。自由な発想で皆さんの考える力、表現力を大切に進めたいと思います。主体的な学習を期待しています。			
オフィスアワー			
気軽に訪問してください。メールでご連絡いただくと確実です。			
授業用連絡先（E-mail）			
koitomo@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題			
小規模自治体における地域ケア会議 地域包括ケアシステムの構築と地域ケア会議の研究（藤井智子）			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(参) 公衆衛生看護管理論	平野 かよ子	メヂカルフレンド社	3,000円+税
(参) 看護職者のための政策過程入門	見藤隆子、他	日本看護協会出版会	1,900円+税
(参) 行政看護学	金子 仁子	講談社	3,500円+税
(参) 公衆衛生看護技術	麻原 きよみ	医歯薬出版株式会社	2,800円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	政策とは	<ul style="list-style-type: none"> 政策とは、政策形成のプロセス 計画づくりの構成要素 PDCA サイクルに基づく事業計画の作成と評価 	藤井
2		<ul style="list-style-type: none"> 自治体における政策づくりの実際 住民の声を活かした保健福祉活動 	小畑 (非常勤)
3	母子保健の施策と保健事業	<ul style="list-style-type: none"> 母子保健施策の体系と流れ（母子健康手帳の交付から始まる児童虐待スクリーニングと支援） 乳幼児健康診査の位置づけと役割 	塩川
4	母子保健の施策と連携	<ul style="list-style-type: none"> 産後の母子支援・乳児の成長発達を促す母乳育児の支援①（助産師課程と合同演習） 	山内
5		<ul style="list-style-type: none"> 乳児の成長発達を促す母乳育児の支援② 思春期における健康課題と性教育の企画・評価①（健康教育の実際）（助産師課程と合同演習） 	山内 巻島 吉原
6		<ul style="list-style-type: none"> 思春期における健康課題と性教育の企画・評価②（健康教育の実際）（助産師課程と合同演習） 	巻島 吉原
7	母子保健のビジョン	<ul style="list-style-type: none"> 地域の健康課題をアセスメントし、まちの政策と施策、保健事業とのつながりを検討する 	藤井 塩川 水口 深津 (非常勤)
8		<ul style="list-style-type: none"> 母子保健に関する地域の社会資源マップの作成 	
9		<ul style="list-style-type: none"> 地域の社会資源のアセスメントから、充足・不足している資源を考える 	
10	母子保健計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> 計画策定プロセスを学ぶ 上位計画との整合性の検討 計画のめざすもの、目的・目標と事業のつながりの体系化 	藤井 塩川 水口 深津 (非常勤)
11		<ul style="list-style-type: none"> 既存事業と新規事業の企画および検討 	
12		<ul style="list-style-type: none"> 評価計画の検討 	
13	政策の提言と評価	<ul style="list-style-type: none"> ビジョンと計画の提案 	藤井 塩川 水口 川村 (非常勤) 宮城 (非常勤) 深津 (非常勤)
14		<ul style="list-style-type: none"> 計画のプレゼンテーション 	
15		<ul style="list-style-type: none"> 計画づくりにおける保健師の役割について考える 	

99. 公衆衛生看護技術論（選択）

担当 教員	◎塩川 幸子、藤井 智子、水口和香子、 阿部 浩美（非常勤）、伊藤 俊弘		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第4学年	通年	2単位	60コマ
履修目的・授業概要 DP④⑤			
<ul style="list-style-type: none"> 保健師が地域で出会う個人・家族・集団・地域を看護の対象として援助していくための看護過程・基本的な技術を学び、実践力向上をめざす。 公衆衛生看護活動における特徴のある看護場面を通して、支援の方法と看護技術について理解する。 			
到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> 公衆衛生看護における技術の体系について理解する。 様々なライフサイクルや健康レベルに応じた公衆衛生看護技術について理解できる。 援助関係の成立を目指した面接の技術と態度について学ぶ。 生活の場において、保健師が行う家庭訪問や健康相談の技術を習得する。 小集団に対して、対象者のセルフケア力を高める健康教育を企画し実施できる。 モデル地区の地域診断を行い、地域の健康課題をアセスメントし、地域の実態をとらえることができる。 			
授業の形式			
<ul style="list-style-type: none"> 講義、グループワーク、ロールプレイを組み合わせる。演習を進める。ペーパーペイシェントを用いて、アセスメント、計画立案、ロールプレイによる実践、評価を行う。信頼関係を築くための面接技術を基本とし、対象の特徴に合わせた支援技術の獲得をめざす。 <p>*詳細は演習要項に示す。</p>			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量			
<ul style="list-style-type: none"> 公衆衛生看護技術について教科書・参考書で予習して演習に臨むこと。各回の演習事例について事前にアセスメントを行い、支援計画を立案する。演習実施後は支援内容の記録および評価を行う。実際に地区視診を行う。 			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数）			
<ul style="list-style-type: none"> 成績評価は、出席（10%）、技術（80%）、最終レポート（10%）とする。 面接技術の試験を行う。 2/3以上の出席かつ計100点のうち60点以上を合格とする。 追再試は1回とする。 			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用			
保健師免許を有し、保健師の実務経験のある教員が、保健所や市町村・地域包括支援センター等での活動経験を踏まえ、公衆衛生看護技術の基礎講義と実践能力を身につける演習を行う。			
学生へのメッセージ			
公衆衛生看護活動における対象の広がりや様々なライフサイクル・健康レベルに応じた支援技術とは何か、自分なりにつかみとってください。対象者の生活背景や価値観の理解に努め、体験から学びを深めましょう。			
オフィスアワー			
月～金 事前にメール頂けると確実です。			
授業用連絡先（E-mail）			
shio32@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題			
保健師の看護過程、家庭訪問、アセスメント、ケアシステム			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 保健学講座2 公衆衛生看護支援技術	岸恵美子編集	メジカルフレンド社	3,850円
(参) 地域看護アセスメントガイド 第2版	佐伯和子	医歯薬出版株式会社	2,860円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1		公衆衛生看護における技術の体系について学ぶ	藤井 塩川 水口 阿部 (非常勤)
2	公衆衛生看護の技術とは	事例説明とアセスメント「地域でよく出逢う事例」への看護	〃
3		援助関係の成立を目指した面接の技術と態度	〃
4		面接技術（ロールプレイ）	〃
5	面接技術①	〃	〃
6		〃	〃
7		面接技術（ロールプレイ）	〃
8	面接技術②	〃	〃
9		〃	〃
10		保健師が行う家庭訪問の基本的技術について学ぶ	〃
11	家庭訪問①	家庭訪問事例についての対象理解	〃
12		アセスメント・看護計画の立案	〃
13		アセスメント・看護計画の立案（グループワーク）	〃
14	家庭訪問②	〃	〃
15		〃	〃

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
16		家庭訪問 ①新生児訪問 ②高齢者・難病（ロールプレイ）	藤井 塩川 水口 阿部 (非常勤)
17	家庭訪問③	〃	〃
18		〃	〃
19		家庭訪問の実施に対するフィードバック 家庭訪問の記録と評価の方法	〃
20	家庭訪問④	グループワーク「家庭訪問の技術とは」	〃
21		技術トレーニング	〃
22		母子健康手帳交付場面の面接における留意点	〃
23	健康相談①	健康相談（母子健康手帳交付）のロールプレイ	〃
24		〃	〃
25		乳幼児健診の進め方と技術	〃
26	健康診査①	乳幼児健診（3歳児健診の問診）のロールプレイ	〃
27		〃	〃
28		特定健診・特定保健指導について、健診から保健指導までのプロセスを理解する	〃
29	健康診査②	特定健診の進め方、問診のとり方	〃
30		健診結果の読みとりと指導案作成	〃

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
31		健康相談（特定保健指導）のロールプレイ	藤井 塩川 水口 阿部 (非常勤)
32	健康相談②	〃	〃
33		〃	〃
34		健康教育の企画・実施・評価とは	〃
35	健康教育①	健康教育におけるアセスメント・指導案・媒体作成 （グループワーク）	〃
36		〃	〃
37		〃	〃
38	健康教育②	〃	〃
39		〃	〃
40		健康教育の実践 （ロールプレイ）	〃
41	健康教育③	〃	〃
42		〃	〃
43		地域診断の方法	〃
44	地域診断①	グループワーク ・地域の基本構造の把握	〃
45		〃	〃

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
46		地域診断（グループワーク） ・地域の社会資源に関する情報収集と分類、加工	藤井 塩川 水口 阿部 (非常勤) 伊藤
47	地域診断②	”	”
48		”	”
49		地域診断（グループワーク） ・情報からのアセスメント	藤井 塩川 水口 阿部 (非常勤)
50	地域診断③	”	”
51		”	”
52		地域診断（グループワーク） ・地域の健康課題の明確化・構造化	”
53	地域診断④	”	”
54		”	”
55		地域診断（グループワーク） ・報告会準備	”
56	地域診断⑤	”	”
57		”	”
58		地域診断の報告会	藤井 塩川 水口 阿部 (非常勤) 伊藤
59	地域診断⑥	”	”
60		まとめ 「公衆衛生看護技術について学んだこと」	”

100. 公衆衛生看護学実習 I (選択)

担当 教員	◎塩川 幸子、藤井 智子、水口和香子、 阿部 浩美 (非常勤)		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第4学年	後期	3単位	3週間
履修目的・授業概要 DP①②③④⑤ 地域で生活する個人・家族、集団・組織、地域全体を対象とした公衆衛生看護活動のあり方を考え、実践できる基礎的能力を養う。			
到達目標 ・地域住民の健康と関連づけて地域特性を把握することができる。 ・様々なライフサイクル、健康レベルにある地域住民の個人・家族、集団・組織、地域全体を対象とした公衆衛生看護活動が理解できる。 ・地域住民の主体性を尊重するとともに予防の視点から効果的な支援のあり方を理解できる。 ・保健医療福祉の連携・調整および地域ケアシステム構築において、保健師が果たす役割を理解できる。 *詳細は実習要項に示す。			
授業の形式 ・実習施設：上川保健所・富良野保健所管内の市町村 ・実習内容：地域診断、家庭訪問、健康相談、健康診査、健康教育、地域ケア会議、事例検討会、カンファレンス等			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 ・実習前に配付される各市町村の事業計画書、保健統計資料、町政要覧等を読み込み実習市町村の健康課題をまとめましょう。 ・公衆衛生看護技術の特徴をふまえ、実践する技術を事前に練習してください。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） ・成績評価は、出席状況（10%）、実習状況・実習記録・最終レポート（90%）とする。 ・2/3以上の出席かつ計100点のうち60点以上を合格とする。 ・追再試は行わない。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 保健師免許を有し、保健師の実務経験のある教員が、保健所や市町村・地域包括支援センター等での活動経験を踏まえ、公衆衛生看護学の実習指導を行う。			
学生へのメッセージ 実習に向けて事前学習や準備を十分に行い、公衆衛生看護活動の実践に積極的に取り組むことを期待します。講義や演習の学びを生かし、実習地では地域の健康課題にどのように取り組んでいるのか体感してください。			
オフィスアワー 月～金 事前にメール頂けると確実です。			
授業用連絡先 (E-mail) shio32@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題 保健師の看護過程、家庭訪問、アセスメント、ケアシステム			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 保健学講座2 公衆衛生看護支援技術	岸恵美子編集	メジカルフレンド社	3,850円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	公衆衛生看護学実習	*公衆衛生看護学の基礎的技術に関する実習	藤井 塩川 水口 阿部 (非常勤)
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

101. 公衆衛生看護学実習Ⅱ（選択）

担当 教員	◎塩川 幸子、藤井 智子、水口和香子、 阿部 浩美（非常勤）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第4学年	後期	2単位	2週間
履修目的・授業概要 DP①②③④⑤ 公衆衛生行政機関としての保健所の機能・役割を学ぶとともに公衆衛生に関わる看護の機能・役割を理解する。			
到達目標 ・地域の特性および健康課題を総合的に理解する。 ・各種専門職で構成されている保健所の責任と役割を理解する。 ・個人・家族、集団のセルフケア力を引き出す支援の重要性について考える。 ・施策化・システム化の意義とそのプロセスにおける保健師の役割と技術を理解する。 *詳細は実習要項に示す。			
授業の形式 ・実習施設：上川保健所、富良野保健所 ・実習内容：地区把握、家庭訪問、保健事業、事例検討会、カンファレンス等			
準備学習（予習・復習）等の内容と分量 ・実習前に配付される保健所事業計画書、保健統計資料等を参考に保健所管轄地域を広域に見た特徴を考えましょう。 ・教科書等を参考に地域ケアシステム構築のプロセスを事前学習しましょう。			
成績評価の方法と基準等（合格基準、および追再試の回数） ・成績評価は、出席状況（10%）、実習状況・実習記録・最終レポート（90%）とする。 ・2/3以上の出席かつ計100点のうち60点以上を合格とする。 ・追再試は行わない。			
実務経験のある教員等による授業科目 該当する			
有する実務経験と授業への活用 保健師免許を有し、保健師の実務経験のある教員が、保健所や市町村・地域包括支援センター等での活動経験を踏まえ、公衆衛生看護学の実習指導を行う。			
学生へのメッセージ 公衆衛生行政における保健所の役割、保健所保健師として求められていることは何か、何ができるか、市町村との違いや共通点を考えてみましょう。事前学習や準備を十分に行い、主体的に実習に取り組むことを期待します。			
オフィスアワー 月～金 事前にメール頂けると確実です			
授業用連絡先（E-mail） shio32@asahikawa-med.ac.jp			
担当教員の研究と履修主題 保健師の看護過程、家庭訪問の再アセスメント			

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(参) 国民衛生の動向		厚生統計協会	2,695円
(参) 保健学講座2 公衆衛生看護支援技術	岸恵美子編集	メヂカルフレンド社	3,850円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	公衆衛生看護学実習	*公衆衛生看護管理の視点をふまえた実習	藤井 塩川 水口 阿部 (非常勤)
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

オフィスアワー 一覧表

オフィスアワー 一覧表

オフィスアワーとは、学生の皆さんからの授業に関すること、履修に関することなど、質問や相談等に応じるための時間帯をいいます。

学生の皆さんが、気軽に研究室を訪問してオフィス・アワーを積極的に活用することで、履修上の問題解決に役立てることを目的としています。

講座・学科目名	氏名	実施場所	実施日時	摘要
心理学	池上 将永	講義実習棟 4 F 心理学教授室	随時	事前にメールで確認してください。 (ikegamim@asahikawa-med.ac.jp)
社会学	工藤 直志	講義実習棟 4 F 社会学	随時	事前にメールで確認してください。 (kudot@asahikawa-med.ac.jp)
数学	加藤 勲	講義実習棟 4 F 数学	随時	気軽に訪問してください。 (isao_kato_84@asahikawa-ed.ac.jp)
数理情報科学	高橋 龍尚	講義実習棟 4 F 数理情報科学教授室	随時 (昼休み時間も含む)	気軽に訪問してください。 (ryushow@asahikawa-med.ac.jp)
物理学	本間 龍也	講義実習棟 3 F 物理学教授室	随時	わからないことがあったら気軽に質問に来ること。 (honma@asahikawa-med.ac.jp)
	稲垣 克彦	講義実習棟 3 F 物理学研究室	随時	わからないことがあったら気軽に質問に来ること。 (kina@asahikawa-med.ac.jp)
	藤井 敏之	講義実習棟 3 F 物理学研究室	随時	わからないことがあったら気軽に質問に来ること。 (tfujii@asahikawa-med.ac.jp)
化学	眞山 博幸	講義実習棟 3 F 化学教授室	月～金	事前にメールで確認してください。 (mayama@asahikawa-med.ac.jp)
	室崎 喬之	講義実習棟 3 F 化学研究室 1	月～金	事前にメールで確認してください。 (murosaki@asahikawa-med.ac.jp)
生物学	日下部 博一	講義実習棟 3 F 生物学教授室	随時	気軽に訪問してください。 (hkusa55@asahikawa-med.ac.jp)
	日野 敏昭	講義実習棟 3 F 生物学准教授室	随時	気軽に訪問してください。 (hino@asahikawa-med.ac.jp)
	岡本 麻子	講義実習棟 3 F 生物学研究室	随時	気軽に訪問してください。 (aokamoto@asahikawa-med.ac.jp)
生命科学	津村 直美	看護学科棟 4 F 409号室	随時	気軽に訪問してください。 (nshi@asahikawa-med.ac.jp)
英語	三好 暢博	講義実習棟 4 F 英語 2	随時	事前にメールで確認してください。 (ed-miyoshi@ed.asahikawa-ed.ac.jp)
	桑名 保智	講義実習棟 4 F 英語 3	随時	事前にメールで確認してください。 (yasukuwa@asahikawa-med.ac.jp)
保健管理センター	北野 陽平	保健管理センター	火 15:00-17:00	事務室に連絡ください。(68-2768)
国際交流推進センター	本間 大	皮膚科図書室	随時	皮膚科秘書に連絡 (68-2523)
教育センター	佐藤 伸之	教育センター	随時	まずは、メールでご相談ください。 educ@asahikawa-med.ac.jp
	野津 司	地域医療教育学 医局	随時	まずはメールで相談して下さい educ@asahikawa-med.ac.jp
地域共生医育センター	牧野 雄一	医育統合センター(臨床研究棟 2 F)	月火金 13:00以降	気軽に訪問してください
研究推進本部 病院臨床研究支援センター 研究技術支援センター	松本 成史	研究推進本部・教授室	随時	まずはメールで相談して下さい。 matsums@asahikawa-med.ac.jp
研究技術支援センター	伊藤 拓哉	研究技術支援センター	随時	まずはメールで相談して下さい。 takuya@asahikawa-med.ac.jp
	笹島 仁			まずはメールで相談して下さい。 hits@asahikawa-med.ac.jp
	宮園 貞治			まずはメールで相談して下さい。 miyazono@asahikawa-med.ac.jp
先進医工学研究センター	武輪 能明	総合研究棟 3 F R333b	随時	講座事務室に連絡して下さい (内線2332)
	井上 雄介			
	寺澤 武			
	佐藤 康史			
解剖学講座 (機能形態学分野)	吉田 成孝	総合研究棟 2階 解剖学講座(機能形態学分野) 教員研究室	金曜午後 5時-6時	指定時間外でも対応可 syoshida@asahikawa-med.ac.jp
	扇谷 昌宏		随時	事前にメールで確認してください。 ohgidani@asahikawa-med.ac.jp
解剖学講座 (顕微解剖学分野)	甲賀 大輔	解剖学講座(顕微解剖学分野) 多目的研究室	月～金 17:00-18:00	会議や出張などで不在のこともありますので、その場合は別日に対応します。

講座・学科目名	氏名	実施場所	実施日時	摘要
生理学講座 (自律機能分野)	入部 玄太郎	講座セミナー室	随時	前もって電話又はメールで相談してください。 (iribe@asahikawa-med.ac.jp)
	金子 智之			気軽に入室してください。 (kaneko@asahikawa-med.ac.jp)
	千葉 弓子			前もって電話またはメールで相談してください。 (yumikochiba@asahikawa-med.ac.jp)
生理学講座 (神経機能分野)	野口 智弘	生理神経機能スタッフ室	随時	事前にメールで確認して下さい。 (tnoguchi@asahikawa-med.ac.jp)
生化学講座	川辺 淳一	総合研究棟(8階) 生化学講座会議室	随時	予め講座事務室(68-2352)へ予約
	山崎 和生			
	矢澤 隆志			
	中島 恵一			
	安田 哲			
	渡辺 裕伍			
薬理学講座	中山 恒	薬理学講座オフィス	月～金 13:00-17:00	・気軽に訪問してください。 ・体調不良等で講義、実習等を欠席 する場合はメールで連絡してくだ さい。 e-mail: pharmacology@asahikawa-med.ac.jp
	結城 幸一			
	谷内 秀輔			
	小林 之乃			
病理学講座 (腫瘍病理分野)	高澤 啓	腫瘍病理図書室	随時	事前に予約してください。 (atakasawa@asahikawa-med.ac.jp)
	後藤 正憲			気軽に訪問してください。 (gotom@asahikawa-med.ac.jp)
病理学講座 (免疫病理分野)	小林 博也	病理学講座	随時	気軽に訪問して下さい。 (hiroya@asahikawa-med.ac.jp)
	大栗 敬幸			
	長門 利純			
	小坂 朱			
感染症学講座 (微生物学分野)	原 英樹	感染症学講座(微生物学分野) 図書室		まずはメールでご相談ください。 (hhara@asahikawa-med.ac.jp)
	松田 泰幸			まずはメールでご相談ください。 (matsuda@asahikawa-med.ac.jp)
	山内 肇			まずはメールでご相談ください。 (hyamauchi@asahikawa-med.ac.jp)
感染症学講座 (寄生虫学分野)	迫 康仁 伴 戸寛徳	総合研究棟 感染症学講座(寄生虫学分野) 図書室	随時	講座事務室に連絡してください。 Tel (68-2422)
社会医学講座	西條 泰明	社会医学講座	随時	可能な限り事前にメールで確認してください。 (y-saijo@asahikawa-med.ac.jp)
	吉岡 英治			可能な限り事前にメールで確認してください。 (e-yoshi@asahikawa-med.ac.jp)
	神田 浩路			可能な限り事前にメールで確認してください。 (kkanda@asahikawa-med.ac.jp)
	佐藤 遊洋			可能な限り事前にメールで確認してください。 (yukihiro-sato@asahikawa-med.ac.jp)
	金谷 智子			可能な限り事前にメールで確認してください。 (tomoko-k@asahikawa-med.ac.jp)
	汐月 博之			可能な限り事前にメールで確認してください。 (shiotsuki@asahikawa-med.ac.jp)

講座・学科目名	氏 名	実 施 場 所	実 施 日 時	摘 要
法 医 学 講 座	清 水 恵 子	法医学講座	随時	講座事務室に連絡ください。 Tel 68-2433 メール (tsukumim@asahikawa-med.ac.jp)
	浅 利 優			
	奥 田 勝 博			
先 端 医 学 講 座	船 越 洋	機器センター (2) 5 F 先端医学講座教室	随時	気軽に訪問して下さい。 (hfuna@asahikawa-med.ac.jp)
内 科 学 講 座 (循環器・腎臓内科学 分野) (呼吸器・ 脳神経内科学分野)	佐 藤 伸 之	内科学講座 循環器・腎臓内科学 分野/呼吸器・脳神経内科学 医局・図書室・教育センター	随時	まずは、メールで相談ください。 (nsato@asahikawa-med.ac.jp)
	中 川 直 樹	内科学講座 循環器・腎臓内科学 分野/呼吸器・脳神経内科学 医局・図書室	随時	まずはメールでご相談ください。 (naka-nao@asahikawa-med.ac.jp)
	竹 内 利 治	内科学講座 循環器・腎臓内科学 分野/呼吸器・脳神経内科学 医局・図書室	随時	まずはメールで相談ください。 (take21@asahikawa-med.ac.jp)
	田 邊 康 子	内科学講座 循環器・腎臓内科学 分野 医局・図書室	随時	まずはメールで相談ください。 (yasuko-t@asahikawa-med.ac.jp)
	佐々木 高明	呼吸器内科医局	随時	まずはメールでご相談ください。 (takaaki6@asahikawa-med.ac.jp)
	澤 田 潤	内科学講座 循環器・腎臓内科学 分野/呼吸器・脳神経内科学 医局・図書室	随時	まずはメールでご相談ください。 (sawajun@asahikawa-med.ac.jp)
	南 幸 範	呼吸器内科医局	随時	まずはメールでご相談ください。 (yminami@asahikawa-med.ac.jp)
地 域 医 療 再 生 フロンティア研究室	長 内 忍	地域医療再生フロンティア研究室	随時	事務室に連絡ください。 TEL : 0166-68-2839 メール : shinobuo@asahikawa-med.ac.jp
心 血 管 再 生 ・ 先 端 医 学 開 発 講 座				※生化学講座事務室 (68-2352) ま でご連絡ください。
内 科 学 講 座 (内 分 泌 ・ 代 謝 ・ 膠 原 病 内 科 学 分 野)	野 本 博 司	内分泌・代謝・膠原病内科学分野 医局	随時	いつでも気軽に訪問してください。
	滝 山 由 美			
	岡 本 健 作			
	橘 内 博 哉			
内 科 学 講 座 (消化器内科学分野)	藤 谷 幹 浩	総合研究棟 内科学講座 消化器内科学分野 図書室 他		
	水 上 裕 輔			
	麻 生 和 信			
	高 橋 賢 治			
	澤 田 康 司			
内 科 学 講 座 (血液内科学分野)	高 橋 秀 一 郎	総合研究棟 6 F 内科学講座 血液内科学分野 図書室	随時	事前にメールで確認してください。 (stakahashi@asahikawa-med.ac.jp)
精 神 医 学 講 座	橋 岡 禎 征	精神医学講座医局	木 13:00-15:00	事前に講座事務室に連絡し、アポ イントを取ってからお越しください。 (68-2473)
	大 宮 友 貴	"	金 15:00-17:00	
	坂 内 聖	"	木 15:00-17:00	
	市 川 香 織	"	火 10:00-12:00	
小 児 科 学 講 座	長 屋 建	小児科医局	随時	講座事務室までお越し下さい。 (総合研究棟 7 階小児科医局)
	岡 本 年 男			
	高 橋 悟			
	中 右 弘 一			
	鈴 木 滋			
	長 森 恒 久			

講座・学科目名	氏名	実施場所	実施日時	摘要
外科学講座 (血管・呼吸・腫瘍 病態外科学分野)	東 信 良	一外医局	12:00-13:00 17:00以降	講座事務室に連絡してください。 (tel 68-2494)
	北 田 正 博			
	菊 地 信 介			
	宮 城 久 之			
	大 平 成 真			
	栗 山 直 也			
	安 田 俊 輔			
	石 井 生			
外科学講座 (心臓大血管外科学分野)	紙 谷 寛 之	一外医局	12:00-13:00 17:00以降	講座事務室に連絡してください。 (tel 68-2494)
	小 山 恭 平			
	國 岡 信 吾			
	竹 吉 大 輔			
	宮 本 寛 之			
	広 藤 愛 菜			
	高 橋 昌 吾			
	潮 田 亮 平			
	大久保 諒			
	瀬戸川 友紀			
外科学講座 (肝胆膵・移植外科学分野)	横 尾 英 樹	教授室	随時	事前に講座へ確認して下さい。 (2ge@asahikawa-med.ac.jp)
	今 井 浩 二	カンファレンスルーム		
	高 橋 裕 之			
	島 田 慎 吾			
外科学講座 (消化管外科学分野)	長谷川 公 治	カンファレンスルーム	随時	事前に講座へ確認して下さい。 (2ge@asahikawa-med.ac.jp)
	庄 中 達 也			
	谷 誓 良			
	大 谷 将 秀			
	大 原 みずほ			
	武 田 智 宏			

講座・学科目名	氏 名	実 施 場 所	実 施 日 時	摘 要
整形外科学講座	伊 藤 浩	整形外科学講座医局 (図書室)	随時	事前にメールで確認してください。 (kuni38@asahikawa-med.ac.jp)
	小 林 徹 也			
	谷 野 弘 昌			
	入 江 徹			
	阿 部 里 見			
	三 好 直 樹			
	妹 尾 一 誠			
	柴 田 宏 明			
	小 原 和 宏			
	光 武 遼			
人工関節講座	水 谷 幸三郎			
皮膚科学講座	岸 部 麻 里	皮膚科図書室	随時	講座事務室に連絡してください。 68-2523
腎泌尿器外科学講座	橘 田 岳 也	腎泌尿器外科学講座	随時	講座事務室に連絡してください。 68-2533
	堀 淳 一			68-2533に連絡して下さい。
	和 田 直 樹			68-2533に連絡して下さい。
	小 林 進			68-2533に連絡して下さい。
眼科学講座	長 岡 泰 司	眼科学講座 研究室1	随時	事前にメールで確認してください。 ganka@asahikawa-med.ac.jp
	木ノ内 玲 子			
	西 川 典 子			
	善 岡 尊 文			
	神 谷 隆 行			
	宇都宮 嗣 了			
	高 橋 賢 伍			
	横 田 陽 匡			
	今 野 杏 美			
耳鼻咽喉科・頭頸部 外科学講座	林 達 哉	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	随時	まずはメールでご相談ください。 (3387beya@asahikawa-med.ac.jp) <先生の名前を必ず明記してください。>
	高 原 幹			
	岸 部 幹			
	大 原 賢 三			
	山 木 英 聖			
	熊 井 琢 美			
産婦人科学講座	片 山 英 人	産婦人科医局図書室	随時	(68-2562) に連絡して予約
	加 藤 育 民			
	市 川 英 俊			
	吉 澤 明 希 子			
放射線医学講座	教員全員	放射線医学講座医局(総合研究棟7F) 又は読影室(病院1F)	13:00~17:00	講座事務室に連絡 (tel68-2572・ メール radasahi@asahikawa-med.ac.jp)
麻酔・蘇生学講座	教員全員	総合研究棟3階 麻酔・蘇生学講座医局	随時	講座事務室に連絡 (68-2583) また はメールでご相談ください。 (asahikawa.masui.office@gmail.com)

講座・学科目名	氏 名	実 施 場 所	実 施 日 時	摘 要
脳神経外科学講座	木 下 学	総合研究棟 脳神経外科医局	随時	講座事務室に連絡・又は訪問ください。 (68-2594) neurosurgery@asahikawa-med.ac.jp
歯科口腔外科学講座	吉 田 将 亜	臨床研究棟 5 F 歯科口腔外科図書室	随時	事前にメールで確認してください。 yo4718@asahikawa-med.ac.jp
	小 神 順 也			事前にメールで確認してください。 gamioy@asahikawa-med.ac.jp
救急医学講座	岡 田 基	救急医学講座	随時	講座事務室に連絡してください。 Tel 68-2852 メール kyukyu-oka@asahikawa-med.ac.jp
	中 嶋 駿 介			kyukyu-hase@asahikawa-med.ac.jp
地域医療教育学講座	野 津 司	地域医療教育学 医局	随時	まずはメールで相談して下さい。 educ@asahikawa-med.ac.jp
形成・再建外科学講座	林 利 彦	機器センター（2）4階 形成外科医局	随時	メール、電話等でご連絡下さい。 (toshi116@asahikawa-med.ac.jp、 医局 68-2801)

講座・学科目名	氏名	実施場所	実施日時	摘要
看護学講座	伊藤 俊 弘	看護学科棟607号室	随時	気軽に来室してください。部屋にいないことも多いので事前にメールで確認されることをお奨めします。 (toshitoh@asahikawa-med.ac.jp)
	小田嶋 裕 輝	看護学科棟 6階 602号室	随時	事前にメールいただけると助かります。 (odajima@asahikawa-med.ac.jp) ※件名に学生証番号と氏名を入れてください。
	菅原 峰 子	看護学科棟 5階 501研究室	随時	必要時来室してください。事前にメールをいただけると確実です。 (msugawara@asahikawa-med.ac.jp)
	長谷川 博 亮	看護学科棟507号室	随時	気軽に訪室してください。 (hiroh@asahikawa-med.ac.jp)
	濱田 珠 美	看護学科棟401号室	随時	事前にメールで確認してください。 (thamada@asahikawa-med.ac.jp)
	平 義 樹	看護学科棟408号室	随時	気軽に来室してください。 (hira@asahikawa-med.ac.jp)
	藤井 智 子	看護学科棟608号室	随時	気軽に訪問してください。事前にメールをいただけると確実です。 (koitomo@asahikawa-med.ac.jp)
	升田 由美子	看護学科棟 4階403研究室	随時	気軽に訪問してください。 事前にメールをいただけると確実です。 (y-yumiko@asahikawa-med.ac.jp)
	山内 まゆみ	看護学科棟407号室	随時	気軽に来室してください。部屋にいないことも多いので事前にメールで確認されることをお奨めします。 (asayama@asahikawa-med.ac.jp)
	山根 由起子	看護学科棟502研究室	随時	事前にメールで確認してください。 (yamane@asahikawa-med.ac.jp)
	一條 明 美	看護学科棟402研究室	随時	気軽に訪問してください。 (aichijo@asahikawa-med.ac.jp) 件名に学年と氏名を記してください。
	塩川 幸 子	看護学科棟606号室	随時	気軽に訪問してください。事前にメールをいただけると確実です。 (shio32@asahikawa-med.ac.jp)
	野中 雅 人	看護学科棟508号室	随時	気軽に訪問してください。 (masato-n@asahikawa-med.ac.jp)
	原口 眞紀子	看護学科棟601号室	随時	事前にメールで確認してください。 (makiko38@asahikawa-med.ac.jp)
	眞鍋 貴 行	看護学科棟406号室	随時	気軽に来室ください。部屋にいないこともありますので事前にメールをいただけると確実です。 (tmanabe@asahikawa-med.ac.jp)
	森 浩 美	看護学科棟413号室	随時	事前にメールで確認してください。 (ekubo-h@asahikawa-med.ac.jp)
	石川 千 恵	看護学科棟405号室	随時	気軽に来室してください。 (chiei@asahikawa-med.ac.jp)
	神成 陽 子	看護学科棟 5階 506研究室	随時	気軽に訪問してください。事前にメールをいただけると確実です。件名に学籍番号と氏名を記してください。 (ykannari@asahikawa-med.ac.jp)
	苦米地 真 弓	看護学科棟503号室	随時	事前にメールで確認してください。 (bechieco@asahikawa-med.ac.jp)
	綱元 亜 依	看護学科棟404号室	随時	気軽に訪問してください。事前にメールいただけると確実です。 (march22@asahikawa-med.ac.jp)
	巻島 愛	看護学科棟505号室	随時	気軽に訪問してください。 (sai-mizu@asahikawa-med.ac.jp)
	牧野 志 津	看護学科棟404号室	随時	気軽に訪問してください。 (km1208@asahikawa-med.ac.jp)
	松田 奈緒美	看護学科棟404号室	随時	気軽に訪問してください。 (kikuri@asahikawa-med.ac.jp)
	水口 和香子	看護学科棟504号室	随時	気軽に訪問してください。事前にメールをいただけると確実です。 (mizu-w@asahikawa-med.ac.jp)
	山口 希 美	看護学科棟505号室	随時	気軽に来室してください。 (nozomi-y@asahikawa-med.ac.jp)
	山田 咲 恵	看護学科棟504号室	随時	気軽に訪問してください。 (syamada@asahikawa-med.ac.jp)
出村 唯	看護学科棟505号室	随時	気軽に訪問してください。事前にメールをいただけると確実です。 (demu@asahikawa-med.ac.jp)	
吉原 茉 寿	看護学科棟504号室	随時	気軽に訪問してください。事前にメールをいただけると確実です。 (maamo@asahikawa-med.ac.jp)	

講座・学科目名	氏 名	実 施 場 所	実 施 日 時	摘 要
リハビリテーション科	大 田 哲 生	共通棟(B) リハビリ科教授室	随時	事前にメールで確認してください。 tetsuota@asahikawa-med.ac.jp
	及 川 欧	共通棟(B) リハビリ科医局	随時	事前にメールで確認してください。 oikawa@asahikawa-med.ac.jp
	澁 谷 匠	共通棟(B) リハビリ科医局	随時	事前にメールで確認してください。 shibu-dtf@asahikawa-med.ac.jp
	遠 藤 寿 子	共通棟(B) リハビリ科医局	随時	事前にメールで確認してください。 hendo66@asahikawa-med.ac.jp
臨床検査・輸血部	坂 本 央	臨床検査・輸血部 部長室	随時	まずはメールで確認してください。 rinken@asahikawa-med.ac.jp
手 術 部	林 達 哉	手術部視聴覚教育室	随時	事前にメールで確認してください。 thayashi@asahikawa-med.ac.jp
病 理 部	谷 野 美智枝	病理部部長室	随時	まずはメールで相談して下さい。 mtanino@asahikawa-med.ac.jp
集 中 治 療 部	小 北 直 宏	救急医学講座	随時	救急医学講座事務室に連絡してください。 Tel 68-2852 メール kyukyu-oka@asahikawa-med.ac.jp kyukyu-hase@asahikawa-med.ac.jp
総 合 診 療 部	野 津 司			事前にメールで確認してください。 tnoz@asahikawa-med.ac.jp
経 営 企 画 部	谷 祐 児	経営企画部 副部長室	随時	事前にメールで確認してください。 y_tani@asahikawa-med.ac.jp
腫 瘍 セ ン タ ー	田 邊 裕 貴	腫瘍センター	要連絡	センターに連絡をしてください。 (tel: 69-3232)
緩和ケア診療部	小野寺 美子	緩和ケア診療部	月・水・木 13:00-15:00	事前にメールで確認してください。 yonodera@asahikawa-med.ac.jp
遺 伝 子 診 療 カウ ン セ リ ン グ 室	蒔 田 芳 男	教育センター	不定時	事前にメールで予定を確認してね makita5p@asahikawa-med.ac.jp
薬 剤 部	田 崎 嘉 一	病院2階 薬剤部内	随時	事前にメールで確認するか (tasakiy@ asahikawa-med.ac.jp)、病院2階の薬 剤部薬務室を訪問してください。
	中 馬 真 幸			事前にメールで確認するか (chuma- masayuki@asahikawa-med.ac.jp)、病院2 階の薬剤部薬務室を訪問してください。

令和7年度 カレンダー

* 欄外は予定

4/7 入学式
4/8 授業開始
4/8、4/9 新入生研修

6/6～8 医大祭

夏季休業
医学科1学年 7/21～8/21
医学科2・3学年 7/14～8/15
医学科4学年 7/23～8/18
看護学科1学年 7/14～8/15
看護学科2学年 7/7～8/15
※15、16、17、18、19週のうち1週間は早期体験実習Ⅱ
看護学科3学年 7/21～8/15
看護学科4学年 7/28～8/15

9/24 解剖体慰霊式

始業からの週数	前 期							始業からの週数	後 期						
1	4 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5							28	10 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4						
2	6 7 8 9 10 11 12							29	5 6 7 8 9 10 11						
3	13 14 15 16 17 18 19							30	12 13 14 15 16 17 18						
4	20 21 22 23 24 25 26							31	19 20 21 22 23 24 25						
5	27 28 29 30								26 27 28 29 30 31						
6	5 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3							32	11 日 月 火 水 木 金 土 1						
7	4 5 6 7 8 9 10							33	2 3 4 5 6 7 8						
8	11 12 13 14 15 16 17							34	9 10 11 12 13 14 15						
9	18 19 20 21 22 23 24							35	16 17 18 19 20 21 22						
	25 26 27 28 29 30 31							36	23 24 25 26 27 28 29						
	6 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7							37	12 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6						
10	8 9 10 11 12 13 14							38	7 8 9 10 11 12 13						
11	15 16 17 18 19 20 21							39	14 15 16 17 18 19 20						
12	22 23 24 25 26 27 28							40	21 22 23 24 25 26 27						
13	29 30								28 29 30 31						
14	7 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5							41	1 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3						
15	6 7 8 9 10 11 12							42	4 5 6 7 8 9 10						
16	13 14 15 16 17 18 19							43	11 12 13 14 15 16 17						
17	20 21 22 23 24 25 26							44	18 19 20 21 22 23 24						
18	27 28 29 30 31								25 26 27 28 29 30 31						
19	8 日 月 火 水 木 金 土 1 2							45	2 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7						
20	3 4 5 6 7 8 9							46	8 9 10 11 12 13 14						
21	10 11 12 13 14 15 16							47	15 16 17 18 19 20 21						
22	17 18 19 20 21 22 23							48	22 23 24 25 26 27 28						
23	24 25 26 27 28 29 30														
	31														
24	9 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6							49	3 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7						
25	7 8 9 10 11 12 13							50	8 9 10 11 12 13 14						
26	14 15 16 17 18 19 20							51	15 16 17 18 19 20 21						
27	21 22 23 24 25 26 27							52	22 23 24 25 26 27 28						
	28 29 30							53	29 30 31						

後期授業開始
医学科1・2学年 9/29
医学科3学年 9/22
医学科4学年 9/29
看護学科1・2学年 9/29
看護学科3学年 9/19
看護学科4学年 9/29

11/5 本学記念日

冬季休業
医学科1学年 12/15～1/12
医学科2学年 12/18～1/12
医学科3学年 12/17～1/5
医学科4学年 12/22～1/2
看護学科1・2学年 12/15～1/13
看護学科3学年 12/22～1/16
看護学科4学年 12/12～1/2

1/17～18 大学入学共通テスト

2/25～26 一般入試前期日程 (予定)
2/27～ 春季休業
(医学科 4学年: 3/23～)
(看護学科3学年: 3/2～)
(看護学科4学年: 2/9～)

3/12 一般入試後期日程 (予定)
3/25 学位記授与式

令和8年度入学式 4月6日(月) 授業開始4月7日(火) 予定

医学部看護学科（令和7年度看護学科第1～4学年）
実務経験のある教員等による授業科目一覧表

区分	授業科目	単位	形式	1年	2年	3年	4年	備考
一般基礎科目	初年次セミナー	1	講義	○				必修
専門基礎科目	生体観察実習	1	実習	○				必修
	栄養学	1	講義	○				必修
	病理学総論	1	講義	○				必修
専門科目	看護学概論	2	講義	○				必修
	基礎看護技術学Ⅰ（共通技術）	1	演習	○				必修
	基礎看護技術学Ⅱ（日常生活援助技術）	2	演習	○				必修
	コミュニケーション論	1	講義	○				必修
	人間生涯発達論	1	講義	○				必修
	地域看護学	1	講義	○				必修
	早期体験実習Ⅰ（コミュニケーション、プロフェッショナルリズム）	1	実習	○				必修
	基礎看護学実習Ⅰ（療養生活の理解）	1	実習	○				必修
	地域包括ケア論Ⅰ（地域の理解）	1	講義	○				必修
	専門基礎科目	病理学各論	1	講義		○		
薬理学		1	講義		○			必修
感染制御学		2	講義		○			必修
臨床病態治療学Ⅰ（精神・小児・婦人科系疾患）		2	講義		○			必修
臨床病態治療学Ⅱ（内科・外科系疾患）		2	講義		○			必修
専門科目	臨床心理学	2	講義		○			必修
	基礎看護技術学Ⅲ（診療関連技術）	1	演習		○			必修
	基礎看護技術学Ⅳ（看護過程）	1	講義		○			必修
	看護フィジカルアセスメント	1	講義		○			必修
	看護倫理	1	講義		○			必修
	看護理論	1	講義		○			必修
	早期体験実習Ⅱ（北海道の地域医療、看護職）	1	実習		○			必修
	基礎看護学実習Ⅱ（看護過程と看護実践）	2	実習		○			必修
	地域包括ケア論Ⅱ（地域の課題把握）	1	講義		○			必修
	成人看護学Ⅰ（健康状態と看護）	2	講義		○			必修
	高齢者看護学Ⅰ（老いを生きる人と看護）	1	講義		○			必修
	小児看護学	2	講義		○			必修
	母性看護学	2	講義		○			必修
	精神看護学Ⅰ（個人と社会における精神保健）	1	講義		○			必修
精神看護学Ⅱ（精神症状と看護の展開）	1	講義		○			必修	
専門基礎科目	臨床薬理学	1	講義			○		必修
	臨床病態治療学Ⅲ（内科・外科系以外の疾患）	2	講義			○		必修
	疫学	2	講義			○		必修
	保健医療福祉システム論	2	講義			○		必修
専門科目	地域包括ケア論Ⅲ（地域の課題解決）	1	講義			○		必修
	地域包括ケア実習	1	実習			○		必修
	成人看護学Ⅱ（主な健康障害と看護）	2	講義			○		必修
	高齢者看護学Ⅱ（老年期の生活障害と看護）	1	講義			○		必修
	在宅看護学	2	講義			○		必修
	実践看護技術学Ⅰ（成人）	1	演習			○		必修
	実践看護技術学Ⅱ（精神・母性・小児）	2	演習			○		必修
	成人看護学実習Ⅰ（急性期）	3	実習			○		必修
	成人看護学実習Ⅱ（外来）	1	実習			○		必修
	成人看護学実習Ⅲ（慢性期）	2	実習			○		必修
	母性看護学実習	2	実習			○		必修
	精神看護学実習	2	実習			○		必修
	がん看護学	2	講義			○		必修
	チーム医療・リハビリテーション看護論	1	講義			○		必修
	地域包括ケア論Ⅳ（地域課題の継続的な取組）	1	講義				○	必修
	実践看護技術学Ⅲ（高齢者・在宅）	1	演習				○	必修
	高齢者看護学実習	3	実習				○	必修
	小児看護学実習	2	実習				○	必修
	国際保健・災害看護論	1	講義				○	必修
	卒業研究	2	演習				○	必修
	在宅看護学実習	2	実習				○	必修
	総合実習	2	実習				○	必修
	看護管理・医療安全論	1	講義				○	必修

**医学部看護学科（令和7年度看護学科第1～4学年）
実務経験のある教員等による授業科目一覧表**

区 分	授 業 科 目	単 位	形 式	1 年	2 年	3 年	4 年	備 考
一般基礎科目	生命科学（入門）	1	講義	○				選択
専門基礎科目	看護遺伝学	1	講義		○			選択
	保健医療福祉行政論	1	講義			○		選択
専 門 科 目	公衆衛生看護学概論	2	講義		○			選択
	助産学概論	1	講義			○		選択
	助産活動論Ⅰ（リプロダクティブヘルス/ライツと女性・家族への支援）	1	講義			○		選択
助産学選択者のみ履修科目	助産活動論Ⅱ（助産学基礎知識）	2	講義			○		選択
専 門 科 目	公衆衛生看護活動論Ⅰ（個人・家族・集団）	2	講義			○		選択
公衆衛生看護学 選択者のみ履修科目	公衆衛生看護活動論Ⅱ（地域アセスメント）	2	講義			○		選択
専 門 科 目	家族看護論	1	講義			○	○	選択
	認知症ケア論	1	講義			○	○	選択
	クリティカルケア論	1	講義			○	○	選択
	看護教育論	1	講義				○	選択
	がんサバイバーシップ	1	講義				○	選択
	がんエンドオブライフケア	1	講義				○	選択
助産学選択者のみ履修科目	助産診断・技術学Ⅰ（妊娠期）	1	演習				○	選択
	助産管理学	1	講義				○	選択
	助産学実習	11	実習				○	選択
公衆衛生看護学 選択者のみ履修科目	公衆衛生看護活動論Ⅲ（公衆衛生看護管理）	2	講義				○	選択
	公衆衛生看護活動論Ⅳ（政策づくり）	1	講義				○	選択
	公衆衛生看護技術論	2	演習				○	選択
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	3	実習				○	選択
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	2	実習				○	選択
	単位合計	130						